

城陽市市民意識調査

報告書

平成27年度
(2015年度)

城陽市

はじめに

城陽市は、今まさに、新名神高速道路の全線開通に向け、事業が進められているほか、城陽ジャンクション・インターチェンジに隣接する新市街地整備においても、日本郵便株式会社及び日本郵便輸送株式会社をはじめとする企業の進出が決定し、さらに、JR奈良線の複線化、東部丘陵地の整備など、明日への都市基盤整備が着々と進んでいます。



本市は、これら絶好のチャンスに、交通の要衝・近畿の核としての機能を最大限に活かした企業誘致を進めるなど、税収の増加や雇用の創出を図り、「希望あふれる城陽」「誰もが輝いている城陽」に向けて、市民のみなさまとの対話によるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

そこで、市民の皆さまの貴重なご意見をお聞きしながら施策の推進に取り組むため、平成 23 年に引き続き「城陽市市民意識調査」を実施いたしました。この調査結果につきましては、今後の市政運営及び貴重な資料として活用してまいります。

調査にご協力いただきました皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今後一層の市政に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年(2015 年)12 月

城陽市長 奥田 敏晴

目次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査期間等	1
5.	調査内容	1
6.	報告書の見方	2
II	調査結果	3
1	回答者の属性	3
(1)	性別	3
(2)	年齢	3
(3)	職業	4
(4)	居住年数	4
(5)	居住形態	5
(6)	居住小学校区	5
2	城陽市について	6
(1)	城陽市の住みやすさ	6
(2)	城陽市の魅力	8
(3)	城陽市への「ふるさと」感の有無	11
(4)	今後の居留意向の有無	13
(5)	転居希望の理由	14
3	城陽市のさまざまな行政分野について	17
(1)	どのような地域活動に参加しているか	17
(2)	地域活動に参加する際に支障となること	19
(3)	生涯学習の内容	20
(4)	生涯学習活動の方法	22
(5)	生涯学習に取り組まなかった理由	24
(6)	スポーツの実施状況について	26
(7)	京都サンガF. C. 応援の有無	27
(8)	京都サンガF. C. 試合観戦経験の有無	28
(9)	京都サンガF. C. に関する認知度	29
(10)	「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況	31
(11)	城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度	36
(12)	「じょうりんちゃん」の認知経路	37
(13)	市の広報紙等に広告を掲載していることについての考え	38
(14)	家庭のトイレの形式	39
(15)	災害に強いまちづくりのために必要な対策	41

(16) 住宅用火災警報器設置の有無	43
(17) 城陽市の河川をきれいにするための意識	44
(18) 水道水を飲料水として使用していることの有無	46
(19) 飲料水として使用しているもの	47
(20) 城陽市で実施している環境施策の認知度	49
(21) 地球温暖化防止のために利用したいと思うもの	52
(22) 墓地の有無	54
(23) 必要とする墓地の形態	56
(24) 環境イベント・学習会への参加の有無	58
(25) 今後参加したいイベント・学習会の分野	60
(26) 地球環境問題について	62
(27) 地球環境問題に対する取り組み	63
(28) 市の緑化推進の施策で知っているもの	64
(29) 市の緑化推進のために必要だと思うもの	66
(30) 「城陽市空き家バンク制度」の認知度	69
(31) 「城陽市空き家バンク制度」について	70
(32) 公園におけるボール遊びについて	71
(33) 子育て支援充実のために必要だと思う施策	73
(34) 商店街の利用状況	76
(35) 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について	78
(36) 公共交通機関の利用頻度	80
(37) 生活の中でよく利用する駅について	83
(38) 市内の各種公共施設の利用状況	86
(39) 市内の各種公共施設を利用していない理由	89
4 城陽市での暮らしの満足度について	90
(1) 日常生活全般の満足度	90
(2) 自然環境・周辺環境の満足度	95
(3) 都市基盤整備の必要性	100
(4) 生活環境整備の必要性	106
(5) 教育・文化に対する整備の必要性	112
(6) 福祉・健康に対する整備の必要性	115
(7) 交通機関の整備の必要性	119
(8) 産業に対する整備の必要性	125

資料編

調査票

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市民の声を市政に反映させるべく、昭和57年度から実施しており、市民の意見・考え方を聴き、その経年変化を把握して、今後の市政運営に資することを目的とします。

2. 調査対象

城陽市に居住する20歳以上の方から無作為で1,000人を抽出しました。

3. 調査方法

郵送により調査票を配布及び回収

4. 調査期間等

次のように調査を実施しました。

- ・市広報紙及びホームページにより告知：平成27年7月1日
- ・調査票配布：平成27年7月10日
- ・回収終了：平成27年7月31日
- ・回収状況：回収数 576件 回収率 57.6%

5. 調査内容

(1) 回答者の属性について

性別、年齢、職業、居住年数、居住形態、居住小学校区

(2) 城陽市について

住みやすさ、魅力、「ふるさと感」の有無、居住意向、転居希望理由

(3) さまざまな行政分野について

地域活動への参加、生涯学習の内容、スポーツの実施状況、京都サンガF. C. について、広報紙などの閲読状況、「じょうりんちゃん」について、広報紙等広告、トイレの形式、災害対策、住宅用火災警報器の設置状況、河川の浄化、水道水の利用状況、環境施策、地球温暖化防止、墓地の充足、環境イベント・学習会、地球環境問題、緑化推進、城陽市空き家バンク制度、公園のボール遊び、子育て支援策、商店街の利用状況、運転免許証・自家用車の有無、公共交通機関の利用頻度、よく利用する駅、公共施設の利用状況

(4) 暮らしの満足度

日常生活全般、自然環境・周辺環境、都市基盤整備、生活環境、教育・文化、福祉・健康、交通機関、産業

6. 報告書の見方

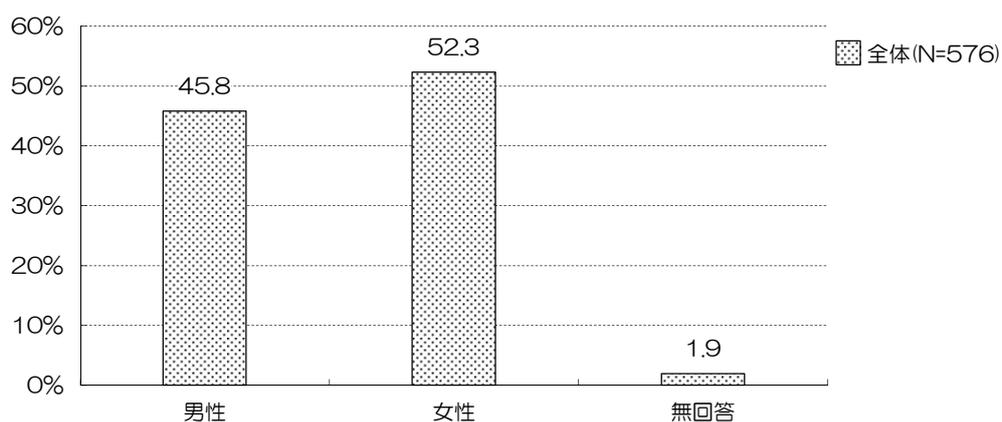
- ・集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・原則として回答比率（%）は、その質問の回答者数（N=Number of case）を100.0%として算出しました。
- ・設問によっては、別の設問の回答によって回答者が限定されるものがあります。その場合、非該当となる回答者数を除いた分だけN値が減少しています。
- ・百分比（%）の比較における差は、原則として「…ポイント」という表現としました。
- ・調査結果の考察文中にある二重括弧（『・・・』）は2つの選択肢を総合したことを表します。（例：「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」→『住みよい』）
- ・前回調査との比較の前回調査とは、平成23年10月に行われた「城陽市市民意識調査」を指しています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

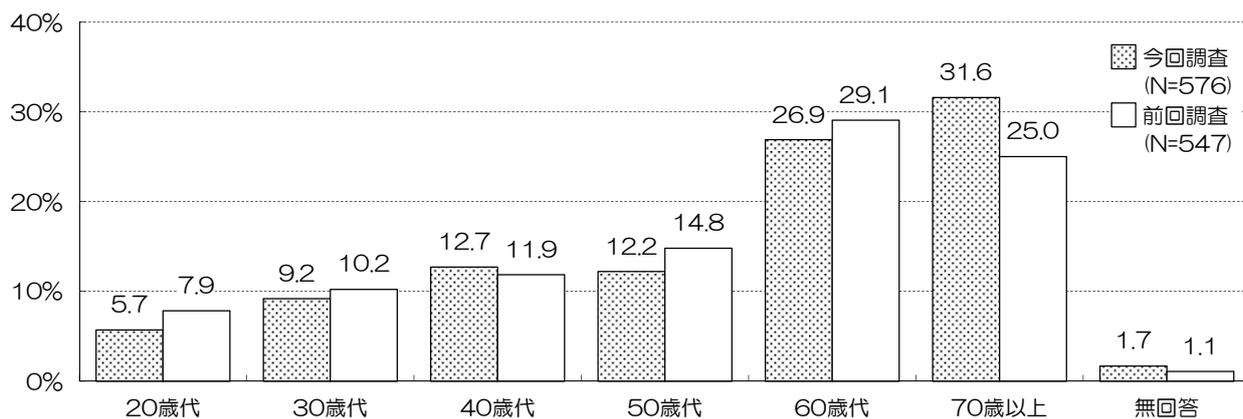
図1-1 性別



回答者の性別は、男性が45.8%（264件）、女性が52.3%（301件）で、女性の方が若干多くなっています。（図1-1）

(2) 年齢

図1-2 年齢（前回調査との比較）

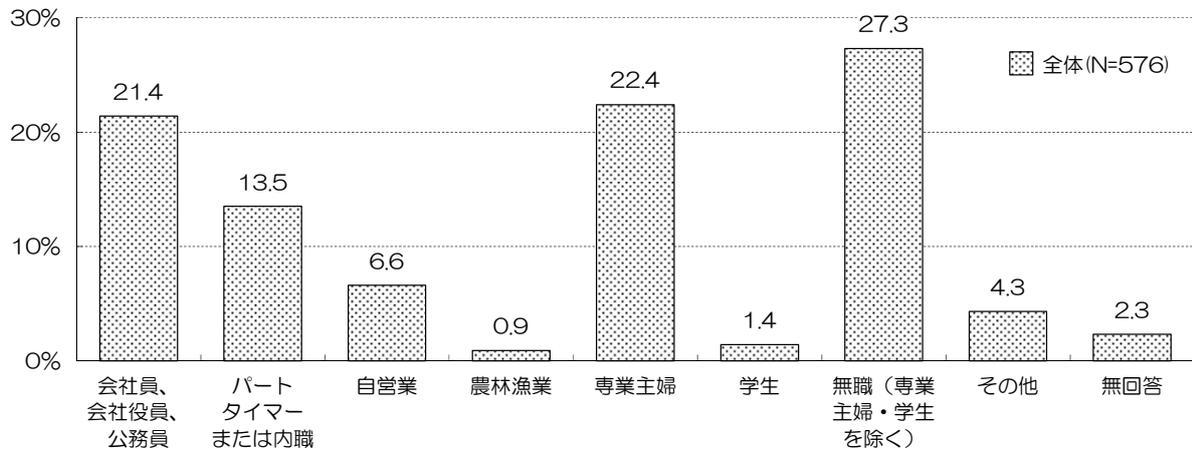


回答者の年齢は、70歳以上が31.6%（182件）と最も多く、次いで、60歳代が26.9%（155件）となっており、60歳以上の高年齢層が58.5%（337件）を占めています。

前回調査でも、60歳以上の年代が54.1%（296件）と5割を超えていますが、今回調査では高年齢層の占める割合がより高くなっています。（図1-2）

(3) 職業

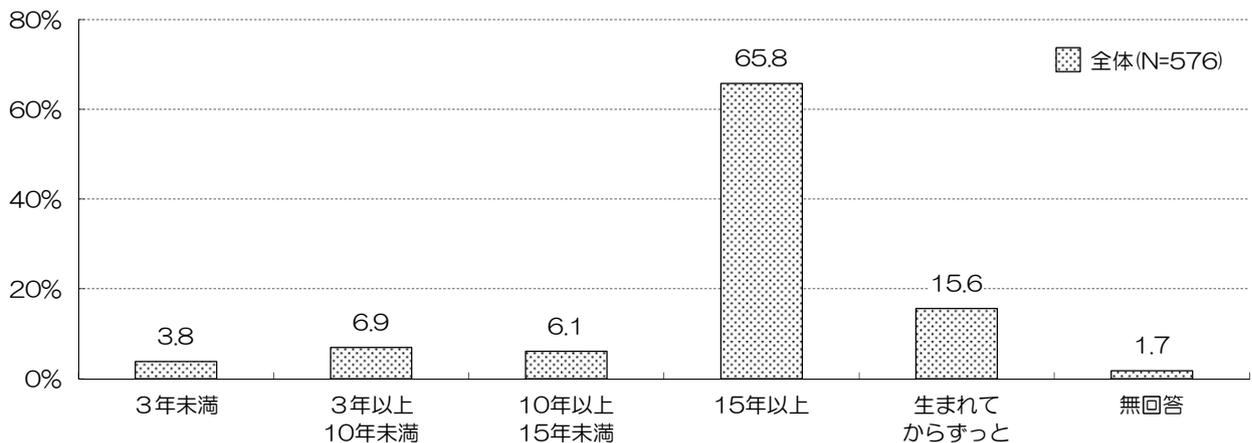
図1-3 職業



回答者の職業は、「無職（専業主婦・学生を除く）」が27.3%（157件）と最も高くなっています。次いで、「専業主婦」が22.4%（129件）、「会社員、会社役員、公務員」が21.4%（123件）で続いています。（図1-3）

(4) 居住年数

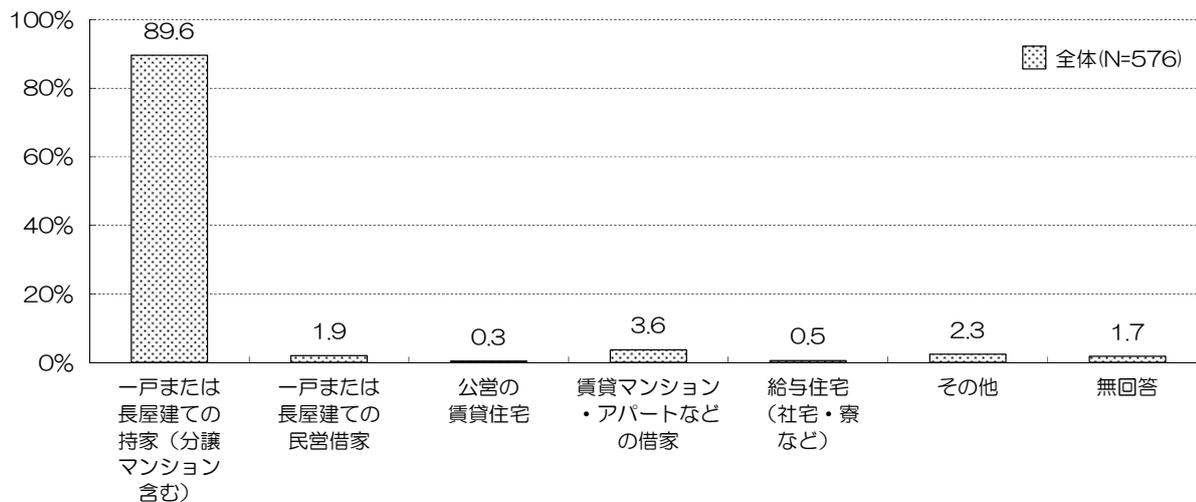
図1-4 居住年数



居住年数は、「15年以上」（65.8%：379件）と「生まれてからずっと」（15.6%：90件）が合わせて81.4%（469件）を占めています。（図1-4）

(5) 居住形態

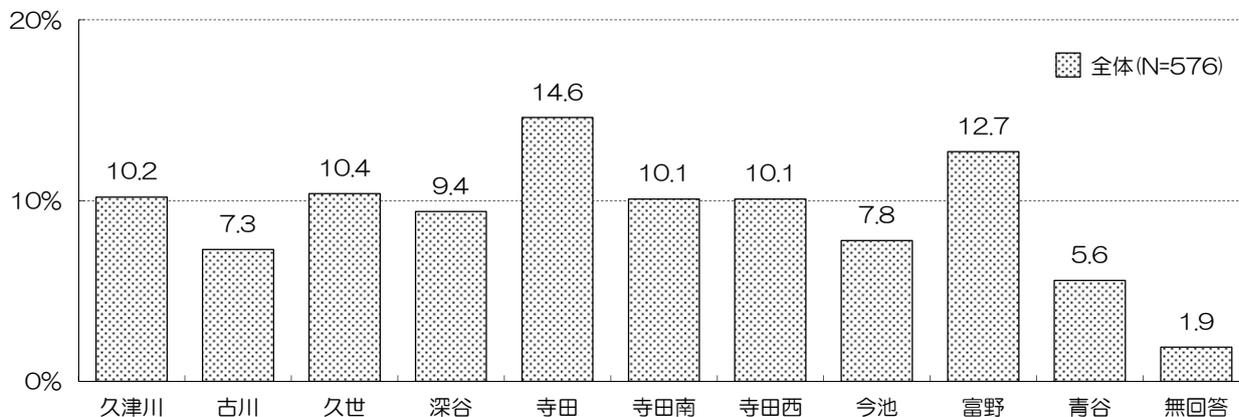
図1-5 居住形態



居住形態は、「一戸または長屋建ての持家（分譲マンション含む）」が89.6%（516件）と約9割を占めています。（図1-5）

(6) 居住小学校区

図1-6 居住小学校区



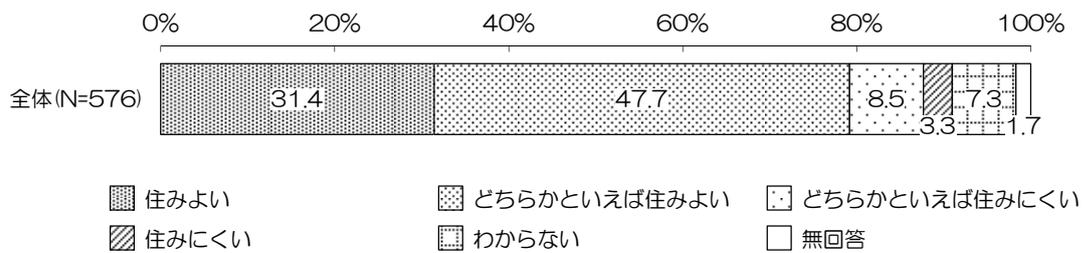
居住小学校区は、「寺田」が14.6%（84件）と最も高く、次いで、「富野」が12.7%（73件）となっており、これに「久世」「久津川」「寺田南」「寺田西」「深谷」が10%前後が続いています。（図1-6）

2 城陽市について

(1) 城陽市の住みやすさ

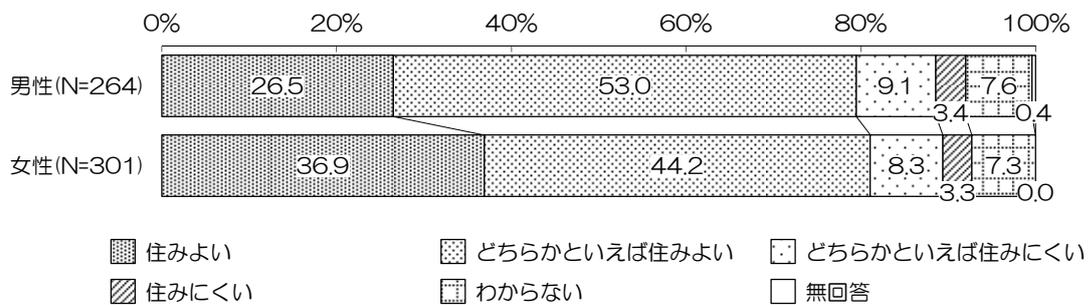
Ⅱ (1) あなたは城陽市を住みよいと感じておられますか。

図2-1 城陽市の住みやすさ



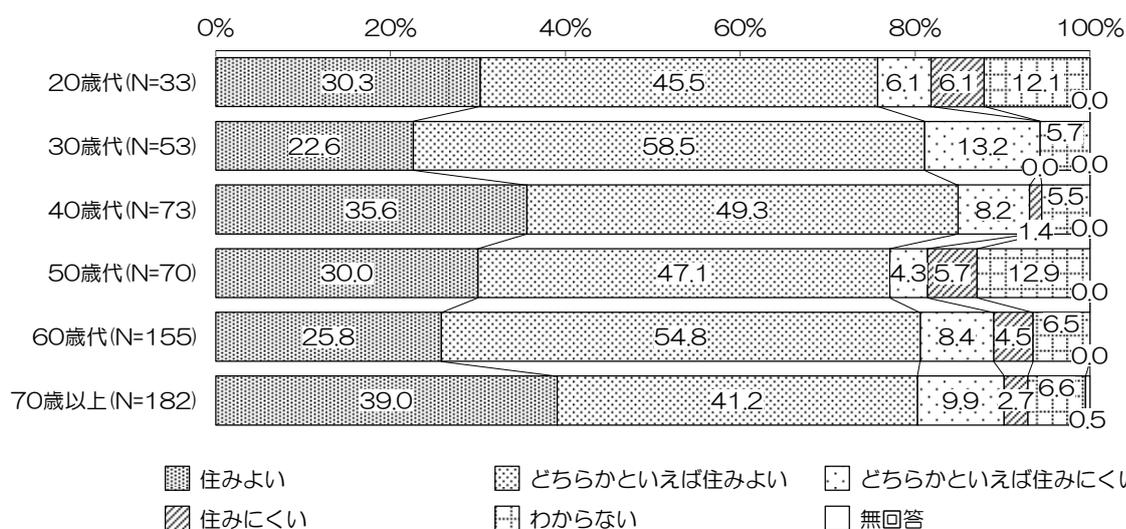
城陽市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みよい」が47.7%（275件）と約5割を占めており、「住みよい」（31.4%：181件）を合わせると、全体の79.1%（456件）が『住みよい』と回答しています。一方、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）は11.8%（68件）となっています。（図2-1）

図2-1-1 男女別 城陽市の住みやすさ



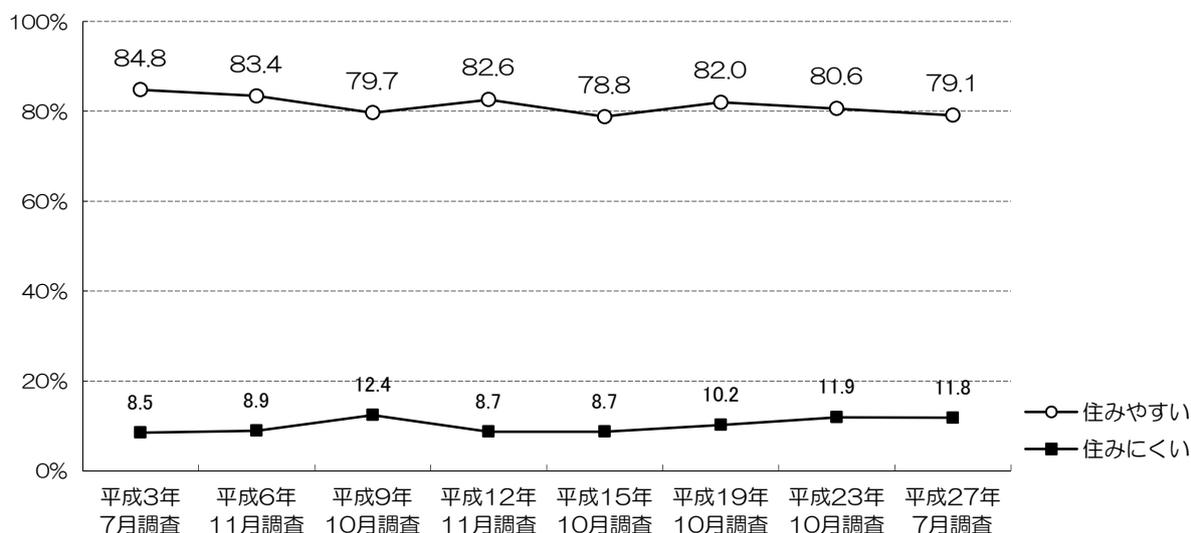
男女別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）は男女ともに約8割を占めていますが、女性では「住みよい」、男性では「どちらかといえば住みよい」の割合が高く、約10ポイントの差がみられます。（図2-1-1）

図2-1-2 年齢別 城陽市の住みやすさ



年齢別にみると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人は、40歳代で84.9%（62件）、30歳代で81.1%（43件）、60歳代で80.6%（125件）、70歳以上で80.2%（146件）と高くなっており、なかでも70歳以上では「住みよい」が39.0%（71件）と高くなっています。（図2-1-2）

図2-1-3 経年比較 城陽市の住みやすさ

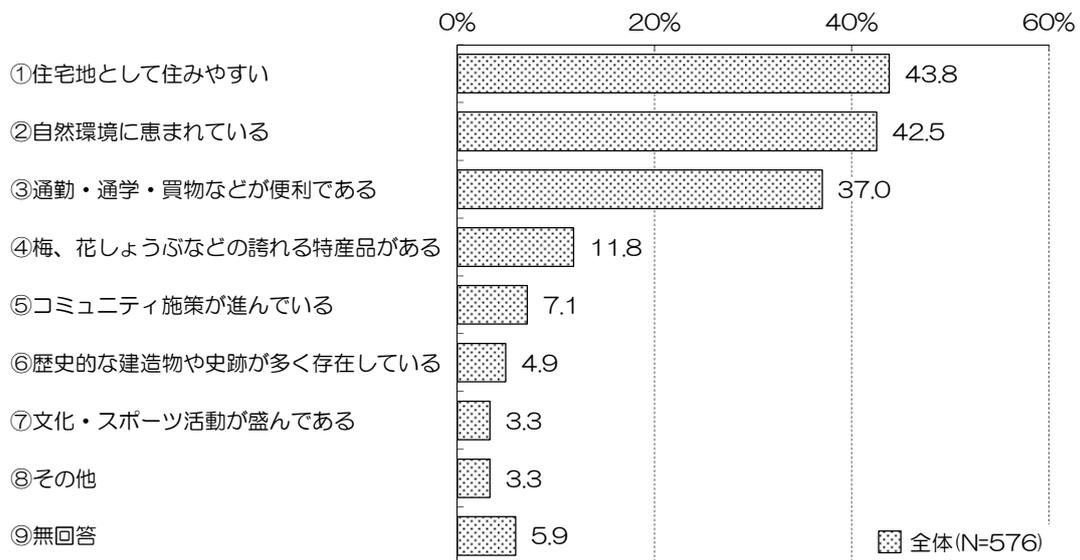


前回調査と比較すると、『住みよい』（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合）という人が、今回調査では1.5ポイント減少し、『住みにくい』（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた割合）という人は前回調査とほぼ同じとなっています。（図2-1-3）

(2) 城陽市の魅力

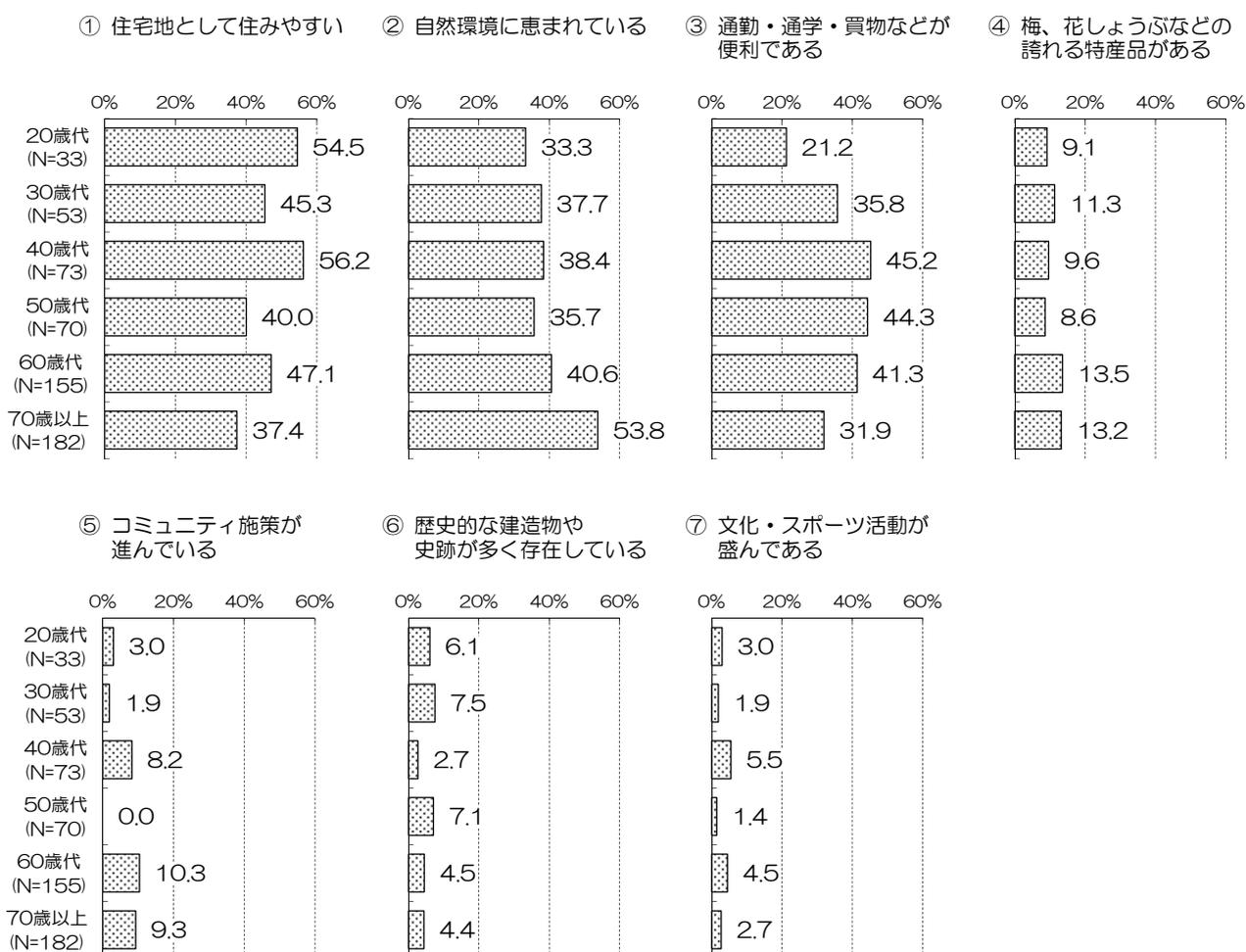
II (2) 城陽市のどのようなところに魅力を感じられますか。適当だと思われるものに2つ以内で○印をつけてください。

図2-2 城陽市の魅力



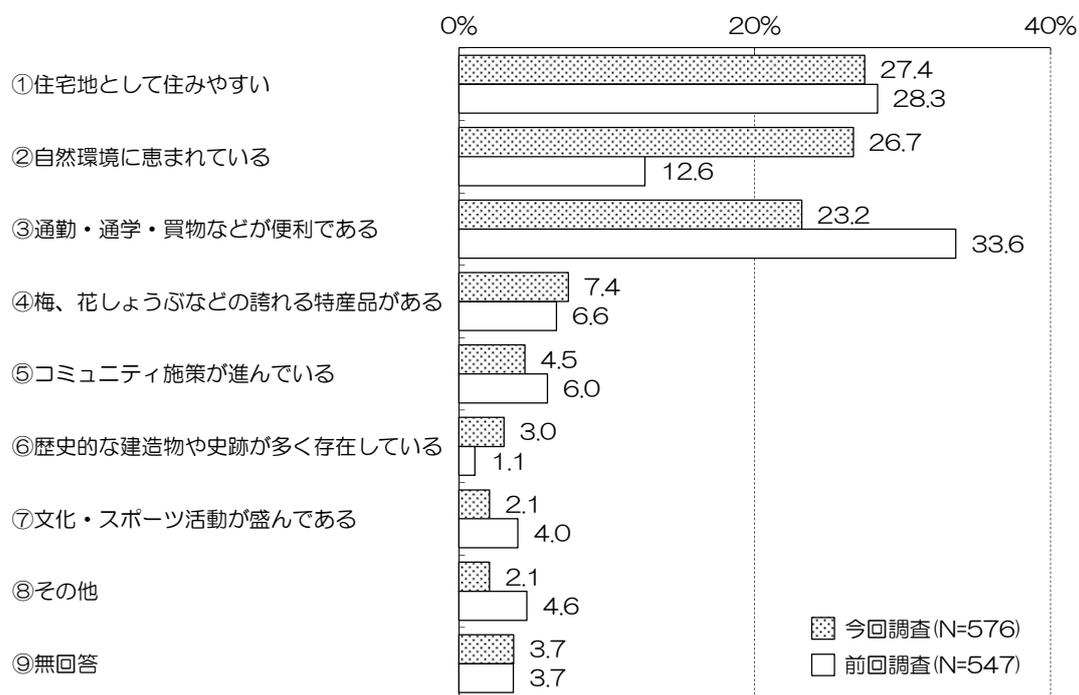
城陽市の魅力については、「①住宅地として住みやすい」が43.8%（252件）で最も高く、次いで、「②自然環境に恵まれている」が42.5%（245件）、「③通勤・通学・買物などが便利である」が37.0%（213件）で続いています。（図2-2）

図2-2-1 年齢別 城陽市の魅力



年齢別にみると、40歳代では「①住宅地として住みやすい」が56.2%（41件）、「③通勤・通学・買物などが便利である」が45.2%（33件）と、全体よりも割合が高くなっています。20歳代でも「①住宅地として住みやすい」は54.5%（18件）と高くなっていますが、「③通勤・通学・買物などが便利である」については21.2%（7件）にとどまっています。70歳以上では、「②自然環境に恵まれている」の割合が最も高く53.8%（98件）となっています。（図2-2-1）

図2-2-2 経年比較 城陽市の魅力



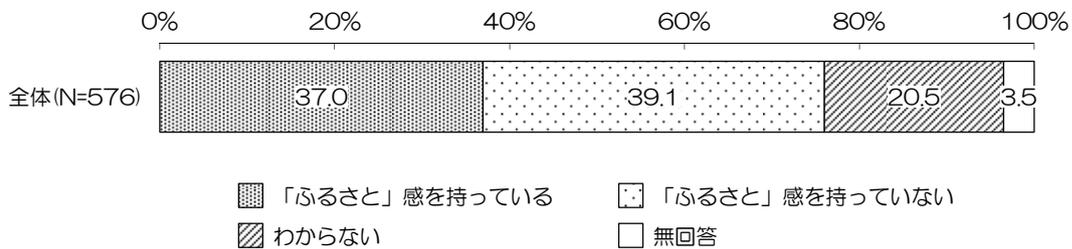
※調査年ごとに全体を100分比で調整しています

前回調査と比較すると、「②自然環境に恵まれている」は前回調査よりも14.1ポイントの増加、「③通勤・通学・買物などが便利である」は10.4ポイントの低下となっています。また、前回調査の上位3項目「①住宅地として住みやすい」「②自然環境に恵まれている」「③通勤・通学・買物などが便利である」は、今回調査においても引き続き割合の高い項目となっています。(図2-2-2)

(3) 城陽市への「ふるさと」感の有無

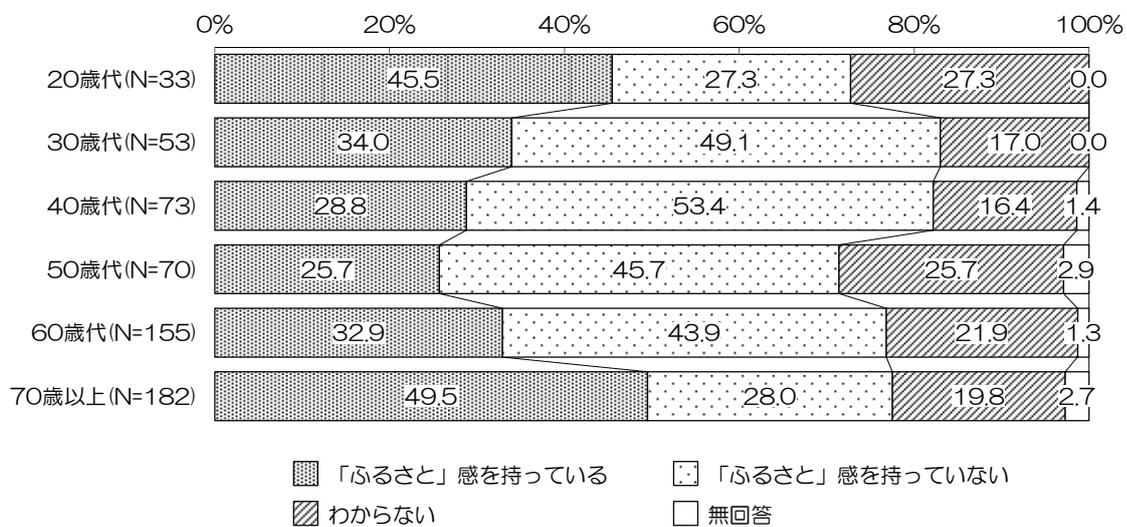
Ⅱ (3) あなたは城陽市に「ふるさと」であるといった感じをお持ちですか。

図2-3 城陽市への「ふるさと」感の有無



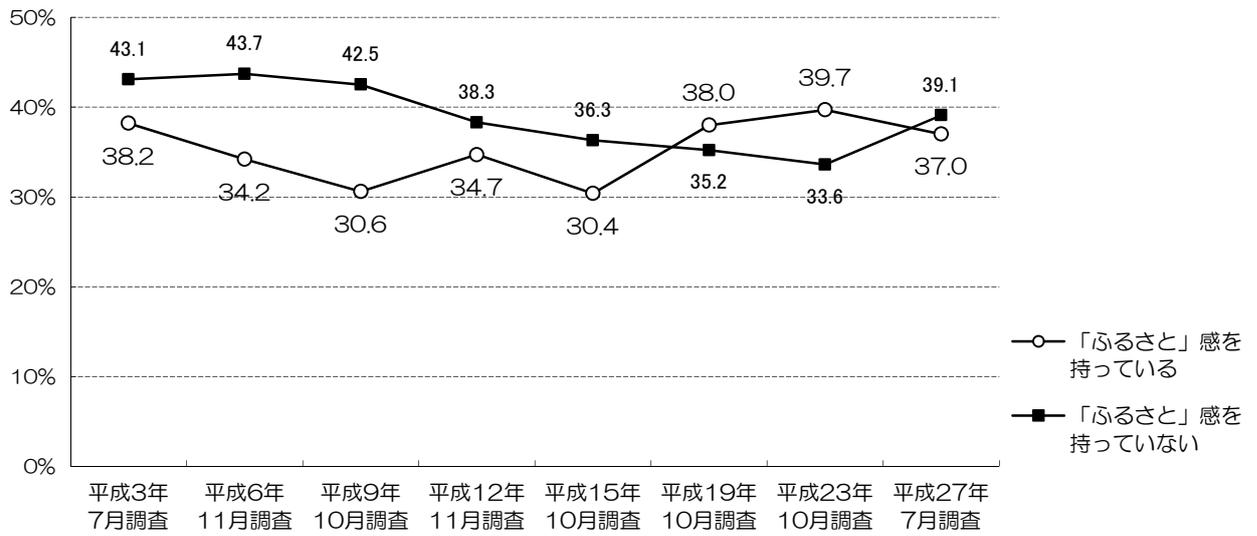
城陽市への「ふるさと」感の有無については、「ふるさと」感を持っている人が37.0% (213件)、「ふるさと」感を持っていない人が39.1% (225件) となっており、「ふるさと」感を持っていない人の方が2.1ポイント高くなっています。(図2-3)

図2-3-1 年齢別 城陽市への「ふるさと」感の有無



年齢別にみると、20歳代と70歳以上では「ふるさと」感を持っている人の割合が高くなっていますが、それ以外の年代では「ふるさと」感を持っていない人の割合が「ふるさと」感を持っている人の割合よりも高くなっています。(図2-3-1)

図2-3-2 経年比較 城陽市への「ふるさと」感の有無

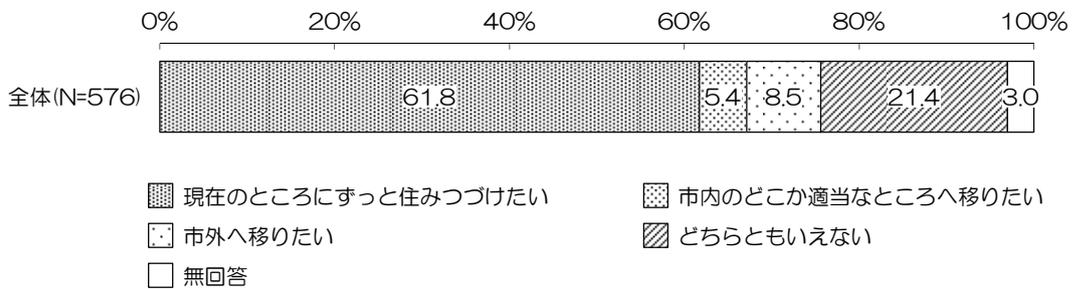


前回調査と比較すると、前回調査では、「ふるさと」感を持っている人の割合が「ふるさと」感を持っていない人を上回っていましたが、今回調査では、「ふるさと」感を持っている人が、前回調査から2.7ポイント減少し、「ふるさと」感を持っていない人が5.5ポイント増加したため、「ふるさと」感を持っていない人の割合が「ふるさと」感を持っている人を上回っています。(図2-3-2)

(4) 今後の居住意向の有無

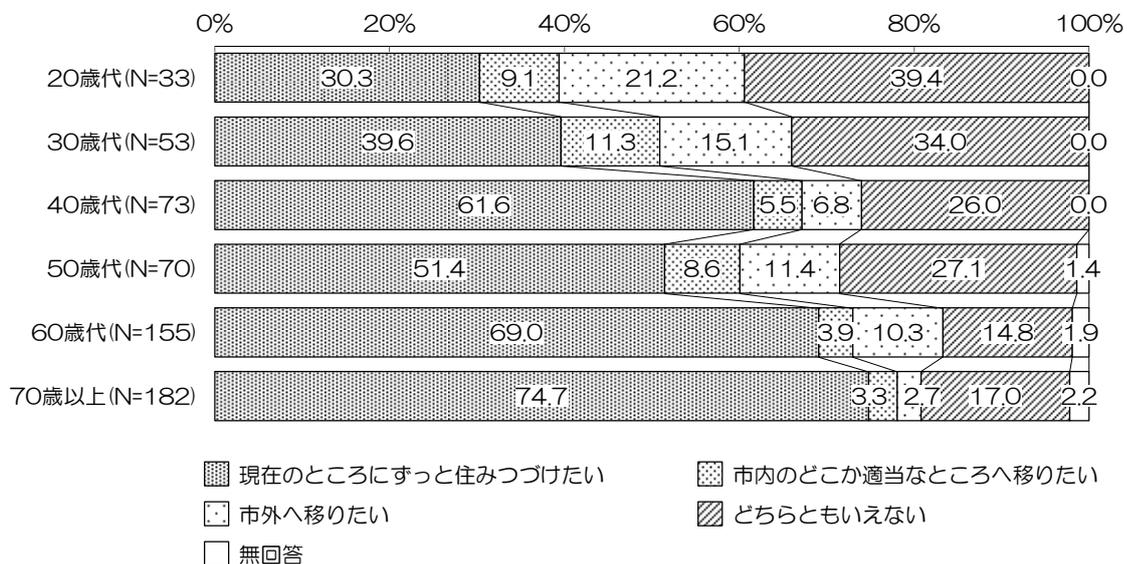
II (4) あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

図2-4 今後の居住意向の有無



今後の居住意向の有無については、「現在のところにずっと住みつづけたい」が61.8% (356件) と6割以上を占めており、「市外へ移りたい」(8.5% : 49件)、「市内のどこか適当なところへ移りたい」(5.4% : 31件) を大きく上回っています。(図2-4)

図2-4-1 年齢別 今後の居住意向の有無

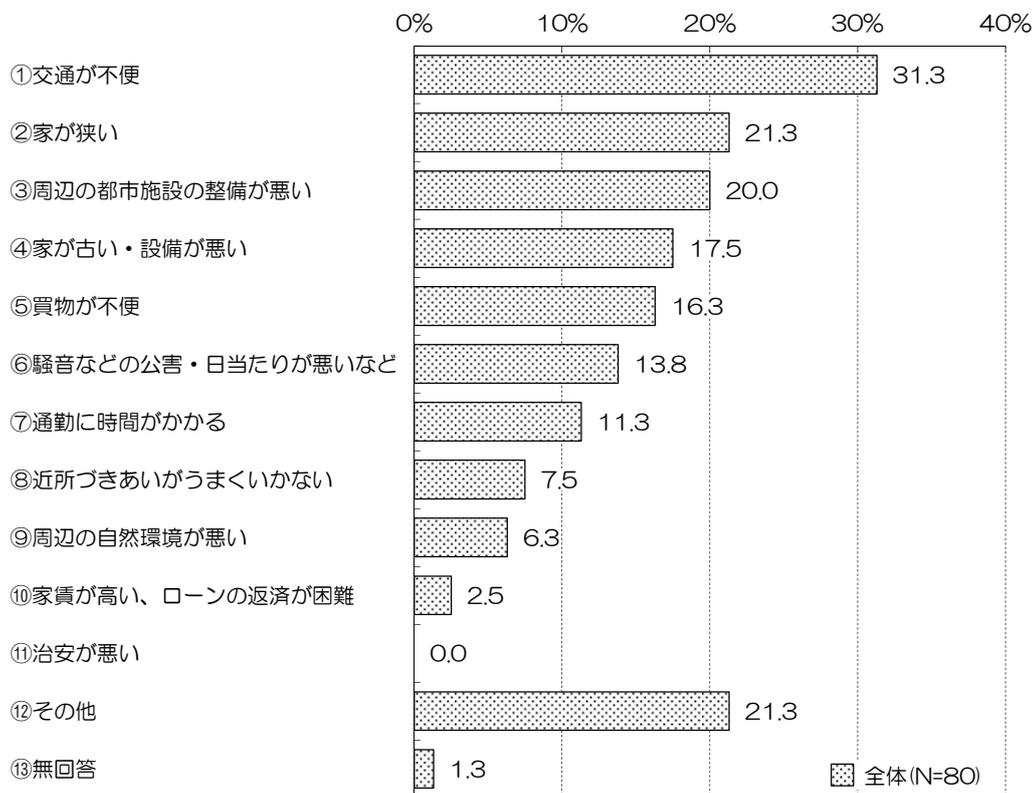


年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「現在のところにずっと住みつづけたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では74.7% (136件)、60歳代では69.0% (107件) を占めています。一方、20歳代と30歳代では、「現在のところにずっと住みつづけたい」は4割未満となっており、「どちらともいえない」「市外へ移りたい」「市内のどこか適当なところへ移りたい」の割合が他の年代よりも高くなっています。(図2-4-1)

(5) 転居希望の理由

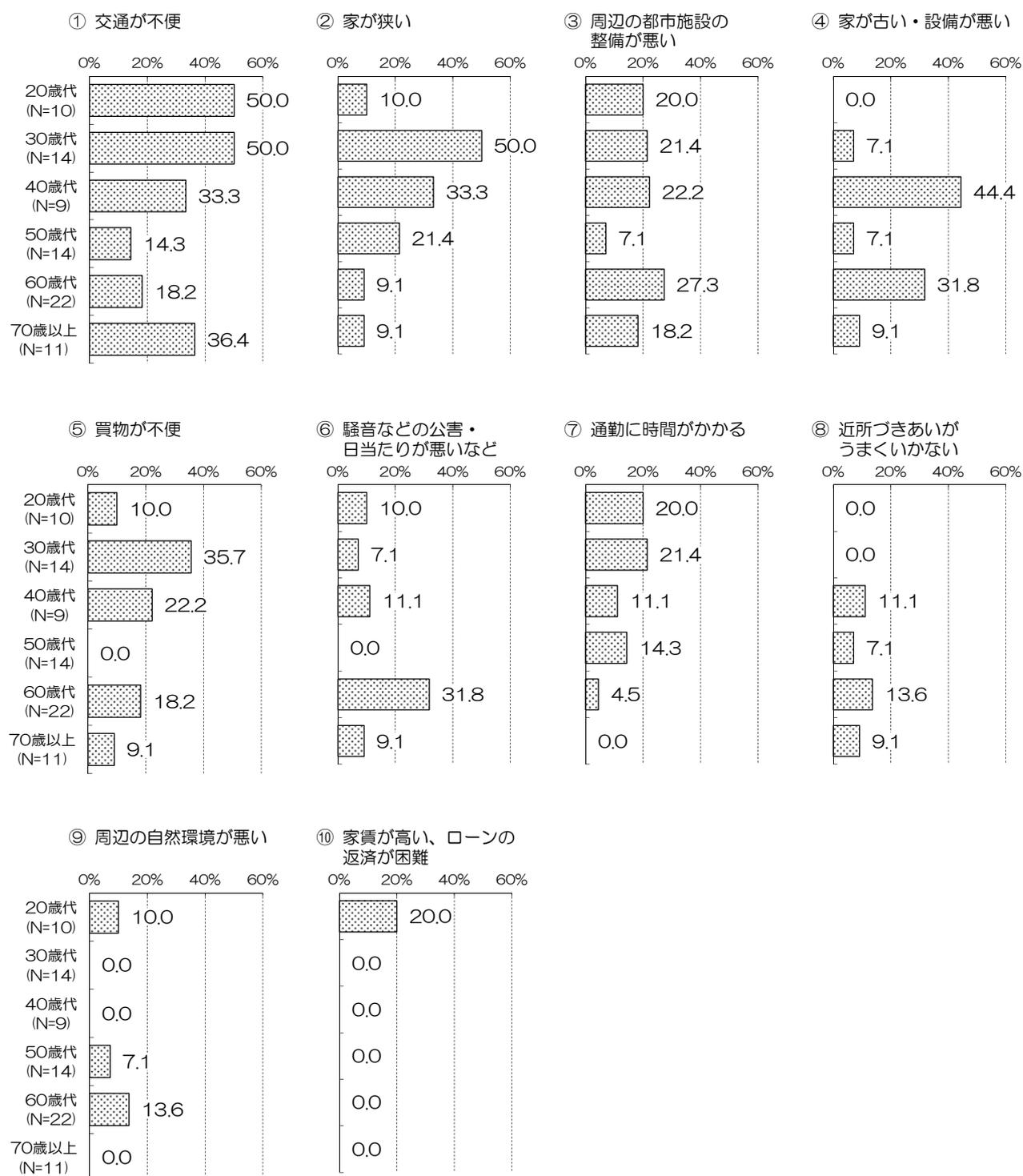
Ⅱ(4)-1 問(4)で「2または3(移りたい)」と回答された方におたずねします。
移りたい理由は何ですか。2つ以内で○印をつけてください。

図2-5 転居希望の理由



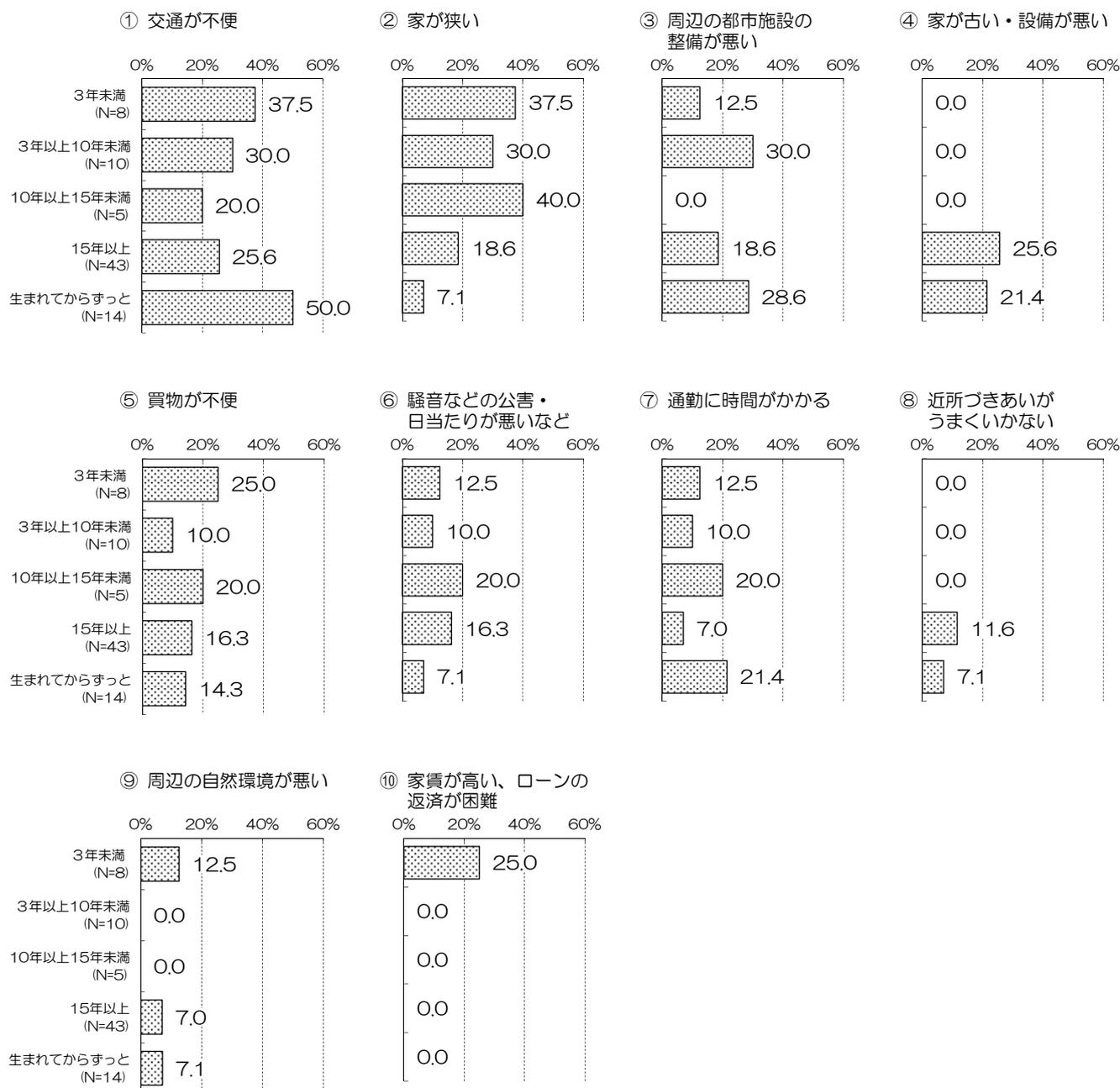
転居希望の理由については、「①交通が不便」が31.3% (25件) と最も高く、これに「②家が狭い」が21.3% (17件)、「③周辺の都市施設の整備が悪い」が20.0% (16件)、「④家が古い・設備が悪い」が17.5% (14件)、「⑤買物が不便」が16.3% (13件) で続いています。(図2-5)

図2-5-1 年齢別 転居希望の理由



年齢別にみると、20歳代と30歳代では「①交通が不便」が高く、50.0%（20歳代 5件：30歳代 7件）となっています。30歳代ではまた、「②家が狭い」（50.0%：7件）、「⑤買物が不便」（35.7%：5件）の割合も高くなっています。40歳代では「④家が古い・設備が悪い」が44.4%（4件）で最も高くなっています。60歳代では「④家が古い・設備が悪い」と「⑥騒音などの公害・日当たりが悪いなど」がともに31.8%（7件）と最も高くなっています。（図2-5-1）

図2-5-2 居住年数別 転居希望の理由



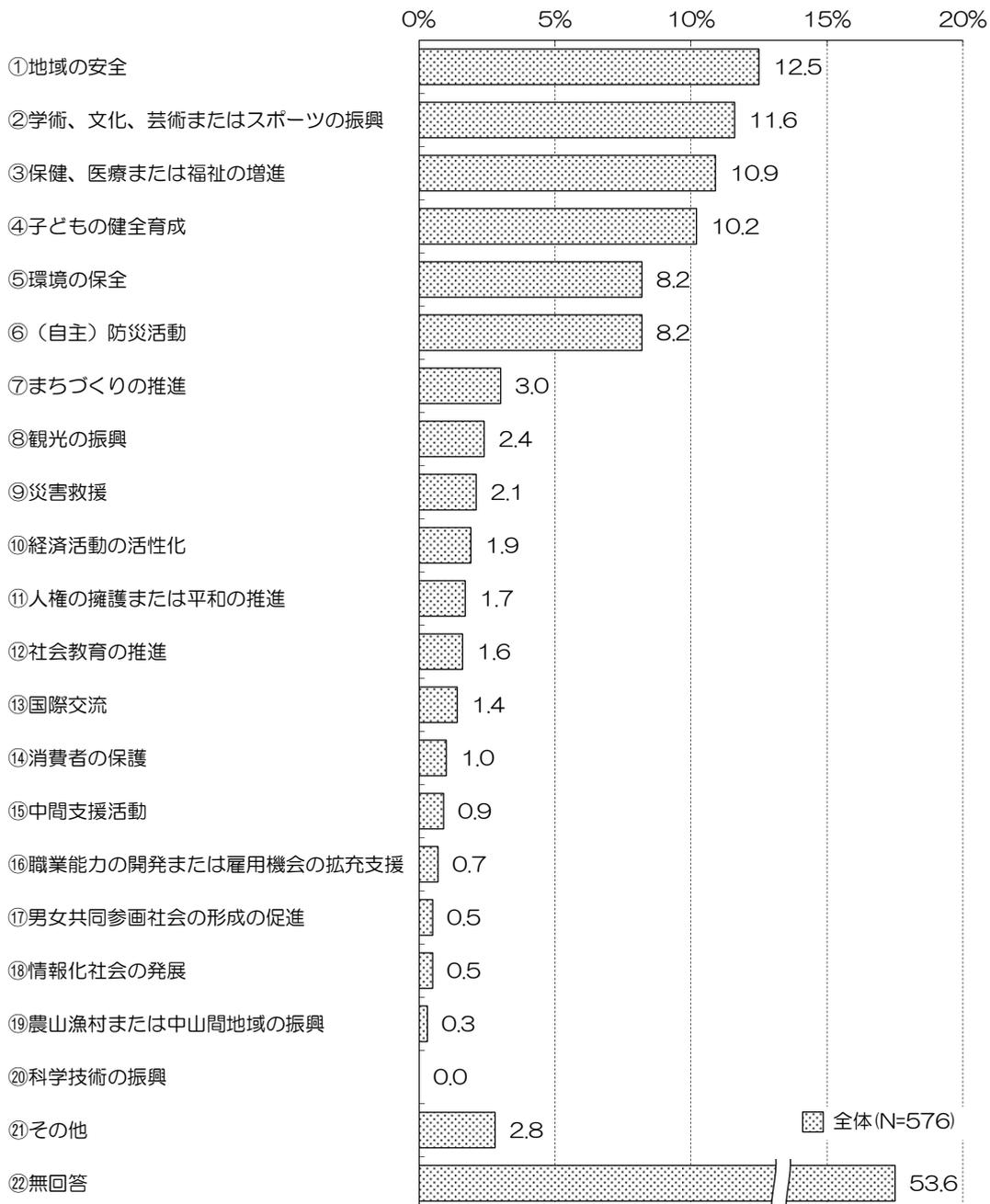
居住年数別にみると、15年未満の層では15年以上の層、生まれてからずっと居住している層に比べて「②家が狭い」の割合が高くなっており、15年以上の層、生まれてからずっと居住している層では15年未満の層に比べて、「④家が古い・設備が悪い」の割合が高くなっています。また、生まれてからずっと居住している層では、「①交通が不便」が50.0%（7件）を占めています。（図2-5-2）

3 城陽市のさまざまな行政分野について

(1) どのような地域活動に参加しているか

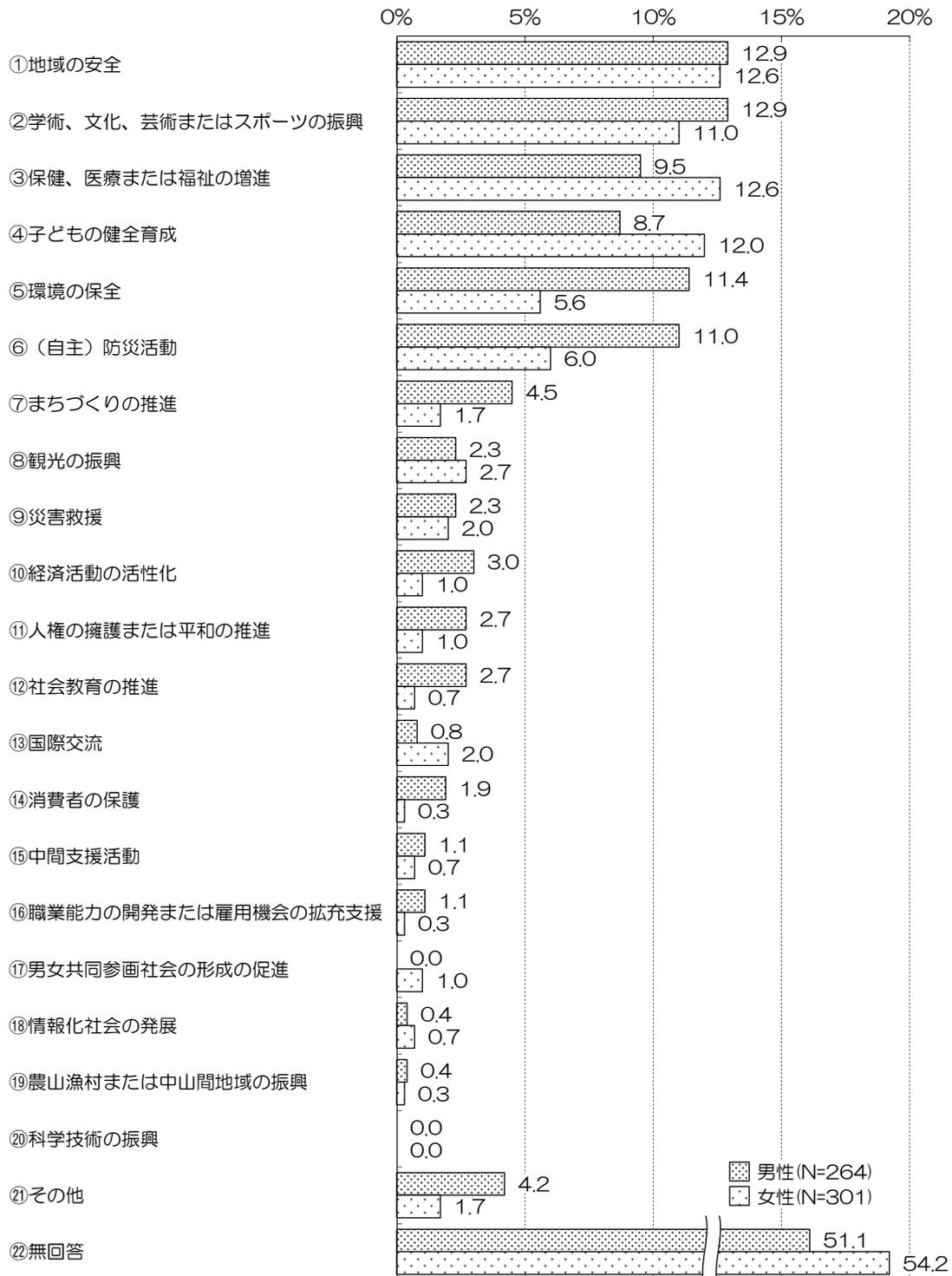
Ⅲ(1) 市民と行政の協働によるまちづくりについて、あなたはどのような地域活動に参加されていますか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

図3-1 どのような地域活動に参加しているか



参加している地域活動については、「①地域の安全」が12.5%（72件）と高くなっています。次いで、「②学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が11.6%（67件）、「③保健、医療または福祉の増進」が10.9%（63件）、「④子どもの健全育成」が10.2%（59件）となっています。（図3-1）

図3-1-1 男女別 どのような地域活動に参加しているか

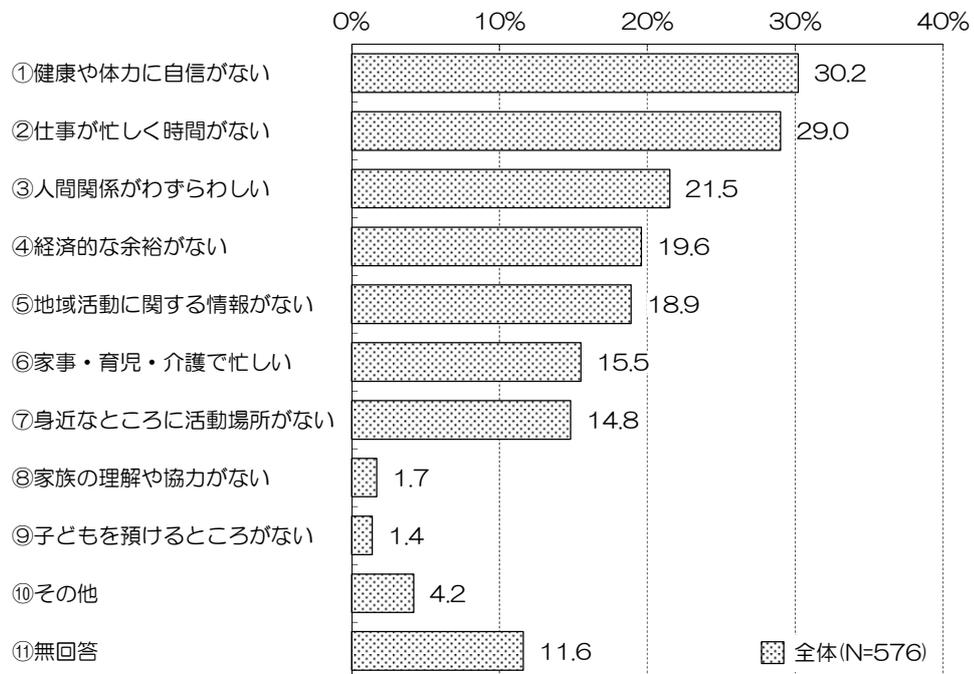


男女別にみると、男性では「①地域の安全」と「②学術、文化、芸術またはスポーツの振興」がともに12.9%（34件）で最も高く、次いで、「⑤環境の保全」が11.4%（30件）、「⑥（自主）防災活動」が11.0%（29件）となっています。女性では、「①地域の安全」と「③保健、医療または福祉の増進」が12.6%（38件）で最も高く、次いで、「④子どもの健全育成」が12.0%（36件）、「②学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が11.0%（33件）となっています。（図3-1-1）

(2) 地域活動に参加する際に支障となること

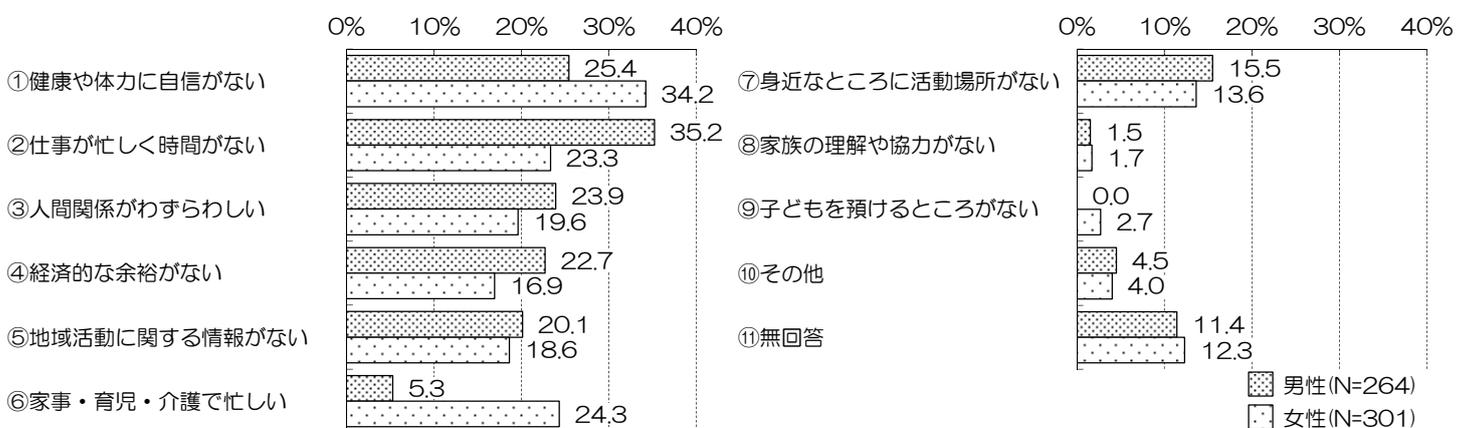
Ⅲ (2) あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

図3-2 地域活動に参加する際に支障となること



地域活動に参加する際に支障となることについては、「①健康や体力に自信がない」(30.2% : 174件)と、「②仕事が忙しく時間がない」(29.0% : 167件)が約3割と高くなっています。これに、「③人間関係がわずらわしい」「④経済的な余裕がない」「⑤地域活動に関する情報がない」が2割前後で続いています。(図3-2)

図3-2-1 男女別 地域活動に参加する際に支障となること

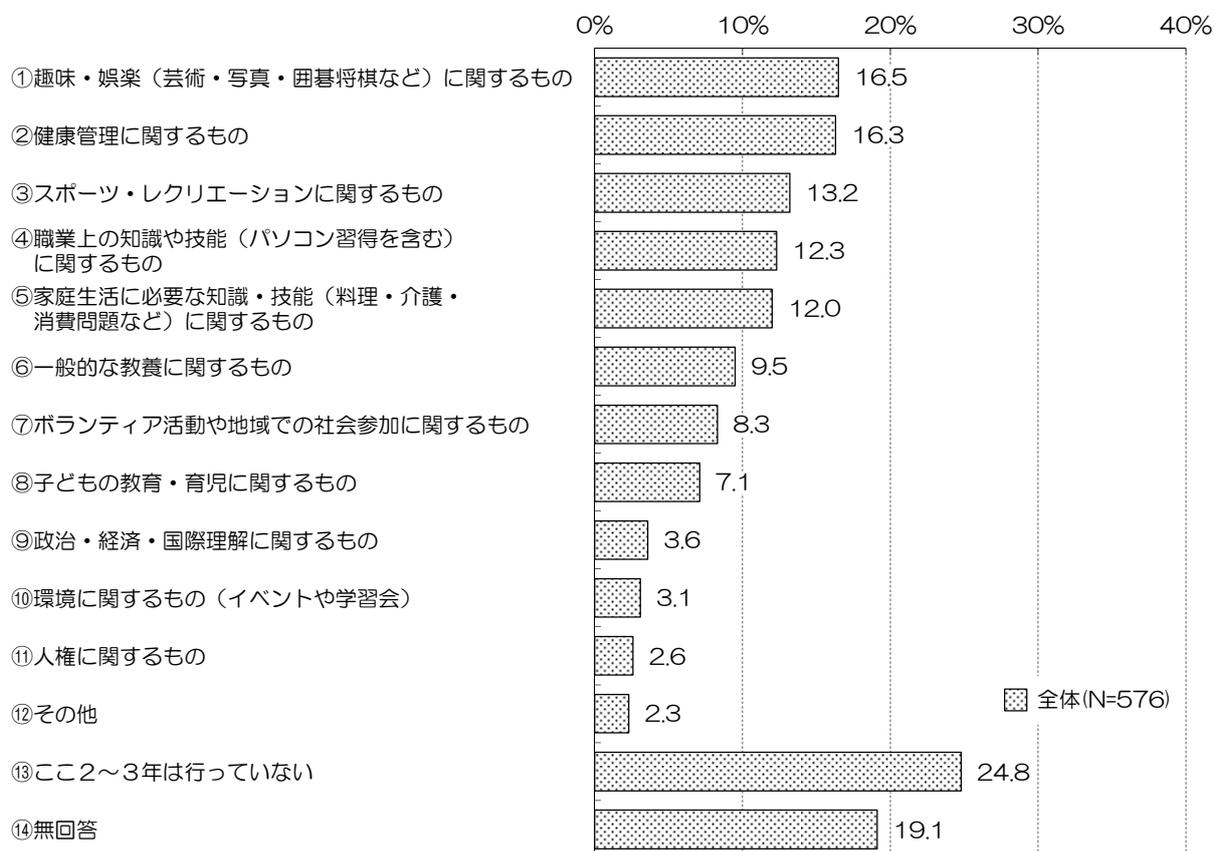


男女別にみると、男性では「②仕事が忙しく時間がない」が35.2% (93件) で最も高くなっています。女性では、「①健康や体力に自信がない」が34.2% (103件) で最も高く、次いで、「⑥家事・育児・介護で忙しい」が24.3% (73件) となっています。(図3-2-1)

(3) 生涯学習の内容

Ⅲ(3) 生涯学習について、あなたは、どんな内容の学習をされましたか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

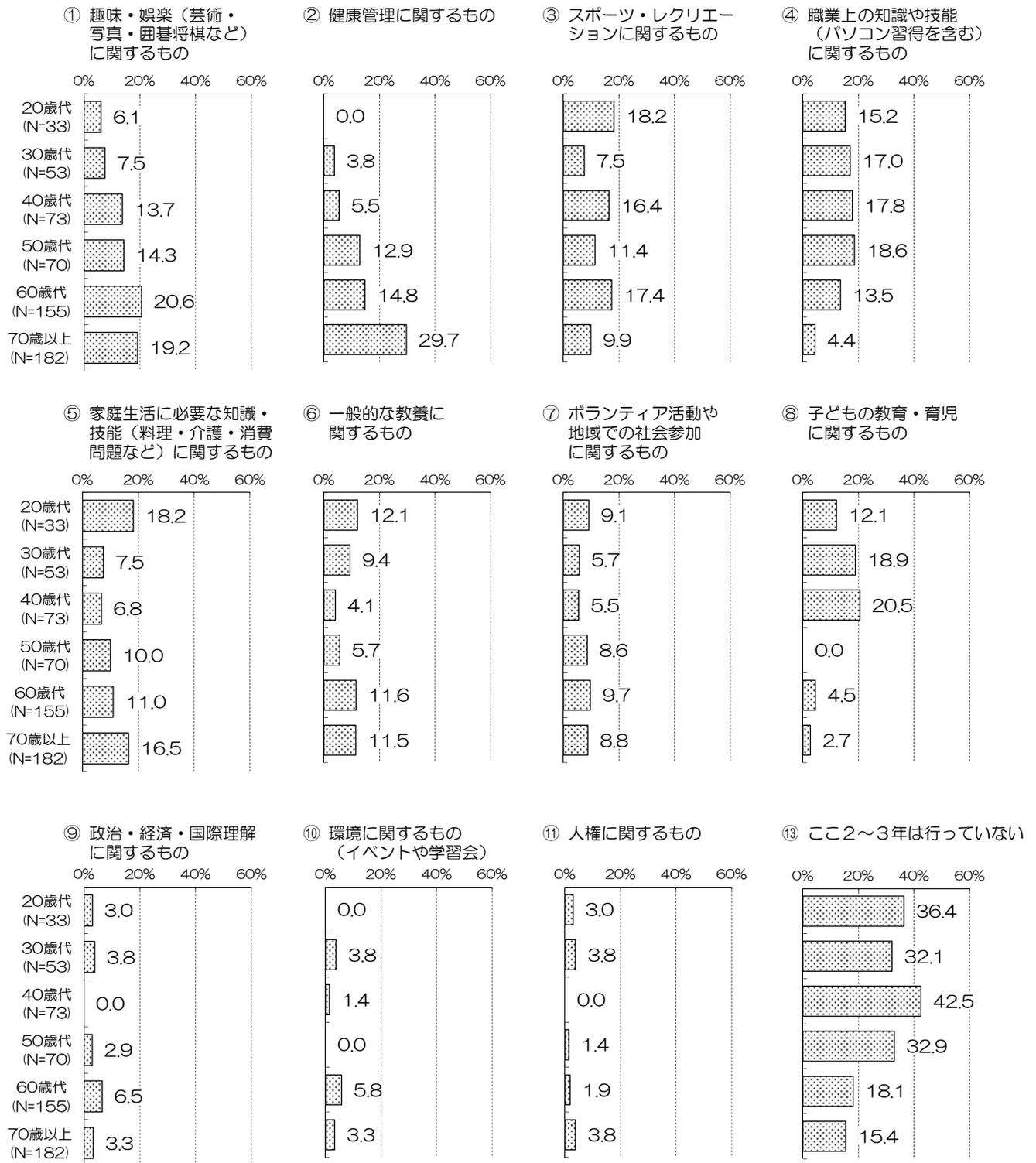
図3-3 生涯学習の内容



生涯学習の内容については、「⑬ここ2～3年は行っていない」が24.8%（143件）で最も高くなっています。

学習した内容としては、「①趣味・娯楽（芸術・写真・囲碁将棋など）に関するもの」が16.5%（95件）と高く、次いで、「②健康管理に関するもの」が16.3%（94件）、「③スポーツ・レクリエーションに関するもの」が13.2%（76件）、「④職業上の知識や技能（パソコン習得を含む）に関するもの」が12.3%（71件）、「⑤家庭生活に必要な知識・技能（料理・介護・消費問題など）に関するもの」が12.0%（69件）となっています。（図3-3）

図3-3-1 年齢別 生涯学習の内容



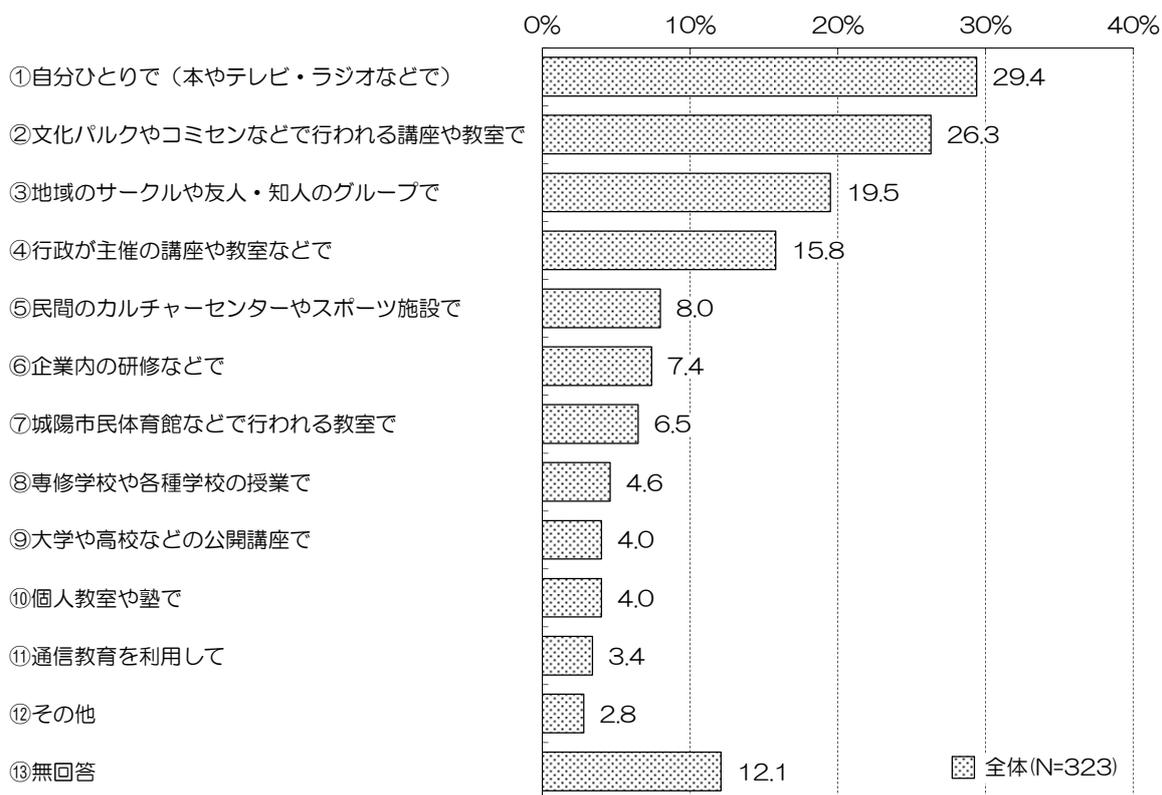
年齢別にみると、60歳未満の年代では「⑬ここ2～3年は行っていない」が最も高くなっています。実際の学習内容としては、30歳代と40歳代で「⑧子どもの教育・育児に関するもの」が約2割と高くなっています。

60歳以上の年代では、「⑬ここ2～3年は行っていない」が比較的低く、60歳代では「①趣味・娯楽 (芸術・写真・囲碁将棋など)に関するもの」(20.6%:32件)、70歳以上では「②健康管理に関するもの」(29.7%:54件)が、それぞれ最も高い割合となっています。(図3-3-1)

(4) 生涯学習活動の方法

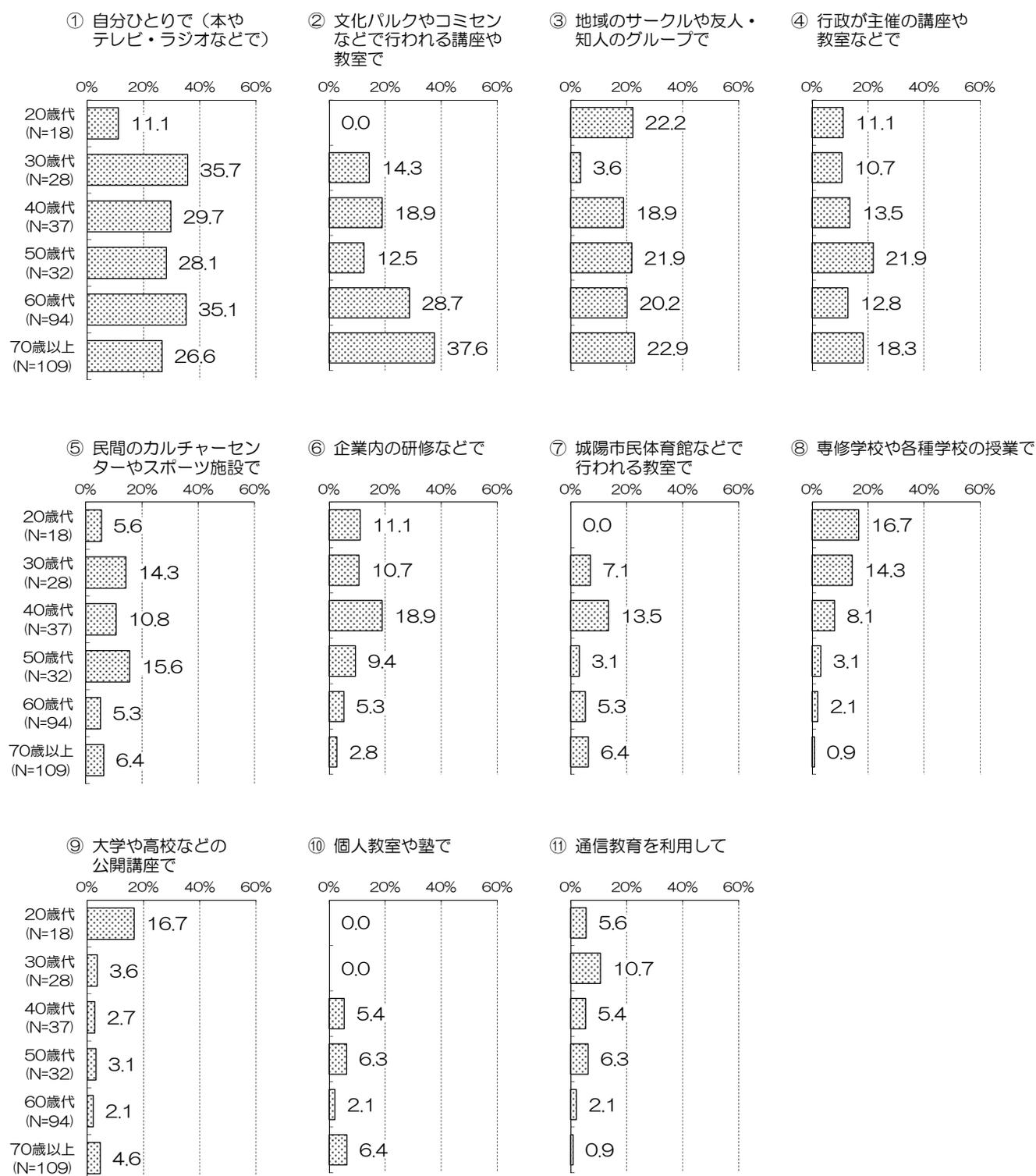
Ⅲ(3)-1 問(3)で何らかの生涯学習活動を行った方におたずねします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行っていますか。次の中から2つ以内で○印をつけてください。

図3-4 生涯学習活動の方法



生涯学習活動の方法については、「①自分ひとりで（本やテレビ・ラジオなどで）」が29.4%（95件）と最も高く、次いで、「②文化パークやコミセンなどで行われる講座や教室で」が26.3%（85件）、「③地域のサークルや友人・知人のグループで」が19.5%（63件）、「④行政が主催の講座や教室などで」が15.8%（51件）と続いています。（図3-4）

図3-4-1 年齢別 生涯学習活動の方法

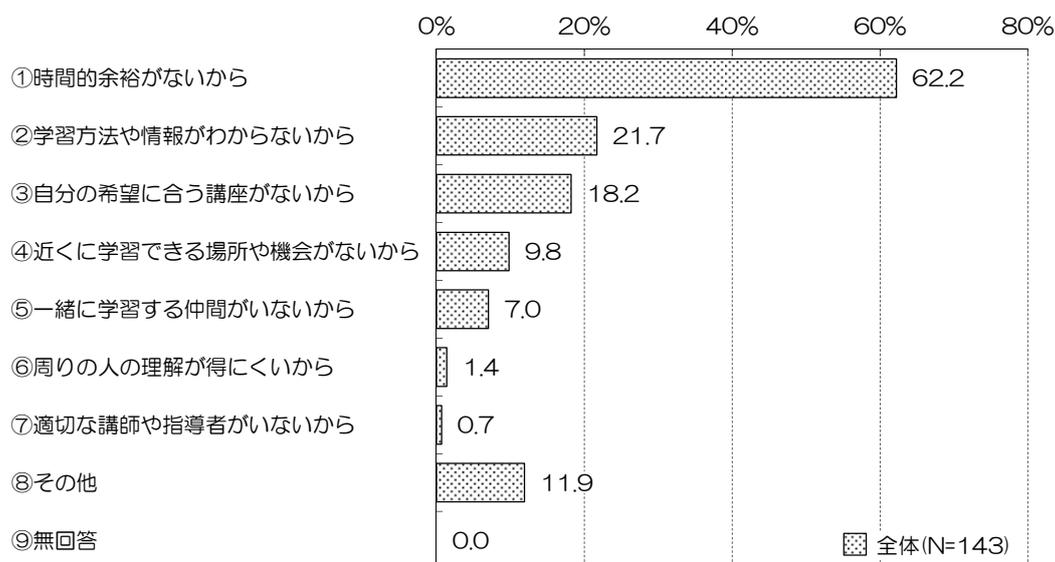


年齢別にみると、20歳代では「③地域のサークルや友人・知人のグループで」が22.2%（4件）で最も高く、これに「⑧専修学校や各種学校の授業で」と「⑨大学や高校などの公開講座で」がともに16.7%（3件）が続いています。30歳代から60歳代の年代ではいずれも「①自分ひとりで（本やテレビ・ラジオなどで）」が最も高くなっています。また、40歳代では「⑥企業内の研修などで」（18.9%：7件）が比較的高くなっています。70歳以上では「②文化パークやコミセンなどで行われる講座や教室で」が37.6%（41件）で最も高くなっています。（図3-4-1）

(5) 生涯学習に取り組まなかった理由

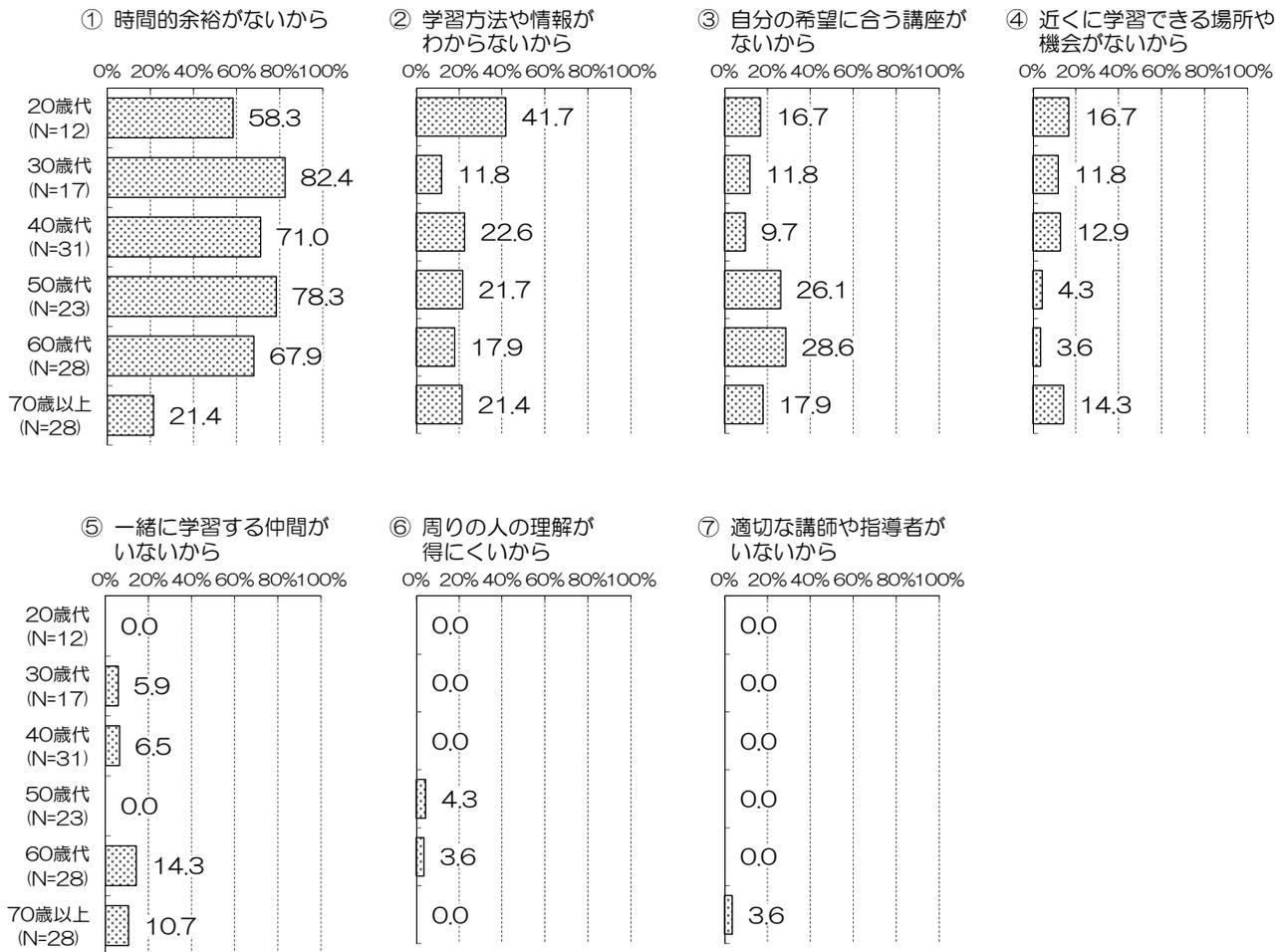
Ⅲ(3)-2 問(3)で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答された方におたずねします。これまでに生涯学習に取り組まなかった理由は何ですか。次の中から2つ以内で○印をつけてください。

図3-5 生涯学習に取り組まなかった理由



生涯学習に取り組まなかった理由については、「①時間的余裕がないから」が62.2%（89件）と最も高く、次いで、「②学習方法や情報がわからないから」が21.7%（31件）、「③自分の希望に合う講座がないから」が18.2%（26件）となっています。（図3-5）

図3-5-1 年齢別 生涯学習に取り組まなかった理由

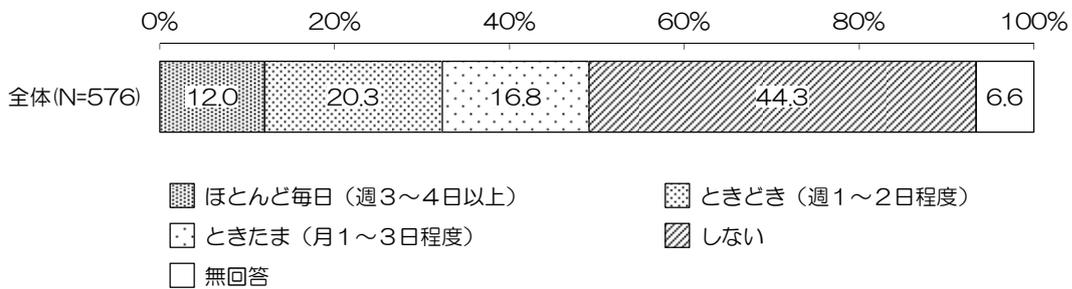


年齢別にみると、70歳以上を除いた年代では「①時間的余裕がないから」が最も高くなっており、特に、30歳代、50歳代では約8割となっています。また、20歳代では「②学習方法や情報がわからないから」、50歳代と60歳代では「③自分の希望に合う講座がないから」が、「①時間的余裕がないから」に次いで高くなっています。(図3-5-1)

(6) スポーツの実施状況について

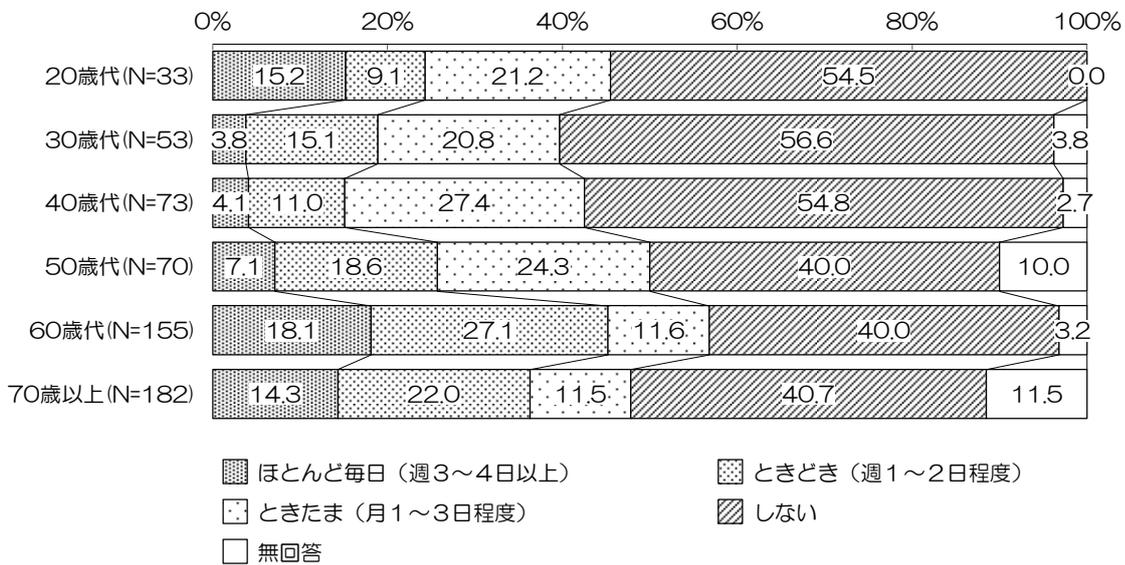
Ⅲ(4) スポーツの実施状況について、どのくらいの頻度で運動をされていますか。

図3-6 スポーツの実施状況について



スポーツの実施状況については、「ほとんど毎日 (週3~4日以上)」が12.0% (69件)、「ときどき (週1~2日程度)」が20.3% (117件)、「ときたま (月1~3日程度)」が16.8% (97件) となっています。「ほとんど毎日」「ときどき」「ときたま」を合わせた『運動をしている』は49.1% (283件) となり、「しない」の44.3% (255件) を4.8ポイント上回っています。(図3-6)

図3-6-1 年齢別 スポーツの実施状況について

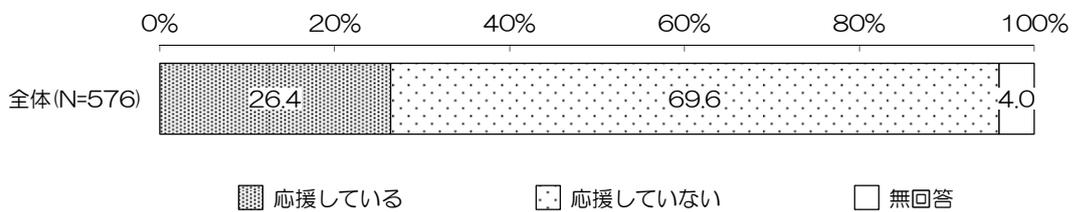


年齢別にみると、50歳未満の年代では、「しない」が半数を超えて高くなっています。50歳以上の年代では、『運動をしている』（「ほとんど毎日」「ときどき」「ときたま」を合わせた割合）が「しない」を上回っています。特に60歳代では「ほとんど毎日 (週3~4日以上)」が18.1% (28件)、「ときどき (週1~2日程度)」が27.1% (42件) と、他の年代よりも高い割合となっています。(図3-6-1)

(7) 京都サンガF. C. 応援の有無

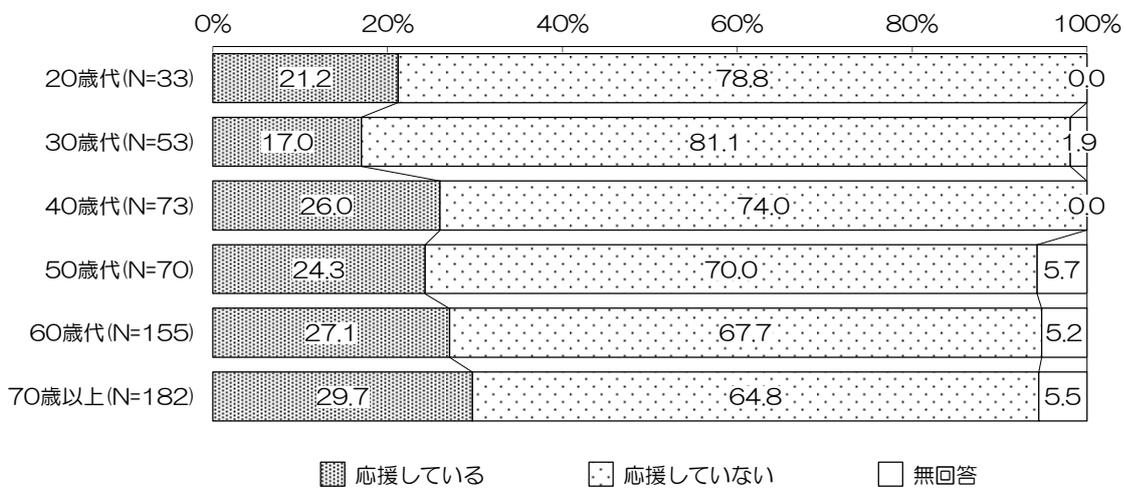
Ⅲ (5) 京都サンガF. C. を応援していますか。

図3-7 京都サンガF. C. 応援の有無



京都サンガF. C. の応援の有無については、「応援している」は26.4% (152件) となっており、「応援していない」が69.6% (401件) を占めています。(図3-7)

図3-7-1 年齢別 京都サンガF. C. 応援の有無

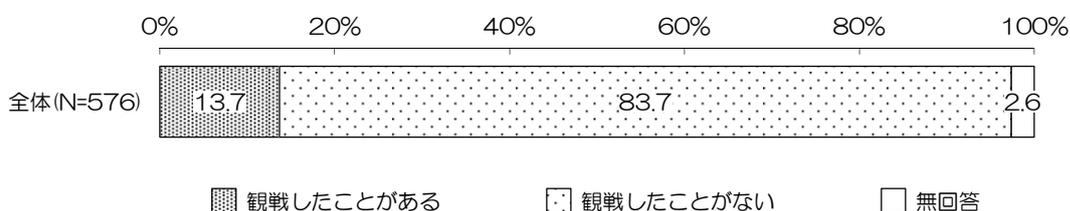


年齢別にみると、京都サンガF. C. を「応援している」割合は、40歳以上の年代で比較的高くなっており、70歳以上で全年代中最も高い29.7% (54件) となっています。30歳代では「応援している」が17.0% (9件) とやや低く、「応援していない」が8割を超えています。(図3-7-1)

(8) 京都サンガF. C. 試合観戦経験の有無

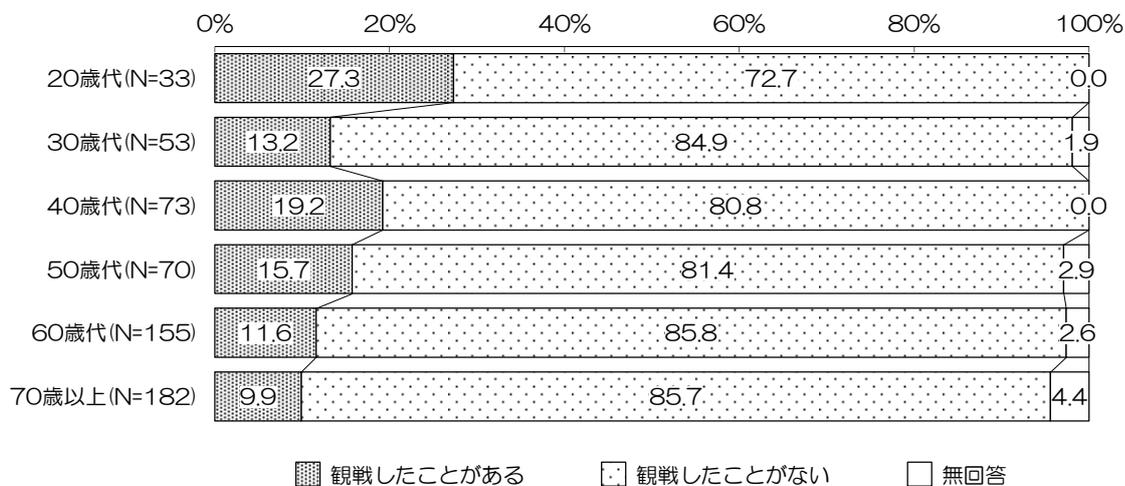
Ⅲ(6) 京都サンガF. C. の試合を観戦したことがありますか。

図3-8 京都サンガF. C. 試合観戦経験の有無



京都サンガF. C. の試合観戦経験の有無については、「観戦したことがある」は13.7% (79件) となっており、「観戦したことがない」が83.7% (482件) となっています。(図3-8)

図3-8-1 年齢別 京都サンガF. C. 試合観戦経験の有無

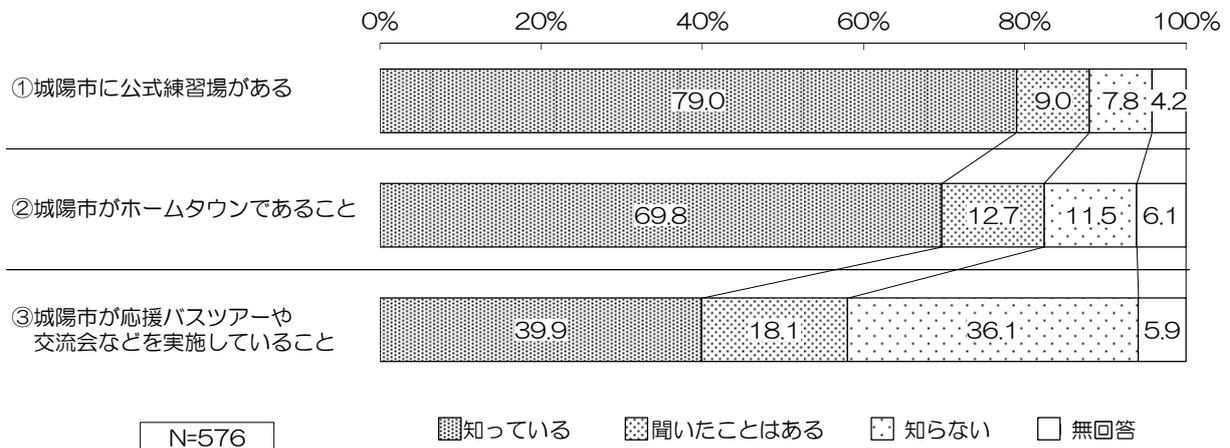


京都サンガF. C. の試合を「観戦したことがある」割合は、20歳代で最も高く27.3% (9件)、次いで、40歳代で19.2% (14件) となっています。(図3-8-1)

(9) 京都サンガF.C. に関する認知度

Ⅲ(7) 京都サンガF.C. について次の項目ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。

図3-9 京都サンガF.C. に関する認知度



①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、「知っている」が79.0% (455件) で、「知らない」の7.8% (45件) を大きく上回っています。また、「知っている」(79.0% : 455件) と「聞いたことはある」(9.0% : 52件) を合わせた『認知度』は88.0% (507件) となっています。

②城陽市がホームタウンであることについての認知度は、「知っている」が69.8% (402件) と高く、「知らない」(11.5% : 66件) を大きく上回っています。「知っている」(69.8% : 402件) と「聞いたことはある」(12.7% : 73件) を合わせた『認知度』は82.5% (475件) となっています。

③城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していることについての認知度は、「知っている」が39.9% (230件) となっており、「知らない」(36.1% : 208件) をやや上回っています。「知っている」(39.9% : 230件) と「聞いたことはある」(18.1% : 104件) を合わせた『認知度』は58.0% (334件) となっています。(図3-9)

図3-9-1 年齢別 ①城陽市の公式練習場の認知度

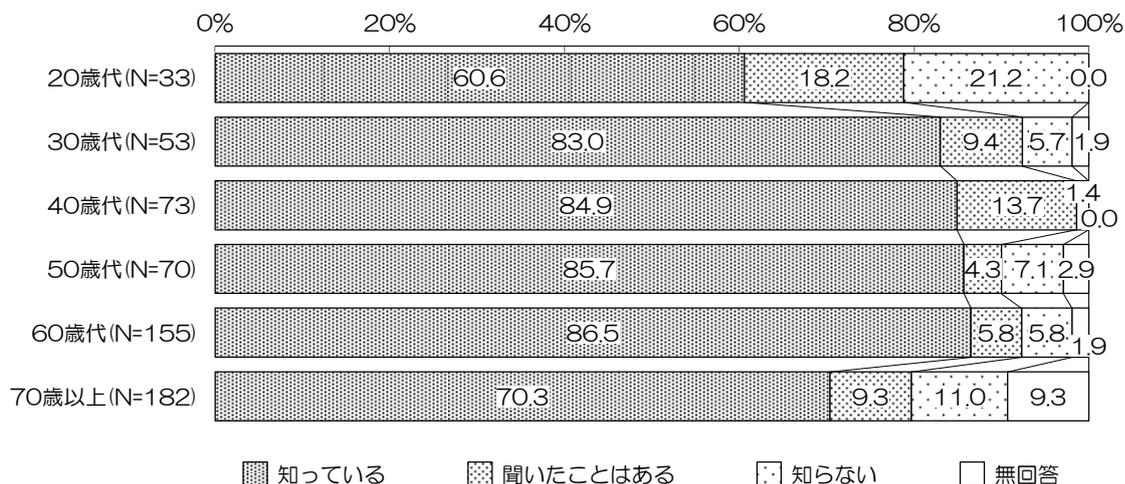


図3-9-2 年齢別 ②城陽市がホームタウンであることの認知度

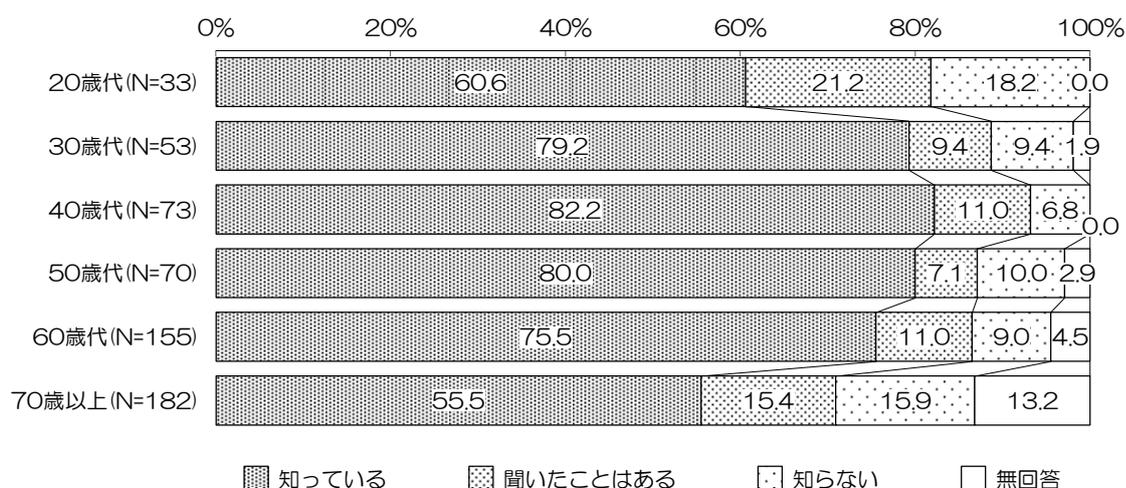
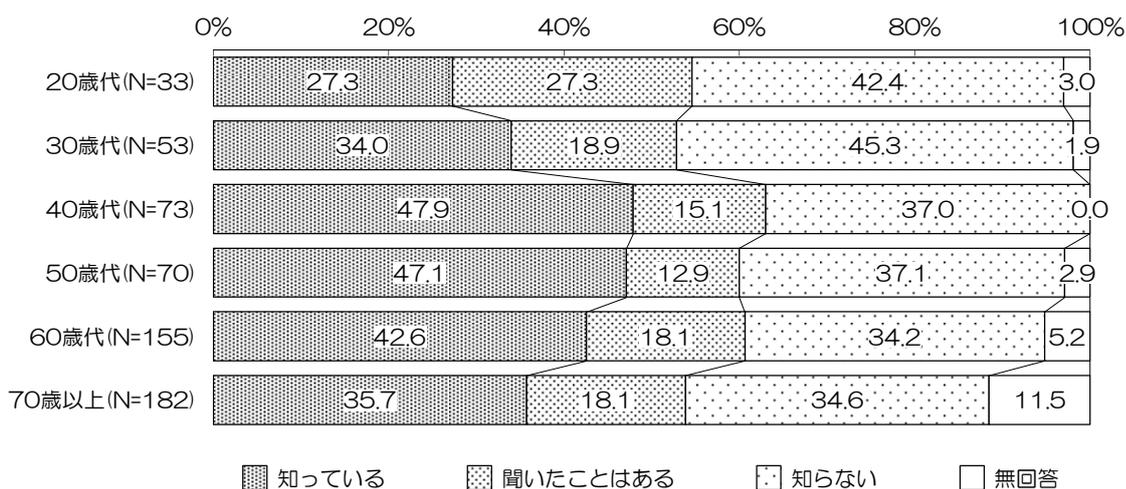


図3-9-3 年齢別 ③城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していることの認知度



年齢別にみると、①城陽市に公式練習場があることについての認知度は、いずれの年代でも「知っている」が多数を占めていますが、20歳代と70歳以上では、その割合がやや低くなっています。(図3-9-1)

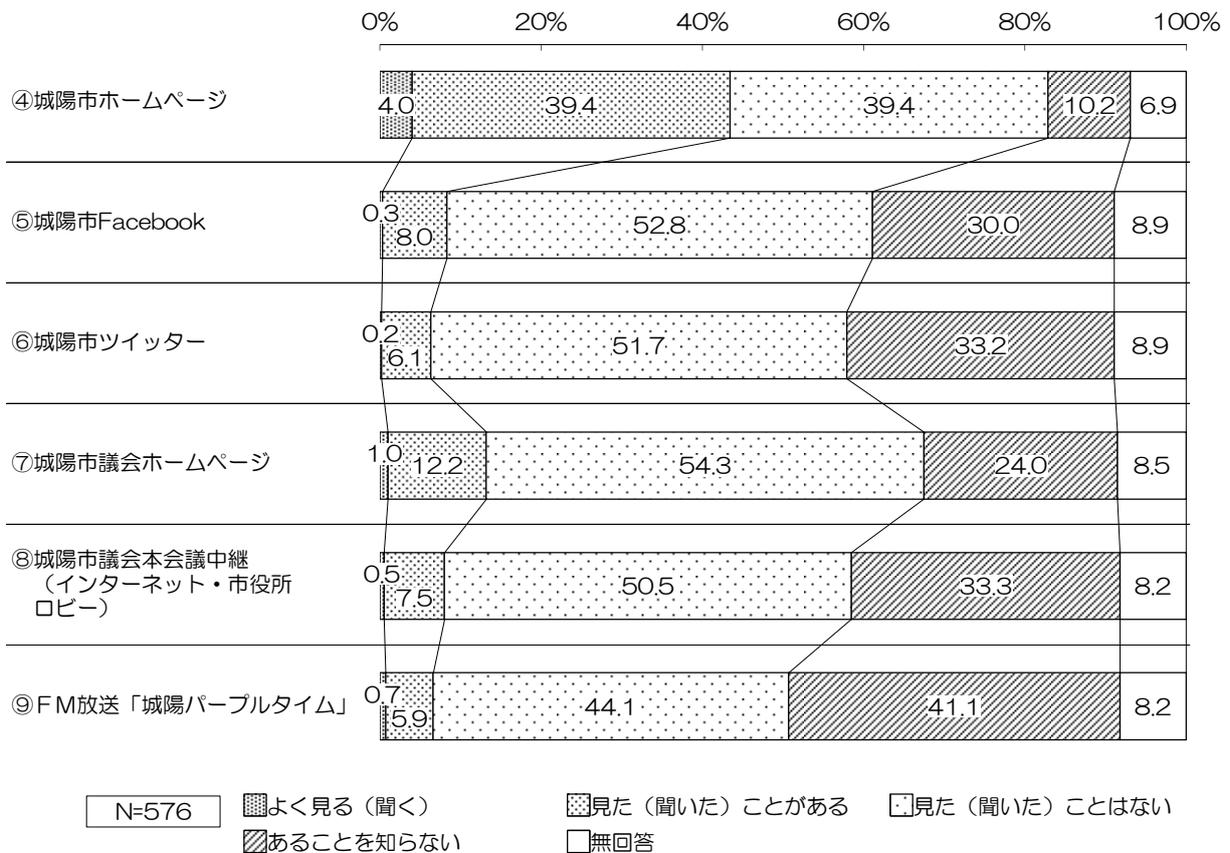
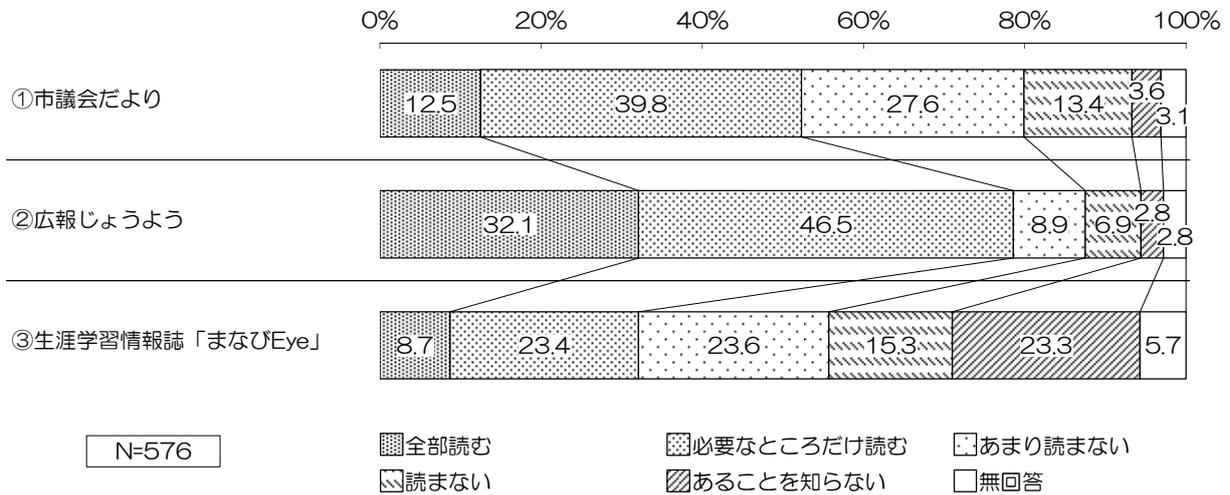
②城陽市がホームタウンであることの認知度も同様に、全年代で「知っている」が多数を占めていますが、20歳代と70歳以上では、その割合が低くなっています。(図3-9-2)

③城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していることの認知度は、40歳以上の年代では「知っている」が最も高くなっていますが、40歳未満の年代では「知らない」の割合が最も高くなっています。(図3-9-3)

(10) 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況

Ⅲ(8) あなたは「市議会だより」「広報じょうよう」などをご覧になっていますか。
次の項目ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。

図3-10 「市議会だより」「広報じょうよう」などの閲読状況



①「市議会だより」の閲読状況は、「必要のところだけ読む」が39.8%（229件）と最も高く、「全部読む」（12.5%：72件）を合わせた『読む』（「全部読む」と「必要のところだけ読む」を合わせた割合）という人は52.3%（301件）となっています。（図3-10）

②「広報じょうよう」の閲読状況は、「必要のところだけ読む」が46.5%（268件）と最も高く、「全部読む」32.1%（185件）を合わせた『読む』（「全部読む」と「必要のところだけ読む」を合わせた割合）という人は78.6%（453件）となっています。（図3-10）

③生涯学習情報誌「まなびEye」の閲読状況は、「あまり読まない」が23.6%（136件）と最も高く、『読む』（「全部読む」と「必要のところだけ読む」を合わせた割合）という人は32.1%（185件）、「あることを知らない」は23.3%（134件）となっています。（図3-10）

④城陽市ホームページの閲覧状況は、「見たことがある」と「見たことはない」がともに39.4%（227件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は43.4%（250件）となっています。（図3-10）

⑤城陽市Facebookの閲覧状況は、「見たことはない」が52.8%（304件）と高く、次いで、「あることを知らない」が30.0%（173件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は8.3%（48件）となっています。（図3-10）

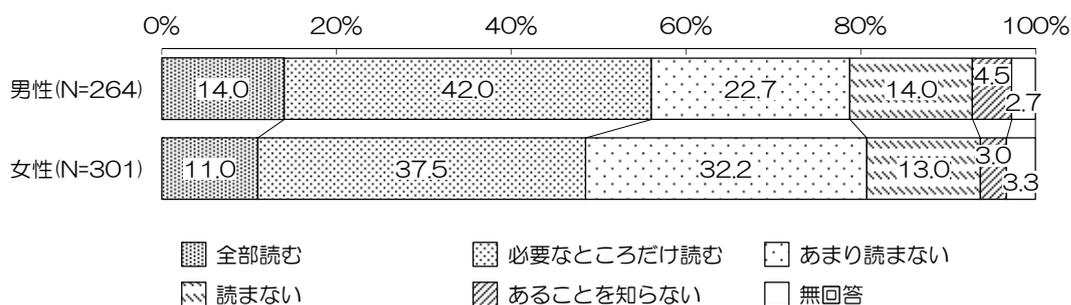
⑥城陽市ツイッターの閲覧状況は、「見たことはない」が51.7%（298件）と高く、次いで、「あることを知らない」が33.2%（191件）となっており、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は6.3%（36件）となっています。（図3-10）

⑦城陽市議会ホームページの閲覧状況は、「見たことはない」が54.3%（313件）で最も高く、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は13.2%（76件）となっています。（図3-10）

⑧城陽市議会本会議中継（インターネット・市役所ロビー）の視聴状況は、「見たことはない」が50.5%（291件）で最も高く、『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は8.0%（46件）となっています。（図3-10）

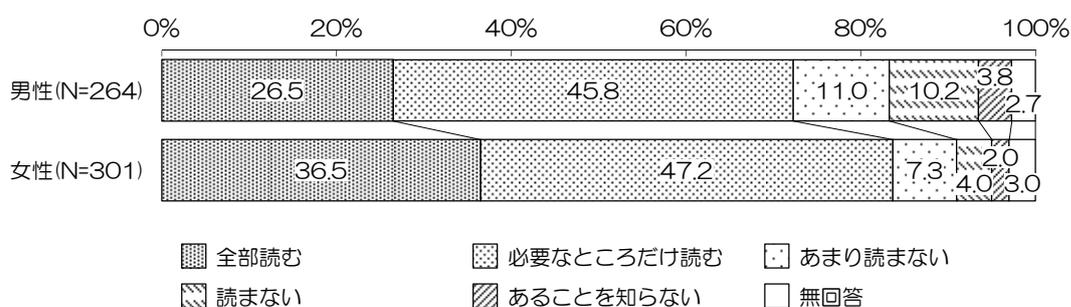
⑦FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況は、「聞いたことはない」が44.1%（254件）で最も高く、次いで、「あることを知らない」が41.1%（237件）となっており、『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）という人は6.6%（38件）となっています。（図3-10）

図3-10-1 男女別 「市議会だより」の閲読状況



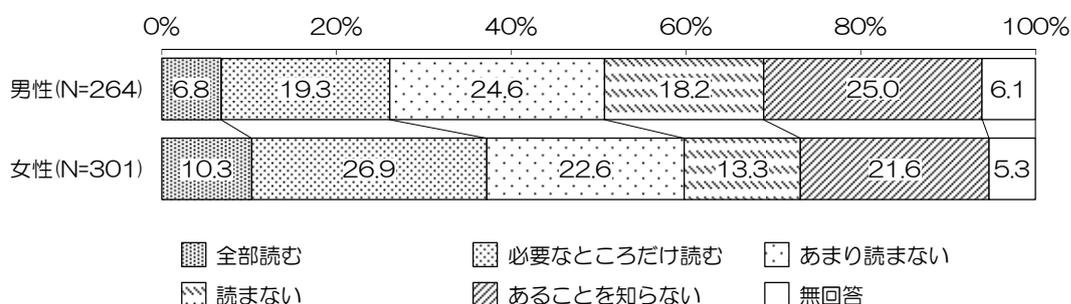
男女別にみると、「市議会だより」を『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は、男性の方が7.5ポイント高くなっています。（図3-10-1）

図3-10-2 男女別 「広報じょうよう」の閲読状況



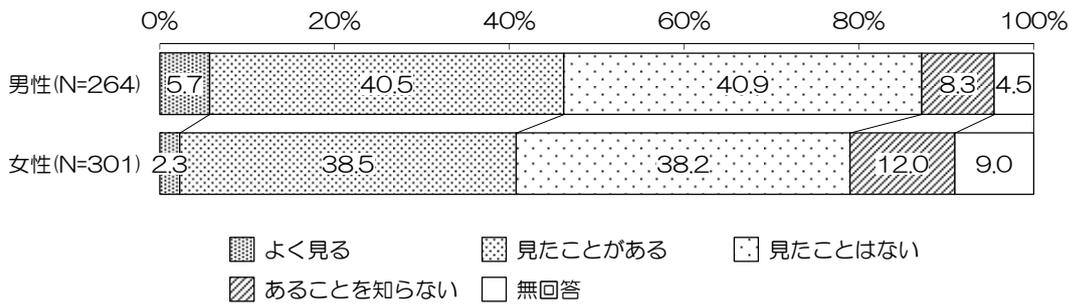
男女別にみると、「広報じょうよう」を『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は、女性の方が11.4ポイント高くなっています。（図3-10-2）

図3-10-3 男女別 生涯学習情報誌「まなびEye」の閲読状況



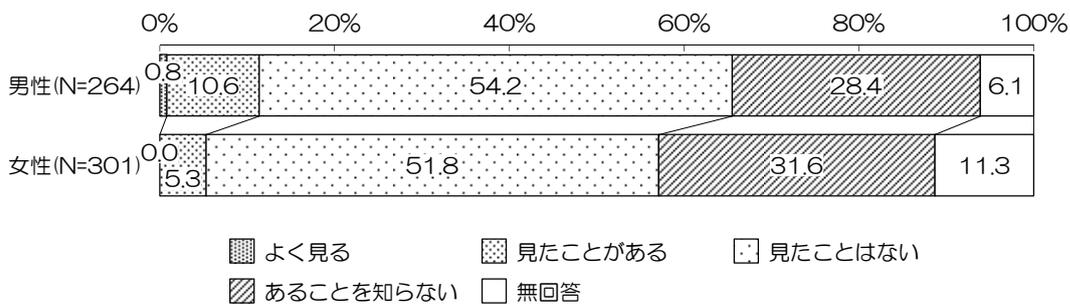
男女別にみると、生涯学習情報誌「まなびEye」を『読む』（「全部読む」と「必要なところだけ読む」を合わせた割合）という人は女性の方が11.1ポイント高くなっています。（図3-10-3）

図3-10-4 男女別 城陽市ホームページの閲覧状況



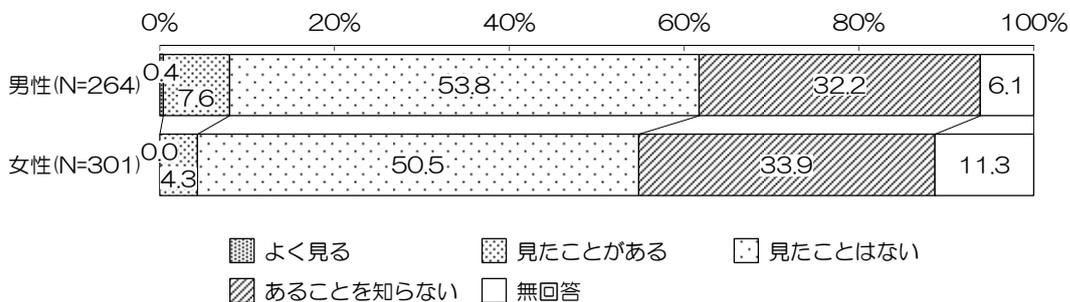
男女別にみると、城陽市ホームページを『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は男性の方が5.4ポイント高くなっています。（図3-10-4）

図3-10-5 男女別 城陽市Facebookの閲覧状況



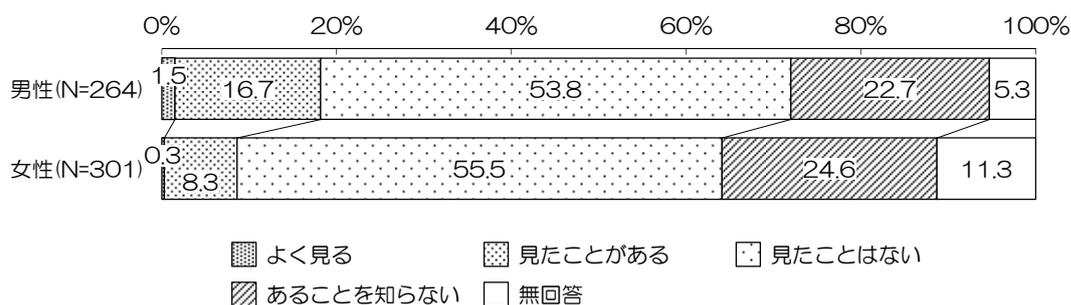
男女別にみると、城陽市Facebookを『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は男性の方が6.1ポイント高くなっています。（図3-10-5）

図3-10-6 男女別 城陽市ツイッターの閲覧状況



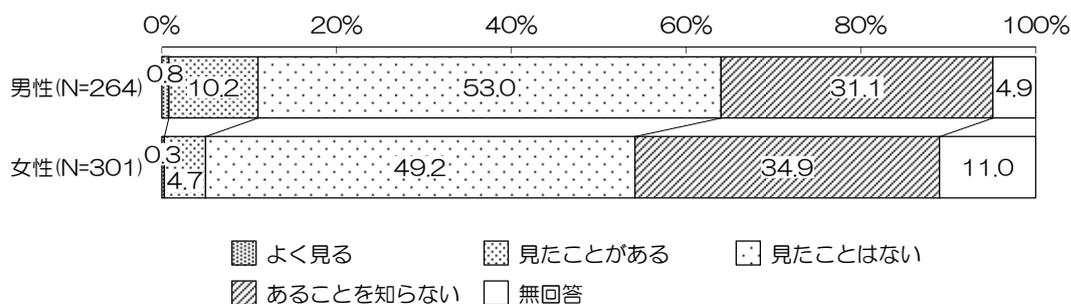
男女別にみると、城陽市ツイッターを『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は男性の方が3.7ポイント高くなっています。（図3-10-6）

図3-10-7 男女別 城陽市議会ホームページの閲覧状況



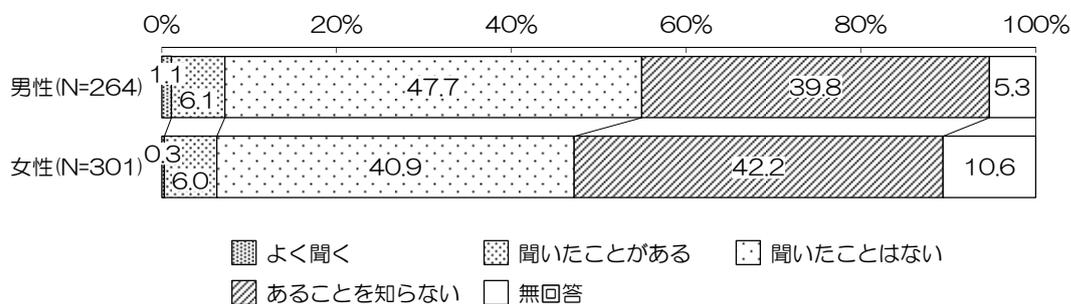
男女別にみると、城陽市議会ホームページを『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は男性の方が9.6ポイント高くなっています。（図3-10-7）

図3-10-8 男女別 城陽市議会本会議中継の視聴状況



男女別にみると、城陽市議会本会議中継を『見たことがある』（「よく見る」と「見たことがある」を合わせた割合）という人は男性の方が6.0ポイント高くなっています。（図3-10-8）

図3-10-9 男女別 FM放送「城陽パープルタイム」の聴取状況

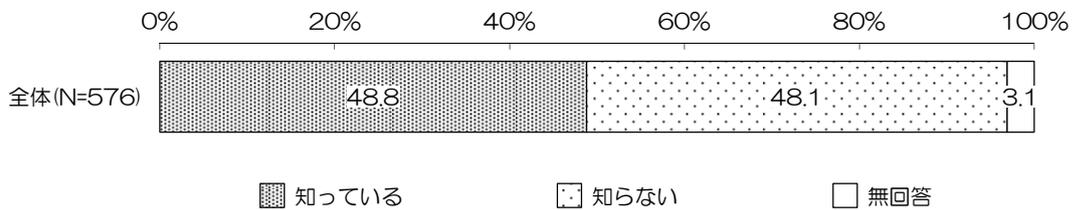


男女別にみると、FM放送「城陽パープルタイム」を『聞いたことがある』（「よく聞く」と「聞いたことがある」を合わせた割合）という人は、ほとんど男女差はみられません。「聞いたことはない」は男性の方が6.8ポイント、「あることを知らない」は女性の方が2.4ポイント、それぞれ高くなっています。（図3-10-9）

(11) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度

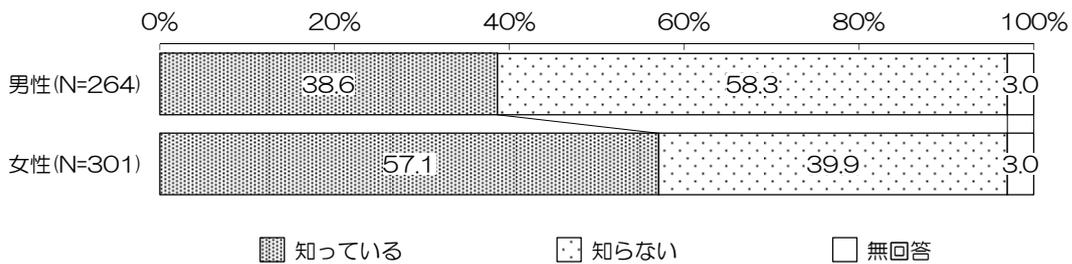
Ⅲ (9) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」をご存知ですか。

図3-11 「じょうりんちゃん」の認知度



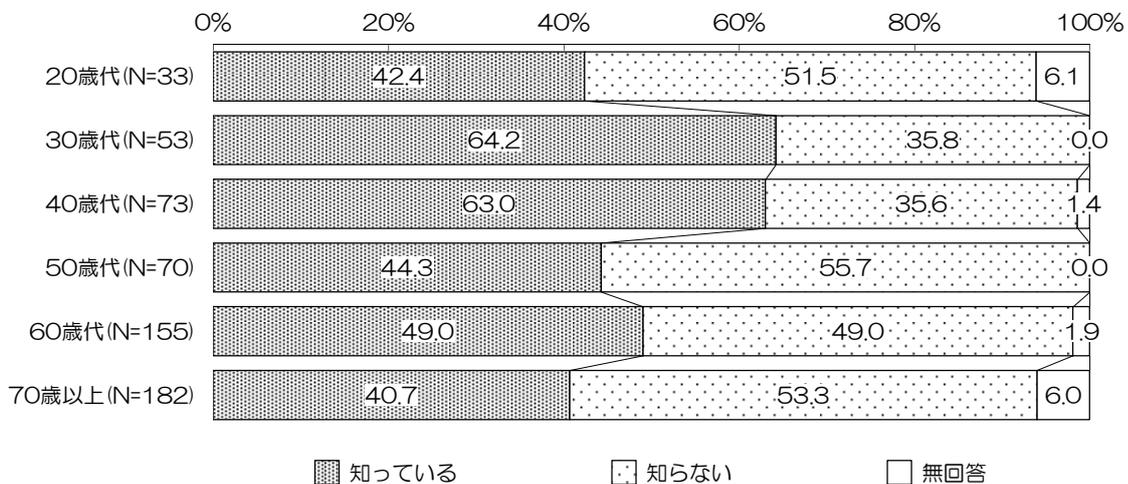
城陽市のイメージキャラクター「じょうりんちゃん」の認知度については、「知っている」が48.8% (281件)、「知らない」が48.1% (277件) と、ほぼ同数となっています。(図3-11)

図3-11-1 男女別 「じょうりんちゃん」の認知度



男女別にみると、「知っている」の割合は、男性 (38.6% : 102件) よりも、女性 (57.1% : 172件) で高くなっています。(図3-11-1)

図3-11-2 年齢別 「じょうりんちゃん」の認知度

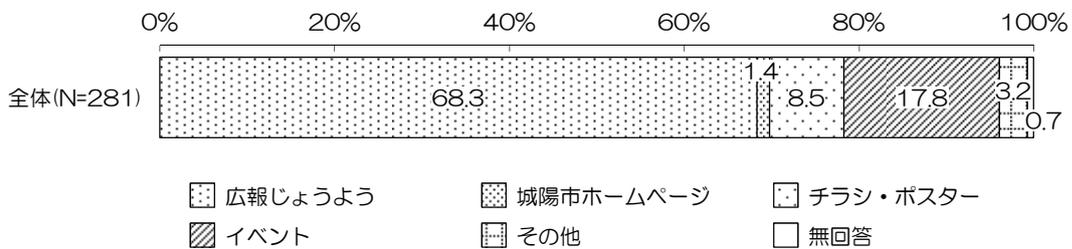


年齢別にみると、30歳代と40歳代で「知っている」の割合が高くなっています。(図3-11-2)

(12) 「じょうりんちゃん」の認知経路

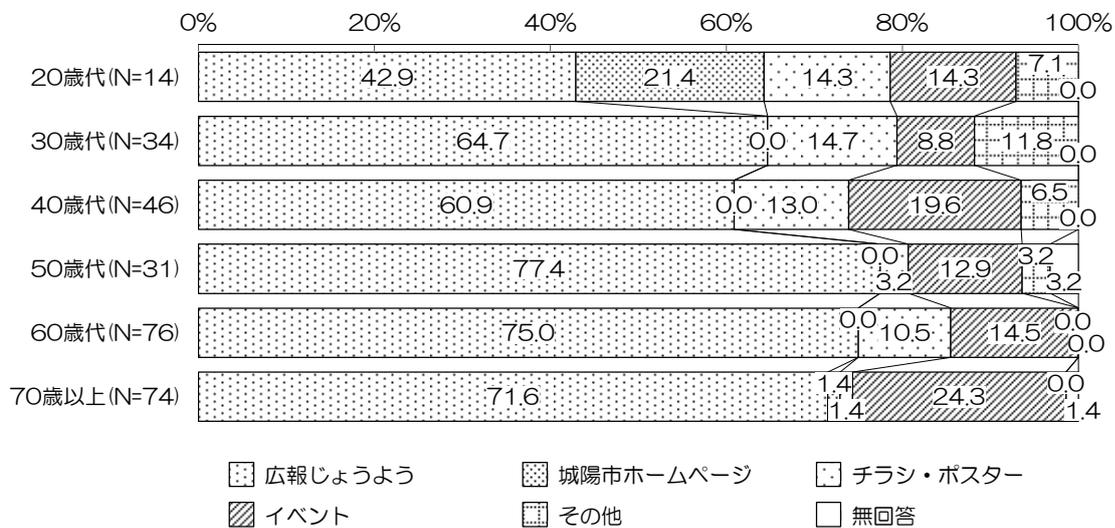
Ⅲ(9)-1 問(9)で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。
じょうりんちゃんを何で知りましたか。

図3-12 「じょうりんちゃん」の認知経路



「じょうりんちゃん」を知った経路については、「広報じょうよう」(68.3% : 192件)が高く、次いで、「イベント」が17.8% (50件)、「チラシ・ポスター」が8.5% (24件)となっています。(図3-12)

図3-12-1 年齢別 「じょうりんちゃん」の認知経路

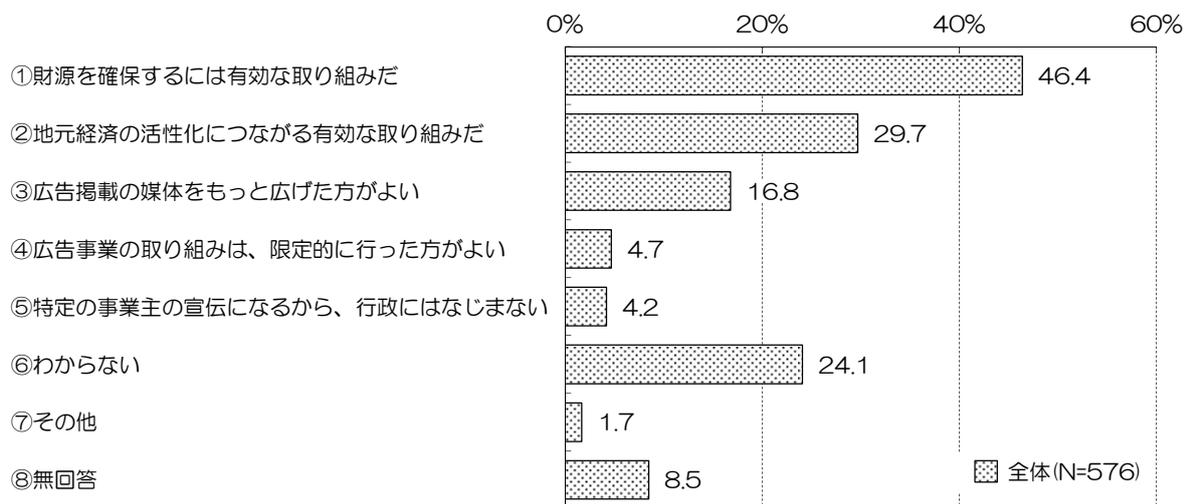


年齢別にみると、いずれの年代でも、「広報じょうよう」が最も高くなっていますが、50歳未満の年代では「広報じょうよう」以外の選択肢の割合がやや高くなっています。(図3-12-1)

(13) 市の広報紙等に広告を掲載していることについての考え

Ⅲ(10) 城陽市では、新たな財源確保と地域経済の活性化を図る目的で、広報紙、ホームページ、封筒に広告を掲載しています。そのことについてどのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

図3-13 市の広報紙等に広告を掲載していることについての考え

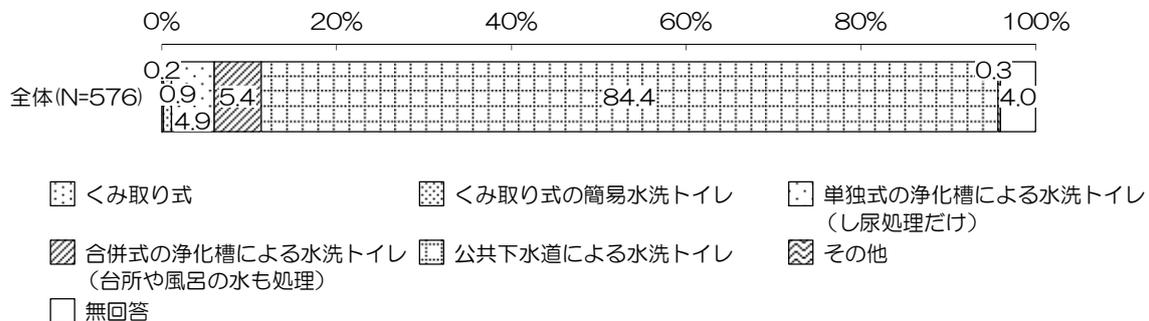


市の広報紙等に広告を掲載していることについては、「①財源を確保するには有効な取り組みだ」が46.4% (267件) と高く、次いで、「②地元経済の活性化につながる有効な取り組みだ」が29.7% (171件)、「③広告掲載の媒体をもっと広げた方がよい」が16.8% (97件) となっており、「④広告事業の取り組みは、限定的に行った方がよい」(4.7% : 27件)、「⑤特定の事業主の宣伝になるから、行政にはなじまない」(4.2% : 24件) を大きく上回っています。(図3-13)

(14) 家庭のトイレの形式

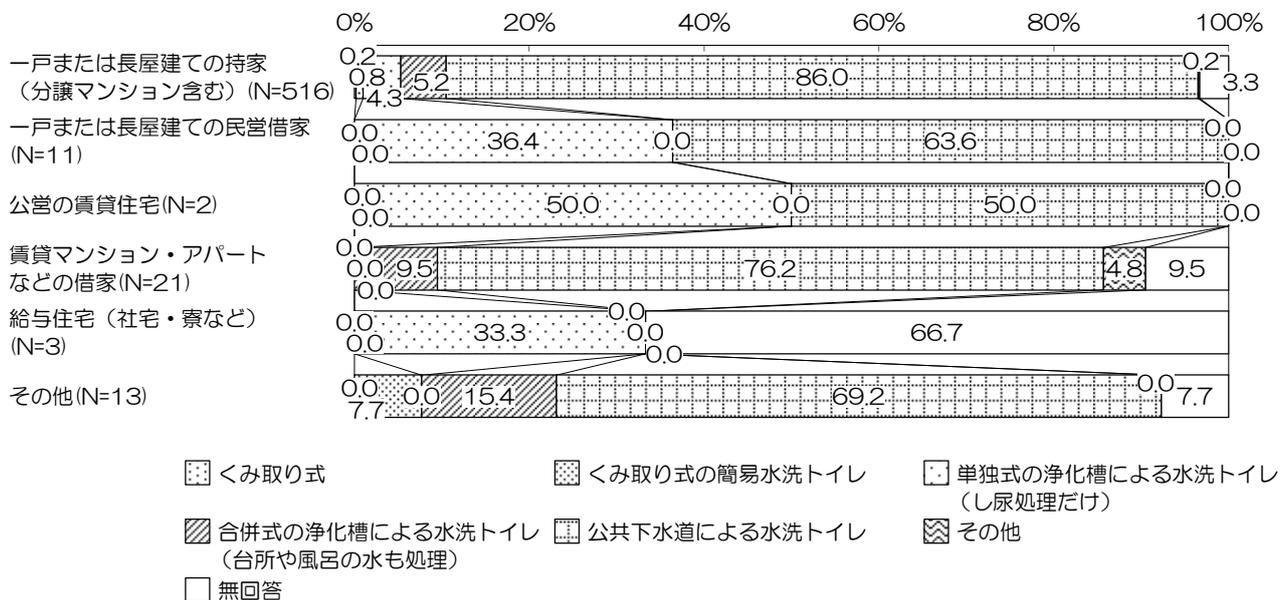
Ⅲ (11) あなたの家のトイレはどのような形式ですか。

図3-14 家庭のトイレの形式



家庭のトイレの形式については、「公共下水道による水洗トイレ」が84.4%（486件）と8割強を占めています。これに、「合併式の浄化槽による水洗トイレ（台所や風呂の水も処理）」が5.4%（31件）、「単独式の浄化槽による水洗トイレ（し尿処理だけ）」が4.9%（28件）と続いています。（図3-14）

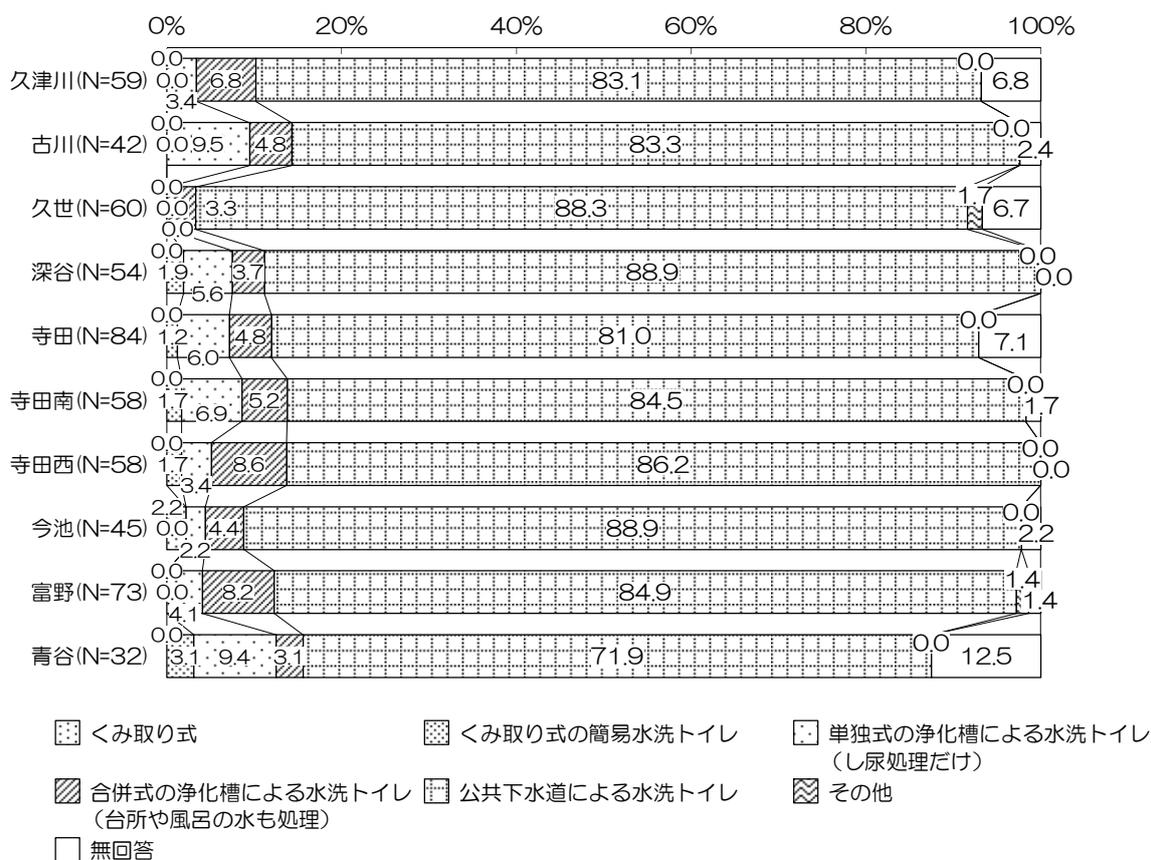
図3-14-1 居住形態別 家庭のトイレの形式



居住形態別にみると、「公共下水道による水洗トイレ」は「一戸または長屋建ての持家（分譲マンション含む）」で86.0%（444件）、「賃貸マンション・アパートなどの借家」で76.2%（16件）となっています。

一方、「一戸または長屋建ての民営借家」「公営の賃貸住宅」「給与住宅（社宅・寮など）」では「単独式の浄化槽による水洗トイレ（し尿処理だけ）」の割合が他の居住形態よりも高くなっています。（図3-14-1）

図3-14-2 居住小学校区別 家庭のトイレの形式

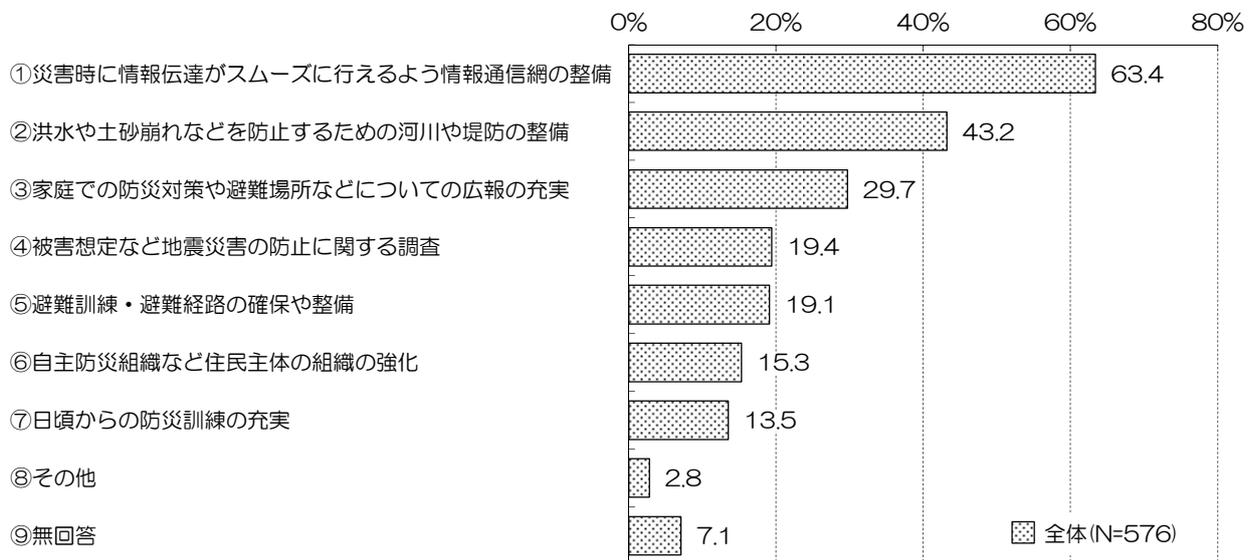


居住小学校区別にみると、「公共下水道による水洗トイレ」はいずれの小学校区でも大多数を占め、なかでも、深谷 (88.9% : 48件)、今池 (88.9% : 40件)、久世 (88.3% : 53件) で高くなっています。青谷、寺田については、「公共下水道による水洗トイレ」の割合が他の小学校区と比較してやや低く、それぞれ 71.9% (23件)、81.0% (68件) となっています。(図3-14-2)

(15) 災害に強いまちづくりのために必要な対策

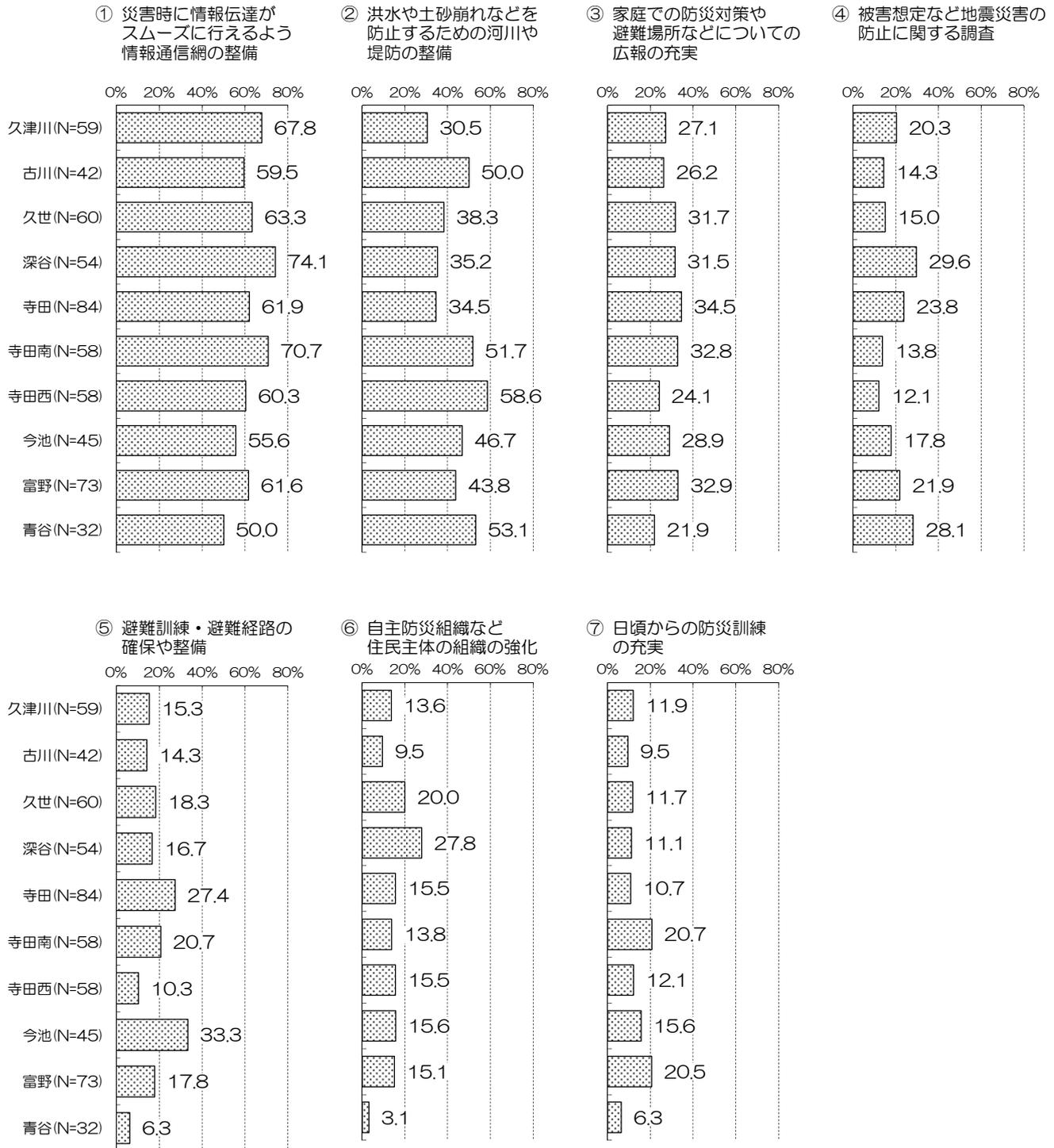
Ⅲ(12) 災害に強いまちづくりのために、城陽市では今後特にどんな対策が必要だと思いますか。3つ以内で○印をつけてください。

図3-15 災害に強いまちづくりのために必要な対策



災害に強いまちづくりのために必要な対策については、「①災害時に情報伝達がスムーズに行えるよう情報通信網の整備」が63.4% (365件) と最も高く、次いで、「②洪水や土砂崩れなどを防止するための河川や堤防の整備」が43.2% (249件)、「③家庭での防災対策や避難場所などについての広報の充実」が29.7% (171件) となっています。(図3-15)

図3-15-1 居住小学校区別 災害に強いまちづくりのために必要な対策

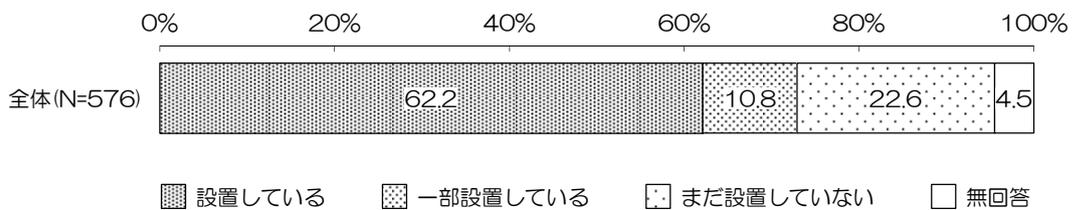


居住小学校区別にみると、寺田西と青谷、寺田南、古川では「②洪水や土砂崩れなどを防止するための河川や堤防の整備」が50%以上と高くなっています。深谷では、「①災害時に情報伝達がスムーズに行えるよう情報通信網の整備」「④被害想定など地震災害の防止に関する調査」「⑥自主防災組織など住民主体の組織の強化」の割合が他の小学校区よりも高くなっています。今池では、「⑤避難訓練・避難経路の確保や整備」が33.3%（15件）と高くなっています。（図3-15-1）

(16) 住宅用火災警報器設置の有無

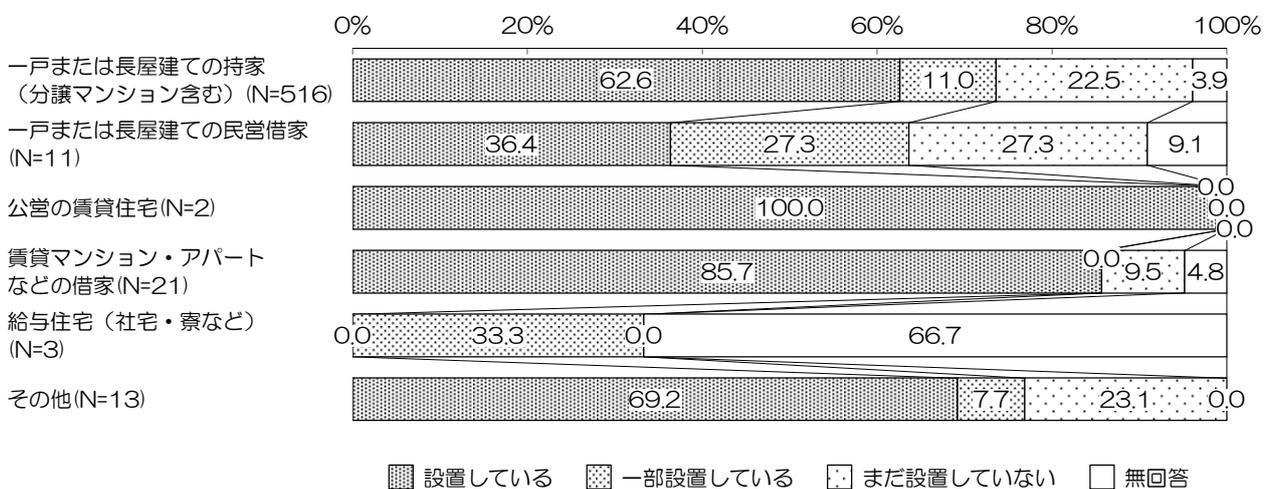
Ⅲ (13) 住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることを目的として、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。あなたがお住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

図3-16 住宅用火災警報器設置の有無



住宅用火災警報器設置の有無については、「設置している」が62.2%（358件）を占め、「まだ設置していない」は22.6%（130件）となっています。（図3-16）

図3-16-1 居住形態別 住宅用火災警報器設置の有無

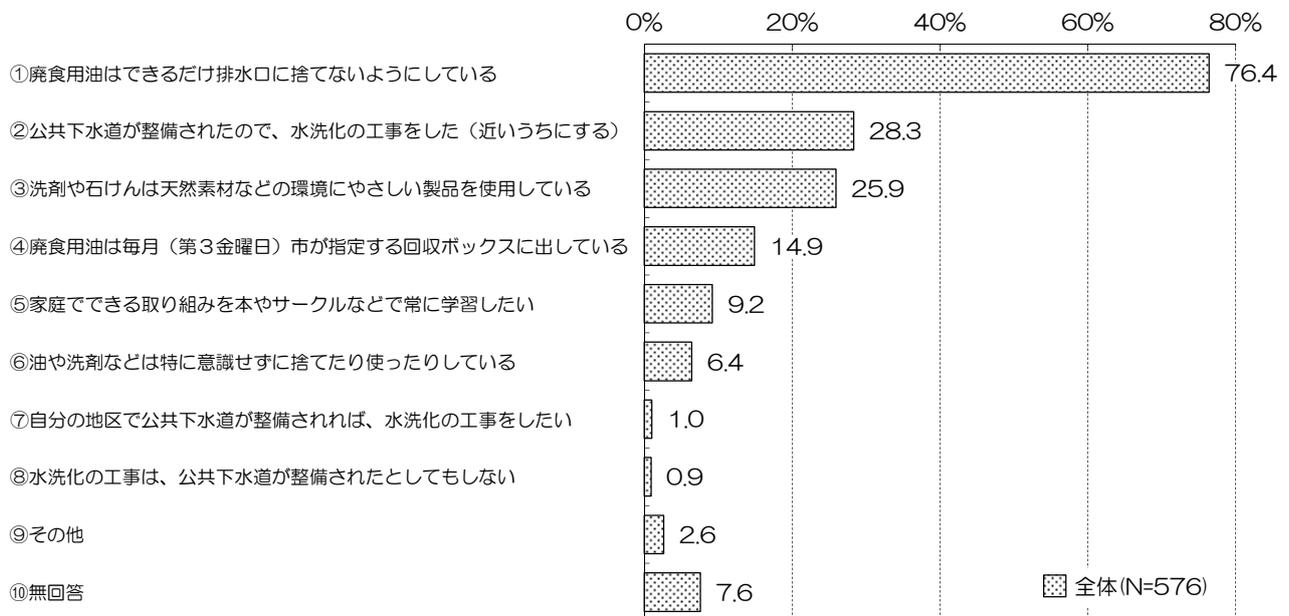


居住形態別にみると、「設置している」の割合は「公営の賃貸住宅」「賃貸マンション・アパートなどの借家」では8割以上を占めていますが、「一戸または長屋建ての持家（分譲マンション含む）」では62.6%（323件）、「その他」では69.2%（9件）、「一戸または長屋建ての民営借家」では36.4%（4件）にとどまっています。（図3-16-1）

(17) 城陽市の河川をきれいにするための意識

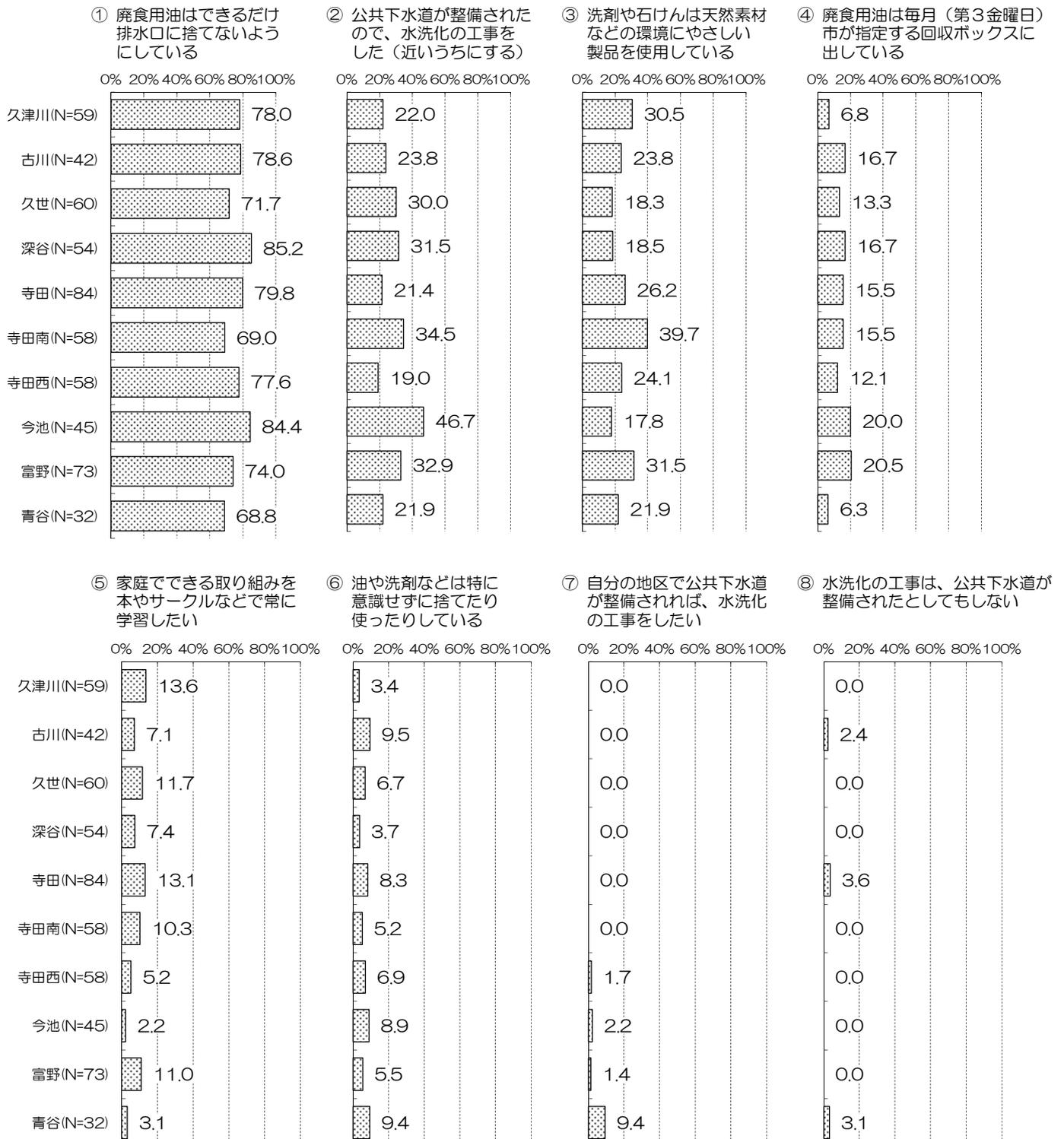
Ⅲ (14) 城陽市の河川をきれいにするためには、市民の皆さんの日頃からの取り組みも欠かせません。あなたの日頃の意識に近いものをすべてに○印をつけてください。

図3-17 城陽市の河川をきれいにするための意識



城陽市の河川をきれいにするための意識については、「①廃食用油はできるだけ排水口に捨てないようにしている」が76.4%（440件）と群を抜いて高く、次いで、「②公共下水道が整備されたので、水洗化の工事をした（近いうちにする）」が28.3%（163件）、「③洗剤や石けんは天然素材などの環境にやさしい製品を使用している」が25.9%（149件）と続いています。（図3-17）

図3-17-1 居住小学校区別 城陽市の河川をきれいにするための意識

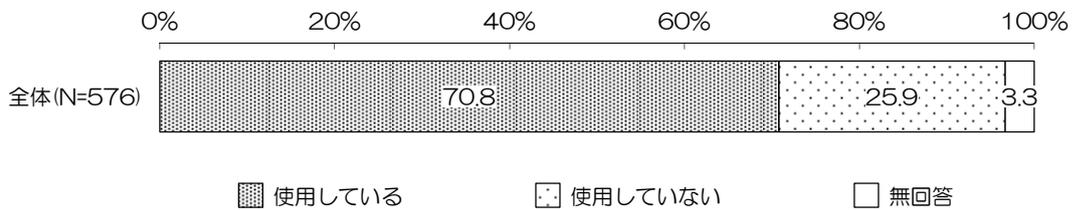


居住小学校区別にみると、全ての小学校区で「①廃食用油はできるだけ排水口に捨てないようにしている」が最も高く、特に、深谷と今池では8割を超えています。今池では、「②公共下水道が整備されたので、水洗化の工事をした(近いうちにする)」(46.7% : 21件)、寺田南では、「③洗剤や石けんは天然素材などの環境にやさしい製品を使用している」(39.7% : 23件)が、他小学校区と比べて高くなっています。(図3-17-1)

(18) 水道水を飲料水として使用していることの有無

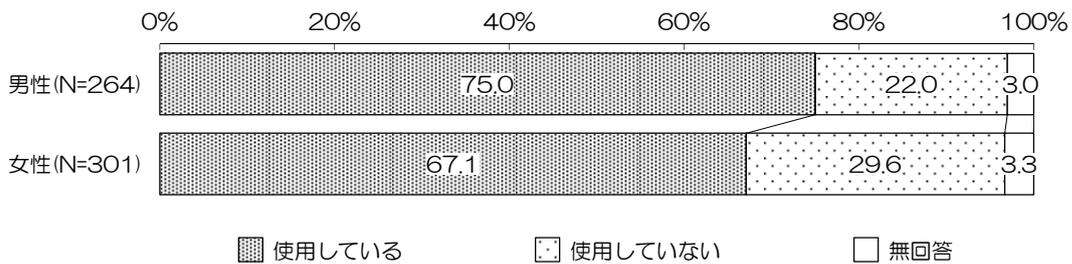
Ⅲ (15) あなたの家では、安全でおいしい水道水を蛇口から飲料水として直接使用されていますか。

図3-18 水道水を飲料水として使用していることの有無



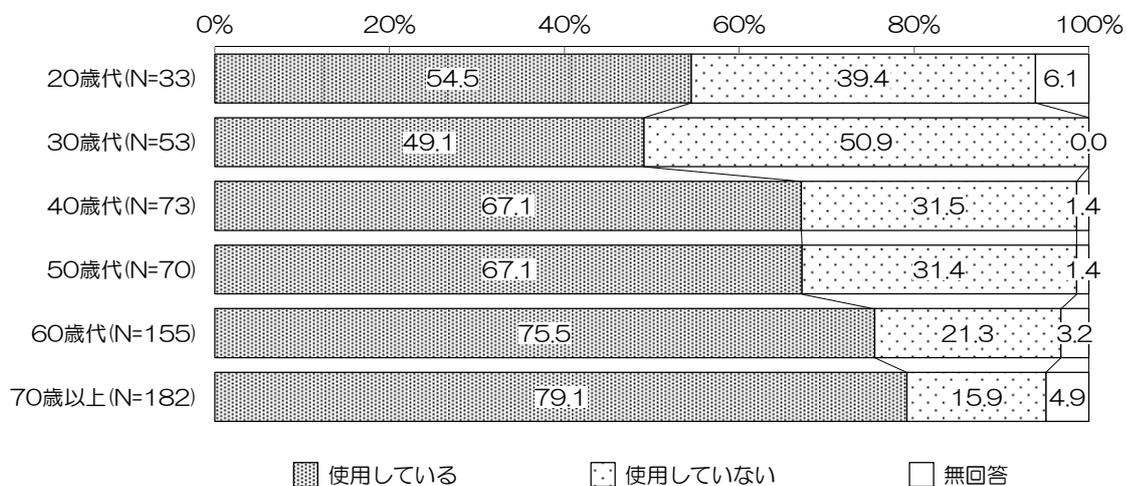
水道水を飲料水として使用していることの有無については、「使用している」が70.8% (408件) となっており、「使用していない」の25.9% (149件) を上回っています。(図3-18)

図3-18-1 男女別 水道水を飲料水として使用していることの有無



男女別にみると、男性の方が「使用している」割合が7.9ポイント高くなっています。(図3-18-1)

図3-18-2 年齢別 水道水を飲料水として使用していることの有無

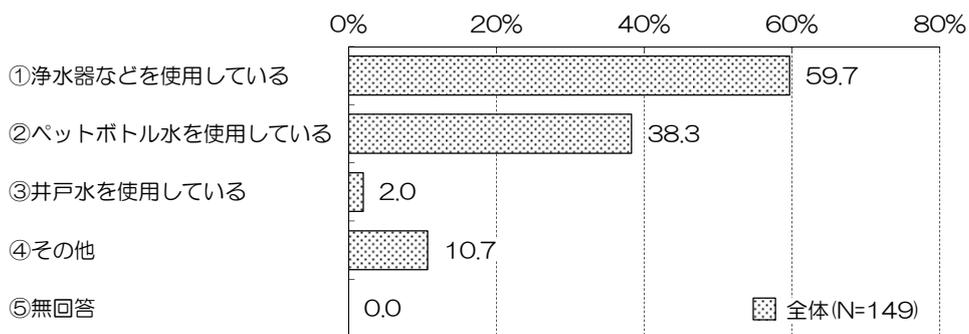


年齢別にみると、年代が高くなるにつれて、「使用している」の割合も高くなる傾向がみられ、70歳以上では79.1% (144件) となっています。(図3-18-2)

(19) 飲料水として使用しているもの

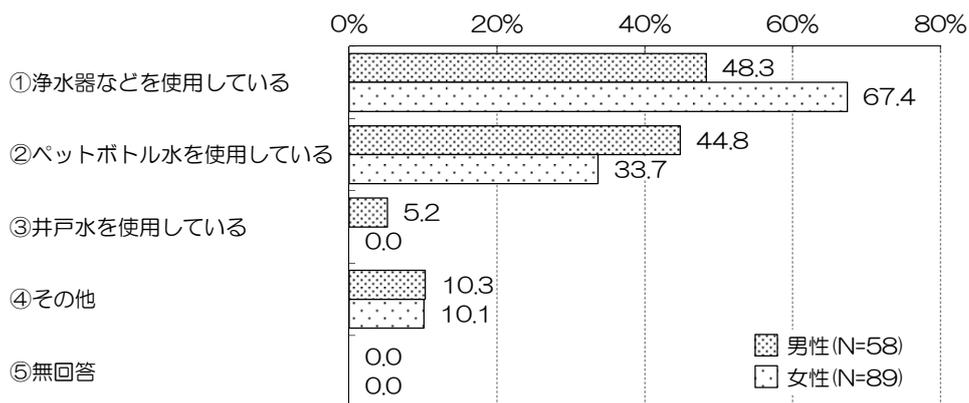
Ⅲ (15)-1 問(15)で「2. 使用していない」とお答えの方におたずねします。
飲料水として何を使用されていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

図3-19 飲料水として使用しているもの



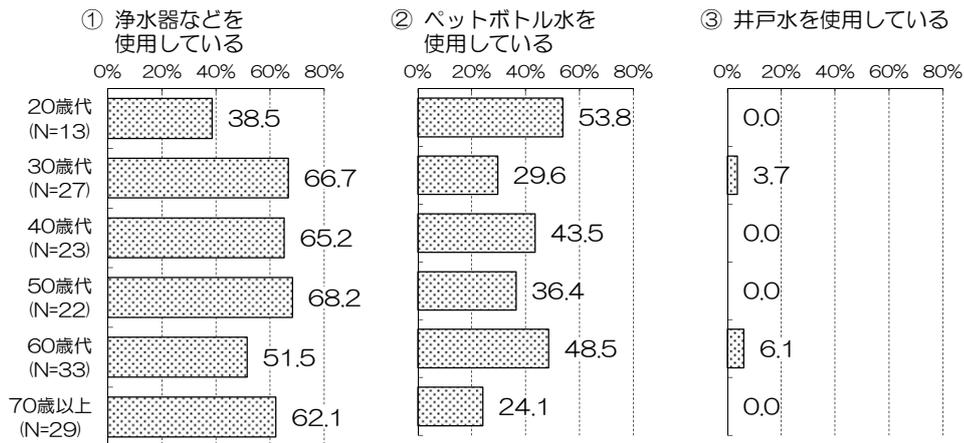
飲料水として使用しているものについては、「①浄水器などを使用している」が59.7% (89件) と高く、「②ペットボトル水を使用している」は38.3% (57件)、「③井戸水を使用している」は2.0% (3件) となっています。(図3-19)

図3-19-1 男女別 飲料水として使用しているもの



男女別にみると、「①浄水器などを使用している」は、男性の48.3% (28件) に対し、女性は67.4% (60件) と、19.1ポイント高くなっています。一方、「②ペットボトル水を使用している」は女性 (33.7% : 30件) よりも、男性 (44.8% : 26件) の方が、11.1ポイント高くなっています。(図3-19-1)

図3-19-2 年齢別 飲料水として使用しているもの

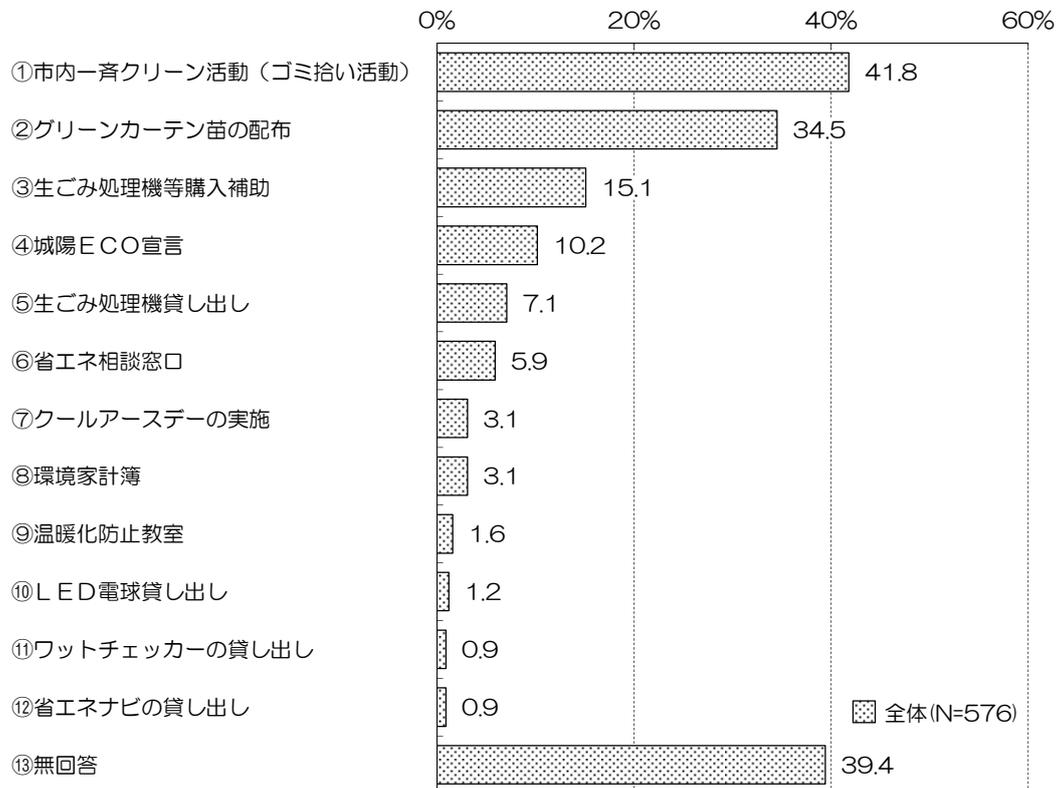


年齢別にみると、30歳以上の年代層では、「①浄水器などを使用している」が最も高くなっていますが、20歳代では、「②ペットボトル水を使用している」が最も高くなっています。(図3-19-2)

(20) 城陽市で実施している環境施策の認知度

Ⅲ (16) 城陽市で実施している環境施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。
知っているものすべてに○印をつけてください。

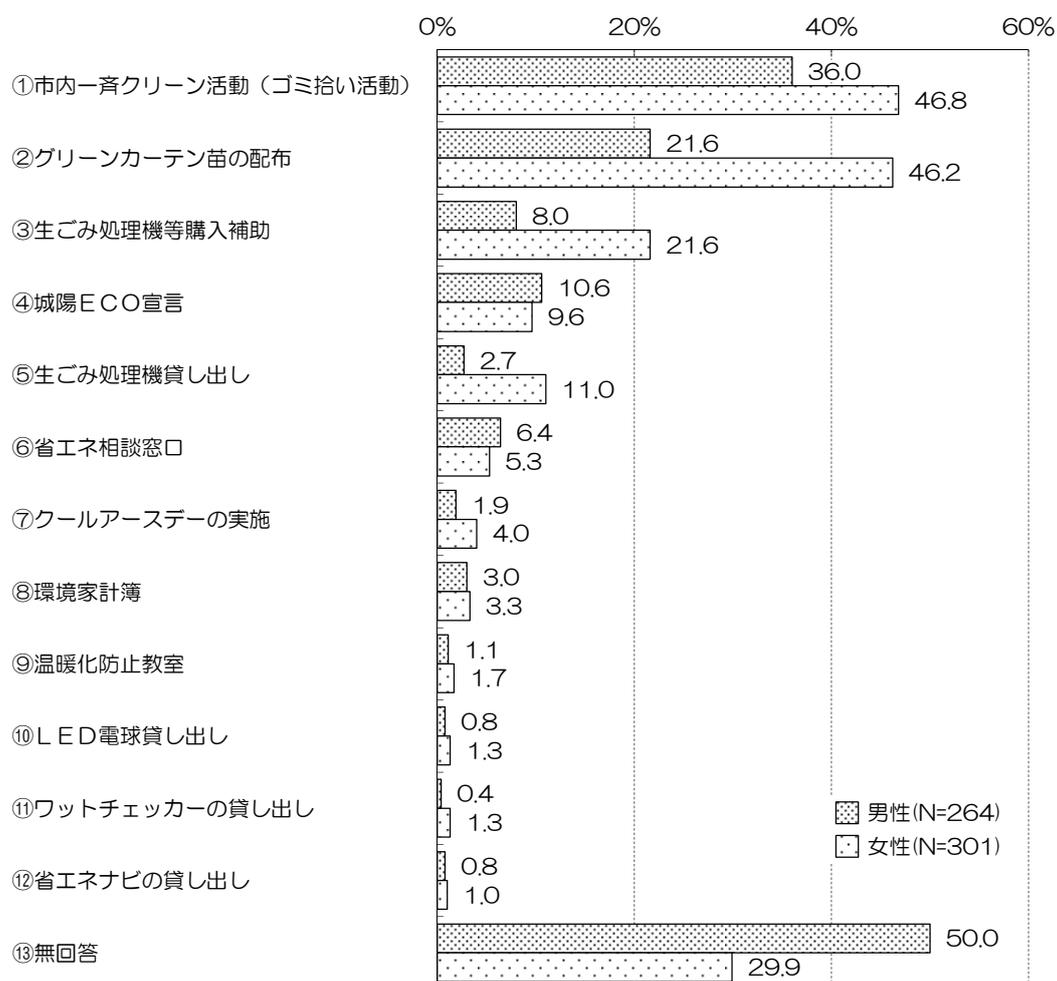
図3-20 城陽市で実施している環境施策の認知度



城陽市で実施している環境施策の認知度については、「①市内一斉クリーン活動 (ゴミ拾い活動)」が41.8% (241件) で最も高く、次いで、「②グリーンカーテン苗の配布」が34.5% (199件)、「③生ごみ処理機等購入補助」が15.1% (87件)、「④城陽E C O宣言」が10.2% (59件) と続いています。

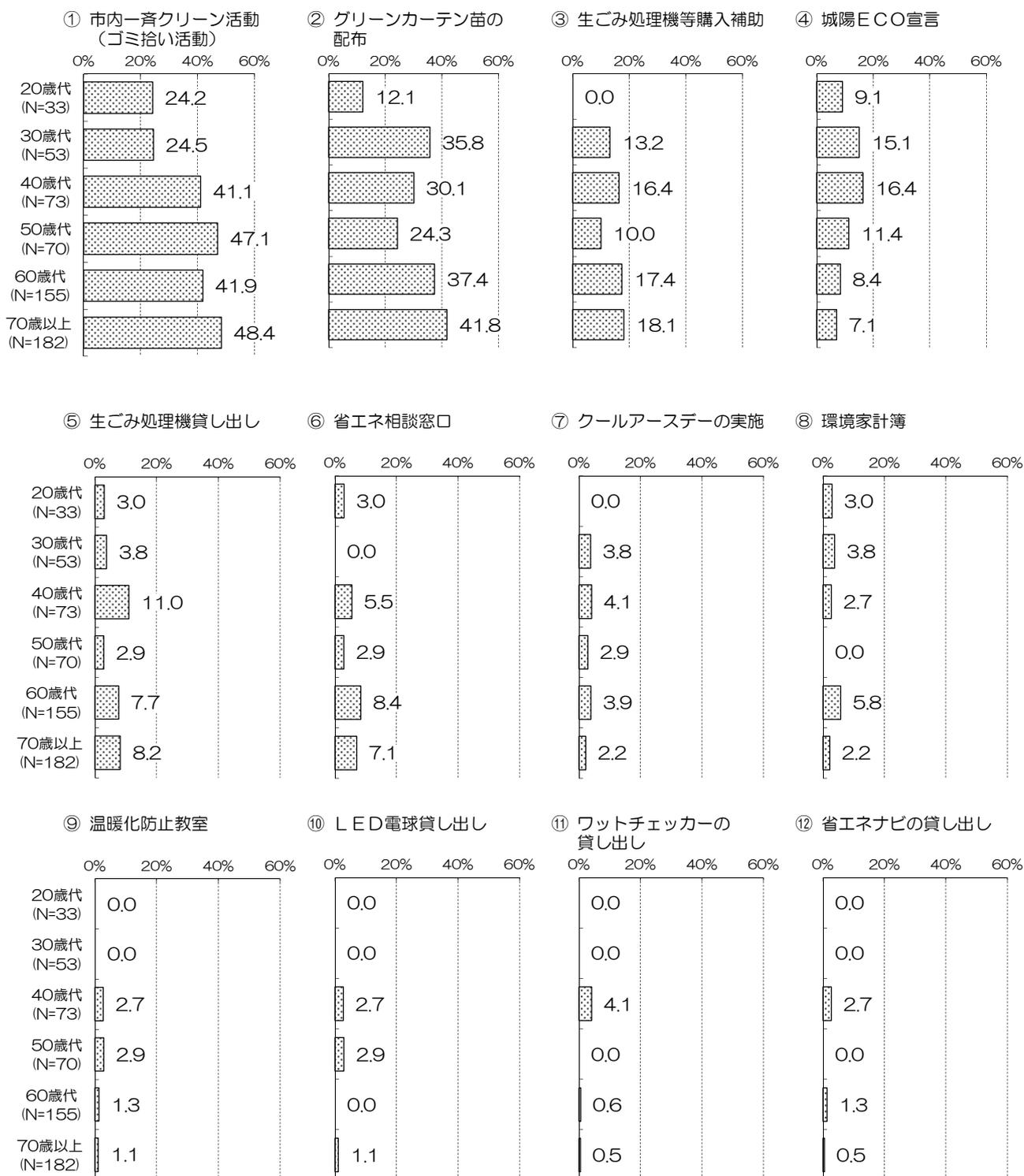
(図3-20)

図3-20-1 男女別 城陽市で実施している環境施策の認知度



男女別にみると、女性では「①市内一斉クリーン活動（ゴミ拾い活動）」が46.8%（141件）、「②グリーンカーテン苗の配布」が46.2%（139件）、「③生ごみ処理機等購入補助」が21.6%（65件）となっており、男性と比較して、その割合が高くなっています。（図3-20-1）

図3-20-2 年齢別 城陽市で実施している環境施策の認知度



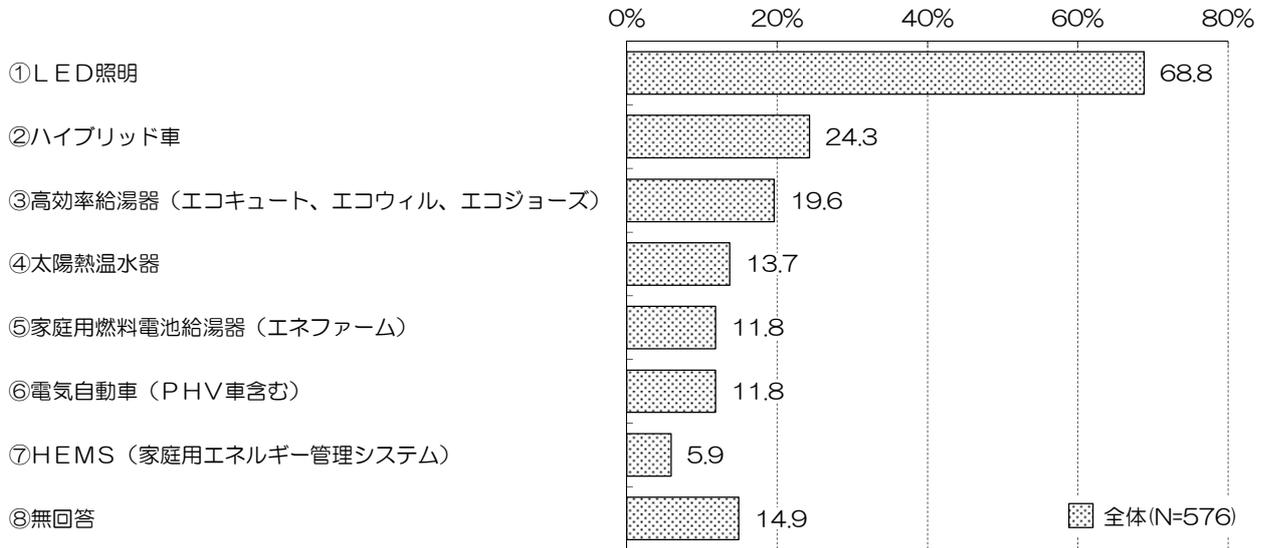
年齢別にみると、20歳代では、「①市内一斉クリーン活動（ゴミ拾い活動）」「②グリーンカーテン苗の配布」「③生ごみ処理機等購入補助」「⑦クールアースデーの実施」の割合が他の年代よりも低くなっています。

30歳代以外の年代では、「①市内一斉クリーン活動（ゴミ拾い活動）」の割合が最も高くなっていますが、30歳代では24.5%（13件）にとどまり、「②グリーンカーテン苗の配布」が35.8%（19件）で最も高くなっています。（図3-20-2）

(21) 地球温暖化防止のために利用したいと思うもの

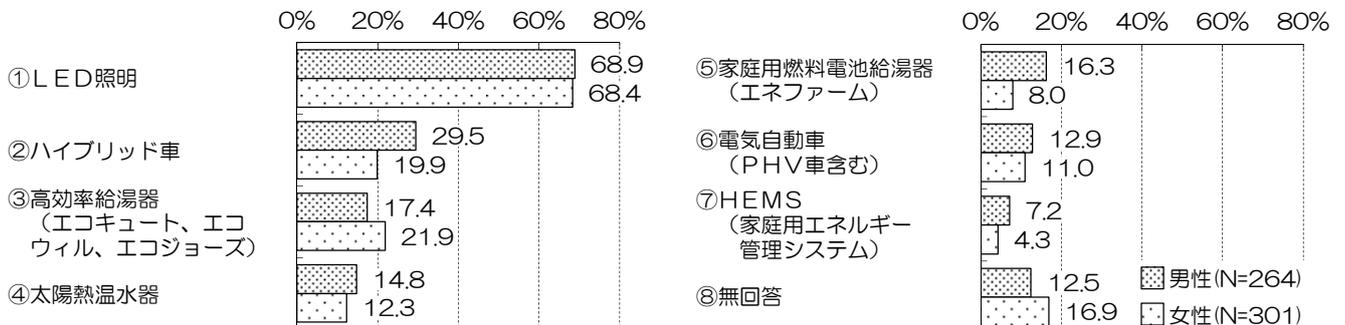
Ⅲ (17) 地球温暖化を防止するため、今後利用したいと思うものはどれですか。
3つ以内で○印をつけてください。

図3-21 地球温暖化防止のために利用したいと思うもの



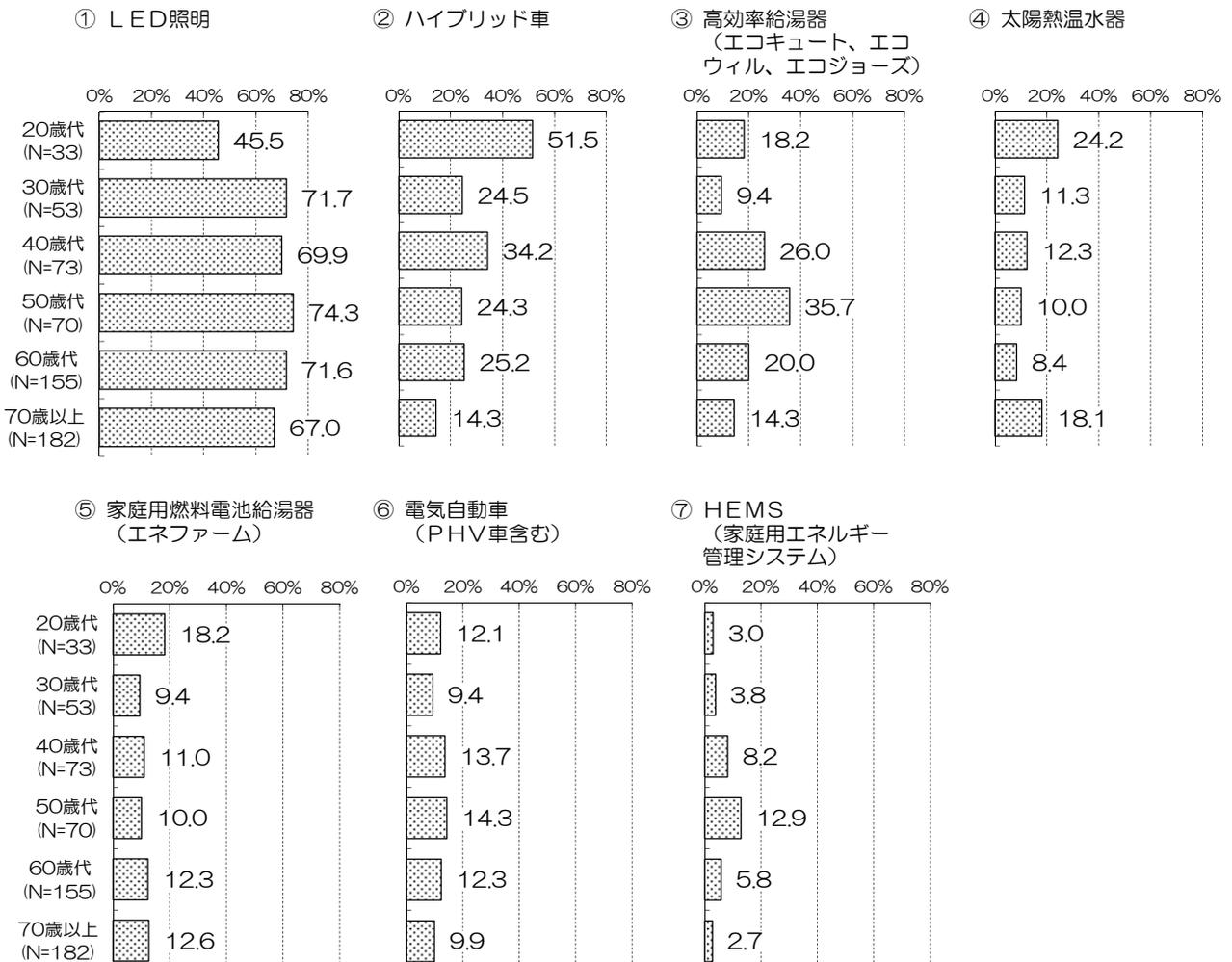
地球温暖化防止のために利用したいと思うものについては、「①LED照明」が68.8% (396件) と最も高く、次いで、「②ハイブリッド車」が24.3% (140件)、「③高効率給湯器 (エコキュート、エコウィル、エコジョーズ)」が19.6% (113件) となっています。(図3-21)

図3-21-1 男女別 地球温暖化防止のために利用したいと思うもの



男女別にみると、「②ハイブリッド車」は、男性の方が9.6ポイント高くなっています。一方、「③高効率給湯器 (エコキュート、エコウィル、エコジョーズ)」は、女性の方が4.5ポイント高くなっています。(図3-21-1)

図3-21-2 年齢別 地球温暖化防止のために利用したいと思うもの

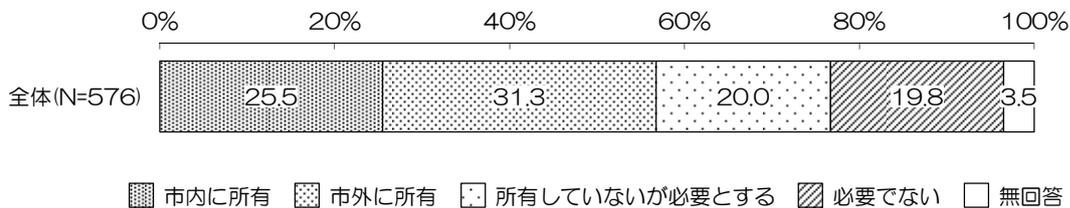


年齢別にみると、20歳代では、「②ハイブリッド車」が51.5%（17件）、「④太陽熱温水器」が24.2%（8件）と他の年代よりも高くなっていますが、「①LED照明」は45.5%（15件）と他の年代よりも低くなっています。50歳代では、「③高効率給湯器（エコキュート、エコウィル、エコジョーズ）」が35.7%（25件）と、「①LED照明」に次いで高くなっています。（図3-21-2）

(22) 墓地の有無

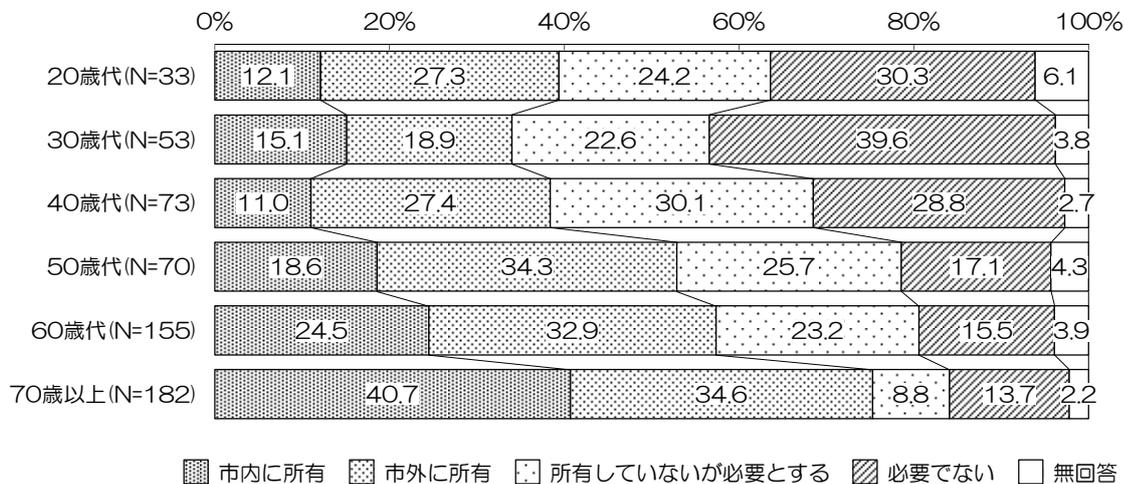
Ⅲ (18) 人生の終焉に必要な墓地の充足について、あなたのご意見をお聞かせください。
あなたは、墓地を所有されていますか。また、必要だとお考えですか。

図3-22 墓地の有無



墓地の有無については、「市内に所有」が25.5%（147件）、「市外に所有」が31.3%（180件）となっており、墓地の『所有率』は合計56.8%（327件）となっています。また、「所有していないが必要とする」は20.0%（115件）、「必要でない」は19.8%（114件）となっています。（図3-22）

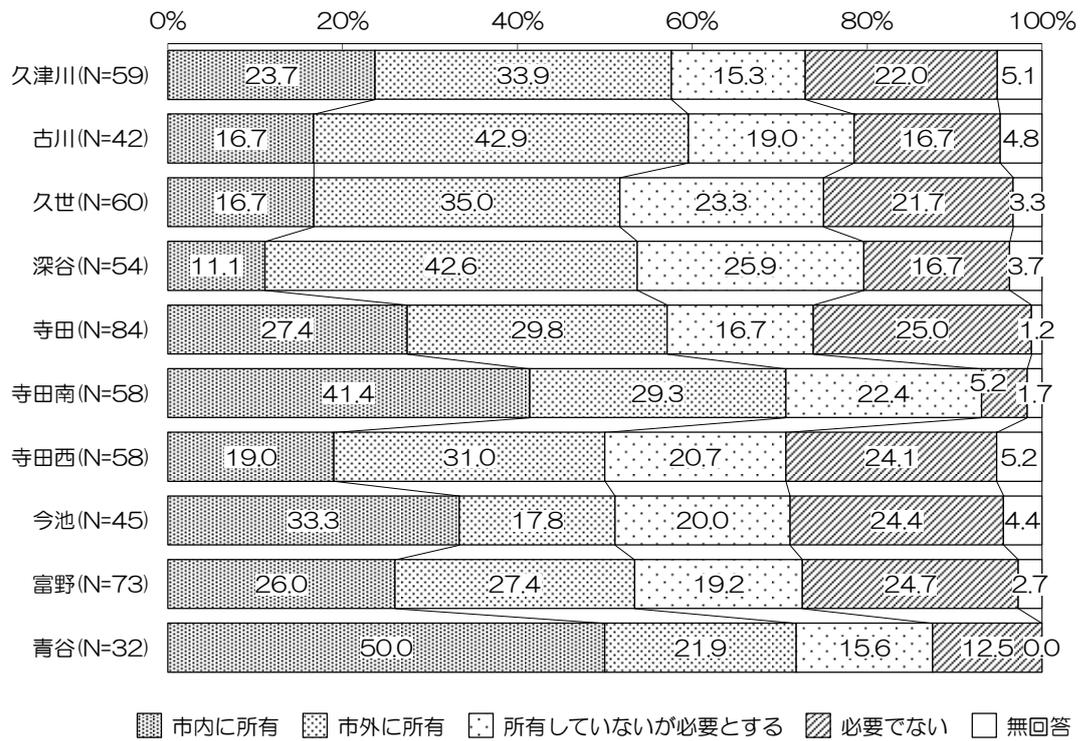
図3-22-1 年齢別 墓地の有無



年齢別にみると、70歳以上では、『所有率』（「市内に所有」と「市外に所有」を合わせた割合）が75.3%（137件）と高くなっていますが、50歳代・60歳代の『所有率』は5割台、50歳未満の年代の『所有率』は3割台となっています。なお、20歳代・30歳代では「必要でない」が3割を超えています。

（図3-22-1）

図3-22-2 居住小学校区別 墓地の有無

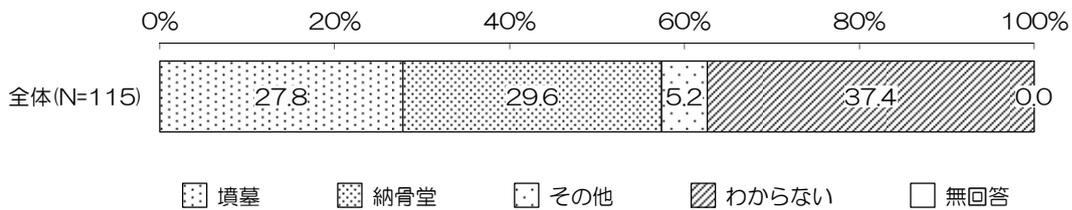


居住小学校区別にみると、青谷と寺田南では「市内に所有」の割合が高く、青谷で50.0%（16件）、寺田南で41.4%（24件）となっており、『所有率』（「市内に所有」と「市外に所有」を合わせた割合）も7割を超えています。深谷では、「市内に所有」が11.1%（6件）と低く、「市外に所有」が42.6%（23件）となっています。（図3-22-2）

(23) 必要とする墓地の形態

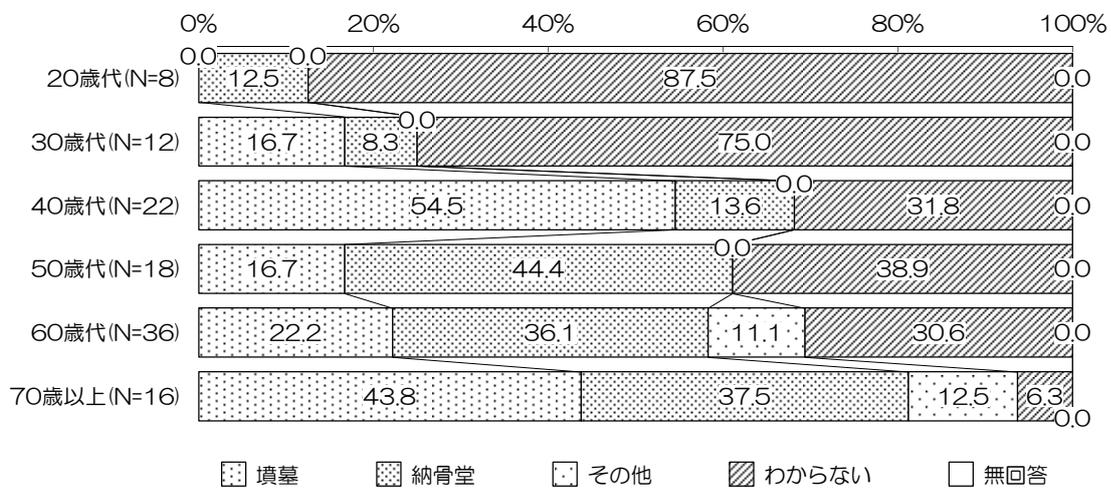
Ⅲ(18)-1 問(18)で「3. 所有していないが必要とする」と回答された方におたずねします。必要とされる墓地の形態はどのようなものがよいとお考えですか。

図3-23 必要とする墓地の形態



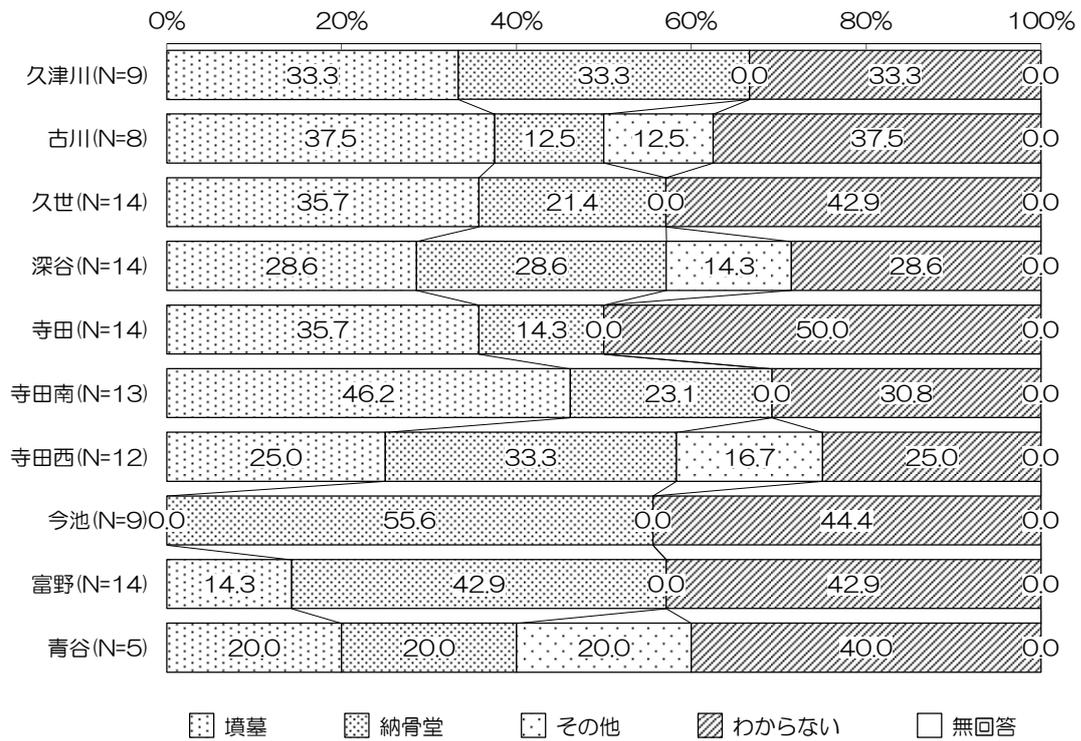
必要とする墓地の形態については、「納骨堂」が29.6% (34件)、「墳墓」が27.8% (32件) となっています。また、「わからない」は37.4% (43件) となっています。(図3-23)

図3-23-1 年齢別 必要とする墓地の形態



年齢別にみると、40歳未満の年代では「わからない」が多数を占めています。40歳代と70歳以上では、「墳墓」、50歳代と60歳代では「納骨堂」が最も高くなっています。(図3-23-1)

図3-23-2 居住小学校区別 必要とする墓地の形態

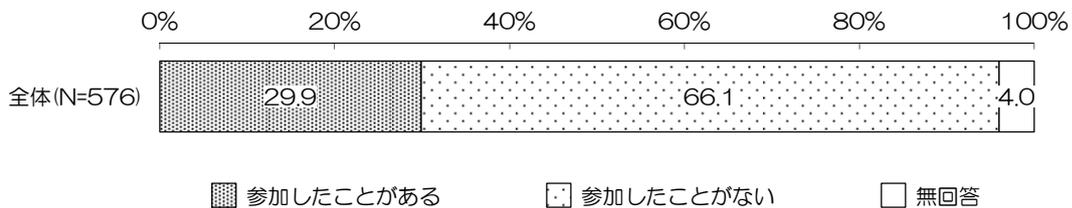


居住小学校区別にみると、寺田南では「墳墓」が46.2%（6件）となっています。寺田西、今池、富野では「墳墓」よりも「納骨堂」の方が高くなっています。（図3-23-2）

(24) 環境イベント・学習会への参加の有無

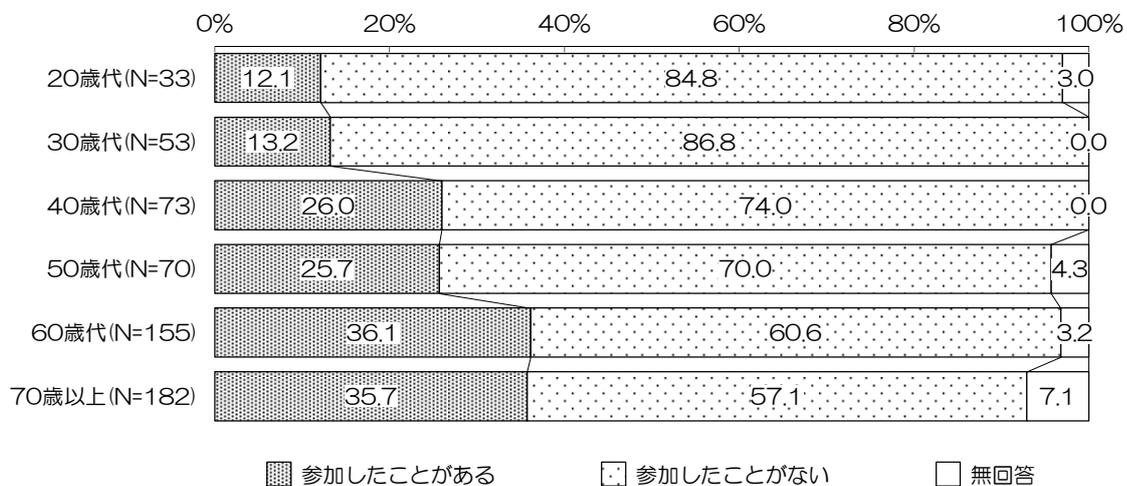
Ⅲ (19) 環境イベント・学習会への参加について、イベント・学習会や清掃活動などへ参加されたことがありますか。

図3-24 環境イベント・学習会への参加の有無



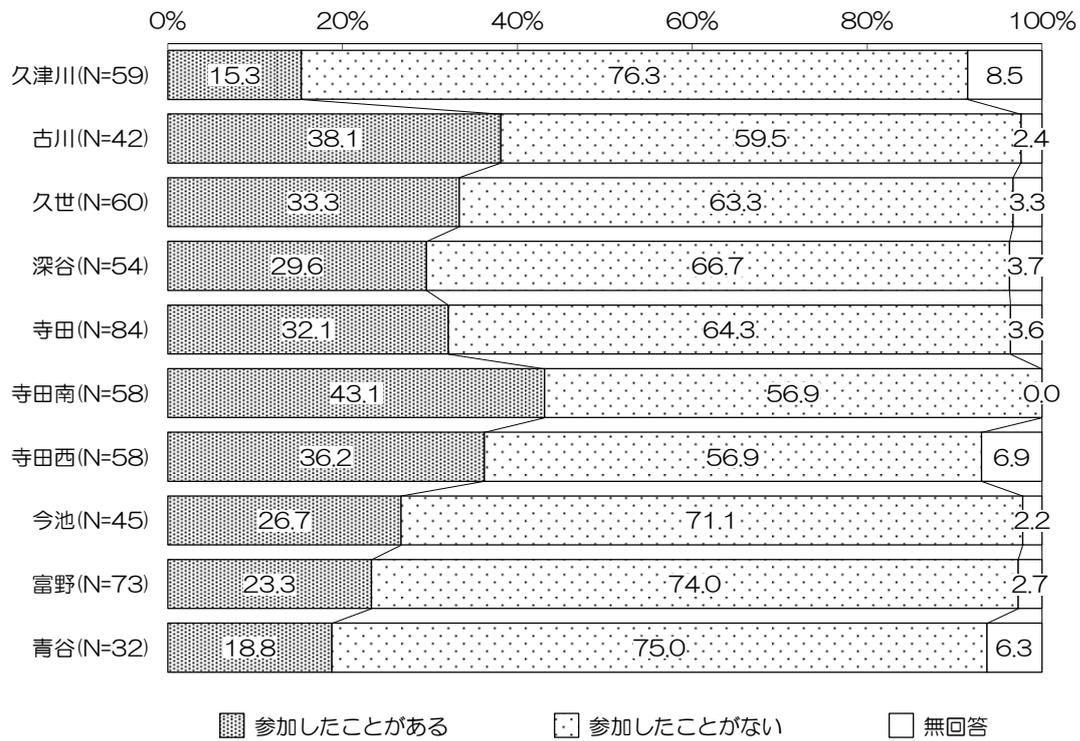
環境イベント・学習会への参加については、「参加したことがある」が29.9%（172件）と、「参加したことがない」（66.1%：381件）を下回っています。（図3-24）

図3-24-1 年齢別 環境イベント・学習会への参加の有無



年齢別にみると、年代が低い層ほど「参加したことがない」の割合が高くなる傾向があり、20歳代と30歳代では「参加したことがない」が8割を超えています。年齢が高い層では「参加したことがある」が比較的高く、60歳代で36.1%（56件）、70歳以上で35.7%（65件）となっています。（図3-24-1）

図3-24-2 居住小学校区別 環境イベント・学習会への参加の有無

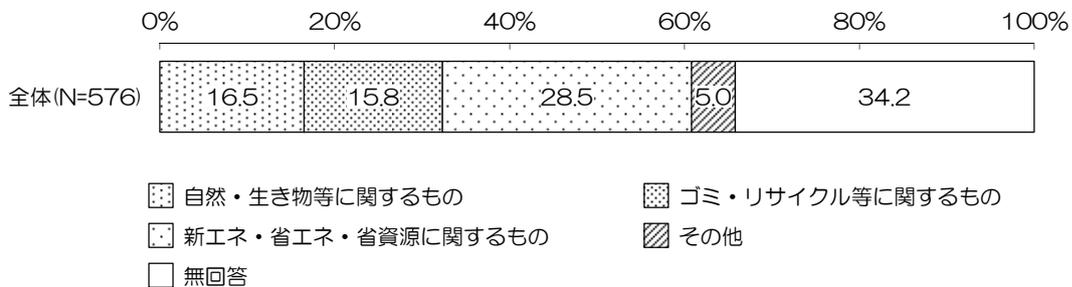


居住小学校区別にみると、寺田南では「参加したことがある」が43.1%（25件）と他の小学校区よりも高くなっています。また、古川、寺田西についても、「参加したことがある」が比較的高くなっています。一方、久津川、青谷では「参加したことがある」が2割未満となっています。（図3-24-2）

(25) 今後参加したいイベント・学習会の分野

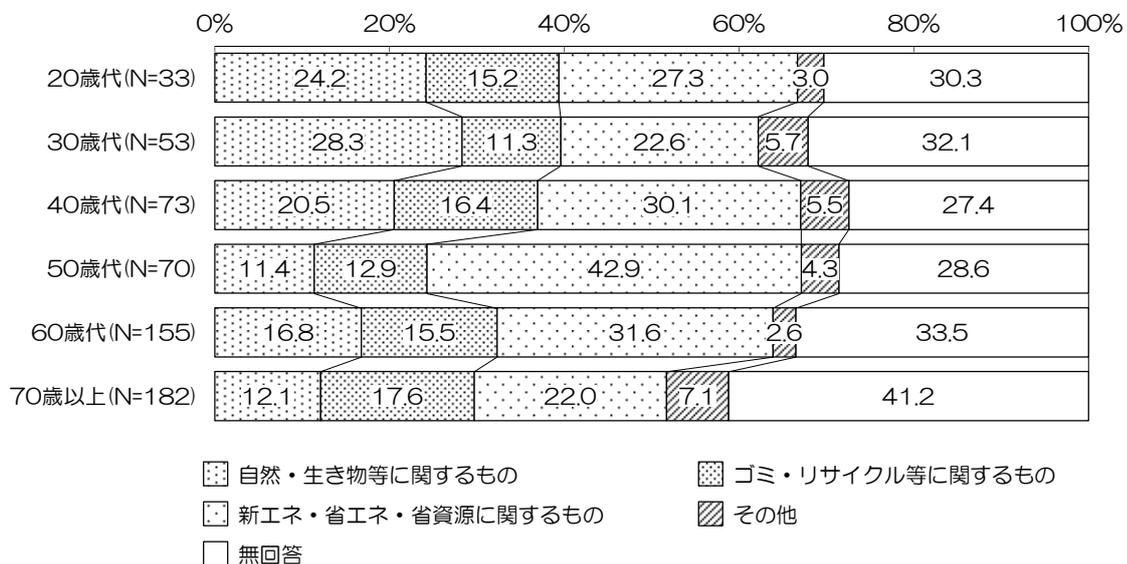
Ⅲ (20) 今後どのような分野のイベント・学習会であれば参加したいと思いますか。

図3-25 今後参加したいイベント・学習会の分野



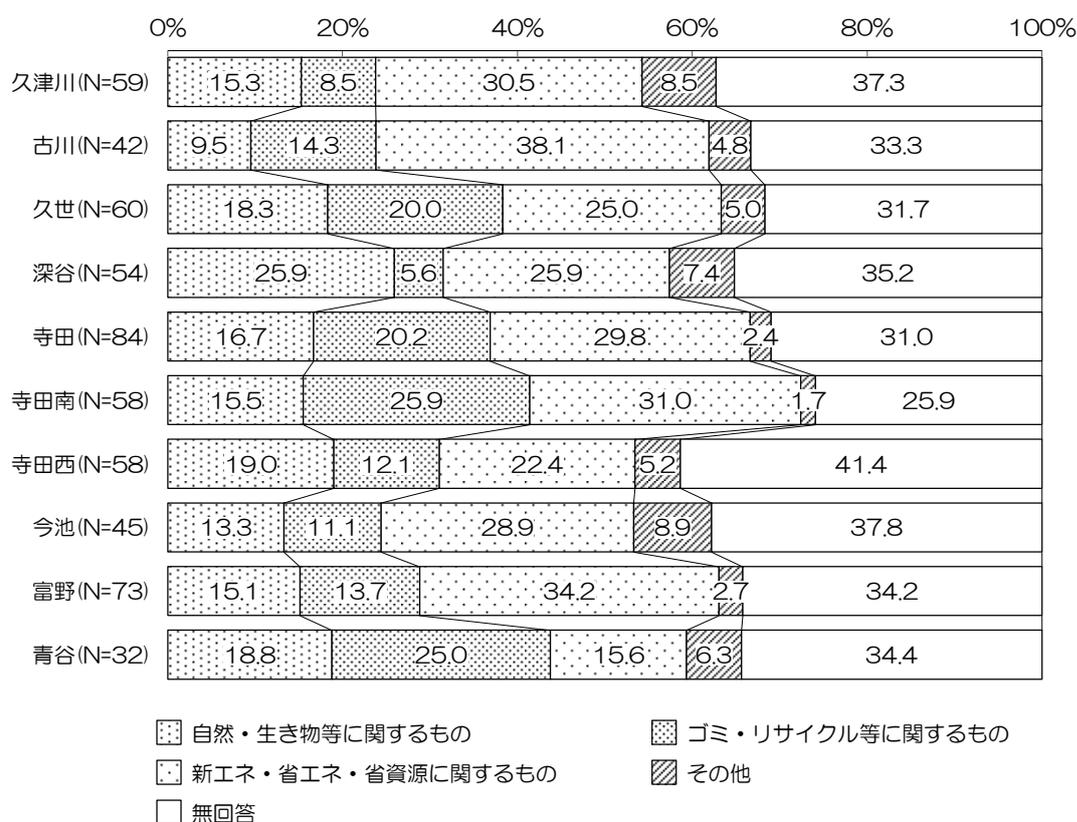
今後参加したいイベント・学習会の分野については、「新エネ・省エネ・省資源に関するもの」が28.5%（164件）で最も高く、次いで、「自然・生き物等に関するもの」が16.5%（95件）、「ゴミ・リサイクル等に関するもの」が15.8%（91件）となっています。（図3-25）

図3-25-1 年齢別 今後参加したいイベント・学習会の分野



年齢別にみると、50歳未満の年代では、「自然・生き物等に関するもの」の割合が全体よりも高くなっており、特に30歳代では、28.3%（15件）と最も割合の高い項目となっています。30歳代以外の年代では「新エネ・省エネ・省資源に関するもの」が最も高く、特に50歳代では42.9%（30件）と高くなっています。（図3-25-1）

図3-25-2 居住小学校区別 今後参加したいイベント・学習会の分野

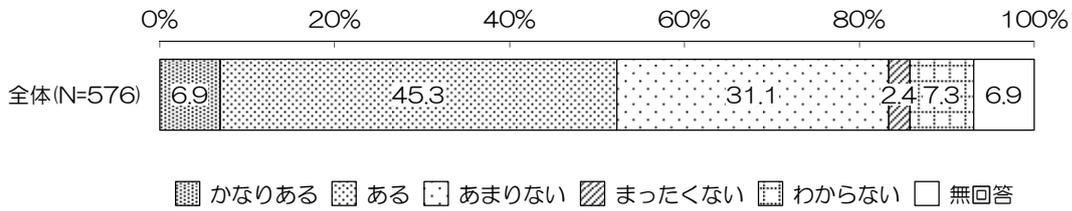


居住小学校区別にみると、回答があった中では、青谷を除く全ての小学校区で「新エネ・省エネ・省資源に関するもの」が最も高く、古川では38.1%（16件）と高くなっています。深谷では「新エネ・省エネ・省資源に関するもの」と並んで「自然・生き物等に関するもの」が高くなっています。青谷では「ゴミ・リサイクル等に関するもの」が25.0%（8件）と最も高くなっています。（図3-25-2）

(26) 地球環境問題について

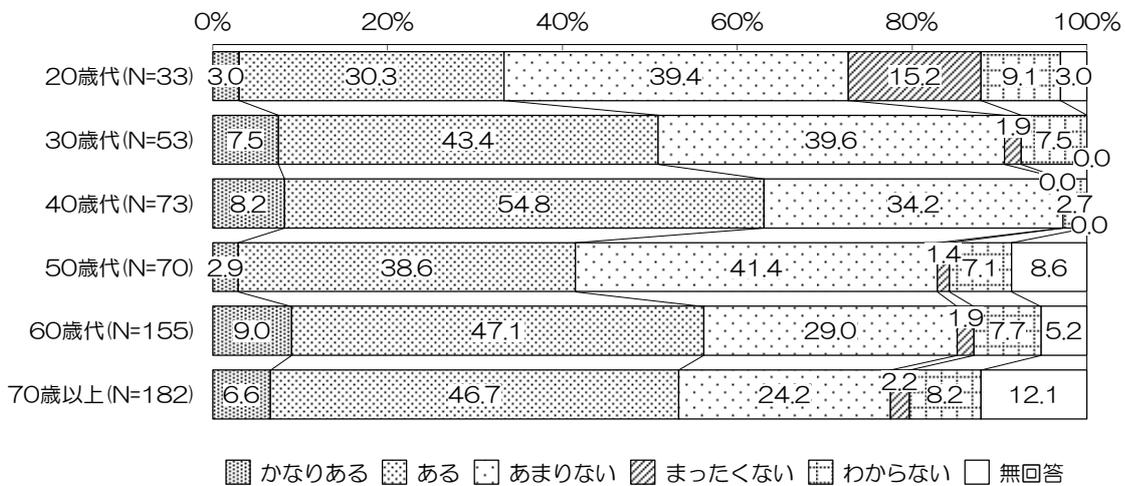
Ⅲ (21) 地球環境問題について関心がありますか。

図3-26 地球環境問題について



地球環境問題についての関心は、「ある」が45.3% (261件) と最も高くなっており、「かなりある」(6.9% : 40件) と合計した『関心がある』は52.2% (301件) となっています。(図3-26)

図3-26-1 年齢別 地球環境問題について

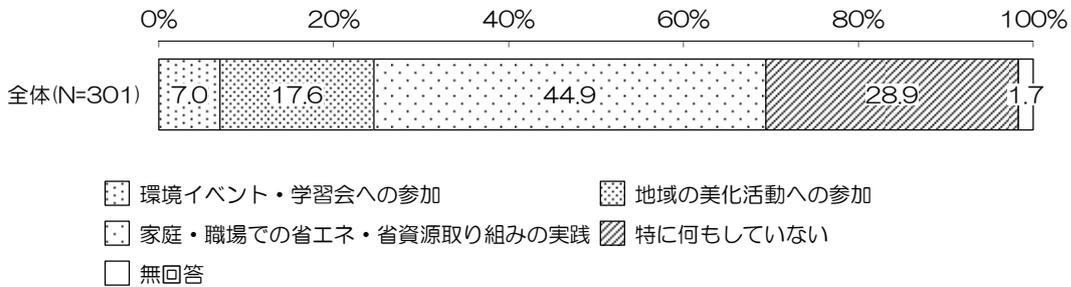


年齢別にみると、20歳代と50歳代では、『関心がある』（「かなりある」「ある」を合わせた割合）が5割未満となっており、20歳代では、「まったくない」（15.2% : 5件）、50歳代では「あまりない」（41.4% : 29件）がやや高くなっています。20歳代と50歳代以外の年代では、いずれも『関心がある』が5割を超えています。(図3-26-1)

(27) 地球環境問題に対する取り組み

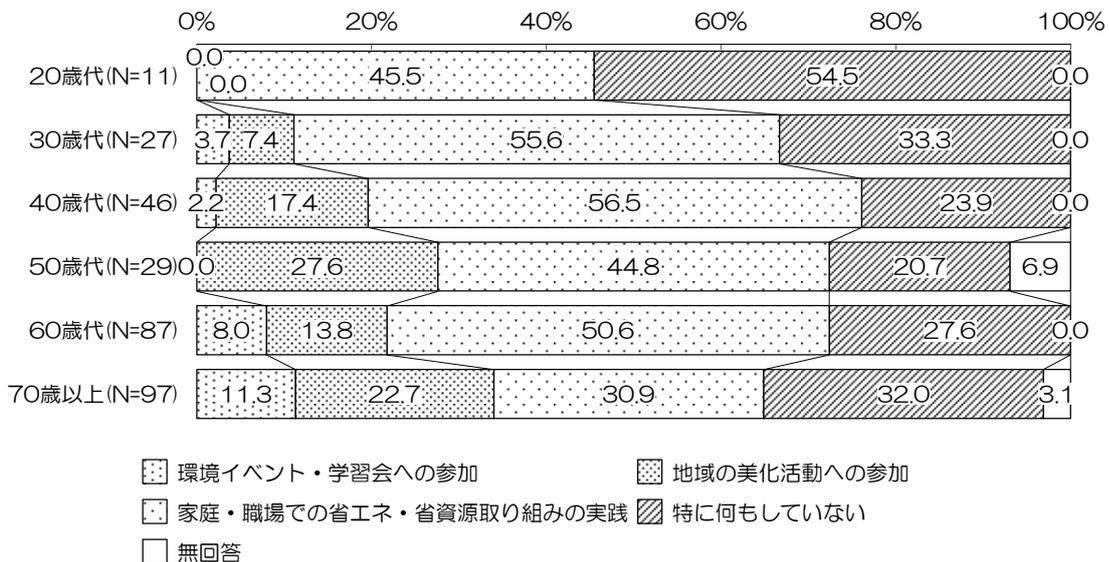
Ⅲ (21)-1 問(21)で「1 (かなりある) または2 (ある)」と回答された方におたずねします。地球環境問題に対する取り組みとして、何か行われていますか。

図3-27 地球環境問題に対する取り組み



地球環境問題に対する具体的な取り組みについては、「家庭・職場での省エネ・省資源取り組みの実践」が44.9% (135件) で最も高く、次いで、「地域の美化活動への参加」の17.6% (53件) となっています。「特に何もしていない」については、28.9% (87件) となっています。(図3-27)

図3-27-1 年齢別 地球環境問題に対する取り組み

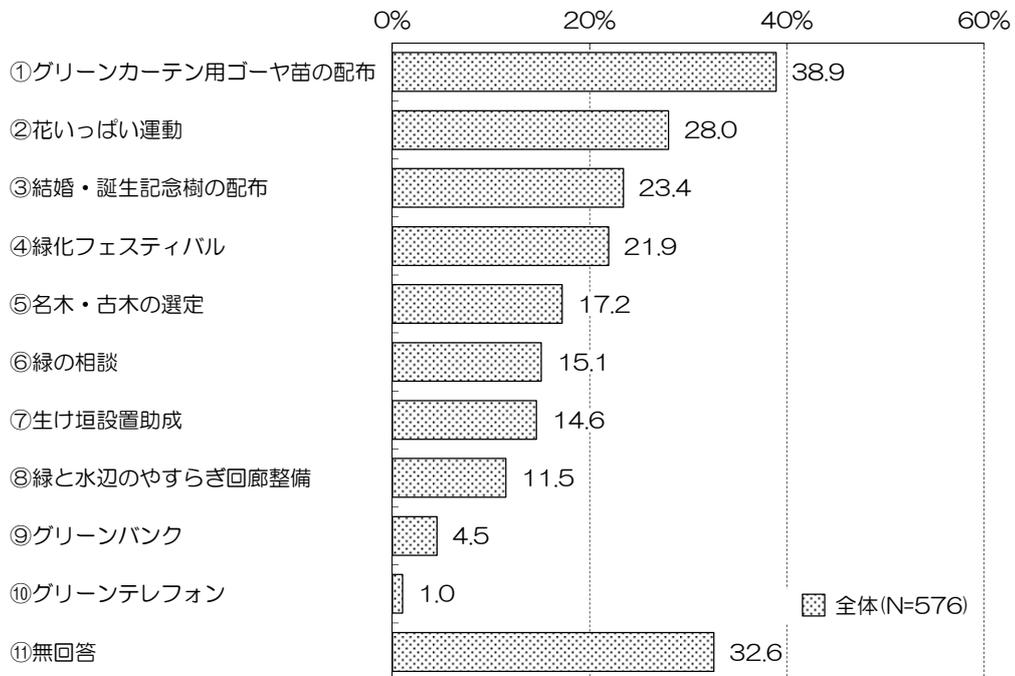


20歳代では「特に何もしていない」が54.5% (6件) となっています。30歳代と40歳代、60歳代では「家庭・職場での省エネ・省資源取り組みの実践」が5割を超えています。(図3-27-1)

(28) 市の緑化推進の施策で知っているもの

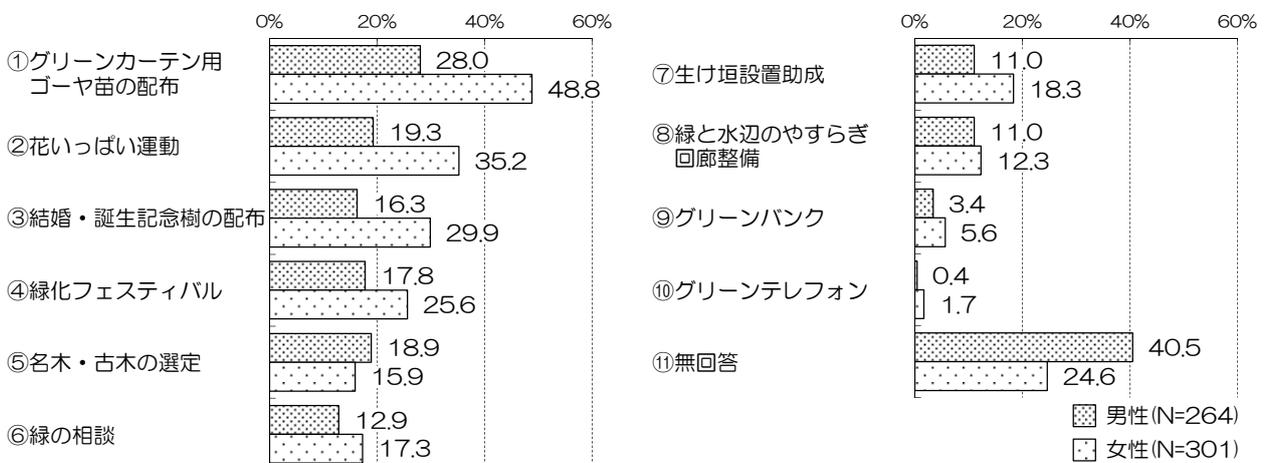
Ⅲ (22) 城陽市が緑化を推進するために実施している施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○印をつけてください。

図3-28 市の緑化推進の施策で知っているもの



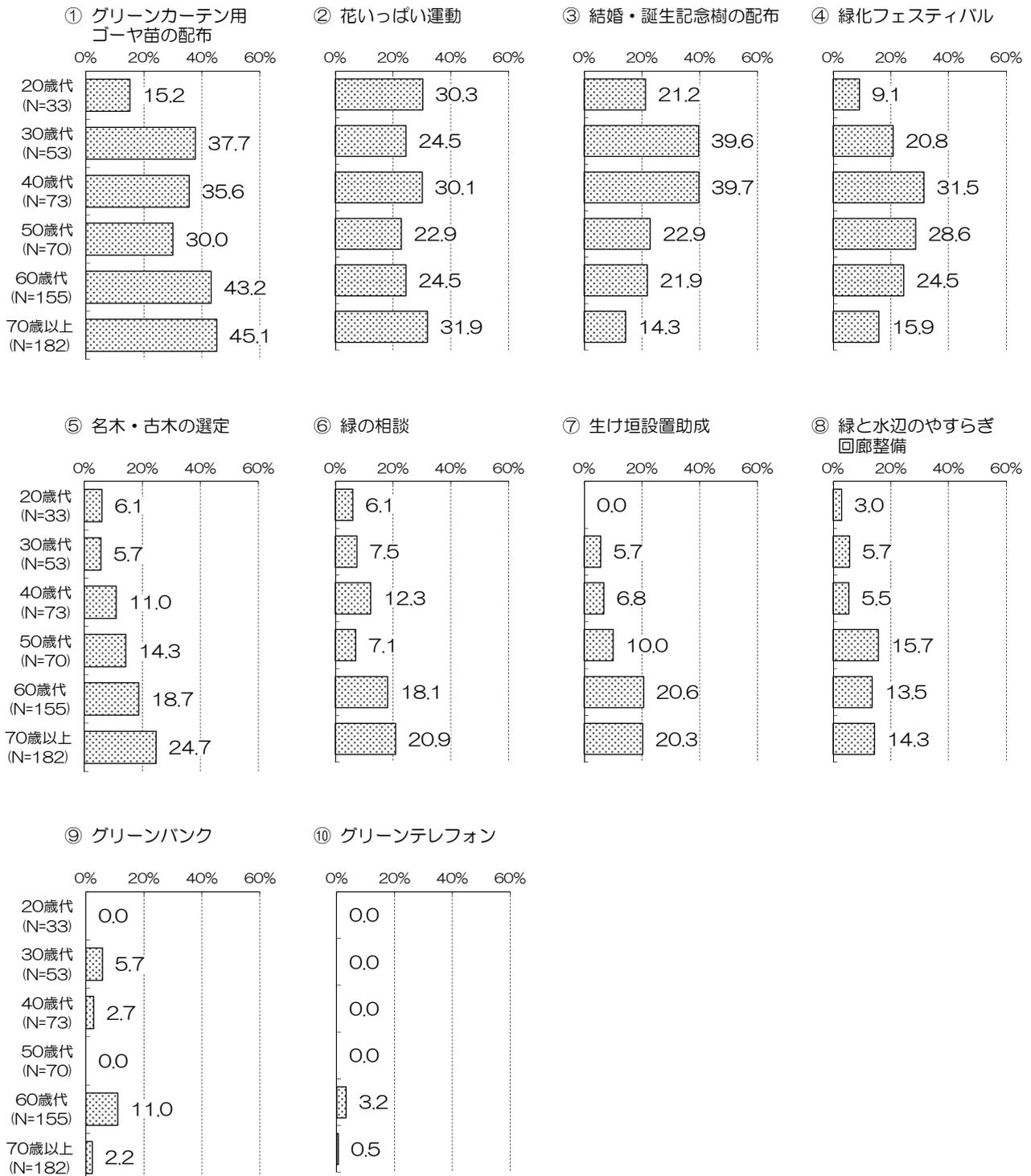
市の緑化推進の施策で知っているものについては、「①グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布」が38.9% (224件) と最も高く、次いで、「②花いっぱい運動」が28.0% (161件)、「③結婚・誕生記念樹の配布」が23.4% (135件)、「④緑化フェスティバル」が21.9% (126件) となっています。(図3-28)

図3-28-1 男女別 市の緑化推進の施策で知っているもの



男女別にみると、「⑤名木・古木の選定」以外の項目は女性の方が高く、「①グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布」で20.8ポイント、「②花いっぱい運動」で15.9ポイント、「③結婚・誕生記念樹の配布」で13.6ポイント高くなっています。(図3-28-1)

図3-28-2 年齢別 市の緑化推進の施策で知っているもの

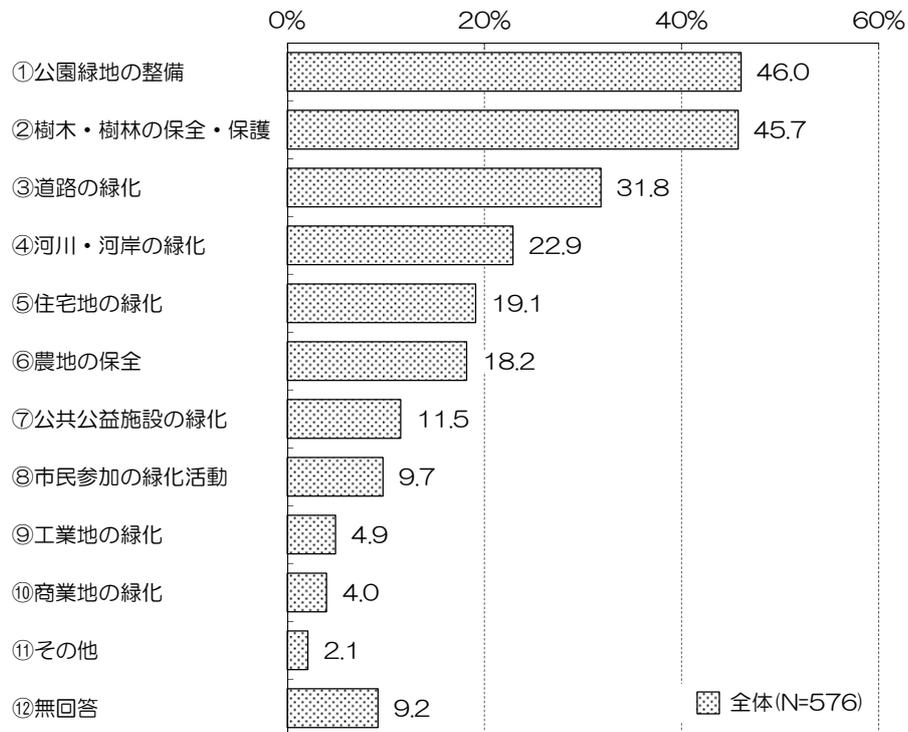


年齢別にみると、20歳代は「②花いっぱい運動」以外の項目は全体より認知度が低くなっています。30歳代、40歳代では、「③結婚・誕生記念樹の配布」が最も高く約4割となっています。50歳以上の年代では、「①グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布」が最も高くなっています。(図3-28-2)

(29) 市の緑化推進のために必要だと思うもの

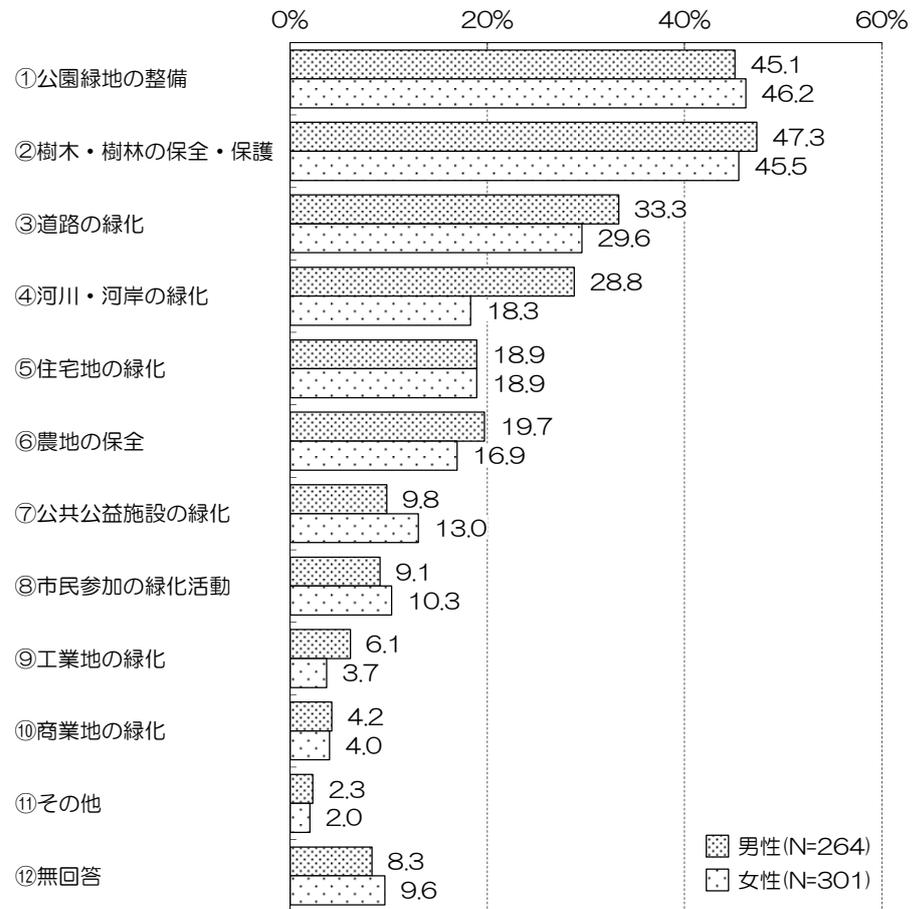
Ⅲ (23) 今後、城陽市が一層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われますか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

図3-29 市の緑化推進のために必要だと思うもの



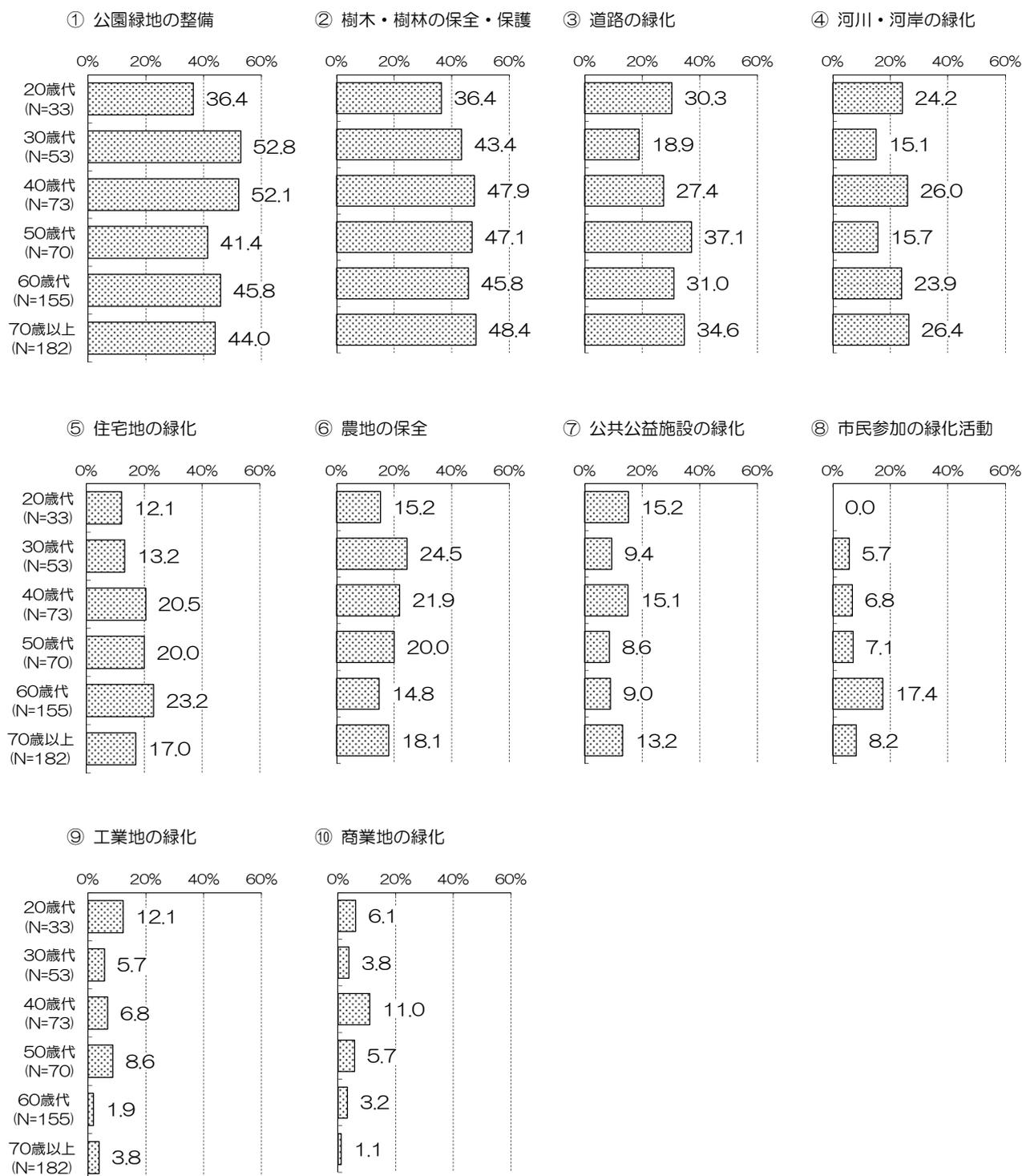
市の緑化推進のために必要だと思うものについては、「①公園緑地の整備」が46.0% (265件) と最も高く、僅差で「②樹木・樹林の保全・保護」が45.7% (263件) となっており、次いで、「③道路の緑化」が31.8% (183件)、「④河川・河岸の緑化」が22.9% (132件)、「⑤住宅地の緑化」が19.1% (110件)、「⑥農地の保全」が18.2% (105件) となっています。(図3-29)

図3-29-1 男女別 市の緑化推進のために必要だと思うもの



男女別にみると、「④河川・河岸の緑化」は男性で28.8%（76件）となっており、女性より10.5ポイント高くなっています。また、「③道路の緑化」も男性の方が3.7ポイント高くなっています。「⑦公共公益施設の緑化」については、女性の方が男性よりも3.2ポイント高くなっています。（図3-29-1）

図3-29-2 年齢別 市の緑化推進のために必要だと思うもの

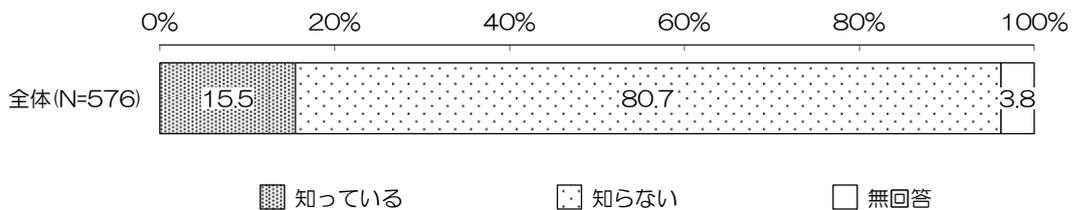


年齢別にみると、30歳代と40歳代では、「①公園緑地の整備」の割合が5割を超えて高くなっています。60歳代では「⑧市民参加の緑化活動」が17.4%（27件）と他の年代よりも高くなっています。（図3-29-2）

(30) 「城陽市空き家バンク制度」の認知度

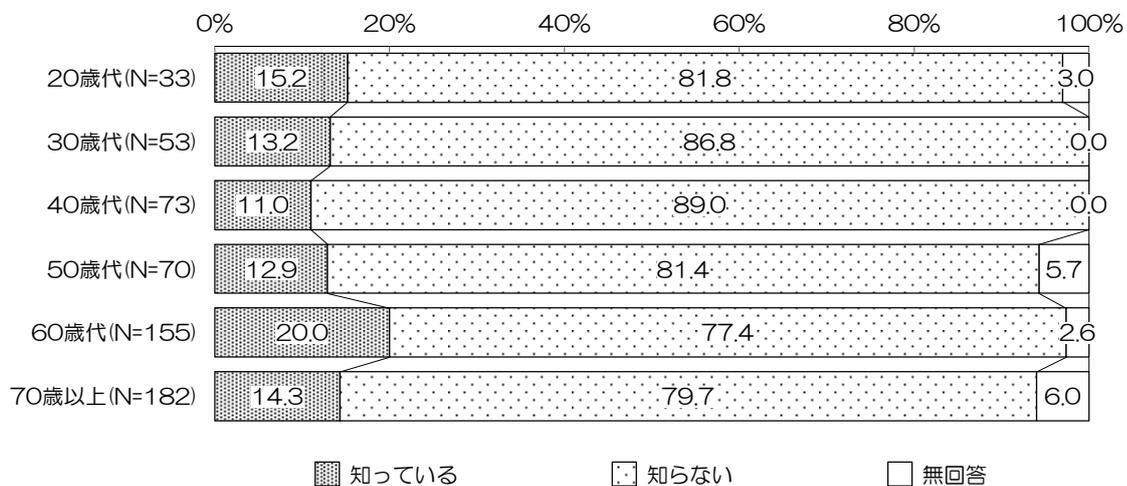
Ⅲ (24) 城陽市と京都府宅地建物取引業協会が連携し、市の人口増加、人口流出の抑制を目的として、「城陽市空き家バンク制度」に取り組んでいます。あなたはこの制度をご存知ですか。

図3-30 「城陽市空き家バンク制度」の認知度



「城陽市空き家バンク制度」の認知度については、「知っている」は15.5% (89件) にとどまり、「知らない」が80.7% (465件) を占めています。(図3-30)

図3-30-1 年齢別 「城陽市空き家バンク制度」の認知度

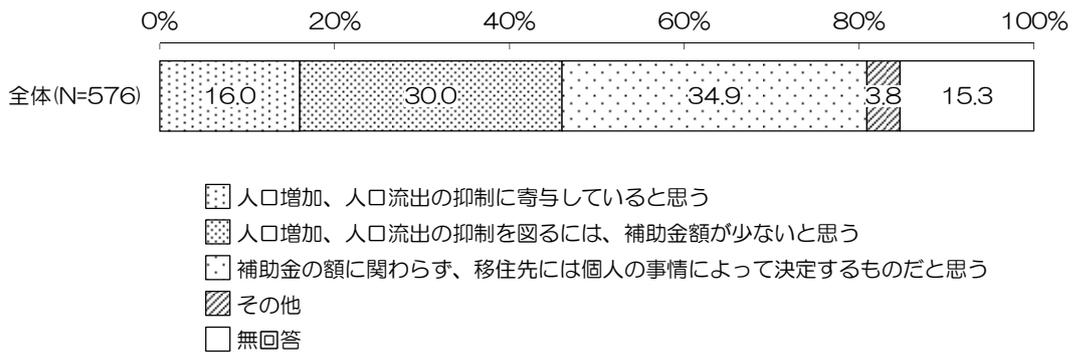


年齢別にみると、「知っている」の割合は60歳代で20.0% (31件) とやや高くなっています。(図3-30-1)

(31) 「城陽市空き家バンク制度」について

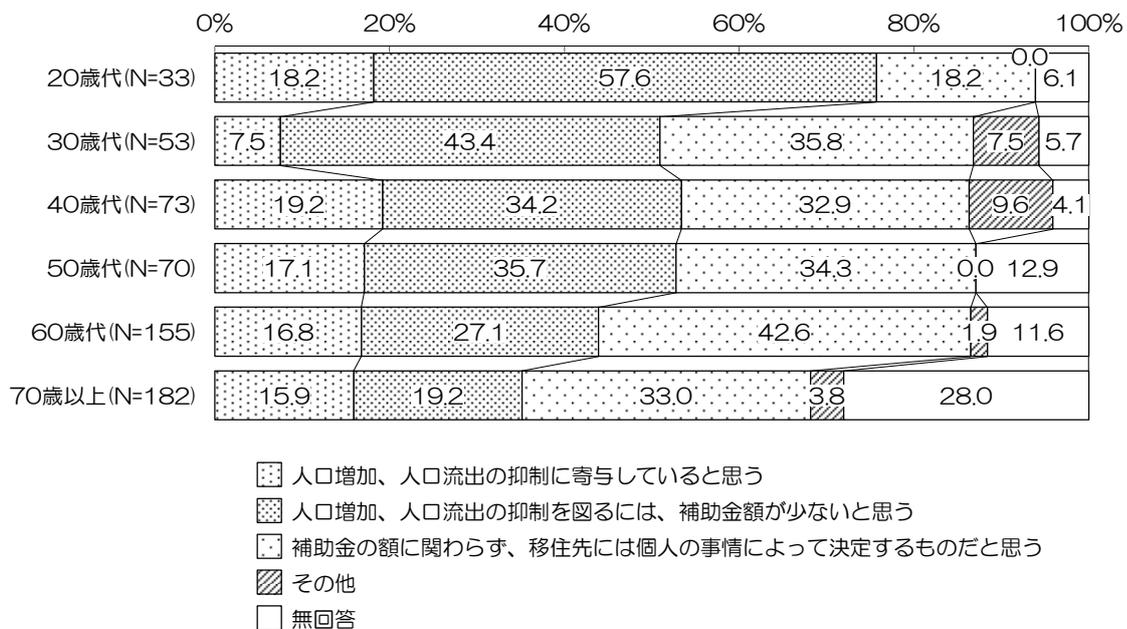
Ⅲ (25) この「城陽市空き家バンク制度」は、空き家バンクに登録された市内の物件を購入された場合最大10万円を、賃借された場合最大1万円（1回限り）の補助金を交付させていただくものですが、この制度についてどう思われますか。あなたのご意見に近いもの1つに○印をつけてください。

図3-31 「城陽市空き家バンク制度」について



「城陽市空き家バンク制度」への考えについては、「補助金の額に関わらず、移住先には個人の事情によって決定するものだと思う」が34.9%（201件）と高く、次いで、「人口増加、人口流出の抑制を図るには、補助金額が少ないと思う」が30.0%（173件）となっており、「人口増加、人口流出の抑制に寄与していると思う」は16.0%（92件）となっています。（図3-31）

図3-31-1 年齢別 「城陽市空き家バンク制度」について

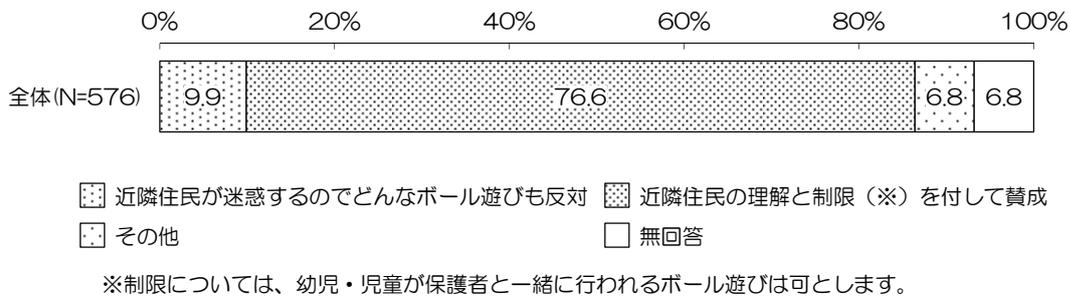


年齢別にみると、20歳代では、「人口増加、人口流出の抑制を図るには、補助金額が少ないと思う」が57.6%（19件）を占めています。30歳代でも、「人口増加、人口流出の抑制を図るには、補助金額が少ないと思う」が43.4%（23件）と高くなっており、「人口増加、人口流出の抑制に寄与していると思う」が7.5%（4件）と低くなっています。（図3-31-1）

(32) 公園におけるボール遊びについて

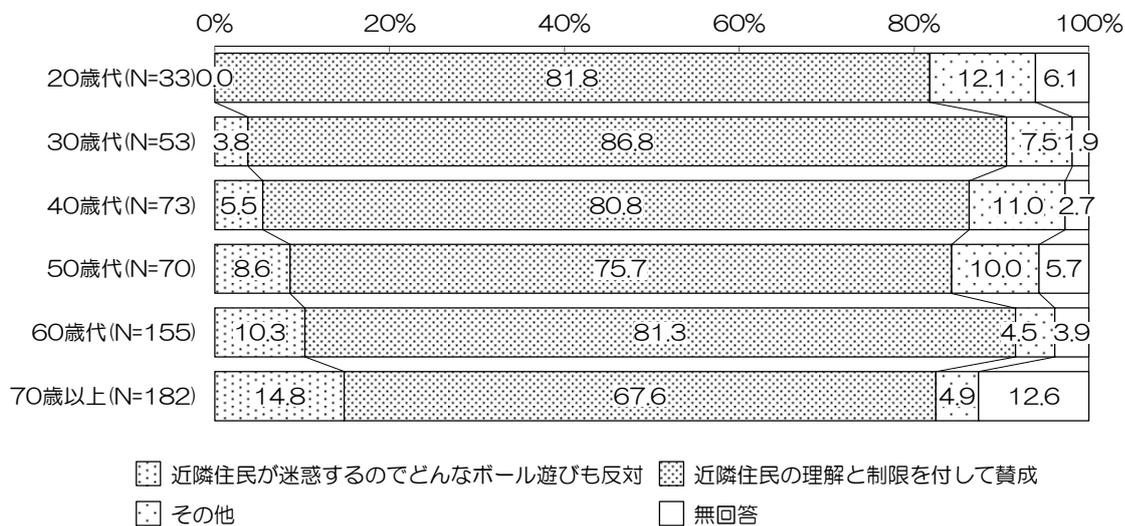
Ⅲ (26) 街区公園（児童公園・幼児公園）の現在の施設状況でのボール遊びについて、
どう思われますか。あなたのご意見に近いもの1つに〇印をつけてください。

図3-32 公園におけるボール遊びについて



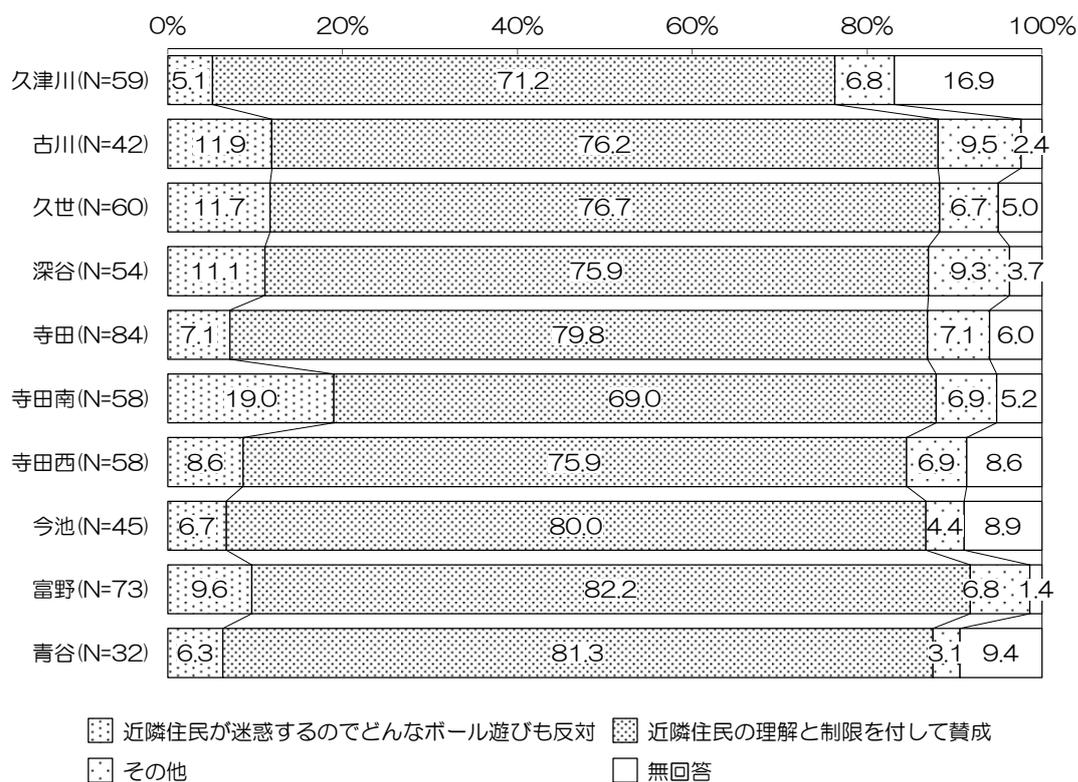
公園におけるボール遊びについては、「近隣住民の理解と制限を付して賛成」が76.6%（441件）を占め、「近隣住民が迷惑するのでどんなボール遊びも反対」は9.9%（57件）となっています。（図3-32）

図3-32-1 年齢別 公園におけるボール遊びについて



年齢別にみると、いずれの年代でも「近隣住民の理解と制限を付して賛成」が多数を占めていますが、年代が高くなるにつれて「近隣住民が迷惑するのでどんなボール遊びも反対」の割合がやや高くなっています。（図3-32-1）

図3-32-2 居住小学校区別 公園におけるボール遊びについて

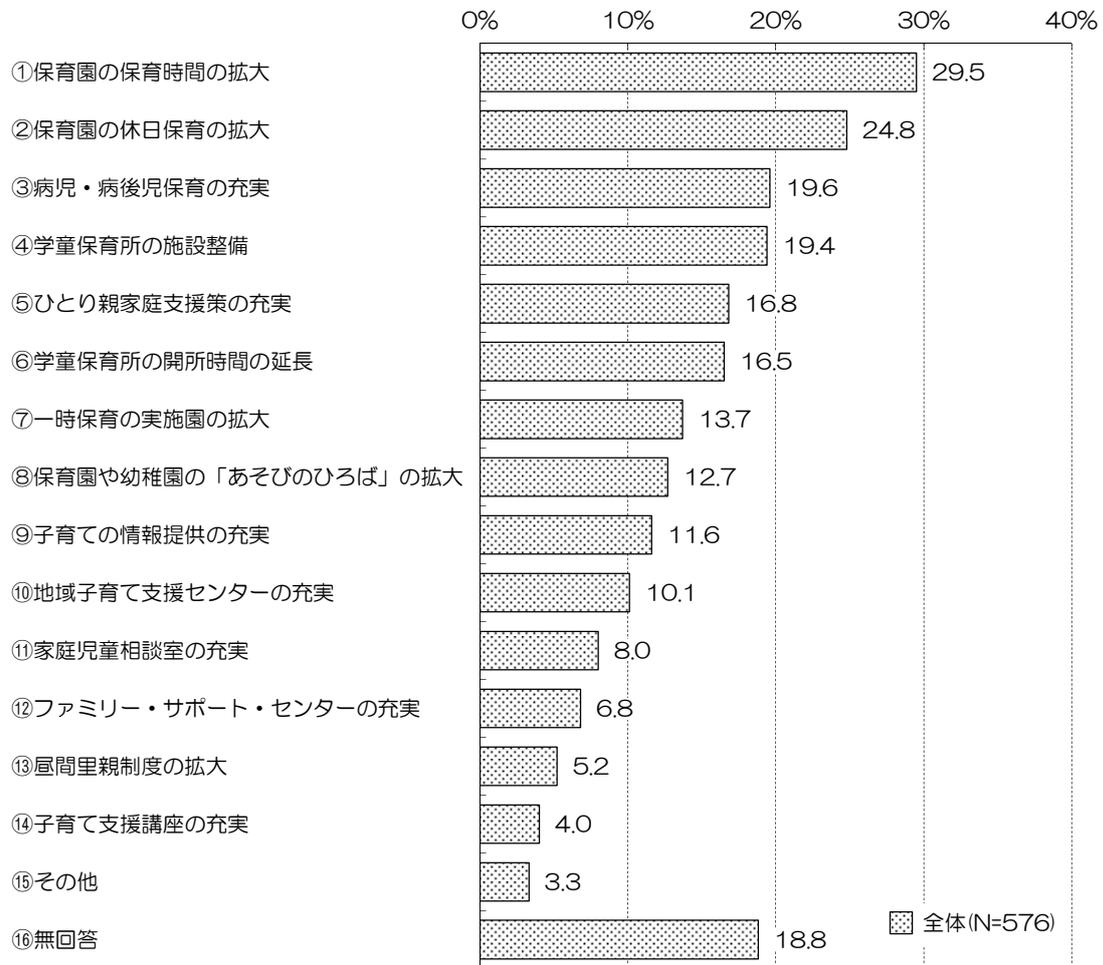


居住小学校区別にみると、寺田南では「近隣住民が迷惑するのでどんなボール遊びも反対」が19.0%（11件）となっており、他の小学校区と比較してやや高くなっています。（図3-32-2）

(33) 子育て支援充実のために必要だと思う施策

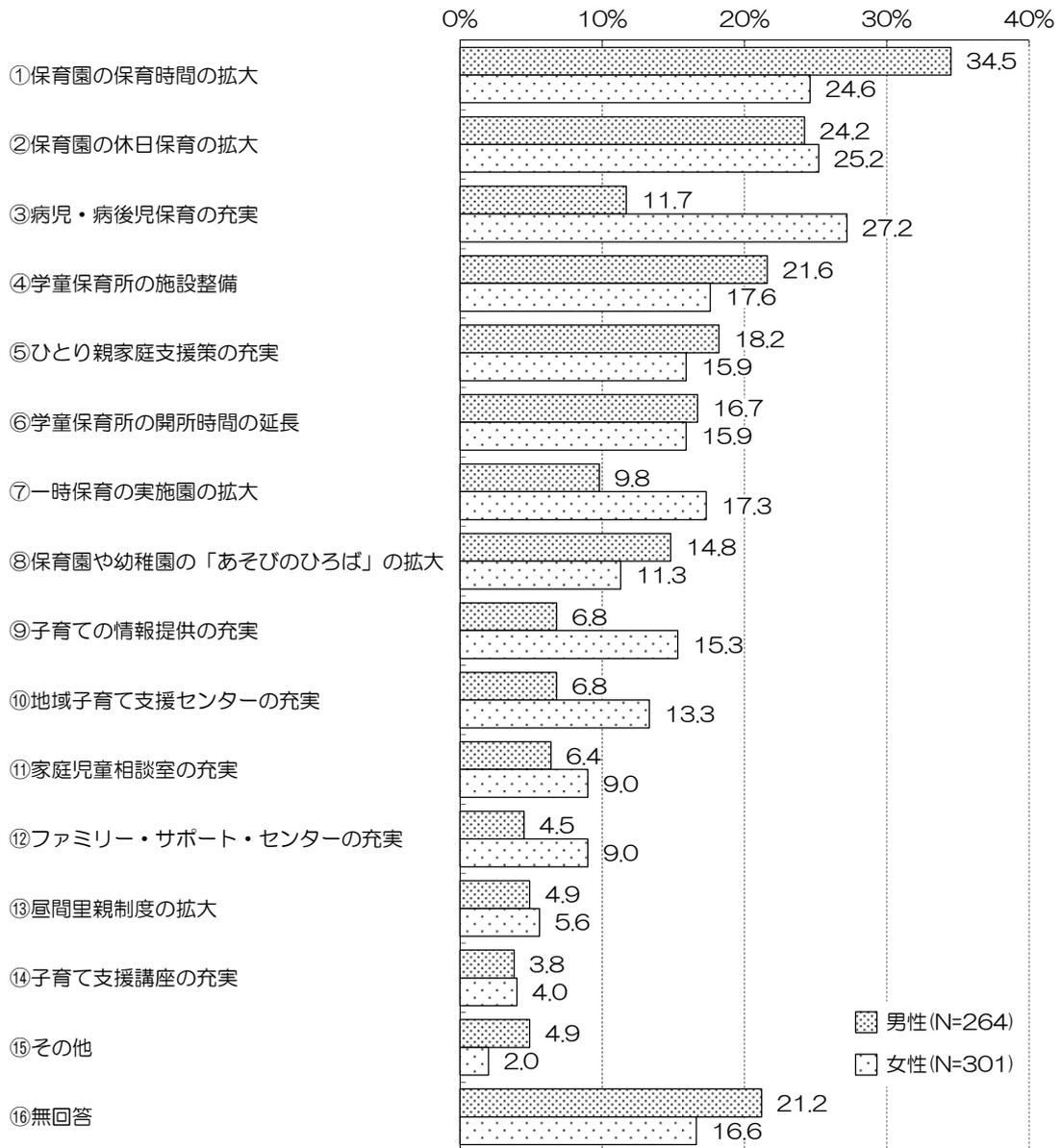
Ⅲ (27) 子育て支援の充実のためには、城陽市では今後特にどんな施策が必要だと思いますか。3つ以内で○印をつけてください。

図3-33 子育て支援充実のために必要だと思う施策



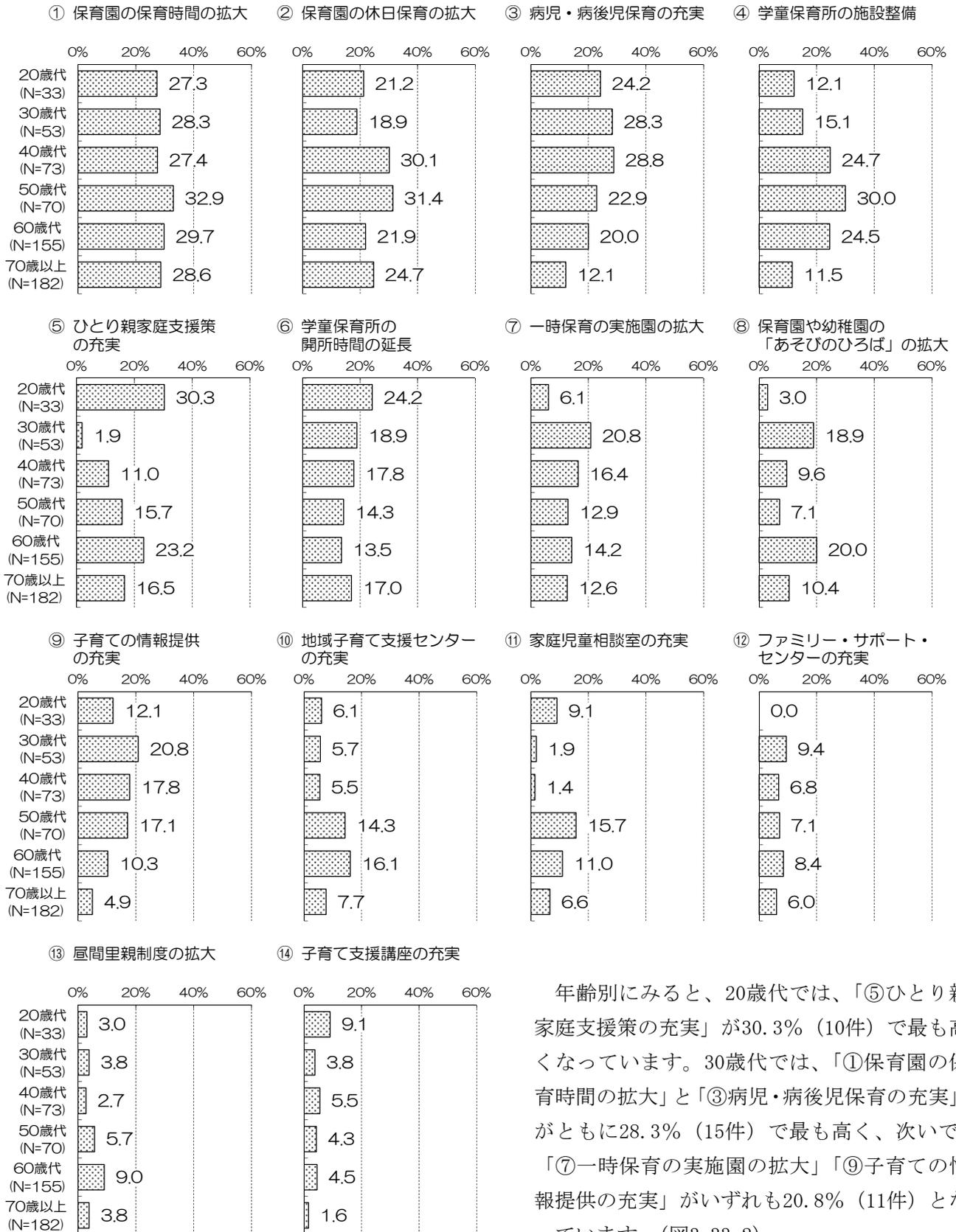
子育て支援充実のために必要だと思う施策については、「①保育園の保育時間の拡大」が29.5% (170件) と最も高く、次いで、「②保育園の休日保育の拡大」が24.8% (143件)、「③病児・病後児保育の充実」が19.6% (113件)、「④学童保育所の施設整備」が19.4% (112件) と続いています。(図3-33)

図3-33-1 男女別 子育て支援充実のために必要だと思う施策



男女別にみると、女性では、「③病児・病後児保育の充実」が27.2%（82件）で最も高く、男性（11.7%：31件）とは15.5ポイントの差がみられます。また、「⑨子育ての情報提供の充実」「⑦一時保育の実施園の拡大」も、それぞれ8.5ポイント、7.5ポイント、女性の方が高くなっています。男性では、「①保育園の保育時間の拡大」が34.5%（91件）となっており、女性よりも9.9ポイント高くなっています。（図3-33-1）

図3-33-2 年齢別 子育て支援充実のために必要だと思う施策

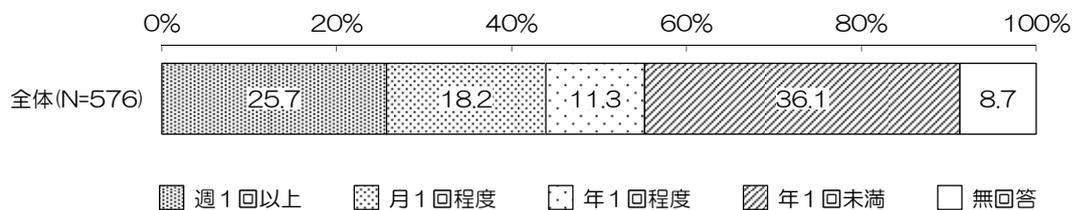


年齢別にみると、20歳代では、「⑤ひとり親家庭支援策の充実」が30.3%（10件）で最も高くなっています。30歳代では、「①保育園の保育時間の拡大」と「③病児・病後児保育の充実」がともに28.3%（15件）で最も高く、次いで、「⑦一時保育の実施園の拡大」「⑨子育ての情報提供の充実」がいずれも20.8%（11件）となっています。（図3-33-2）

(34) 商店街の利用状況

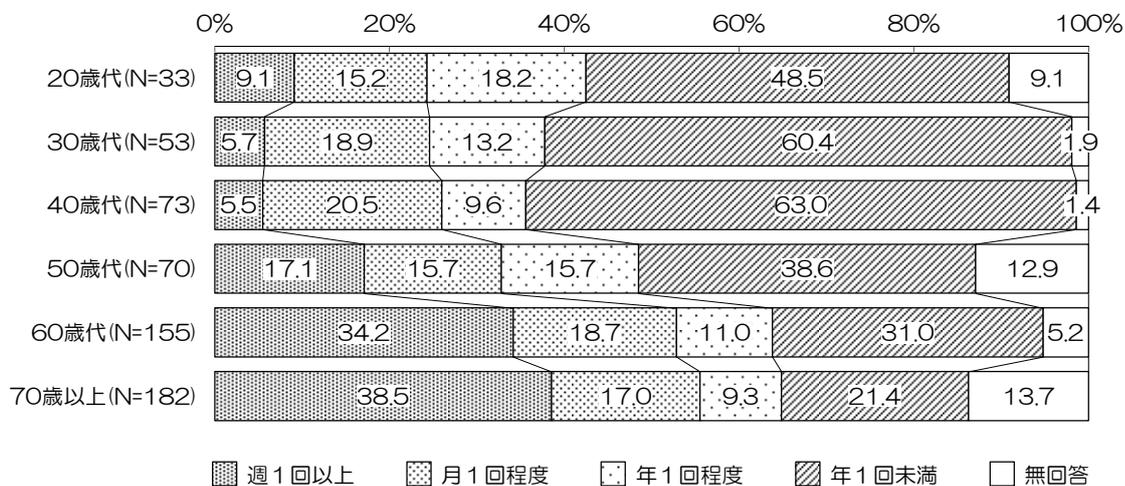
Ⅲ (28) 商店街の利用状況についてお答えください。

図3-34 商店街の利用状況



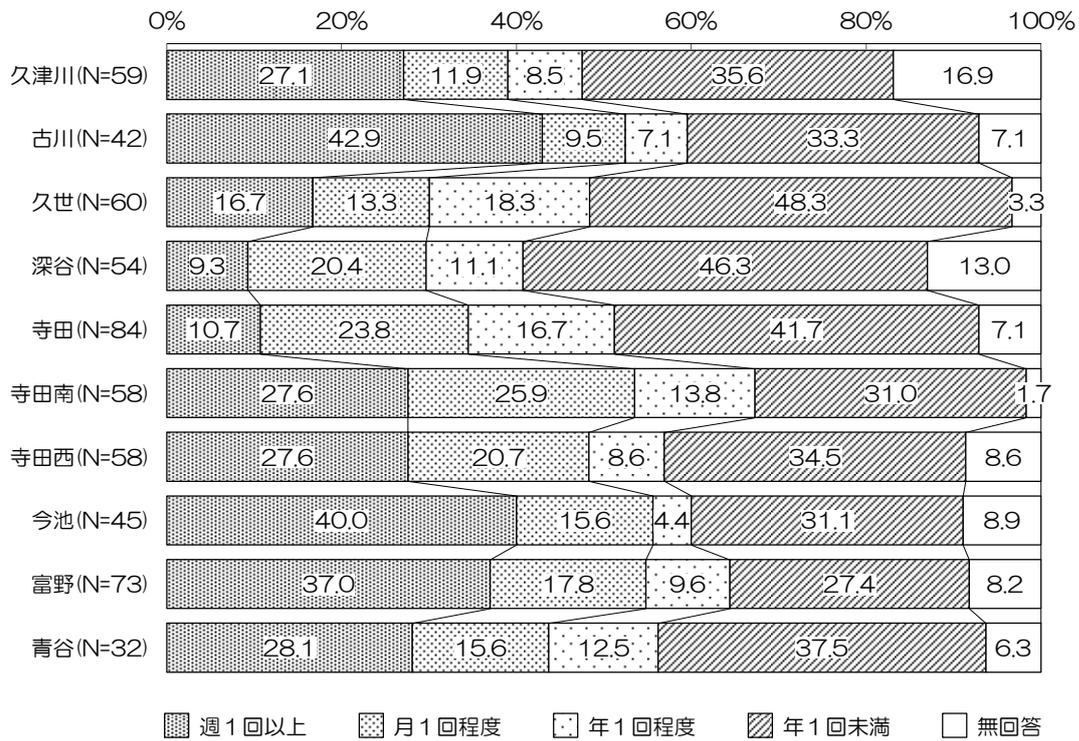
商店街の利用状況については、「年1回未満」が36.1% (208件) で最も高くなっています。「週1回以上」は25.7% (148件)、「月1回程度」は18.2% (105件)、「年1回程度」は11.3% (65件) となっており、少なくとも年1回程度利用している人の割合は、合計55.2% (318件) となっています。(図3-34)

図3-34-1 年齢別 商店街の利用状況



年齢別にみると、50歳未満の年代では、「年1回未満」の割合が高く、5割から6割前後を占めています。60歳以上の年代では、「週1回以上」が最も高く、60歳代で34.2% (53件)、70歳以上で38.5% (70件) となっています。(図3-34-1)

図3-34-2 居住小学校区別 商店街の利用状況

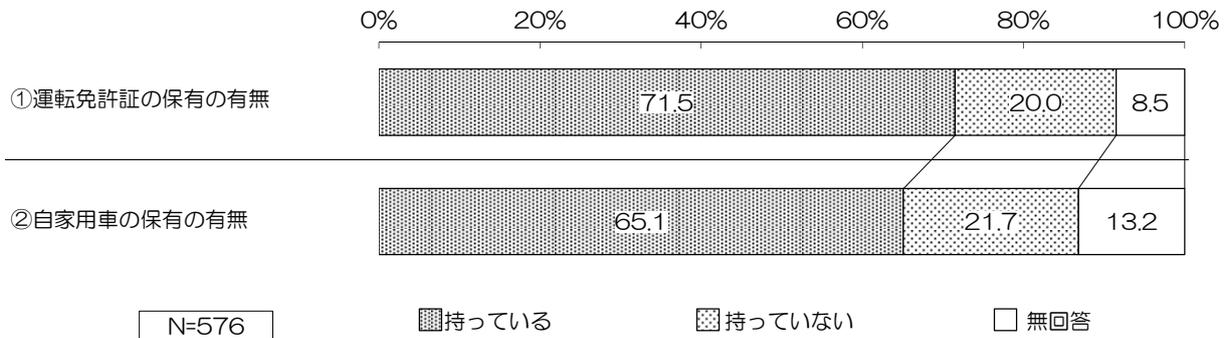


居住小学校区別にみると、古川、今池、富野では、「週1回以上」が最も高く約4割となっています。一方、久世、深谷、寺田では、「年1回未満」が4割以上となっています。(図3-34-2)

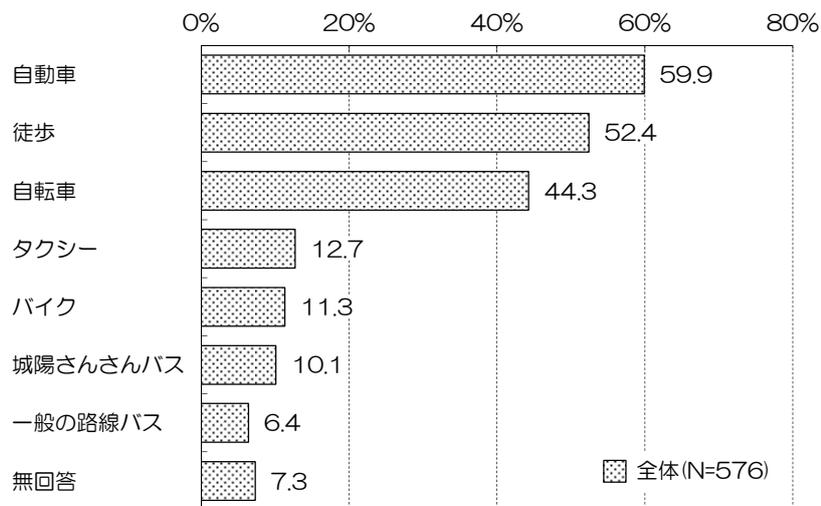
(35) 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について

Ⅲ (29) あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、自家用車をお持ちですか。いずれかに○印をつけてください。また、自宅から外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

図3-35 運転免許証、自家用車の保有の有無と外出時の交通手段について



③外出時の主な交通手段

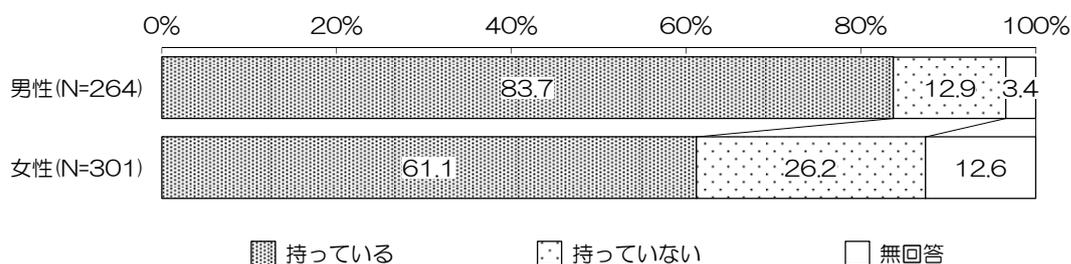


①免許証の保有の有無については、「持っている」が71.5% (412件) となっています。

②自家用車の保有の有無については、「持っている」が65.1% (375件) となっています。

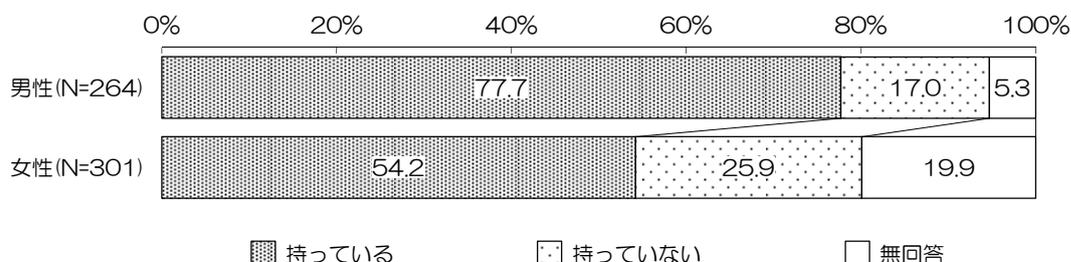
③外出時の主な交通手段については「自動車」が59.9% (345件) で最も高く、次いで、「徒歩」が52.4% (302件)、「自転車」が44.3% (255件) と続いています。(図3-35)

図3-35-1 男女別 運転免許証の有無



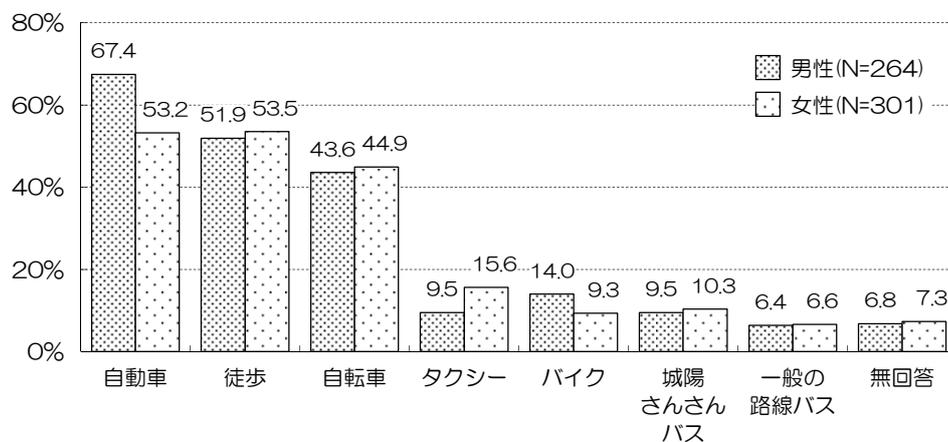
男女別にみると、男性が「持っている」割合は83.7% (221件) と、女性の61.1% (184件) に対して22.6ポイント高くなっています。(図3-35-1)

図3-35-2 男女別 自家用車の保有の有無



男女別にみると、男性が「持っている」割合は77.7% (205件) と、女性の54.2% (163件) に対して23.5ポイント高くなっています。(図3-35-2)

図3-35-3 男女別 外出時の交通手段について

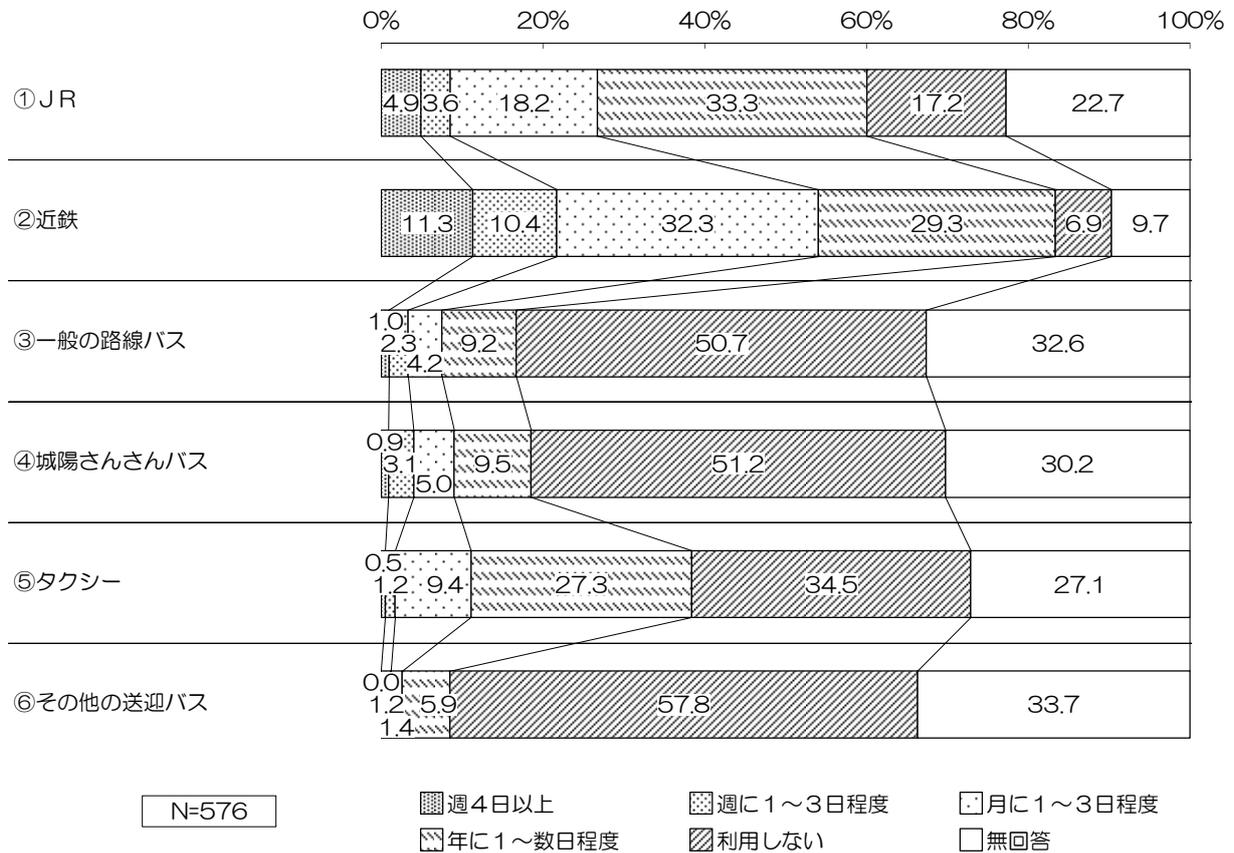


男女別にみると、男性では、「自動車」が67.4% (178件) と高く、女性では、「徒歩」(53.5% : 161件) が「自動車」(53.2% : 160件) をわずかに上回り、最も割合が高い項目となっています。また、「自動車」の割合は男性が女性よりも14.2ポイント高くなっており、「バイク」の割合も男性が女性より4.7ポイント高くなっています。「タクシー」の割合は女性の方が男性よりも6.1ポイント高くなっています。(図3-35-3)

(36) 公共交通機関の利用頻度

Ⅲ (30) 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまる番号に○印を付けてください。

図3-36 公共交通機関の利用頻度



「②近鉄」の利用頻度は、「週4日以上」が11.3% (65件)、「週に1~3日程度」が10.4% (60件)、「月に1~3日程度」が32.3% (186件) となっており、少なくとも月1回以上利用する人が合計54.0% (311件) を占め、「利用しない」は1割未満となっています。

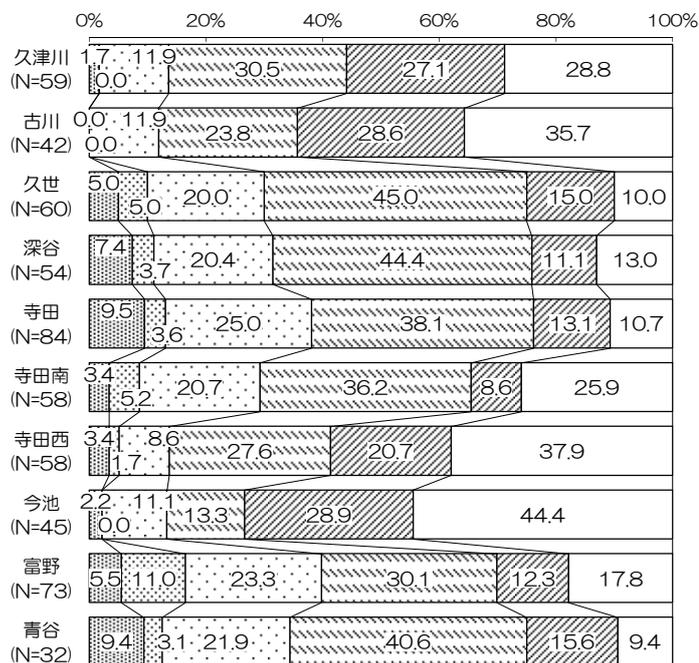
「①JR」の利用頻度は、「年に1~数日程度」が33.3% (192件) と最も高く、少なくとも月1回以上利用する人は合計26.7% (154件) となっています。

「⑤タクシー」の利用頻度は、「利用しない」が34.5% (199件) で最も高く、次いで、「年に1~数日程度」が27.3% (157件) となっています。

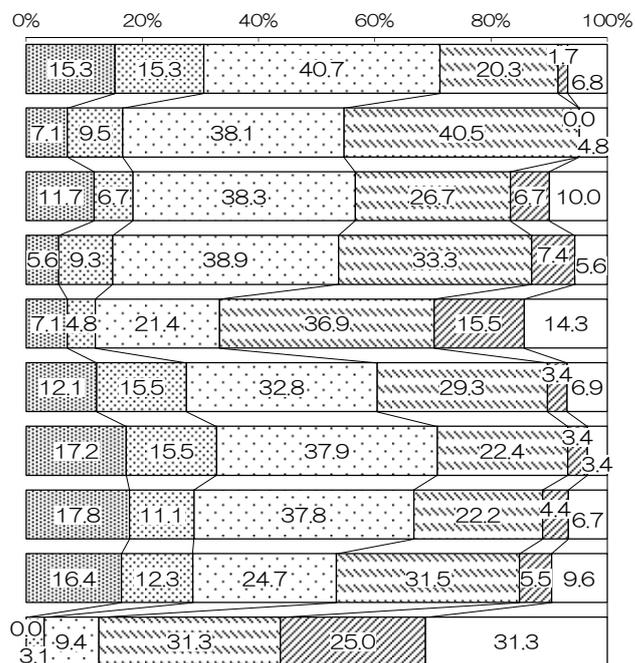
「③一般の路線バス」、「④城陽さんさんバス」、「⑥その他の送迎バス」の利用頻度は、いずれも「利用しない」が5割を超えています。(図3-36)

図3-36-1 居住小学校区別 公共交通機関の利用頻度

①JR

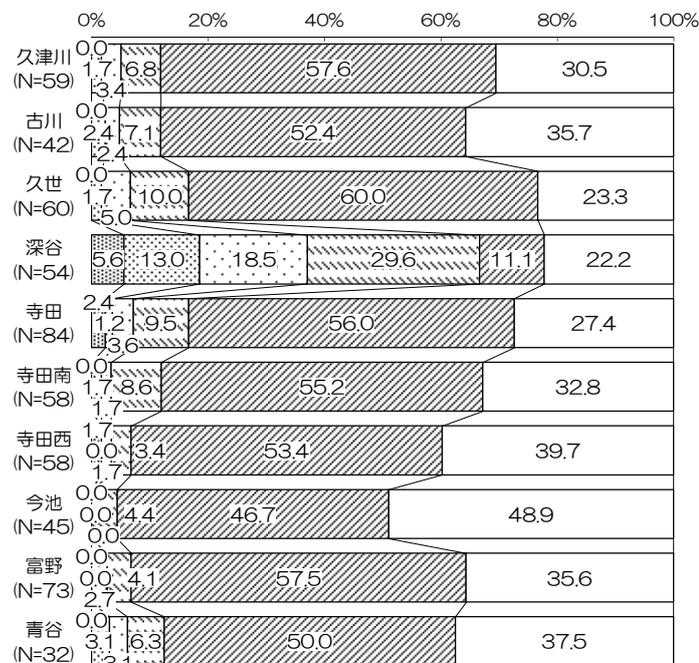


②近鉄

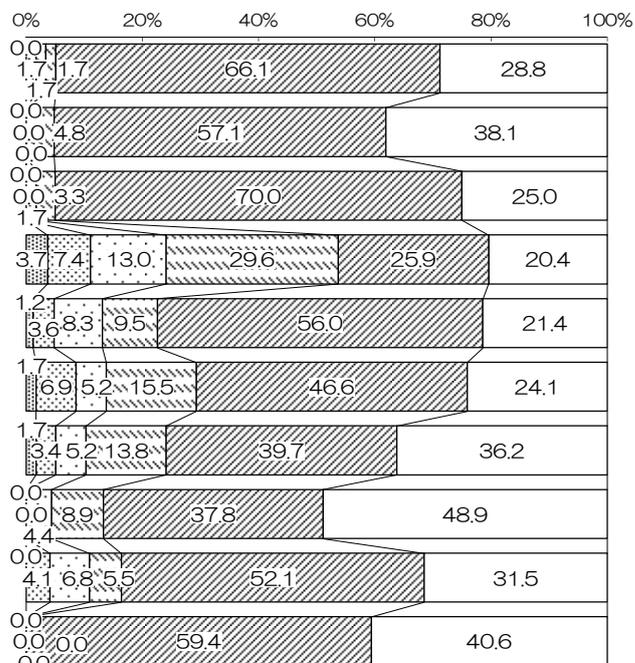


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

③一般の路線バス

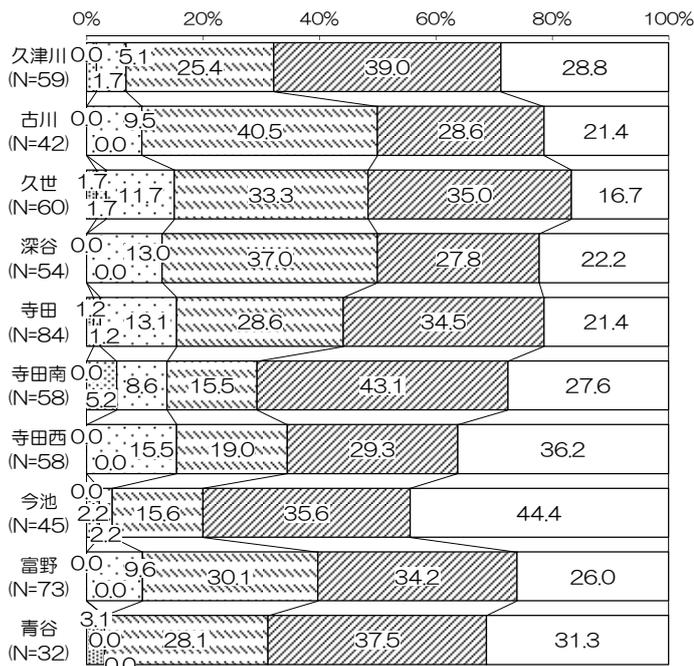


④城陽さんさんバス

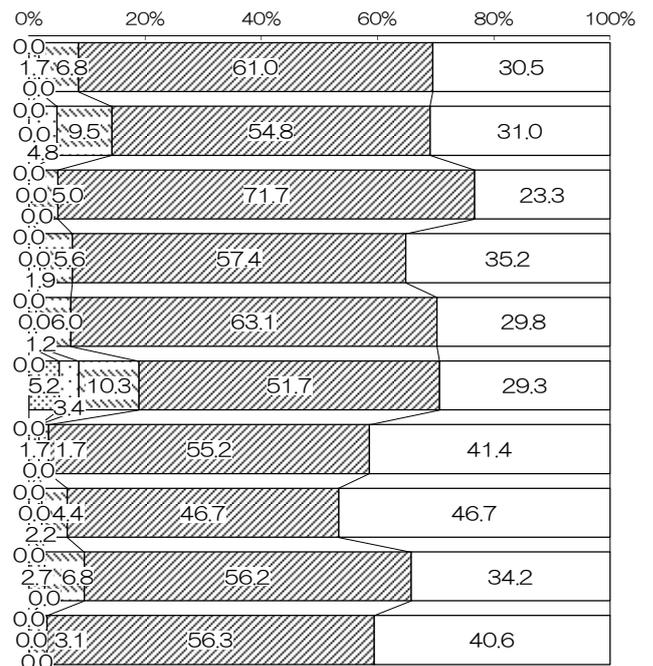


■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

⑤タクシー



⑥その他の送迎バス



■ 週4日以上 ■ 週に1~3日程度 ■ 月に1~3日程度 ■ 年に1~数日程度 ■ 利用しない □ 無回答

居住小学校区別にみると、①JRについては、久世、深谷、寺田、寺田南、富野、青谷の各校区で利用頻度が高くなっています。

②近鉄については、寺田と青谷で「利用しない」の割合がやや高くなっています。

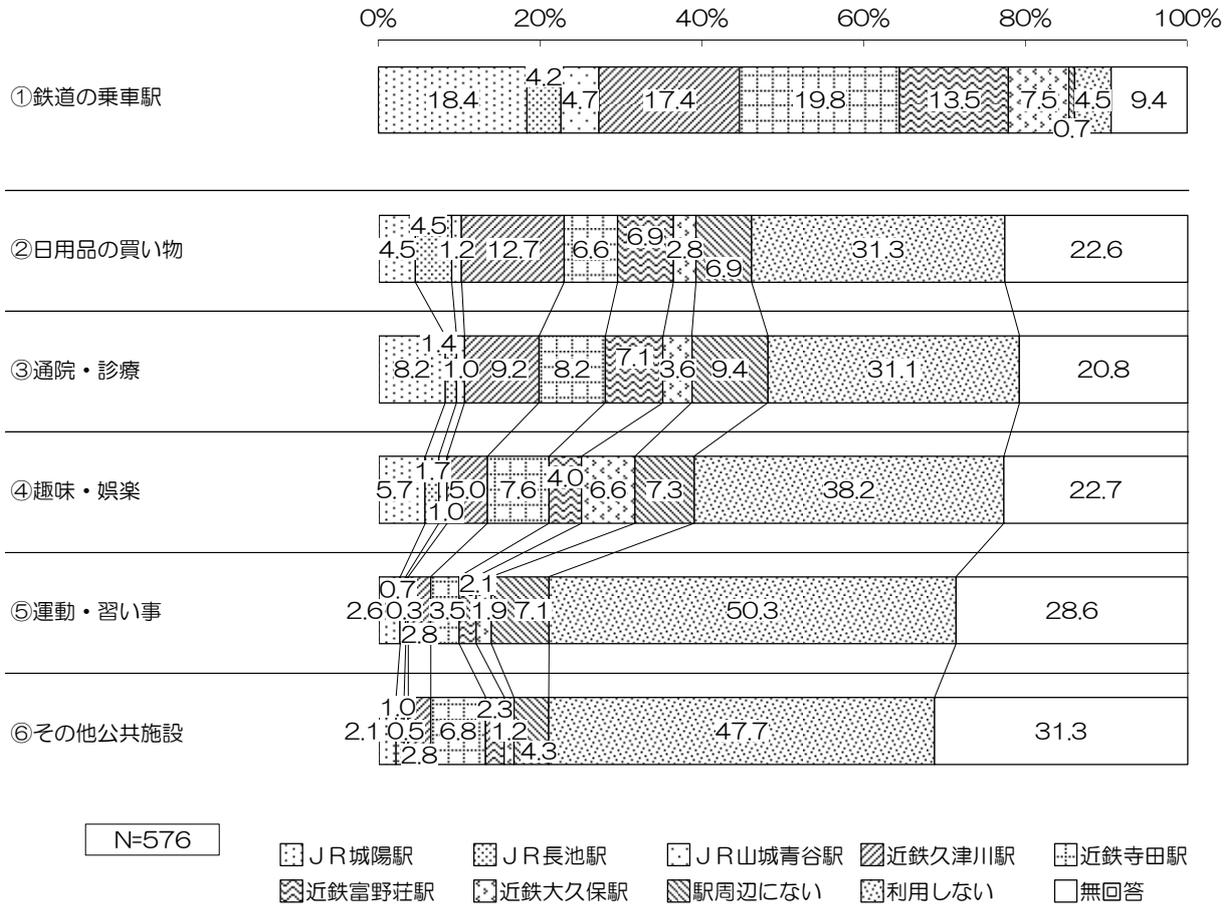
③一般の路線バスと、④城陽さんさんバスについては、深谷の利用頻度が群を抜いて高くなっています。

⑤タクシーについては、古川と深谷では、「年に1~数日程度」、他の小学校区では、「利用しない」の割合が最も高くなっています。(図3-36-1)

(37) 生活の中でよく利用する駅について

Ⅲ (31) 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。またよく利用する施設や外出先はどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごとにお答えください。

図3-37 生活の中でよく利用する駅について

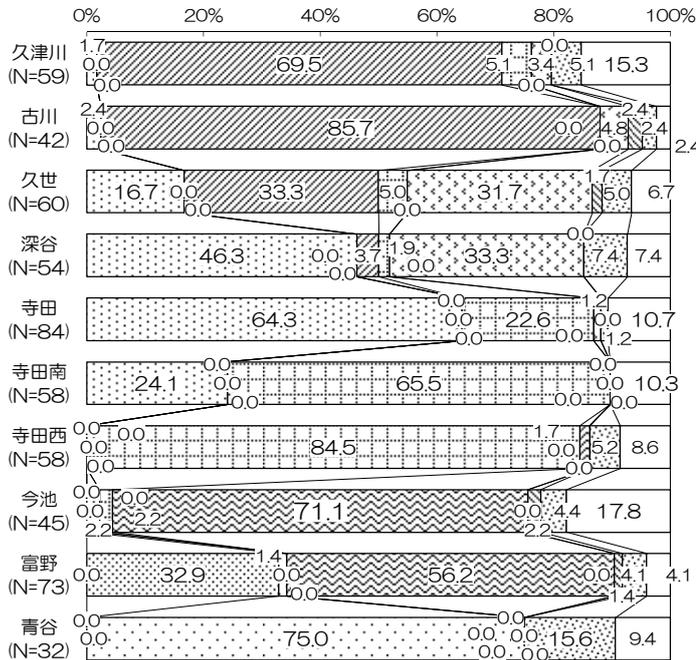


「鉄道の乗車駅」については、「近鉄寺田駅」が19.8%（114件）で最も高くなっています。次いで、「JR城陽駅」が18.4%（106件）、「近鉄久津川駅」が17.4%（100件）、「近鉄富野荘駅」が13.5%（78件）の順となっています。

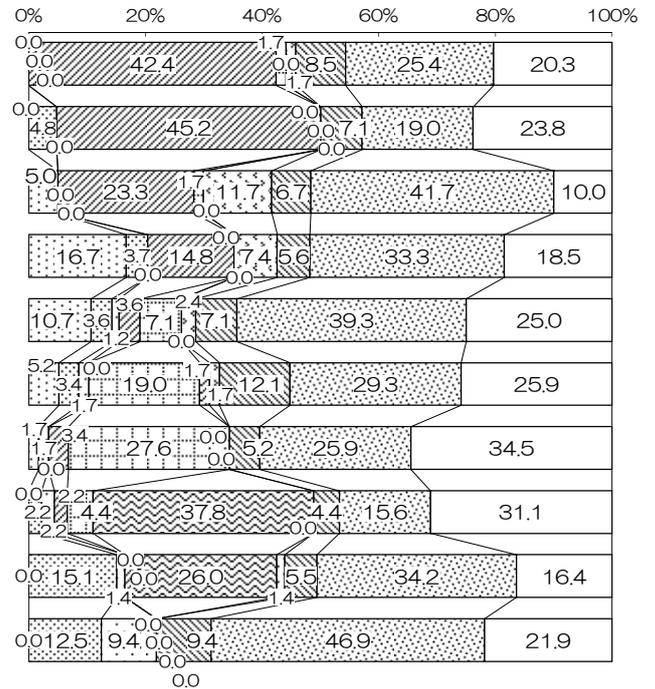
また、目的ごとによく利用する駅は、「日用品の買い物」については「近鉄久津川駅」が12.7%（73件）、「その他公共施設」については「近鉄寺田駅」が6.8%（39件）と最も高くなっています。（図3-37）

図3-37-1 居住小学校区別 生活の中でよく利用する駅について

①鉄道の乗車駅

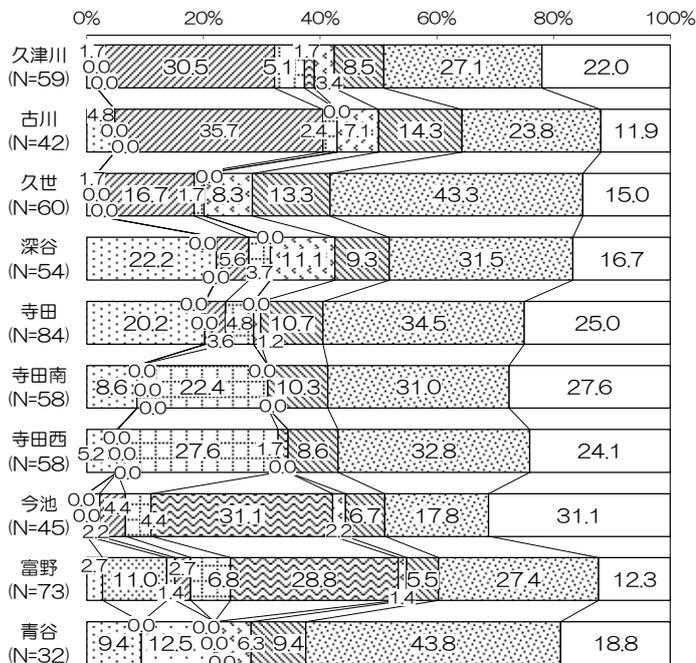


②日用品の買い物

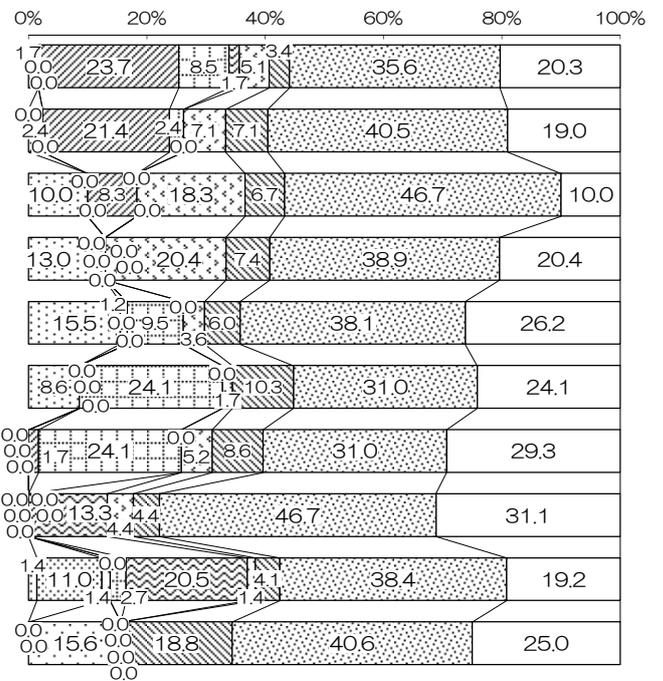


JR城陽駅
 JR長池駅
 JR山城青谷駅
 近鉄久津川駅
 近鉄寺田駅
 近鉄富野荘駅
 近鉄大久保駅
 駅周辺にない
 利用しない
 無回答

③通院・診療

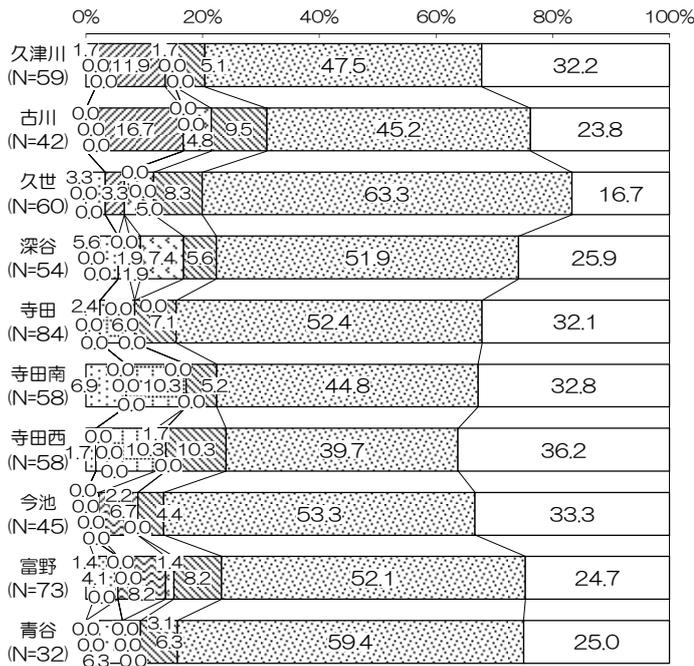


④趣味・娯楽

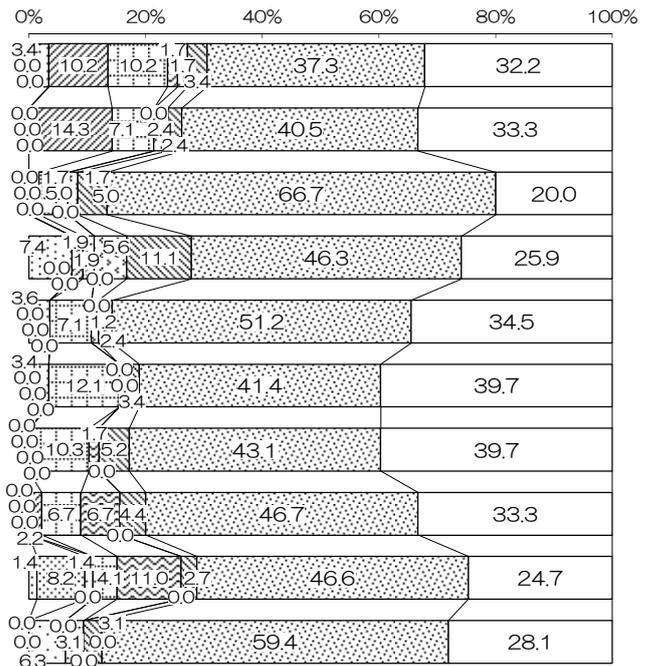


JR城陽駅
 JR長池駅
 JR山城青谷駅
 近鉄久津川駅
 近鉄寺田駅
 近鉄富野荘駅
 近鉄大久保駅
 駅周辺にない
 利用しない
 無回答

⑤運動・習い事



⑥その他公共施設



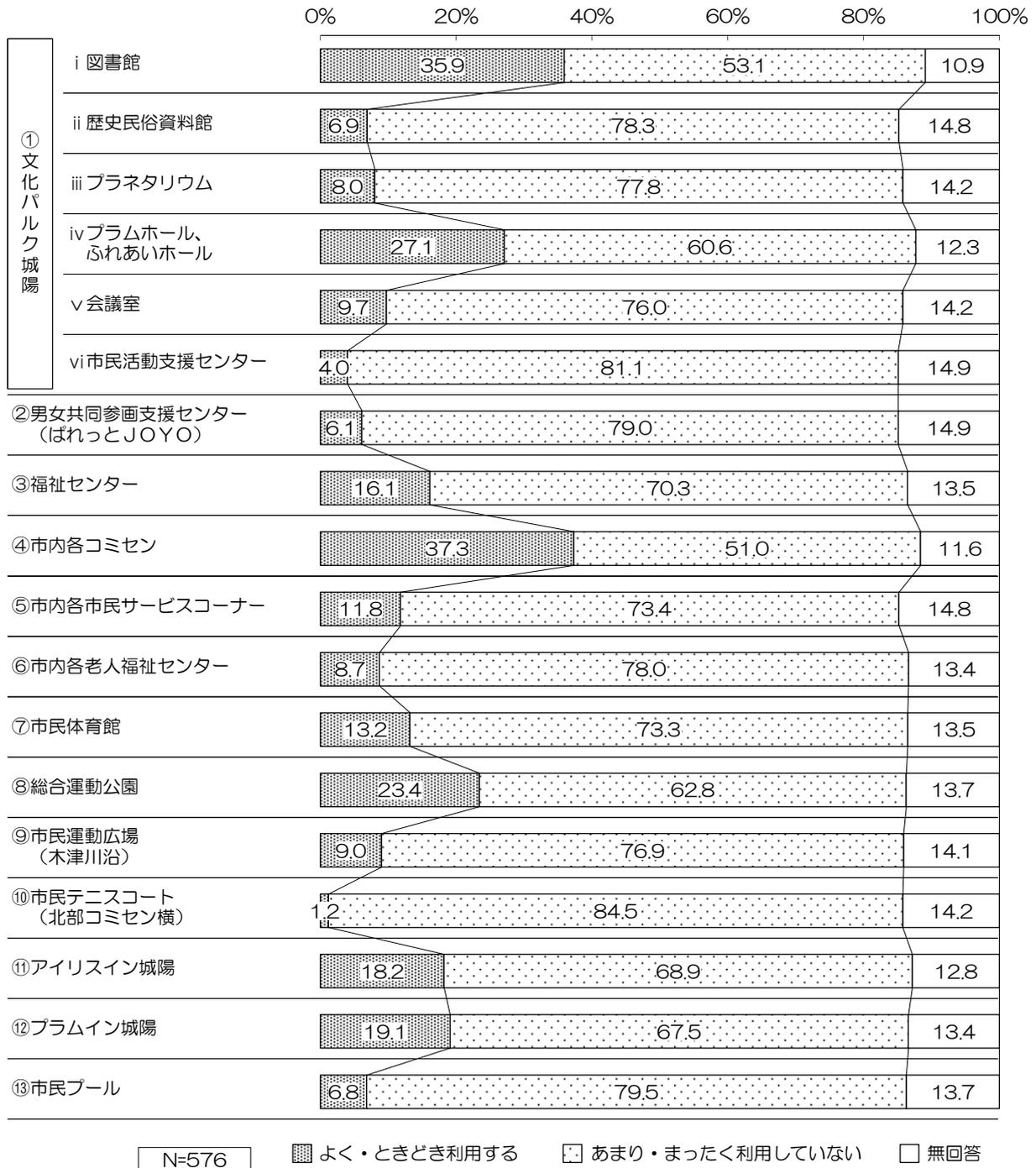
- JR城陽駅
- JR長池駅
- JR山城青谷駅
- 近鉄久津川駅
- 近鉄寺田駅
- 近鉄富野荘駅
- 近鉄大久保駅
- 駅周辺にない
- 利用しない
- 無回答

居住小学校区別にみると、「鉄道の乗車駅」については、久津川、古川では「近鉄久津川駅」がそれぞれ69.5% (41件)、85.7% (36件) と高くなっています。久世では「近鉄久津川駅」が33.3% (20件)、「近鉄大久保駅」が31.7% (19件) となっています。深谷、寺田では「JR城陽駅」が最も高く、それぞれ46.3% (25件)、64.3% (54件) となっています。寺田南、寺田西では「近鉄寺田駅」がそれぞれ65.5% (38件)、84.5% (49件) となっています。今池、富野では「近鉄富野荘駅」がそれぞれ71.1% (32件)、56.2% (41件) であり、青谷では「JR山城青谷駅」が75.0% (24件) を占めています。(図3-37-1)

(38) 市内の各種公共施設の利用状況

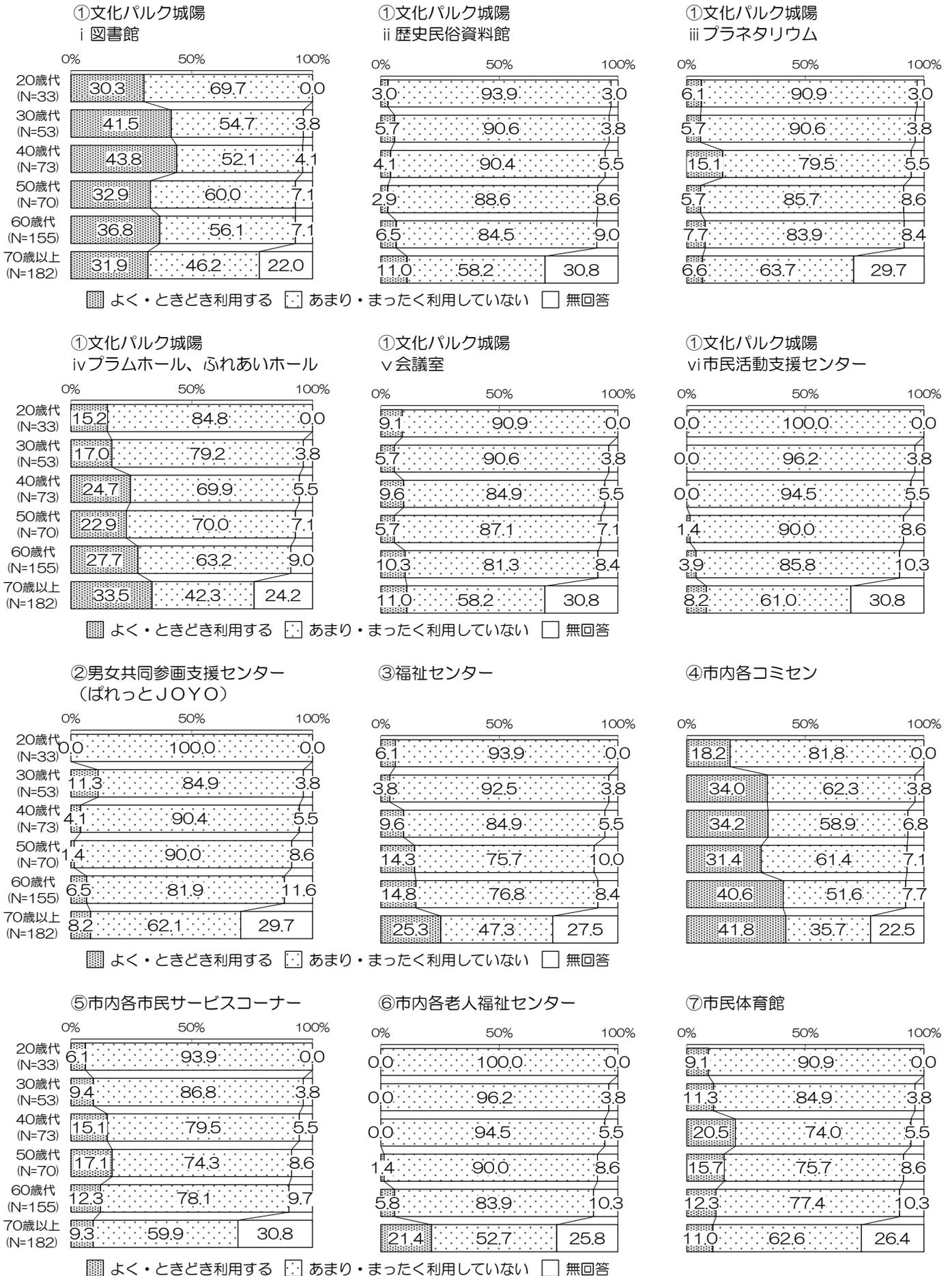
Ⅲ (32) 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用されていますか。それぞれの施設ごとにお答えください。

図3-38 市内の各種公共施設の利用状況

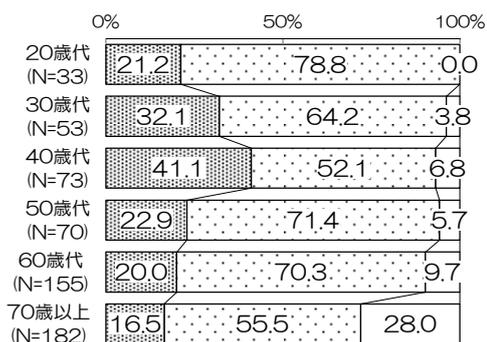


市内の各種公共施設の利用状況について、「よく・ときどき利用する」の割合が高い施設は、「④市内各コミセン」の37.3% (215件)、「①文化パルク城陽 i 図書館」の35.9% (207件)、「①文化パルク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール」の27.1% (156件)、「⑧総合運動公園」の23.4% (135件)となっています。(図3-38)

図3-38-1 年齢別 市内の各種公共施設の利用状況

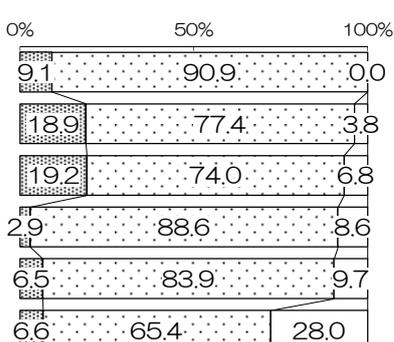


⑧総合運動公園

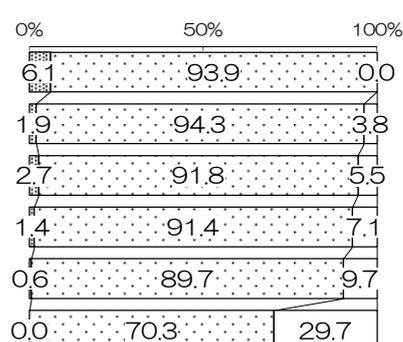


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

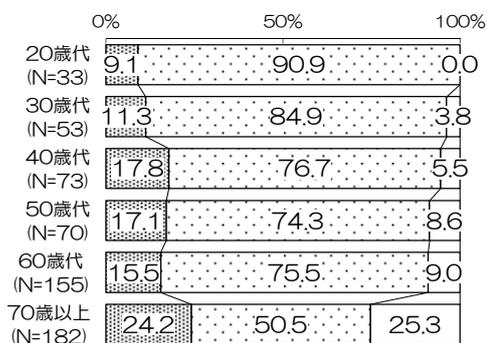
⑨市民運動広場（木津川沿）



⑩市民テニスコート
（北部コミセン横）

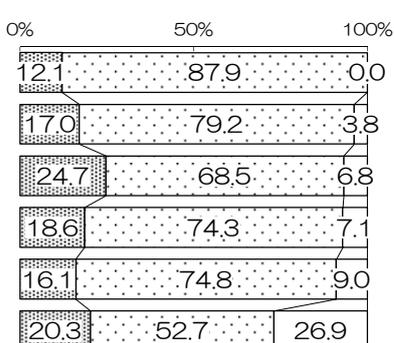


⑪アイリスイン城陽

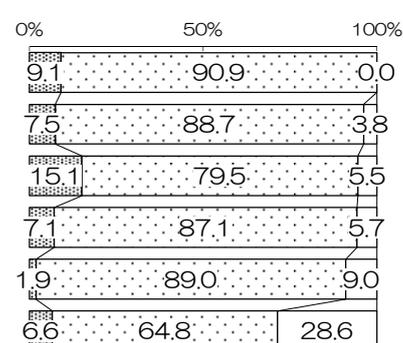


よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

⑫プラムイン城陽



⑬市民プール



よく・ときどき利用する あまり・まったく利用していない 無回答

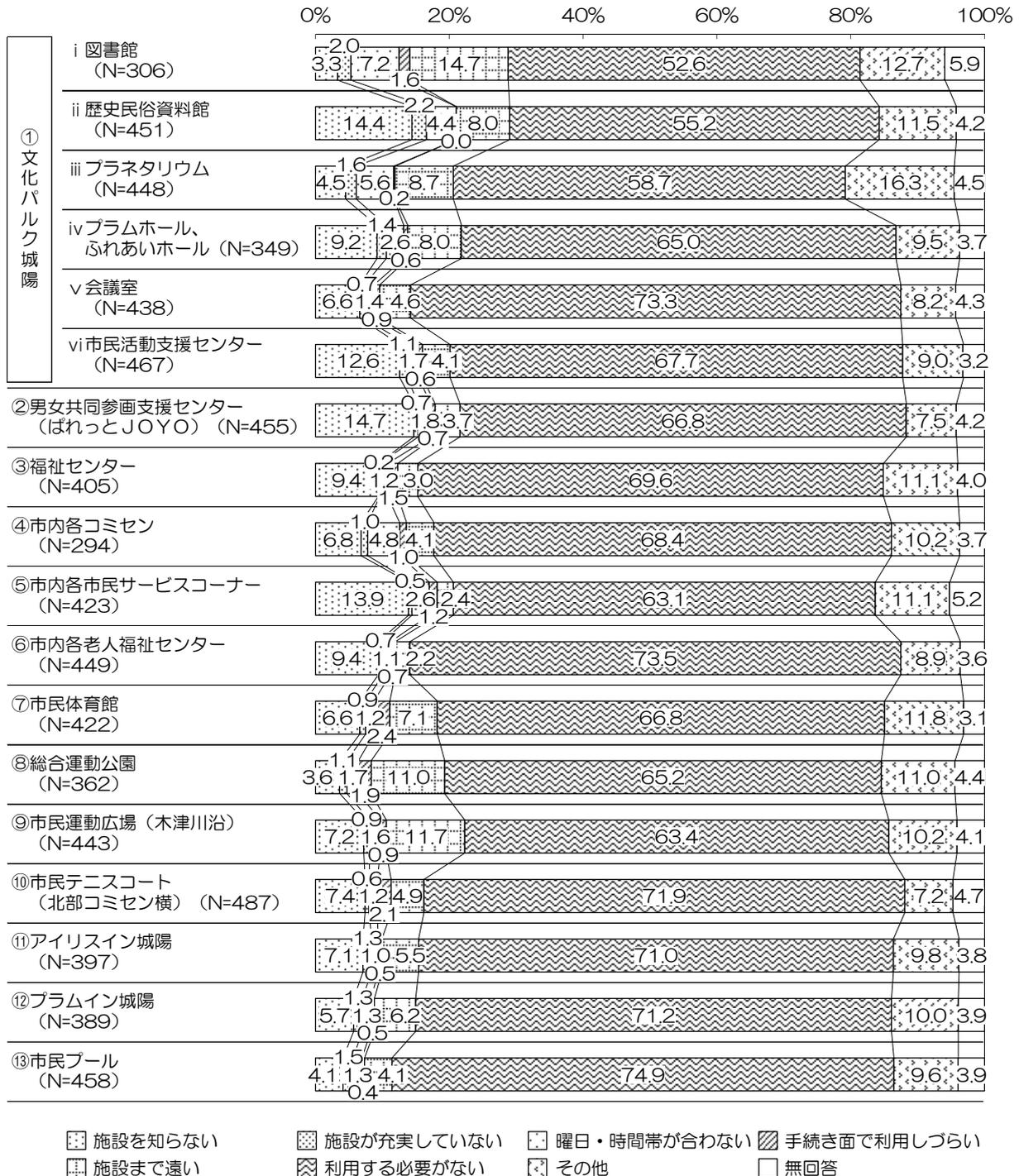
年齢別にみると、①文化パーク城陽 ii 歴史民俗資料館、①文化パーク城陽 iv プラムホール、ふれあいホール、①文化パーク城陽 vi 市民活動支援センター、③福祉センター、④市内各コミセン、⑥市内各老人福祉センター、⑪アイリスイン城陽など多くの施設では、年代が高いほど「よく・ときどき利用する」の割合が高くなる傾向がみられます。

一方、⑧総合運動公園、と⑨市民運動広場（木津川沿）では、30歳代と40歳代で「よく・ときどき利用する」が他の年代よりも高くなっています。また、⑩市民テニスコート（北部コミセン横）は20歳代で「よく・ときどき利用する」が他の年代よりも高くなっています。（図3-38-1）

(39) 市内の各種公共施設を利用していない理由

Ⅲ (32)-1 また、利用されていない方はその主な理由を1つお答えください。

図3-39 市内の各種公共施設を利用していない理由



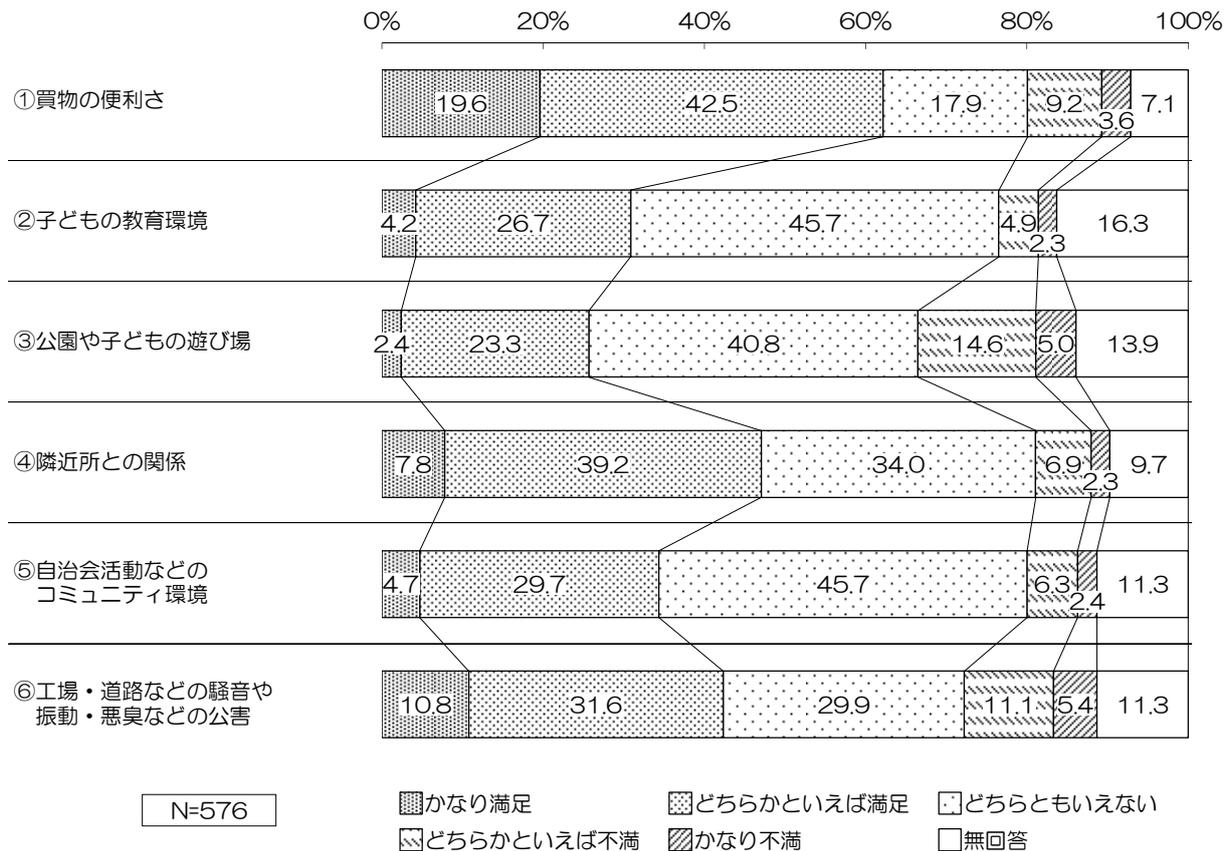
市内の各種公共施設を利用していない理由については、全ての項目で「利用する必要がない」が最も高くなっています。「①文化パルク城陽 i 図書館」では、「曜日・時間帯が合わない」(7.2% : 22件)、「施設まで遠い」(14.7% : 45件)の割合が比較的高くなっています。また、「①文化パルク城陽 ii 歴史民俗資料館」と、「②男女共同参画支援センター (ばれっとJOYO)」、「⑤市内各市民サービスコーナー」では「施設を知らない」、「⑧総合運動公園」と「⑨市民運動広場 (木津川沿)」では、「施設まで遠い」の割合がやや高くなっています。(図3-39)

4 城陽市での暮らしの満足度について

(1) 日常生活全般の満足度

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

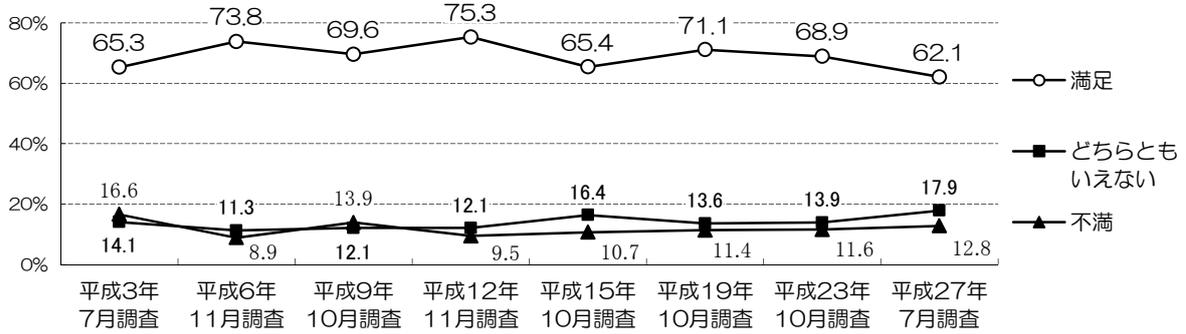
図4-1 日常生活全般の満足度



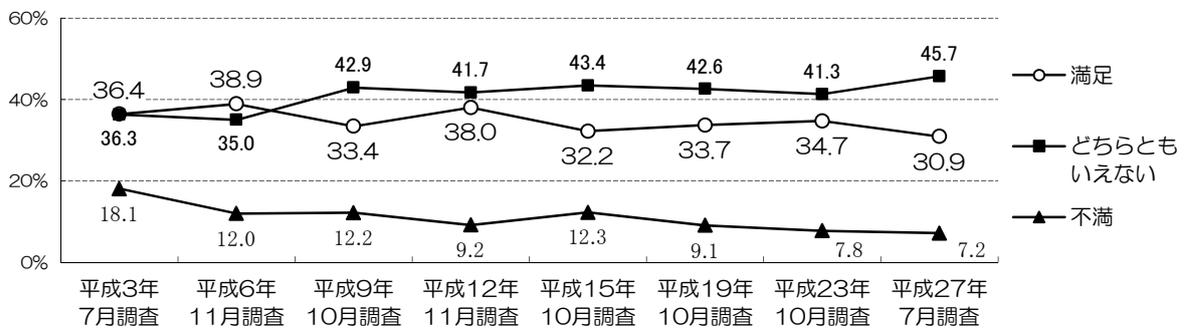
日常生活全般の満足度について、全ての項目で『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）を上回っています。「①買物の便利さ」では、「どちらかといえば満足」が42.5%（245件）と高く、「かなり満足」（19.6%：113件）と合わせた『満足』では62.1%（358件）となっています。「④隣近所との関係」では、『満足』が47.0%（271件）となっています。「かなり不満」、「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』は「③公園や子どもの遊び場」で19.6%（113件）とやや高くなっています。「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では、『満足』が42.4%（244件）を占める一方で、「かなり不満」が5.4%（31件）と他の項目と比べてやや高くなっています。（図4-1）

図4-1-1 経年比較 日常生活全般の満足度

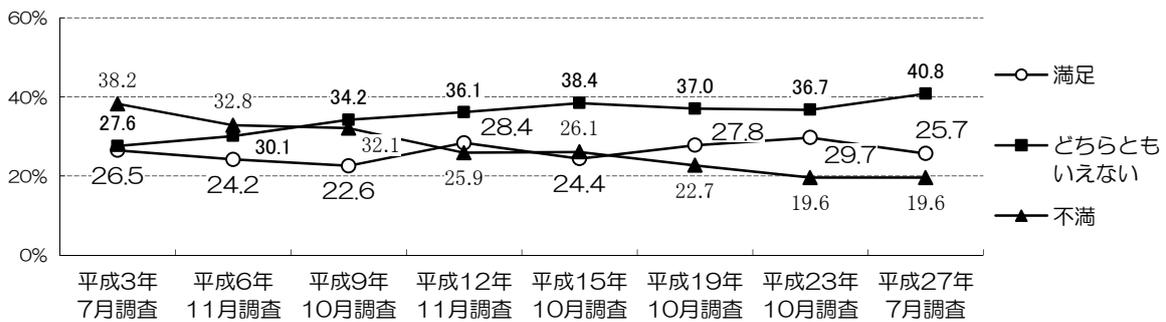
①買物の便利さ



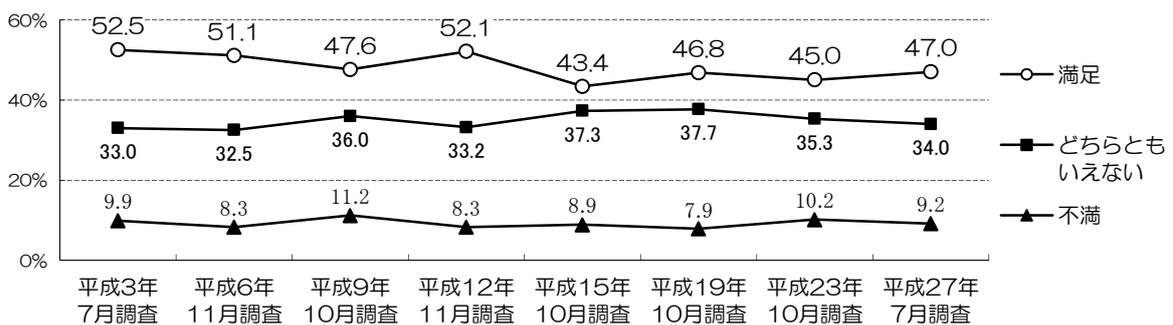
②子どもの教育環境



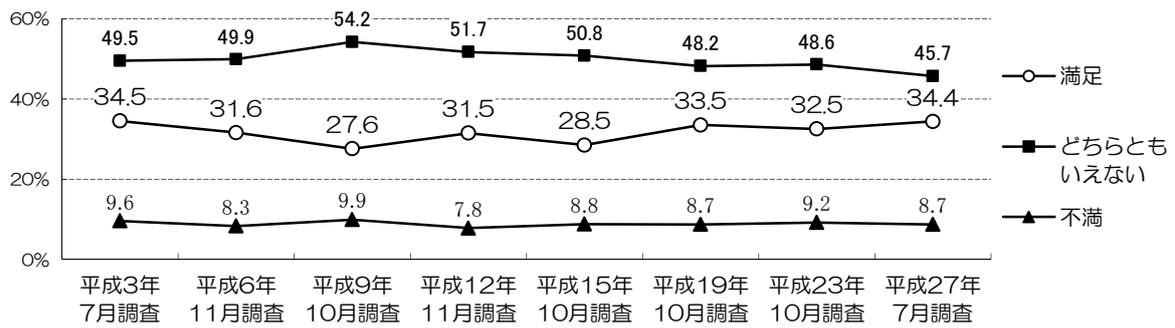
③公園や子どもの遊び場



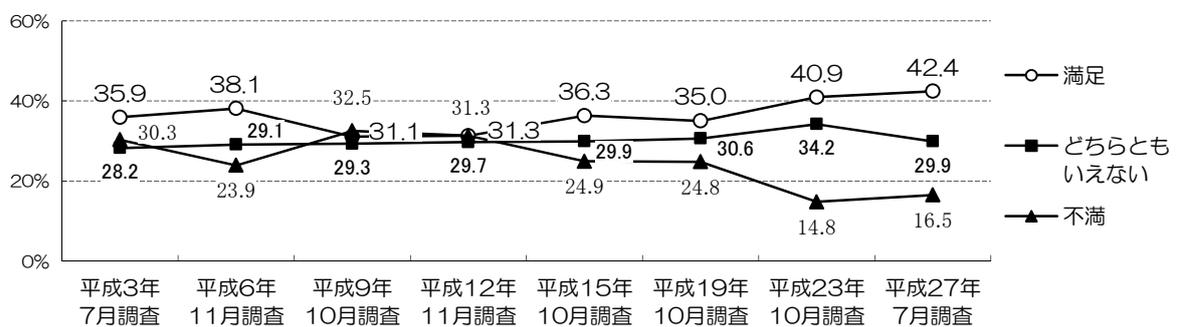
④隣近所との関係



⑤自治会活動などのコミュニティ環境



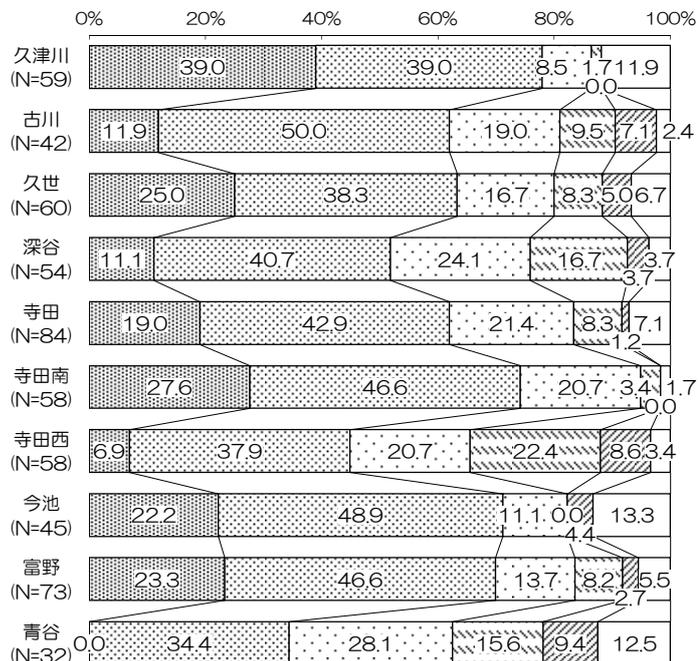
⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



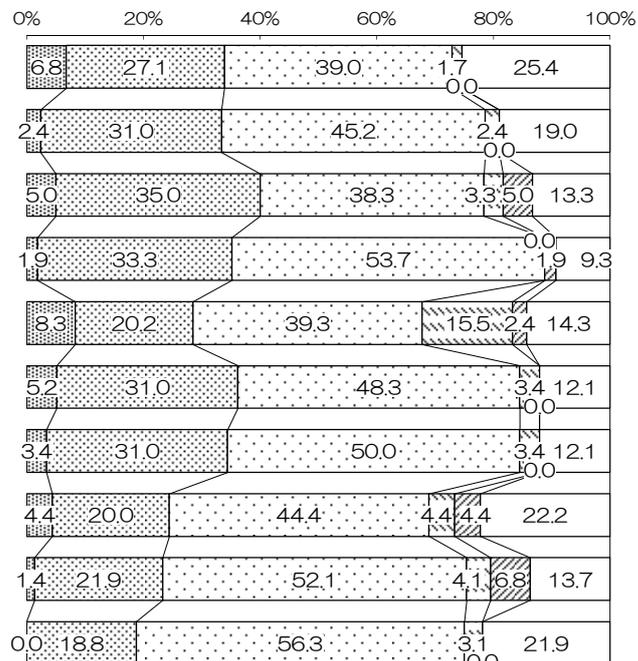
前回調査と比較すると、「①買物の便利さ」「②子どもの教育環境」「③公園や子どもの遊び場」では、いずれも『満足』（「かなり満足」「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が減少し、「どちらともいえない」が約4ポイント増加しています。「④隣近所との関係」「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」では満足度が増加しており、それぞれ2.0ポイント、1.9ポイント、1.5ポイントの増加となっています。（図4-1-1）

図4-1-2 居住小学校区別 日常生活全般の満足度

①買物の便利さ

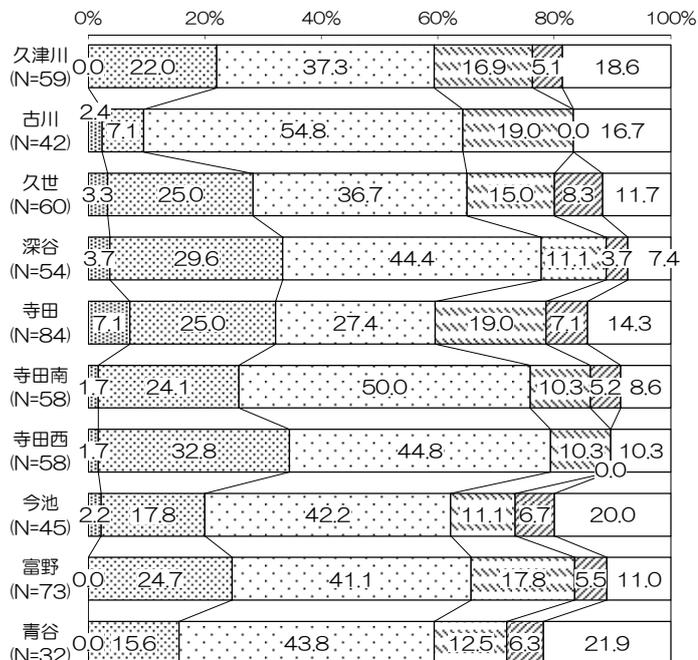


②子どもの教育環境

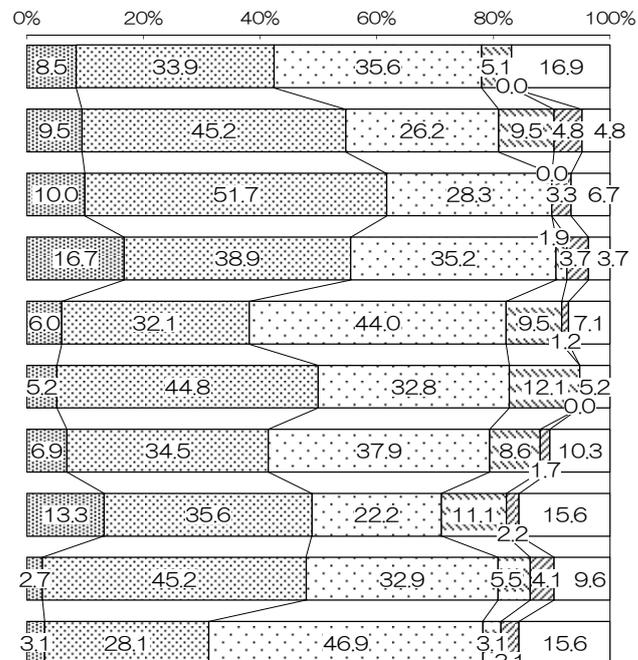


かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

③公園や子どもの遊び場

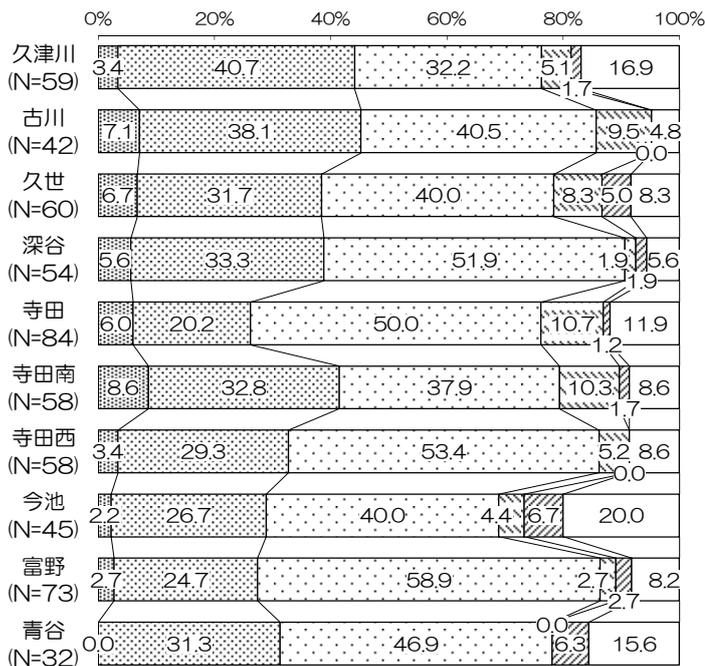


④隣近所との関係

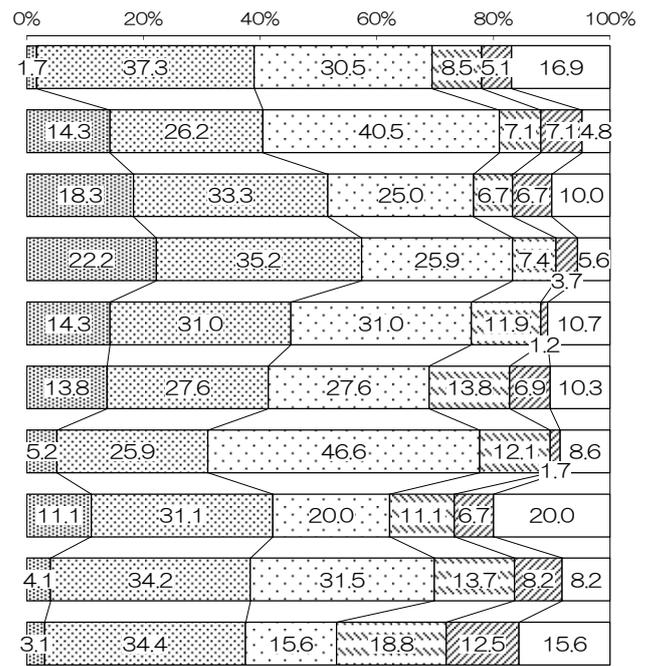


かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

⑤自治会活動などのコミュニティ環境



⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害



かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

居住小学校区別にみると、「①買物の便利さ」は、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）は久津川で78.0%（46件）、寺田南で74.2%（43件）と高くなっています。

「②子どもの教育環境」は、久世で『満足』が40.0%（24件）と高くなっていますが、寺田では「どちらかといえば不満」が15.5%（13件）となっています。

「③公園や子どもの遊び場」は、古川で『満足』が9.5%（4件）にとどまり、「どちらともいえない」が54.8%（23件）を占めています。

「④隣近所との関係」は、久世で『満足』が61.7%（37件）と高くなっています。

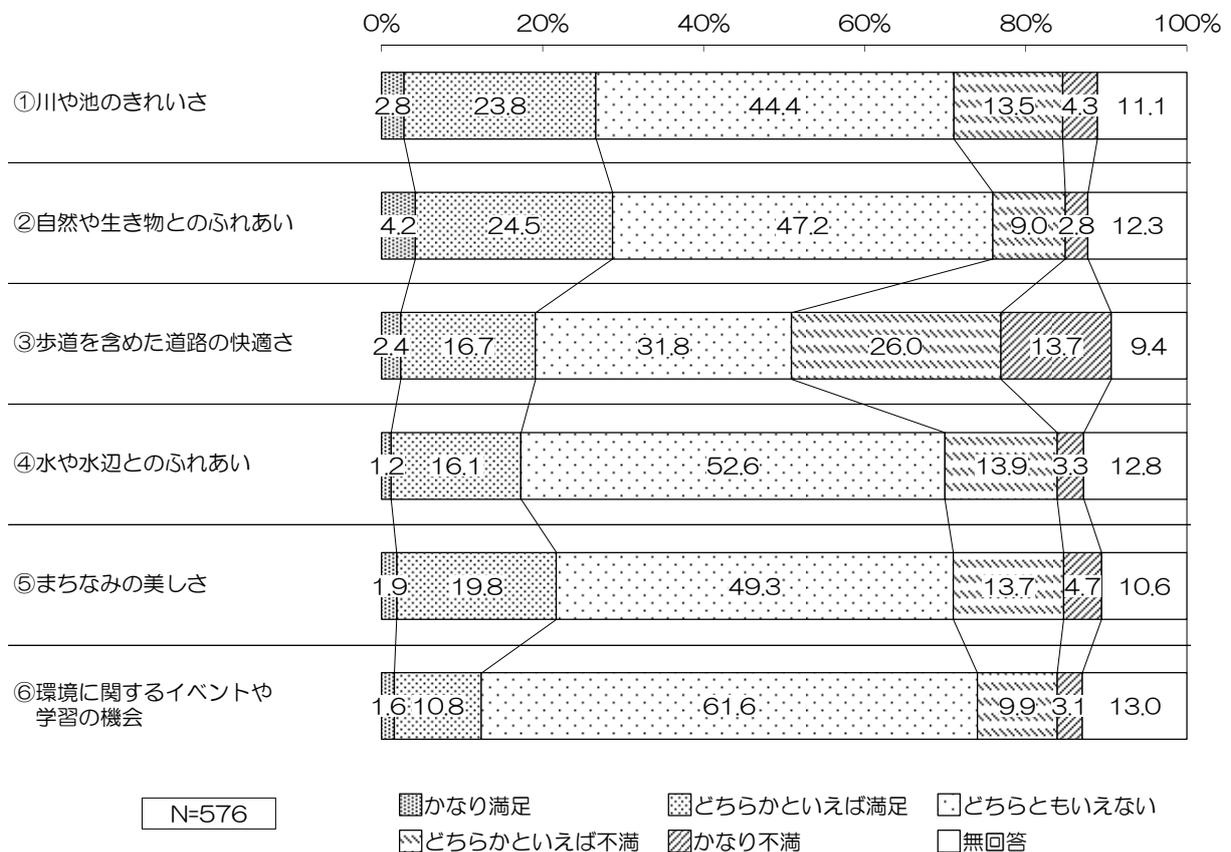
「⑤自治会活動などのコミュニティ環境」は、『満足』が久津川（44.1%：26件）、古川（45.2%：19件）、寺田南（41.4%：24件）で4割を超えています。

「⑥工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害」は、『満足』が深谷で57.4%（31件）、久世で51.6%（31件）となっています。（図4-1-2）

(2) 自然環境・周辺環境の満足度

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

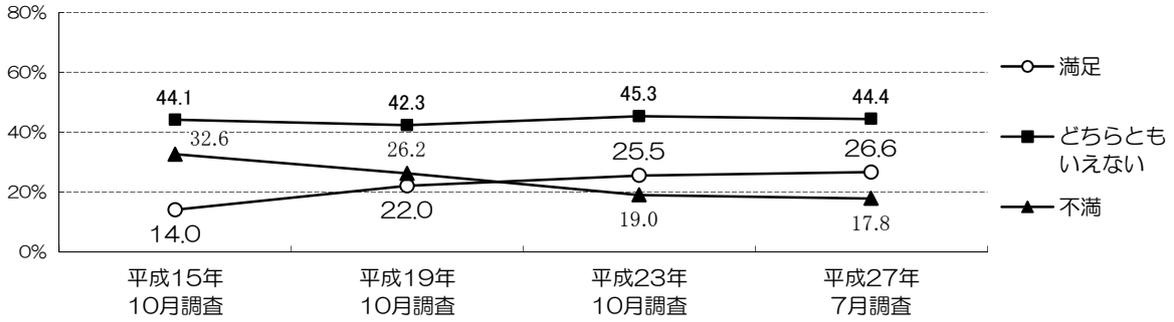
図4-2 自然環境・周辺環境の満足度



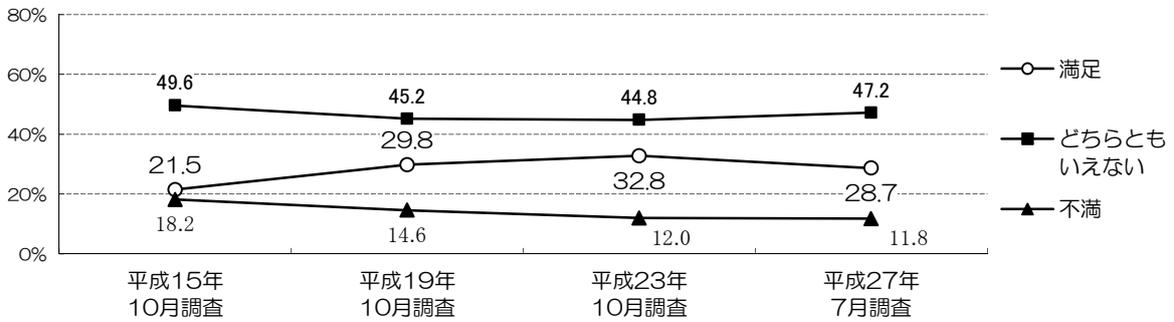
自然環境・周辺環境の満足度については、「②自然や生き物とのふれあい」では、「どちらかといえ
 ば満足」が24.5%（141件）と高く、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえ
 ば満足」を合わせた割合）が28.7%（165件）となっています。「①川や池のきれいさ」では、『満足』が26.6%（153件）、
 「⑤まちなみの美しさ」「③歩道を含めた道路の快適さ」「④水や水辺とのふれあい」では『満足』が
 約20%となっています。「③歩道を含めた道路の快適さ」については、『不満』（「どちらかといえ
 ば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）が39.7%（229件）と高くなっています。（図4-2）

図4-2-1 経年比較 自然環境・周辺環境の満足度

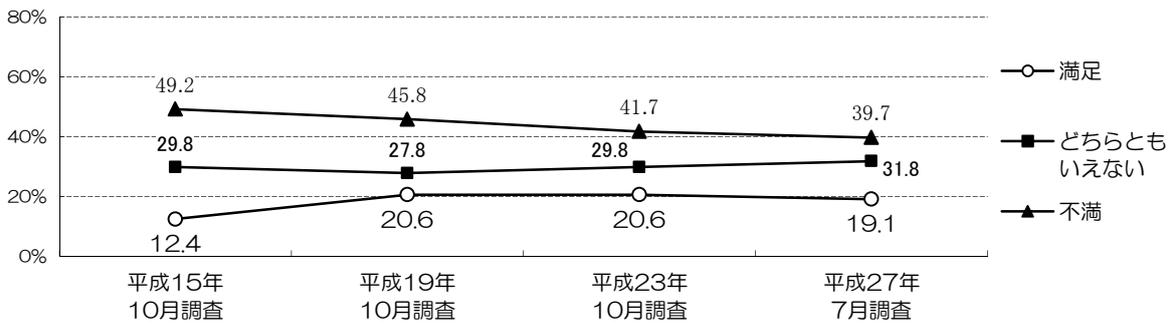
①川や池のきれいさ



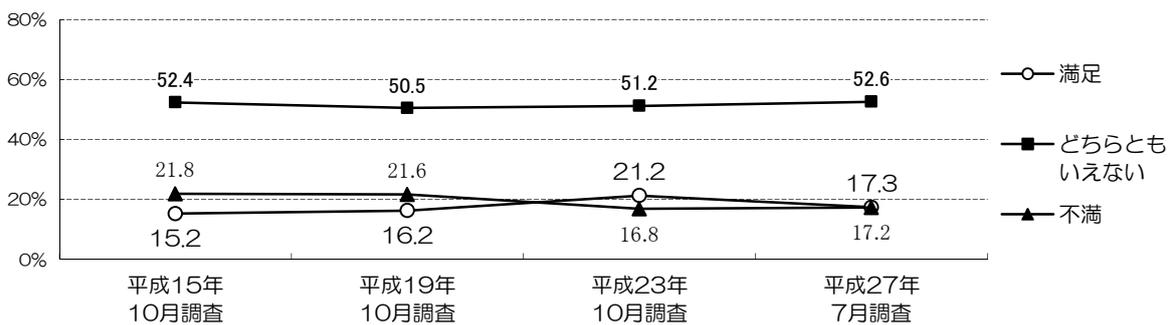
②自然や生き物とのふれあい



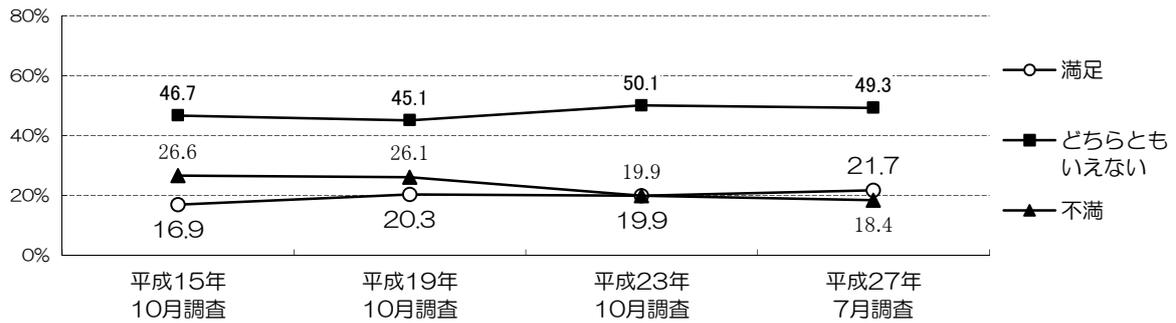
③歩道を含めた道路の快適さ



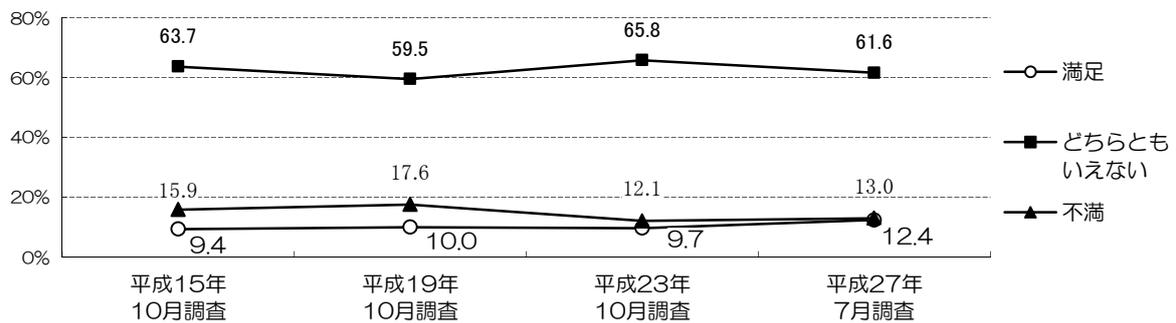
④水や水辺とのふれあい



⑤まちなみの美しさ



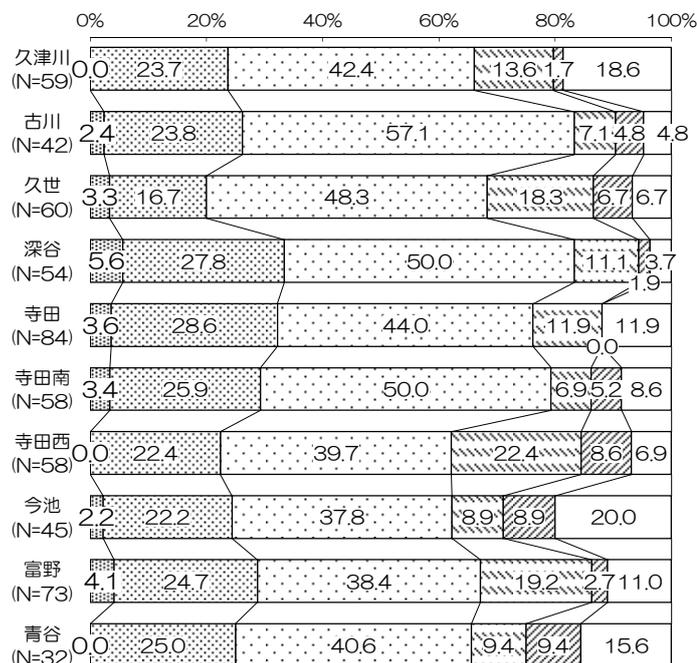
⑥環境に関するイベントや学習会の機会



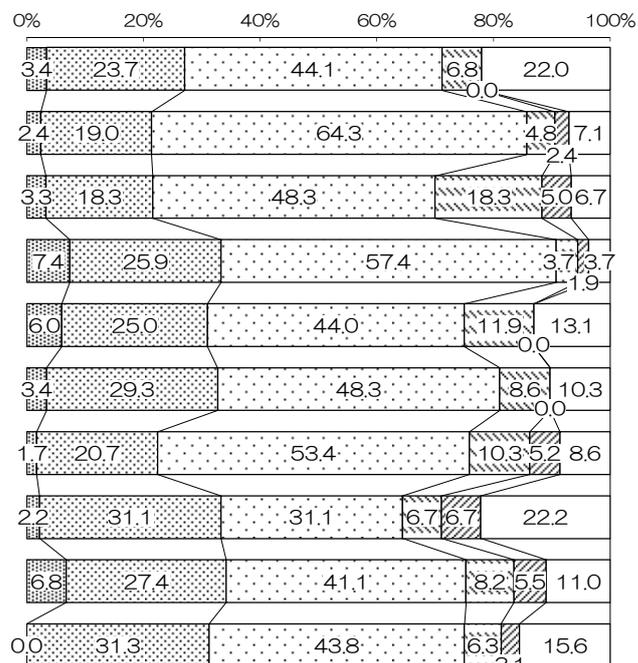
前回調査と比較すると、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が「①川や池のきれいさ」で1.1ポイント、「⑤まちなみの美しさ」で1.8ポイント、「⑥環境に関するイベントや学習会の機会」で2.7ポイント高くなっていますが、「②自然や生き物とのふれあい」「③歩道を含めた道路の快適さ」「④水や水辺とのふれあい」では、『満足』が減り、「どちらともいえない」の割合が増加しています。（図4-2-1）

図4-2-2 居住小学校区別 自然環境・周辺環境の満足度

①川や池のきれいさ

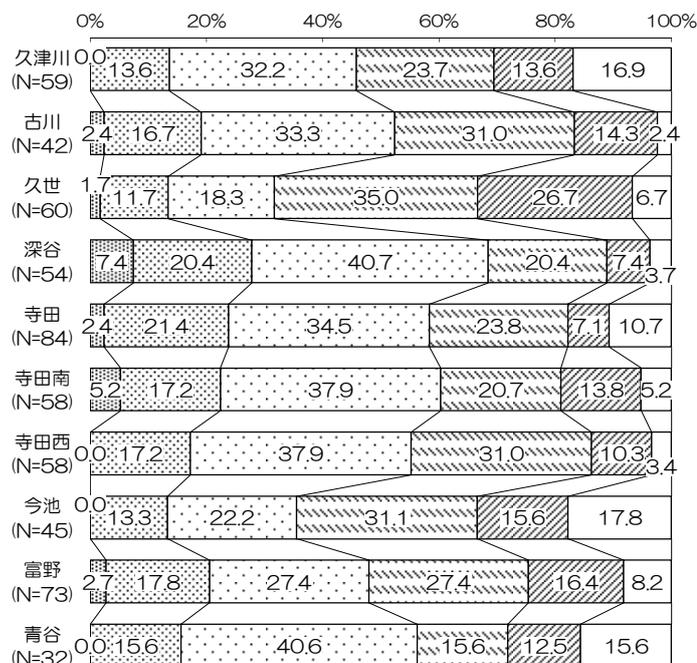


②自然や生き物とのふれあい

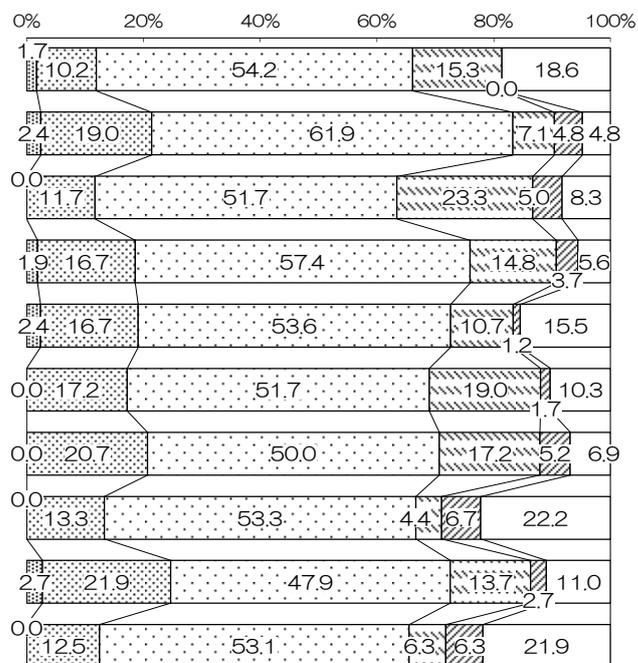


かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

③歩道を含めた道路の快適さ

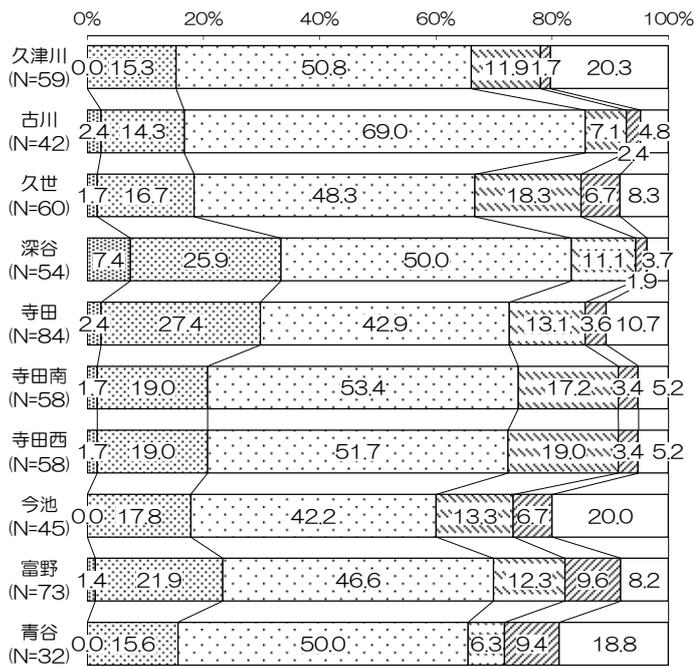


④水や水辺とのふれあい

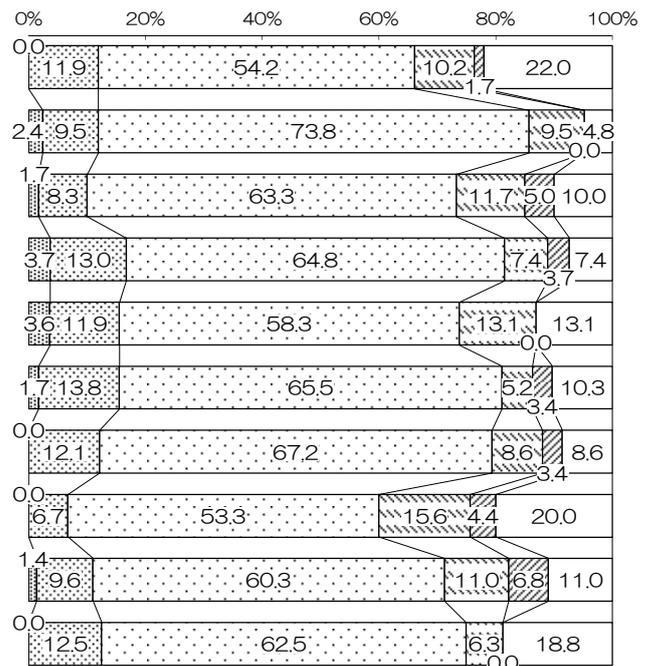


かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

⑤まちなみの美しさ



⑥環境に関するイベントや学習会の機会



かなり満足
 どちらかといえば満足
 どちらともいえない
 どちらかといえば不満
 かなり不満
 無回答

居住小学校区別にみると、「①川や池のきれいさ」は、深谷と寺田では、『満足』（「かなり満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合）が比較的高く、深谷で33.4%（18件）、寺田で32.2%（27件）となっています。

「②自然や生き物とのふれあい」は、深谷、寺田、寺田南、今池、富野、青谷で『満足』が3割を超えています。

「③歩道を含めた道路の快適さ」は、『不満』（「どちらかといえば不満」と「かなり不満」を合わせた割合）が久世で61.7%（37件）、今池で46.7%（21件）となっています。

「④水や水辺とのふれあい」は、富野で『満足』が24.6%（18件）となっています。

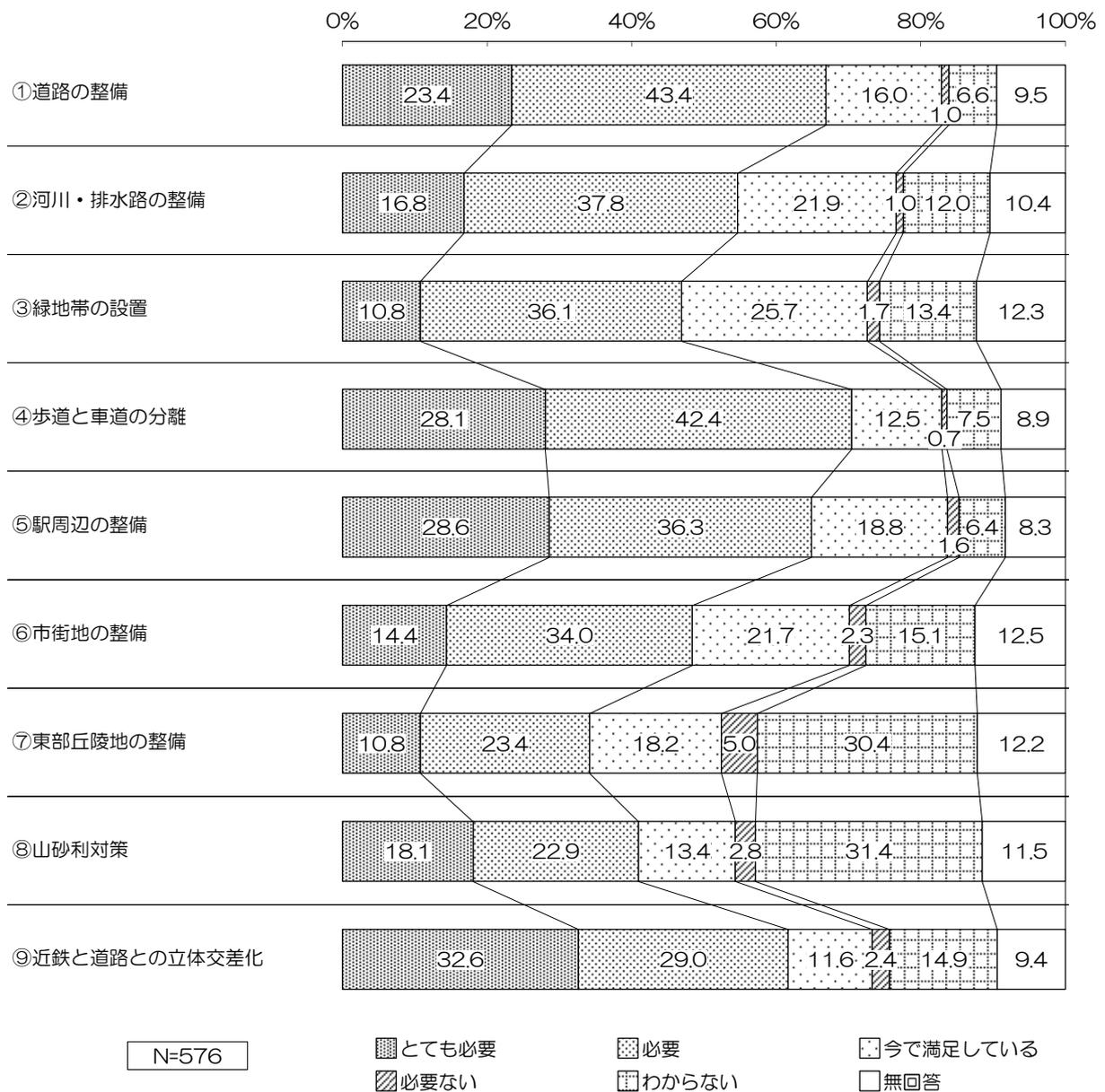
「⑤まちなみの美しさ」は、『満足』が深谷で33.3%（18件）、寺田で29.8%（25件）と、他の小学校区よりも割合が高くなっています。

「⑥環境に関するイベントや学習会の機会」は、いずれの地域でも「どちらともいえない」が5割以上を占めています。（図4-2-2）

(3) 都市基盤整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

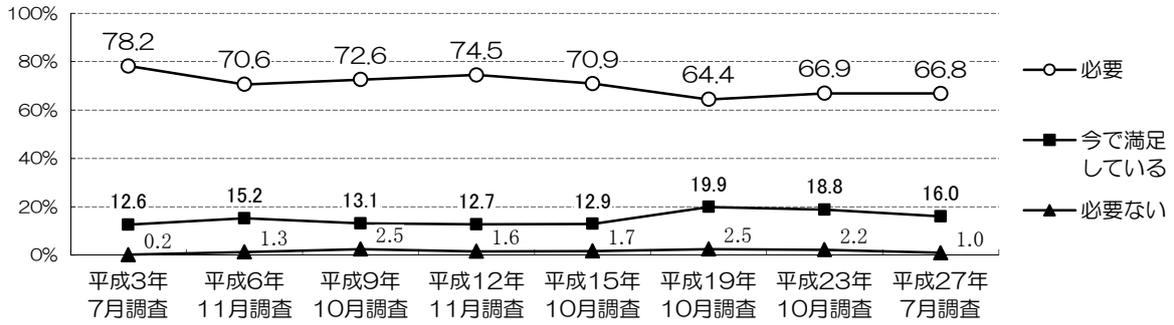
図4-3 都市基盤整備の必要性



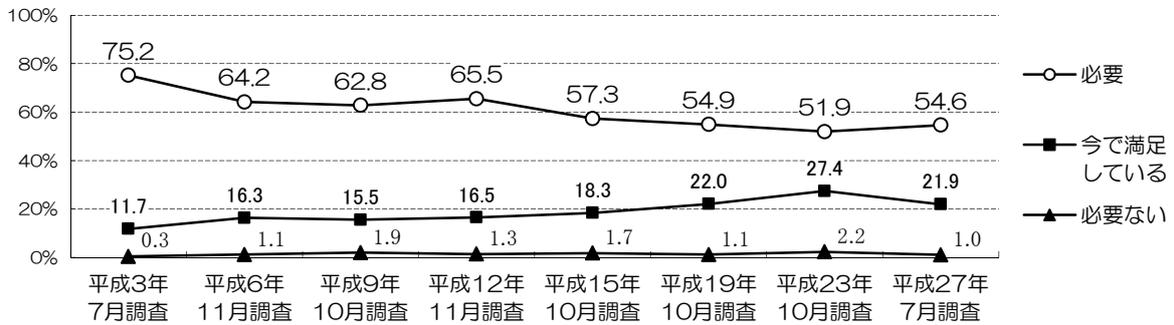
都市基盤整備の必要性については、「とても必要」と「必要」を合わせた『必要』が、「④歩道と車道の分離」で70.5%（406件）、「①道路の整備」で66.8%（385件）、「⑤駅周辺の整備」で64.9%（374件）、「⑨近鉄と道路との立体交差化」で61.6%（355件）となっています。（図4-3）

図4-3-1 経年比較 都市基盤整備の必要性

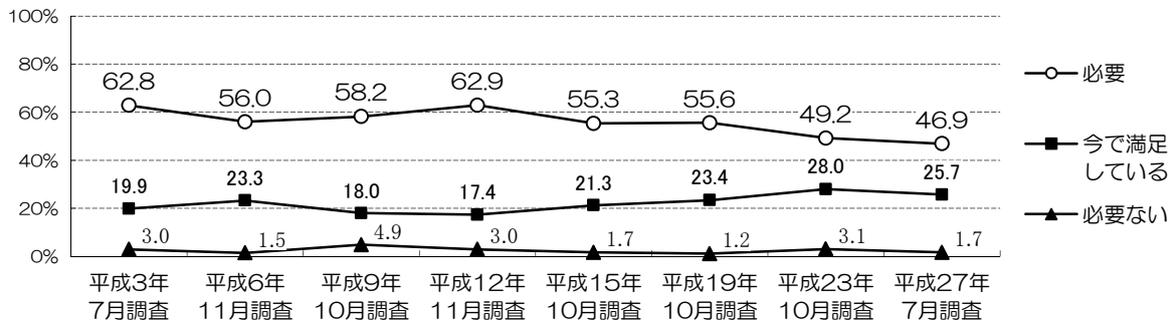
①道路の整備



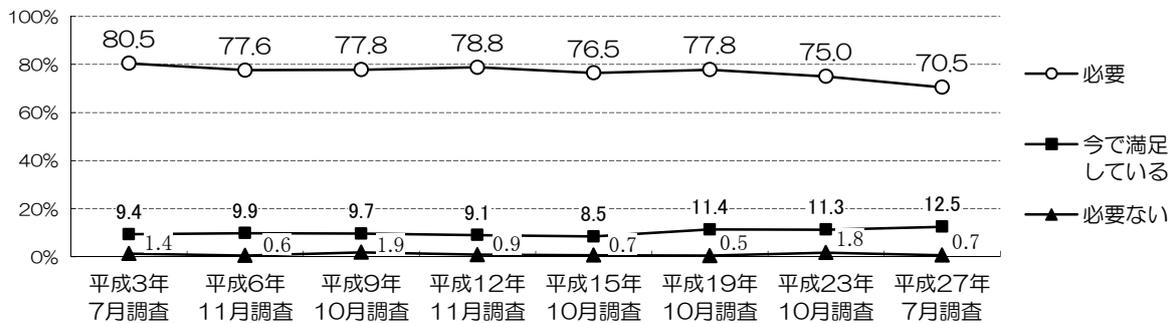
②河川・排水路の整備



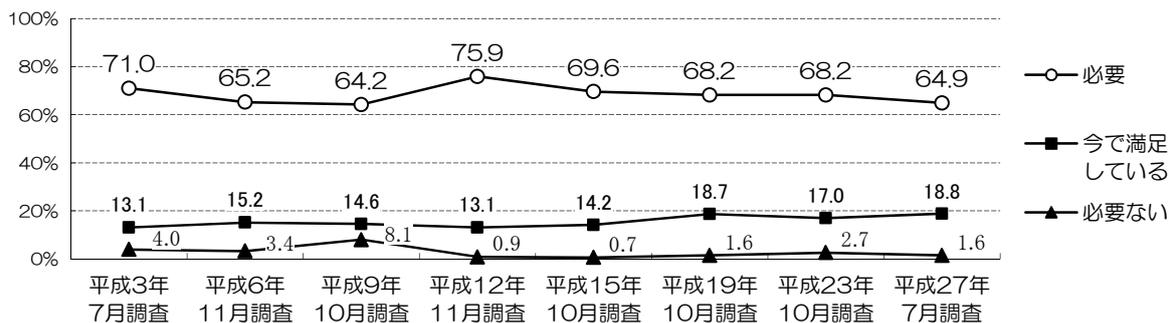
③緑地帯の設置



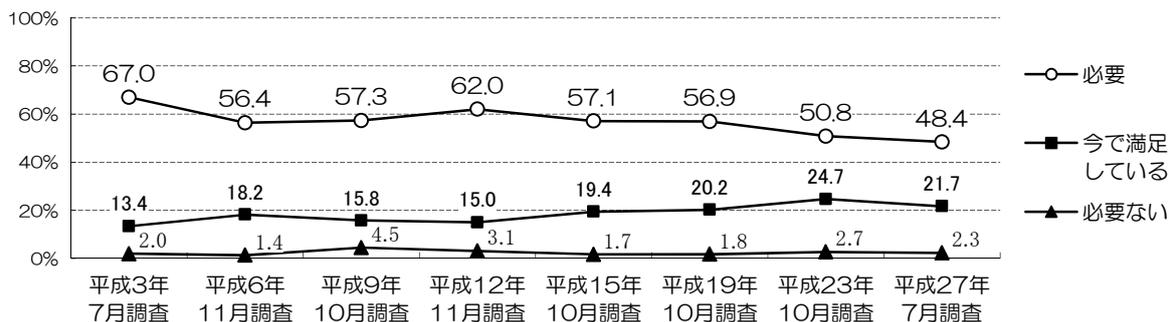
④歩道と車道の分離



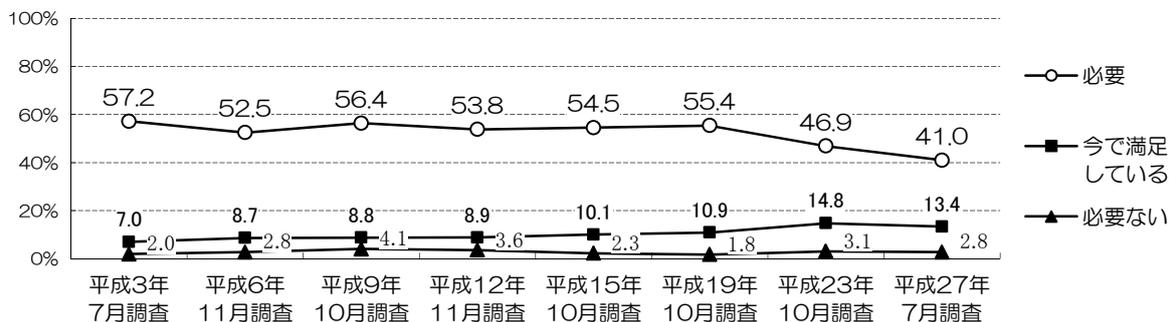
⑤ 駅周辺の整備



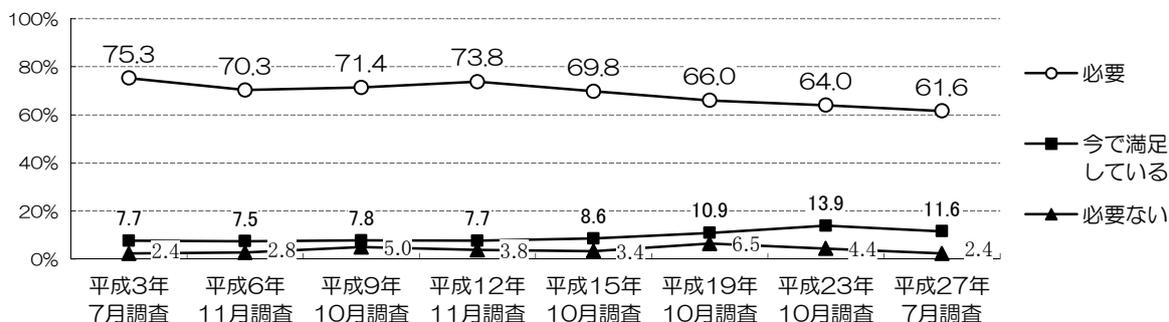
⑥ 市街地の整備



⑧ 山砂利対策



⑨ 近鉄と道路との立体交差化

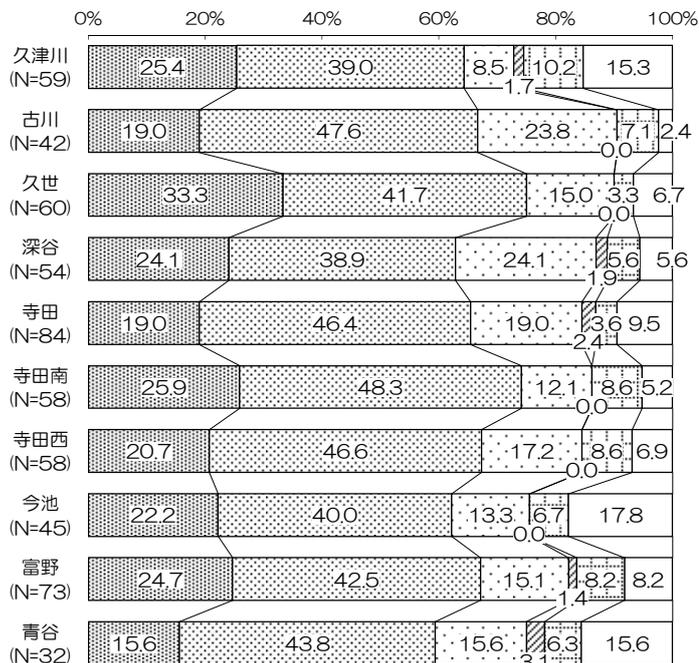


前回調査と比較すると、「②河川・排水路の整備」は『必要』が2.7ポイント増加しています。「④歩道と車道の分離」と「⑤駅周辺の整備」では、「今で満足している」が増加しています。(図4-3-1)

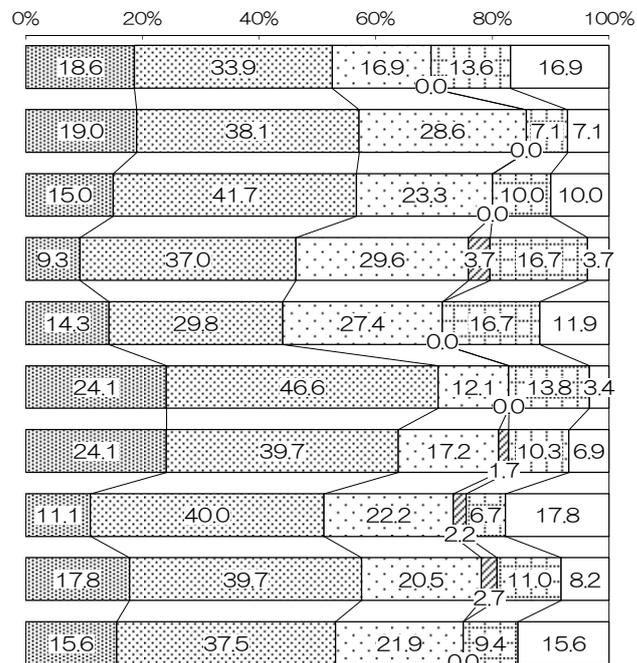
注) 「⑦東部丘陵地の整備」は今回調査から追加された項目のため、経年比較は行っていません。

図4-3-2 居住小学校区別 都市基盤整備の必要性

①道路の整備

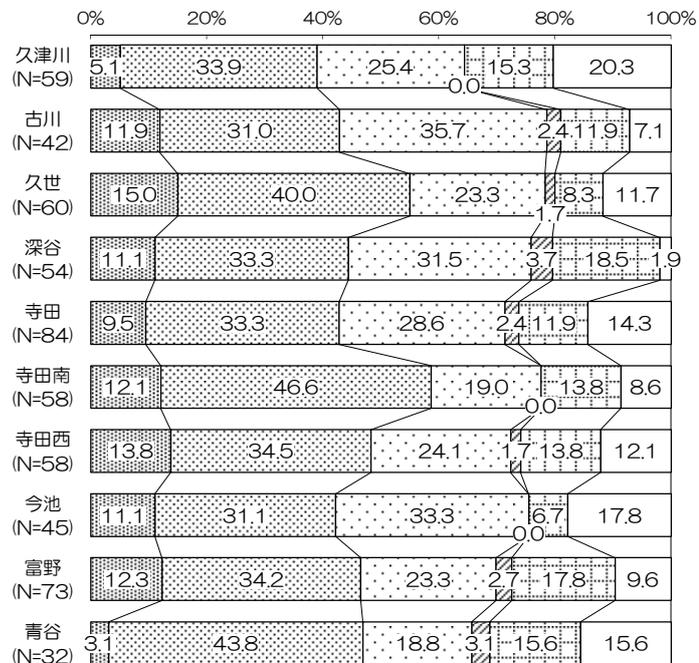


②河川・排水路の整備

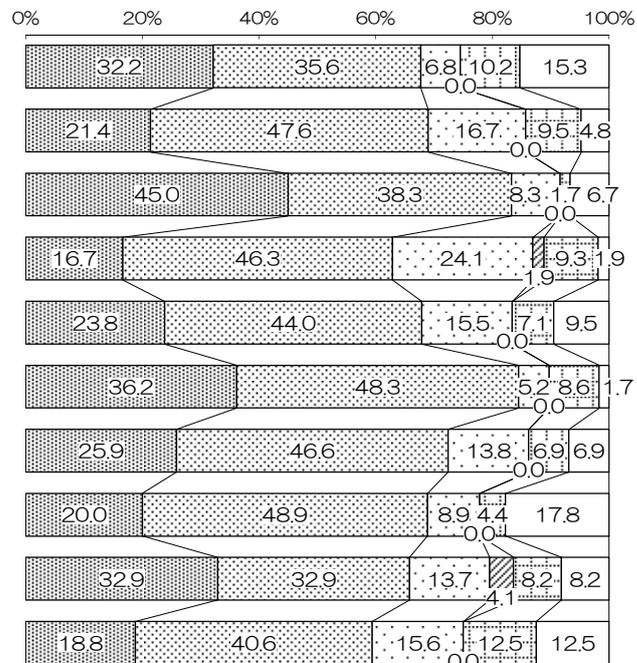


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③緑地帯の設置

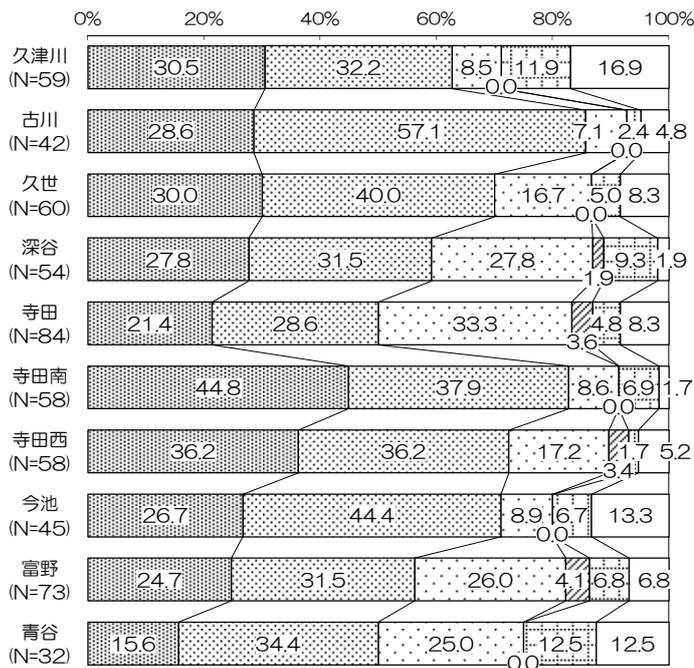


④歩道と車道の分離

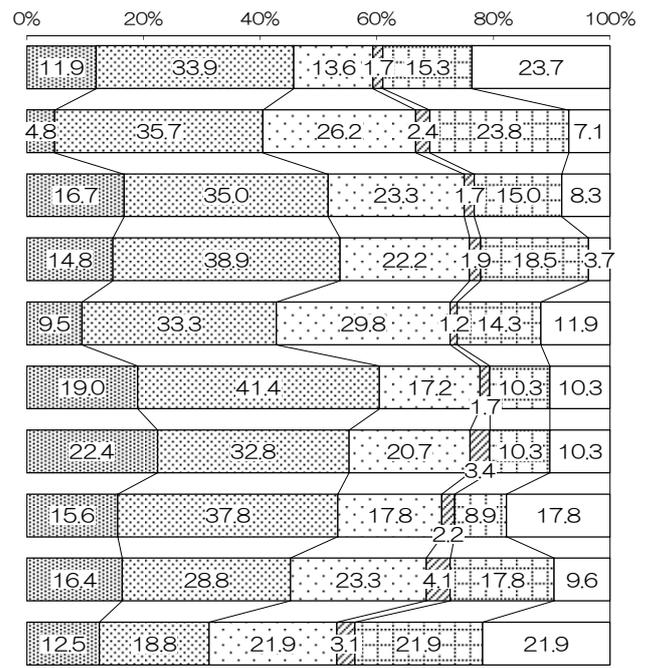


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤ 駅周辺の整備

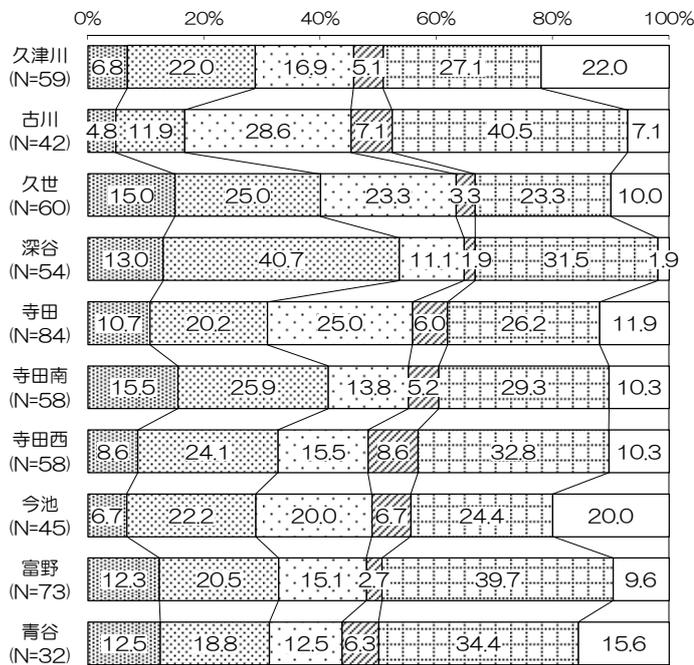


⑥ 市街地の整備

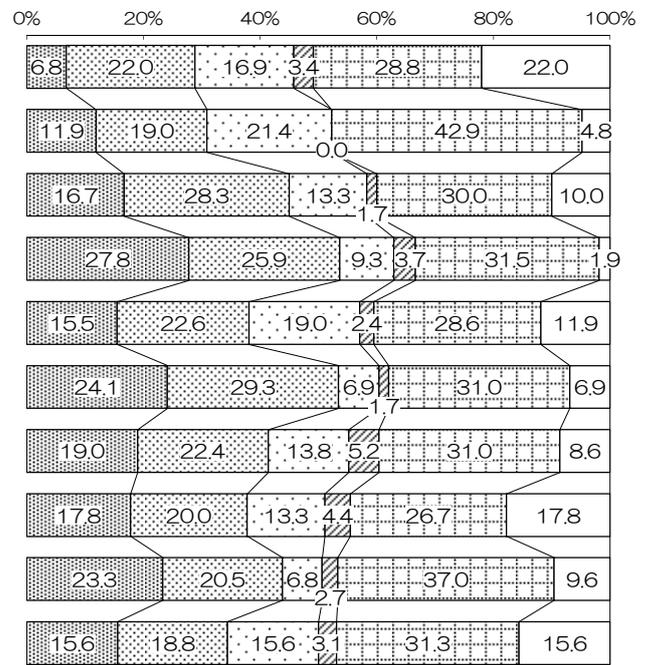


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦ 東部丘陵地の整備

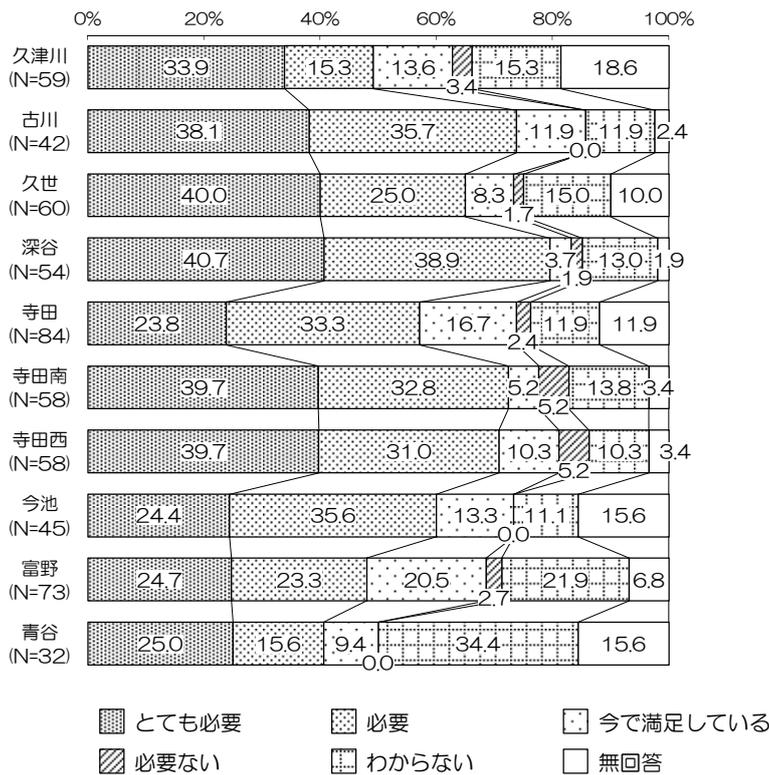


⑧ 山砂利対策



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

◎近鉄と道路との立体交差化



居住小学校区別にみると、「①道路の整備」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が全ての小学校区で約6割かそれ以上となっており、特に、久世で75.0%（45件）、寺田南で74.2%（43件）と高くなっています。

「②河川・排水路の整備」は、『必要』が寺田南で70.7%（41件）、寺田西で63.8%（37件）と高くなっています。

「③緑地帯の設置」は、寺田南と久世で、『必要』が5割を超えています。

「④歩道と車道の分離」は、いずれの小学校区でも、『必要』が半数以上を占めていますが、中でも寺田南と久世で『必要』の割合が高くなっています。

「⑤駅周辺の整備」は、『必要』が古川で85.7%（36件）、寺田南で82.7%（48件）と高くなっていますが、寺田、深谷、富野、青谷では、「今で満足している」が他の小学校区と比べて高くなっています。

「⑥市街地の整備」は、寺田南で『必要』が60.4%（35件）と高くなっています。

「⑦東部丘陵地の整備」は、深谷で『必要』が53.7%（29件）と高く、寺田南と久世でも、『必要』が4割以上となっています。

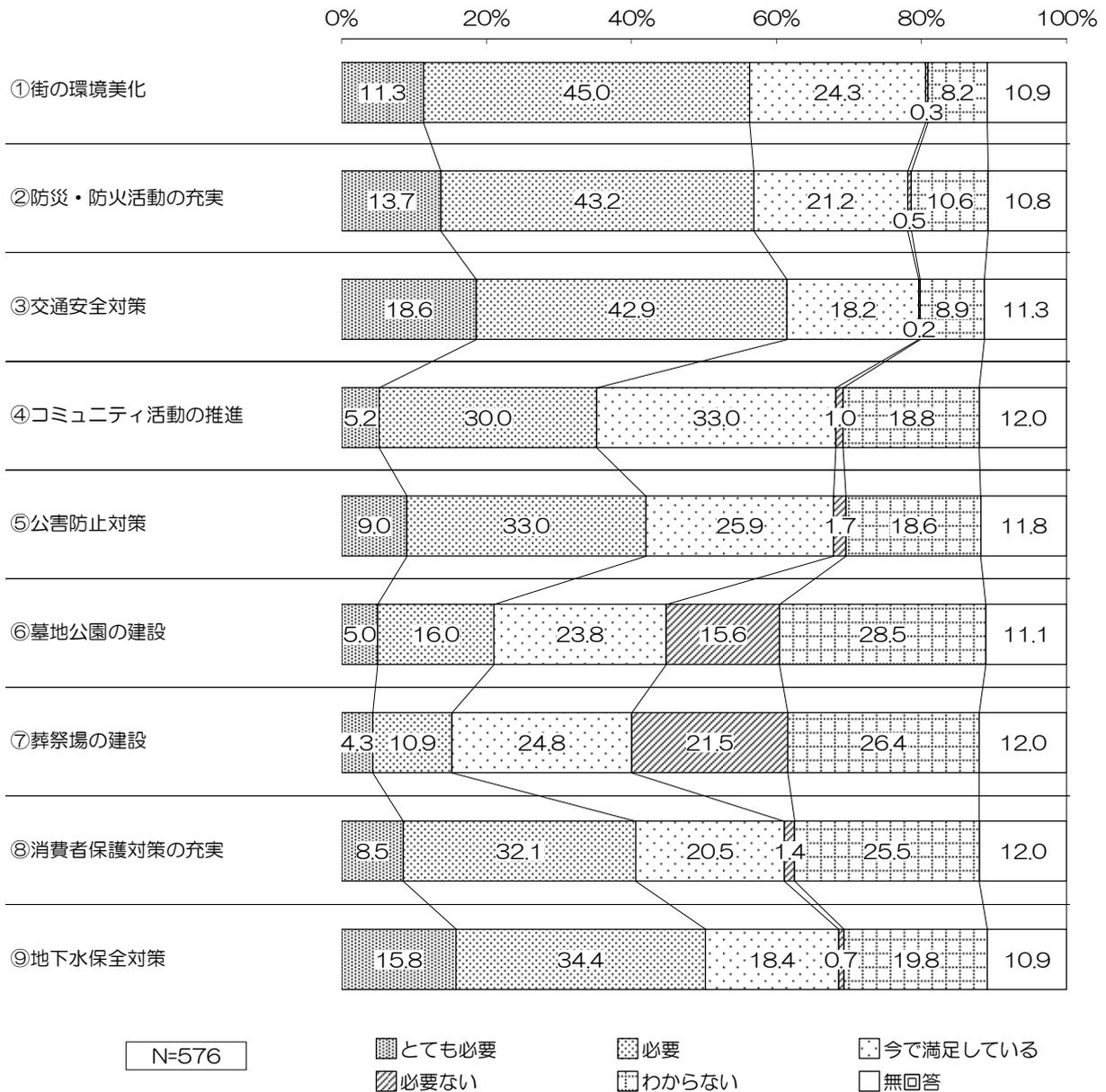
「⑧山砂利対策」は、『必要』が深谷で53.7%（29件）、寺田南で53.4%（31件）と5割以上を占めています。

「⑨近鉄と道路との立体交差化」は、『必要』が深谷で79.6%（43件）、古川で73.8%（31件）、寺田南で72.5%（42件）、寺田西で70.7%（41件）となっています。（図4-3-2）

(4) 生活環境整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

図4-4 生活環境整備の必要性

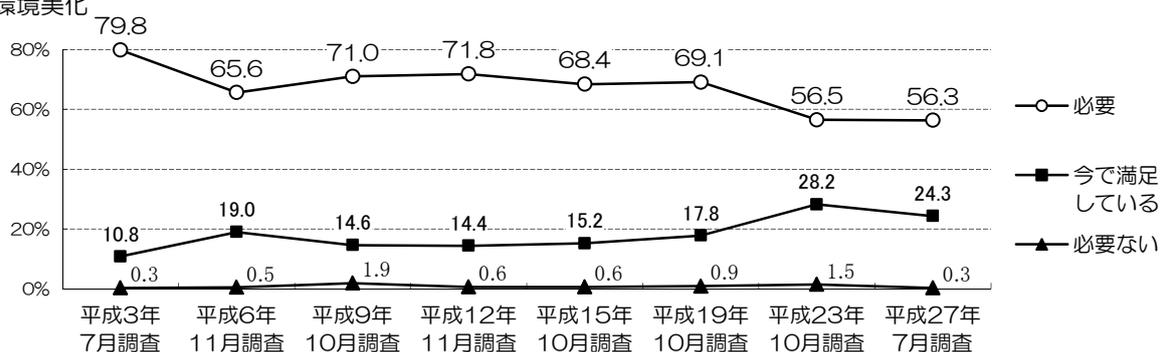


生活環境整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「③交通安全対策」（61.5%：354件）、「②防災・防火活動の充実」（56.9%：328件）、「①街の環境美化」（56.3%：324件）、「⑨地下水保全対策」（50.2%：289件）で、5割を超えて高くなっています。「⑥墓地公園の建設」「⑦葬祭場の建設」は他の項目よりも、「必要ない」「わからない」の割合が高くなっています。

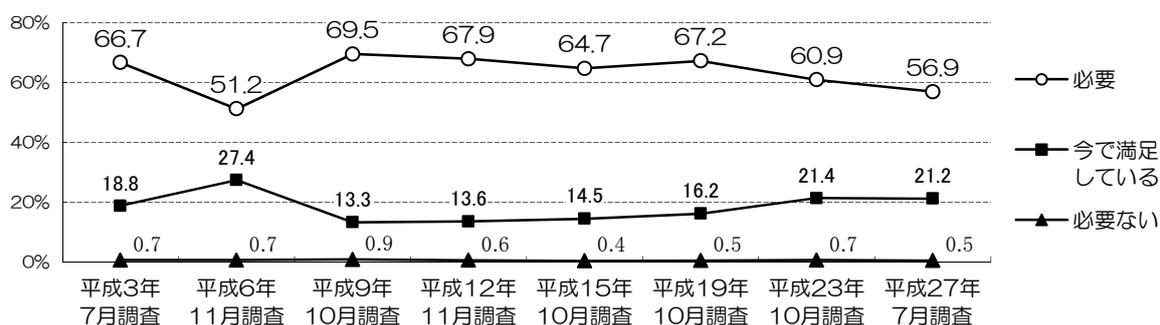
(図4-4)

図4-4-1 経年比較 生活環境整備の必要性

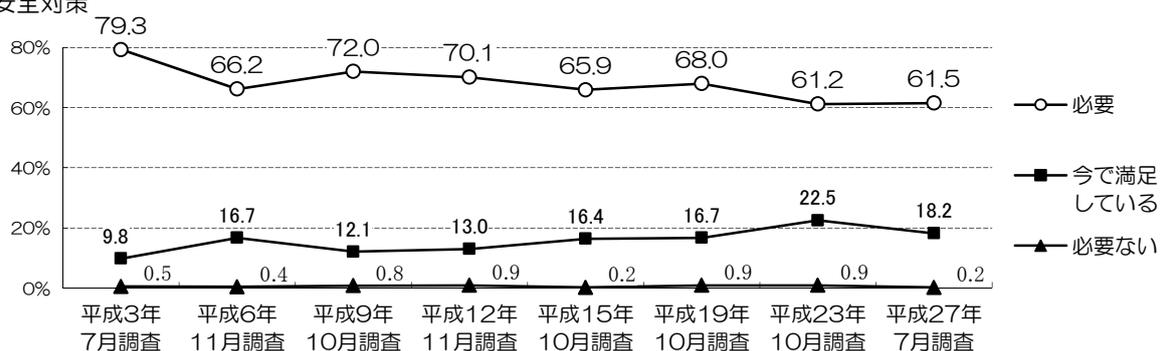
①街の環境美化



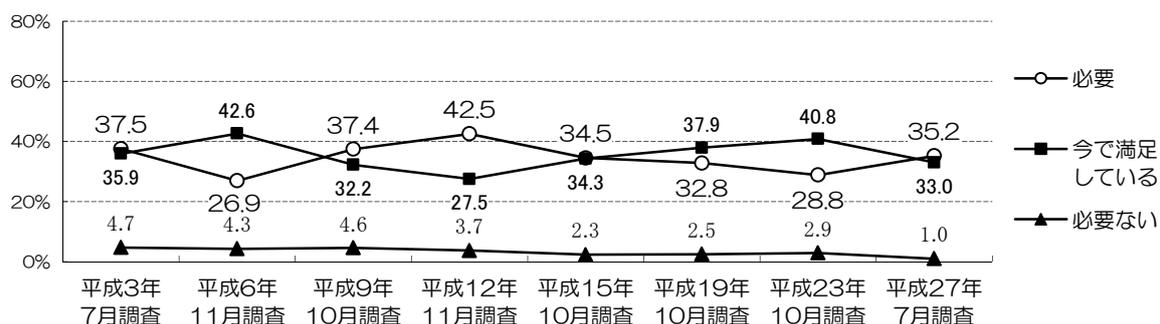
②防災・防火活動の充実



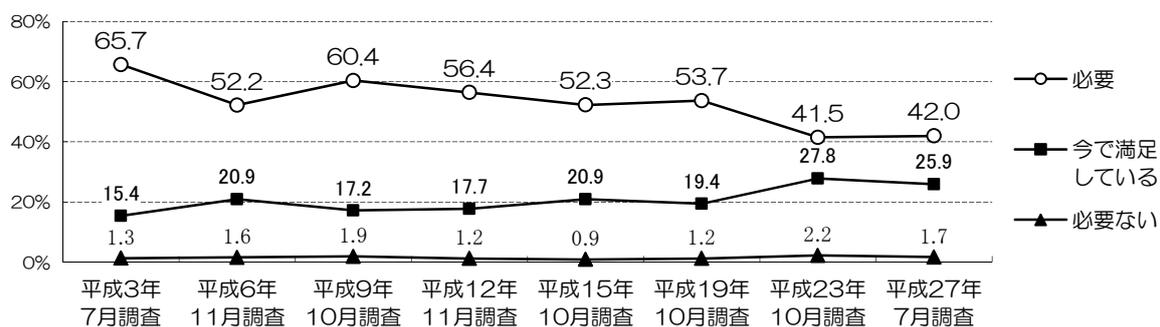
③交通安全対策



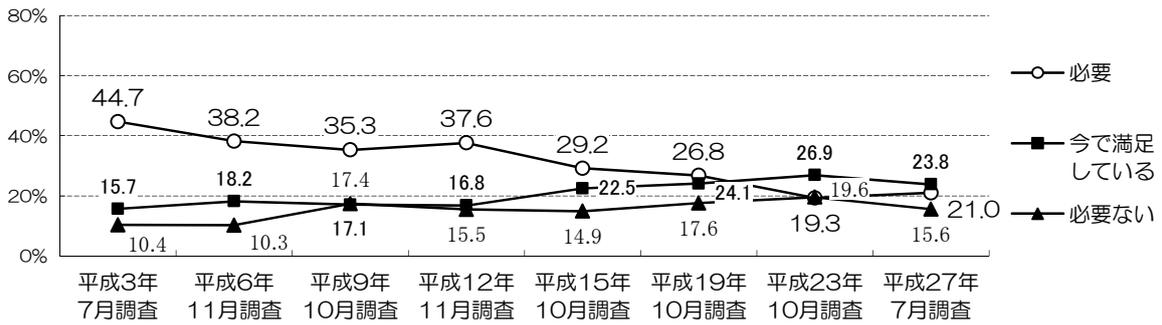
④コミュニティ活動の推進



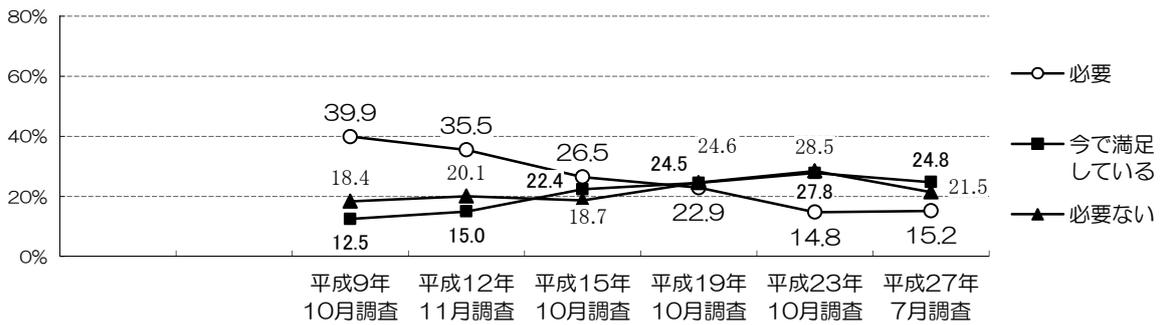
⑤公害防止対策



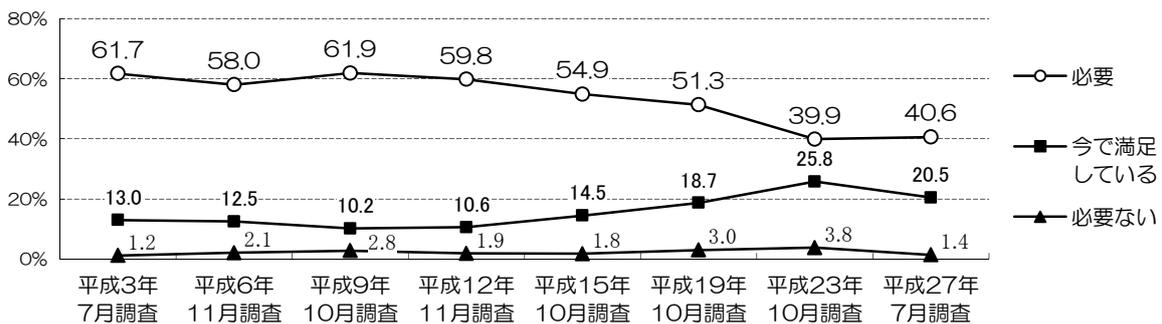
⑥墓地公園の建設



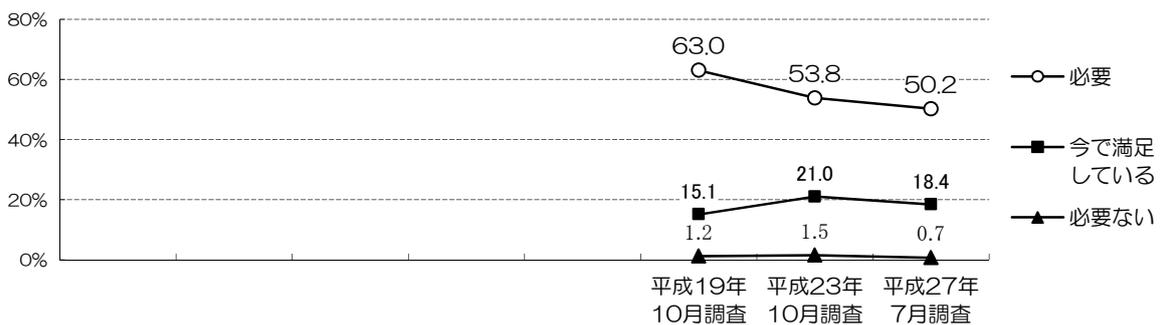
⑦葬祭場の建設



⑧消費者保護対策の充実



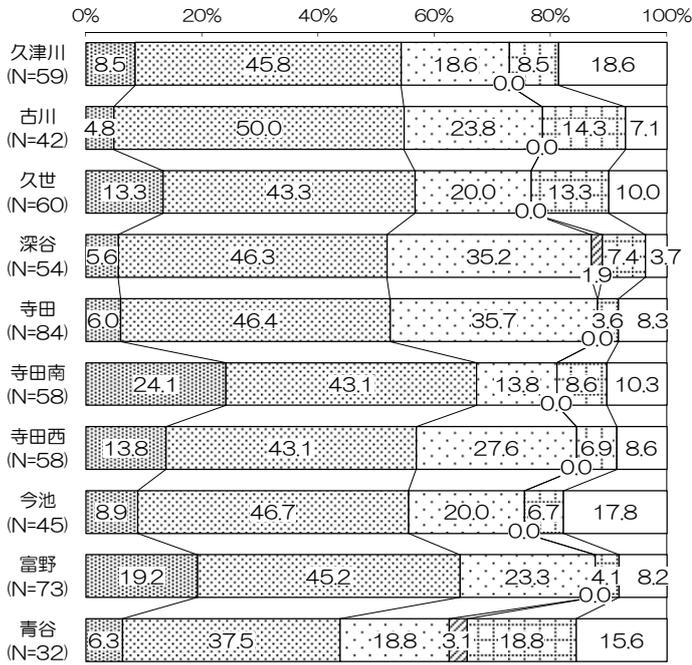
⑨地下水保全対策



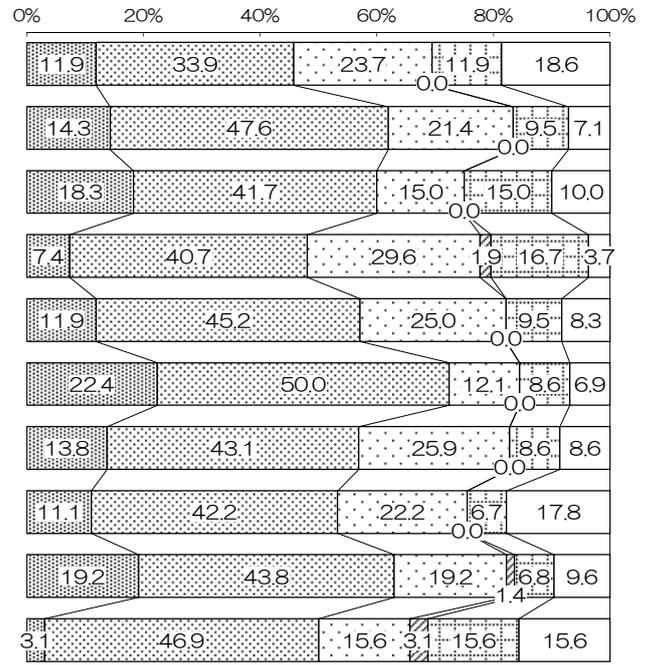
前回調査と比較すると、「③交通安全対策」、「④コミュニティ活動の推進」、「⑤公害防止対策」、「⑥墓地公園の建設」、「⑦葬祭場の建設」、「⑧消費者保護対策の充実」で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、特に「④コミュニティ活動の推進」では6.4ポイントの増加となっています。（図4-4-1）

図4-4-2 居住小学校区別 生活環境整備の必要性

①街の環境美化

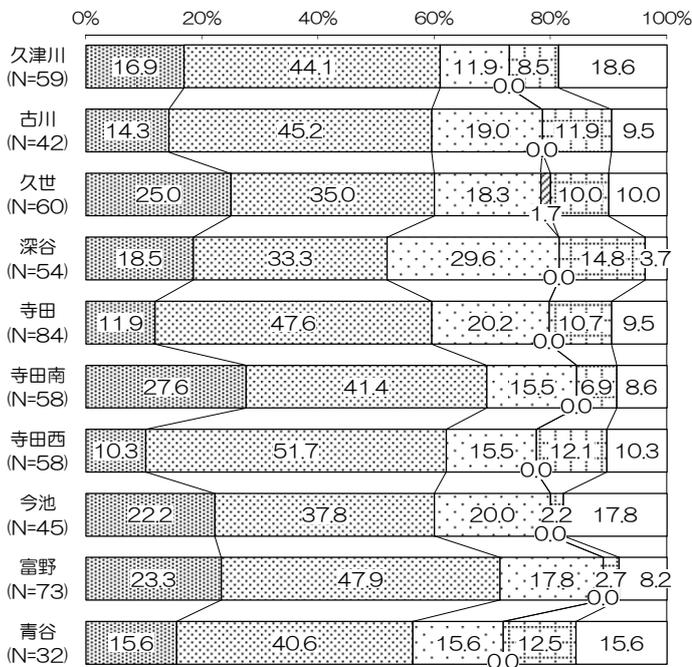


②防災・防火活動の充実

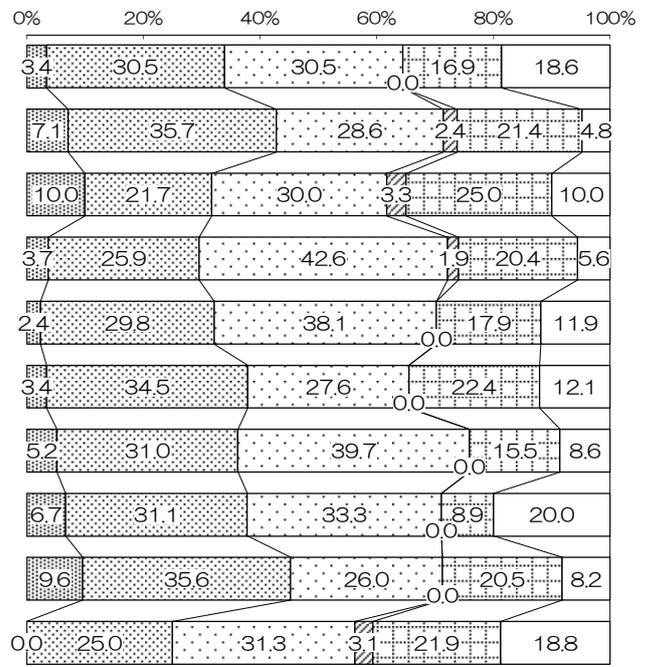


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

③交通安全対策

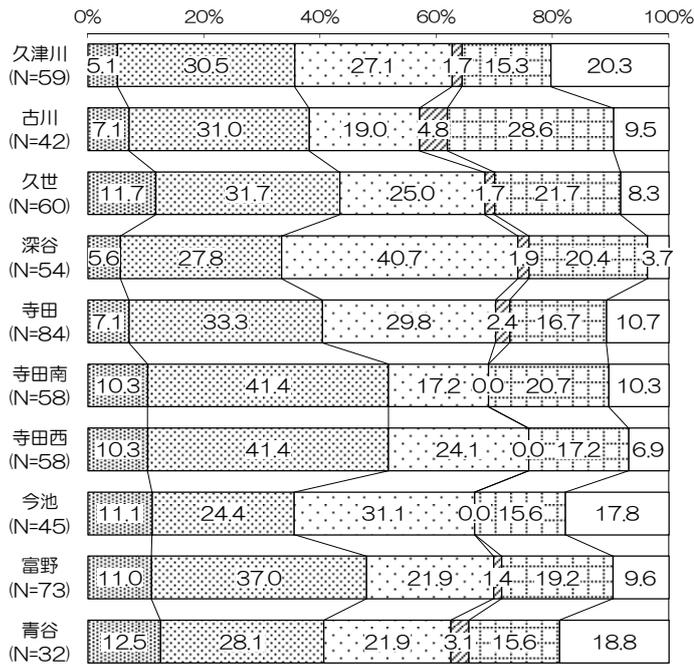


④コミュニティ活動の推進

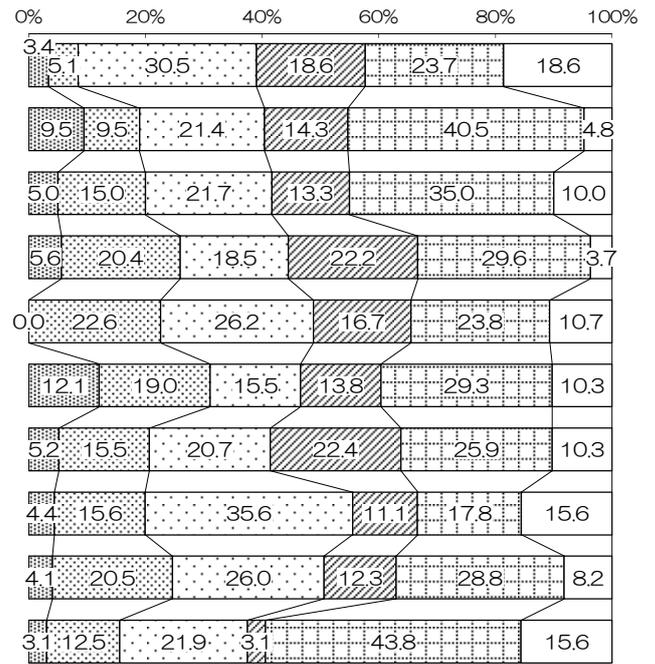


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑤公害防止対策



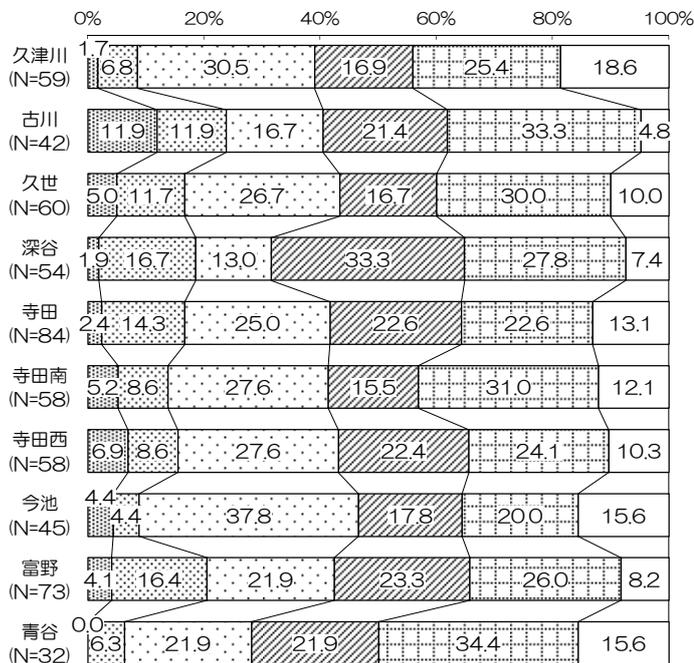
⑥墓地公園の建設



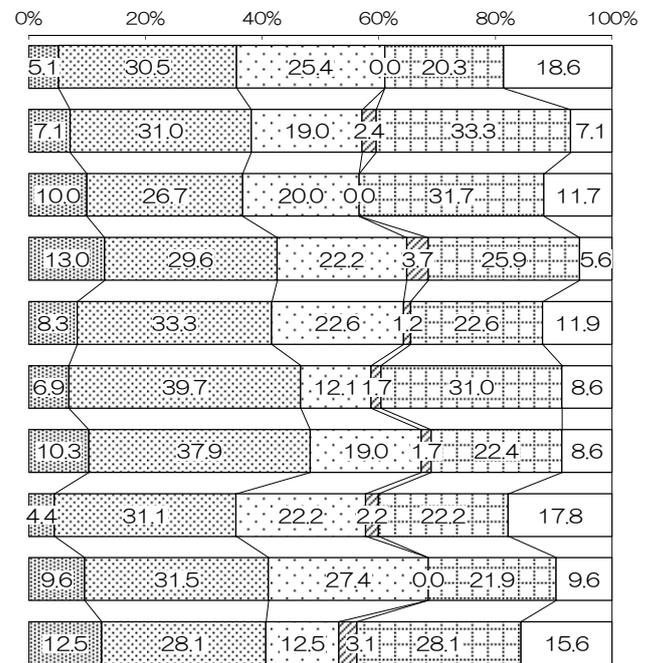
0% 100% 200% 300% 400% 500% 600% 700% 800% 900% 1000%

■ とても必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

⑦葬祭場の建設



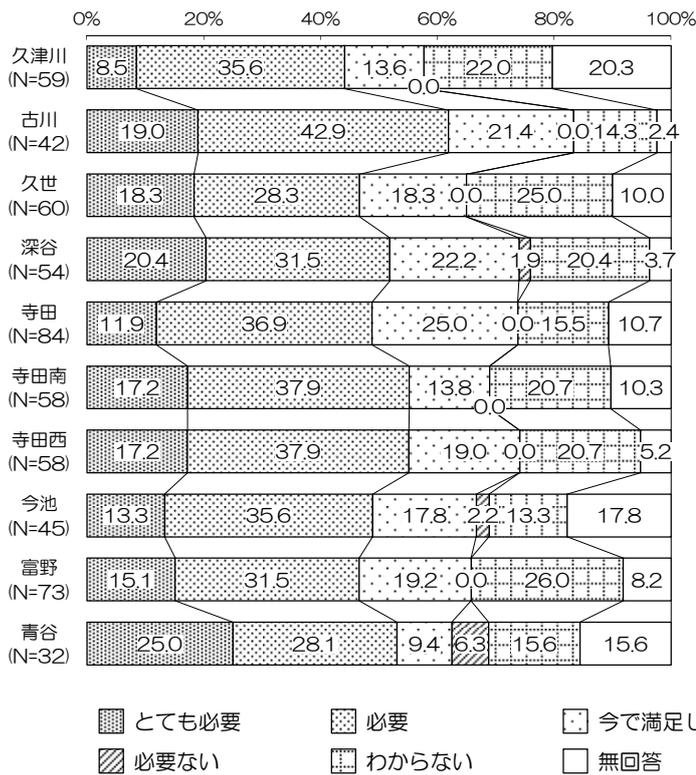
⑧消費者保護対策の充実



0% 100% 200% 300% 400% 500% 600% 700% 800% 900% 1000%

■ とても必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

◎地下水保全対策



居住小学校区別にみると、「①街の環境美化」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が、寺田南で67.2%（39件）、富野で64.4%（47件）と高くなっています。

「②防災・防火活動の充実」は、『必要』が寺田南で72.4%（42件）と高く、また、富野、古川、久世でも6割以上となっています。

「③交通安全対策」は、『必要』が全ての小学校区で5割を超え、特に富野で71.2%（52件）と高くなっています。

「④コミュニティ活動の推進」は、富野と古川で『必要』が4割を超えています。

「⑤公害防止対策」は、『必要』が寺田南と寺田西でともに51.7%（寺田南 30件、寺田西 30件）、富野でも48.0%（35件）と、約半数を占めています。

「⑥墓地公園の建設」は、寺田南では『必要』が31.1%（18件）とやや高くなっています。

「⑦葬祭場の建設」は、多くの小学校区で「必要ない」が『必要』を上回っていますが、古川では『必要』（23.8%：10件）が「必要ない」（21.4%：9件）を上回っています。

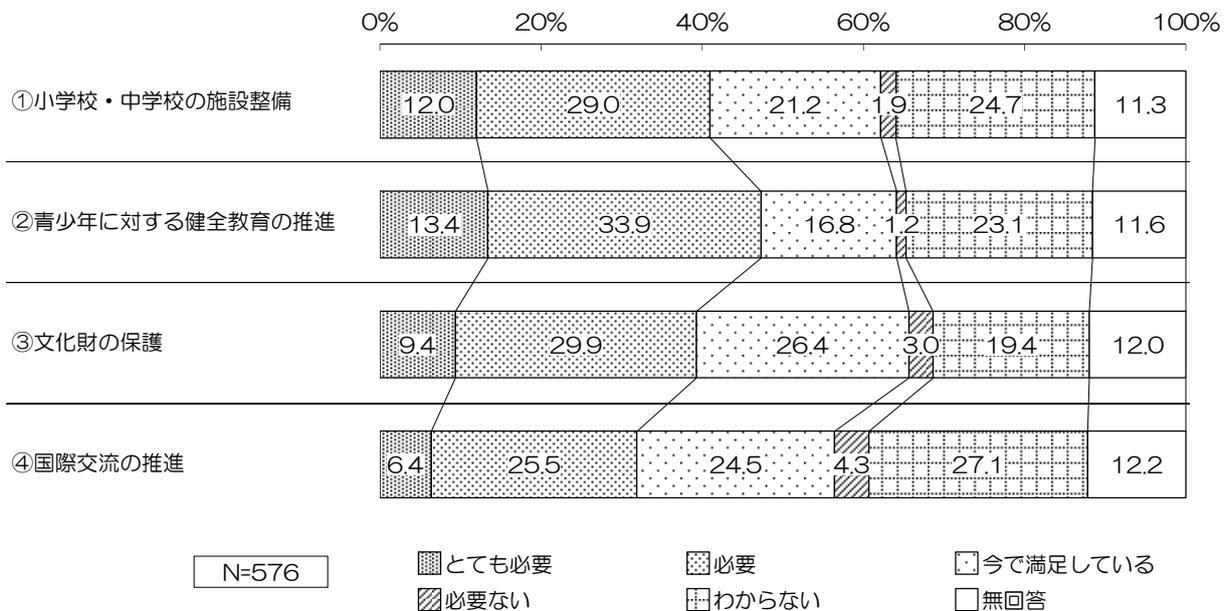
「⑧消費者保護対策の充実」は、『必要』が寺田西で48.2%（28件）、寺田南で46.6%（27件）と高くなっています。

「⑨地下水保全対策」は、古川で『必要』が61.9%（26件）と高いほか、寺田南、寺田西、青谷、深谷の4校区で『必要』が5割を超えています。（図4-4-2）

(5) 教育・文化に対する整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

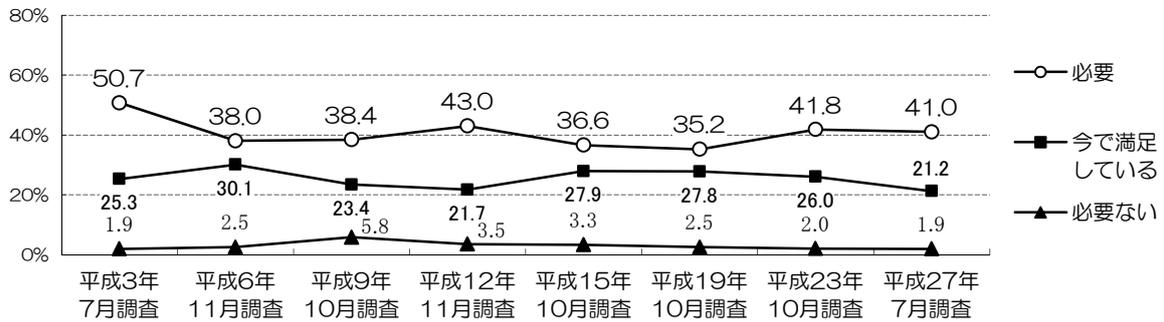
図4-5 教育・文化に対する整備の必要性



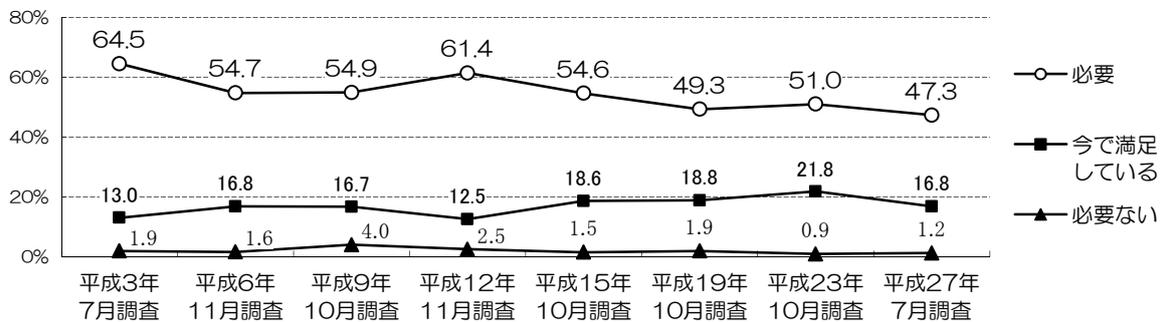
教育・文化に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「②青少年に対する健全教育の推進」で47.3%（272件）、「①小学校・中学校の施設整備」で41.0%（236件）、「③文化財の保護」で39.3%（226件）と高くなっています。（図4-5）

図4-5-1 経年比較 教育・文化に対する整備の必要性

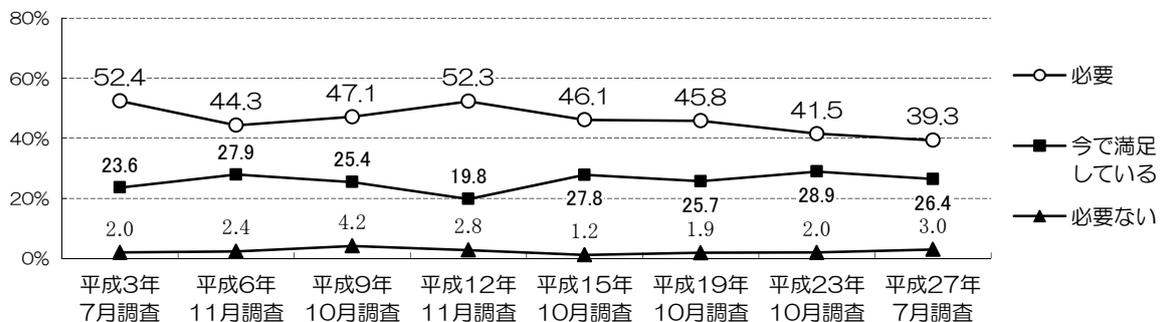
①小学校・中学校の施設整備



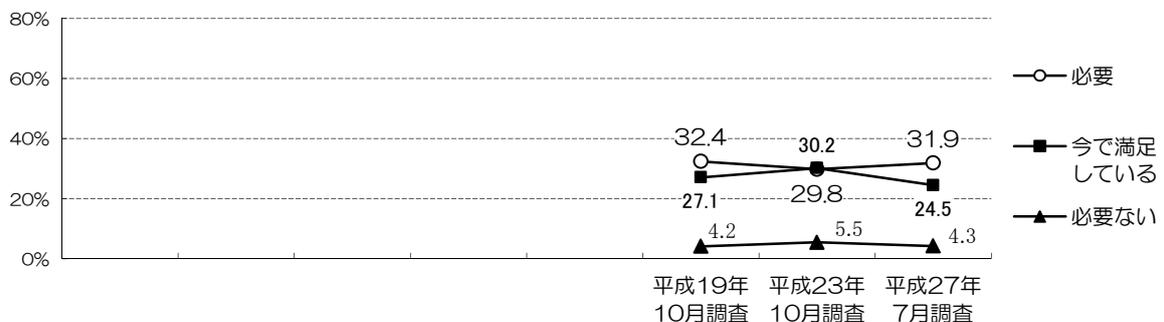
②青少年に対する健全教育の推進



③文化財の保護



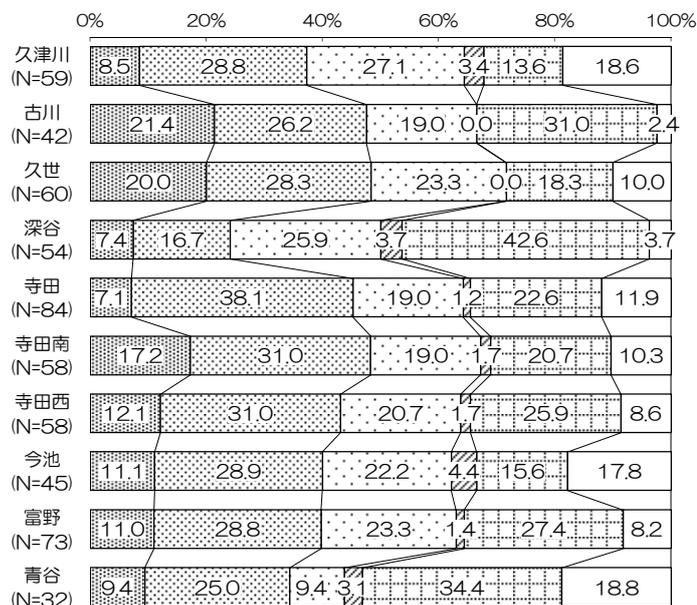
④国際交流の推進



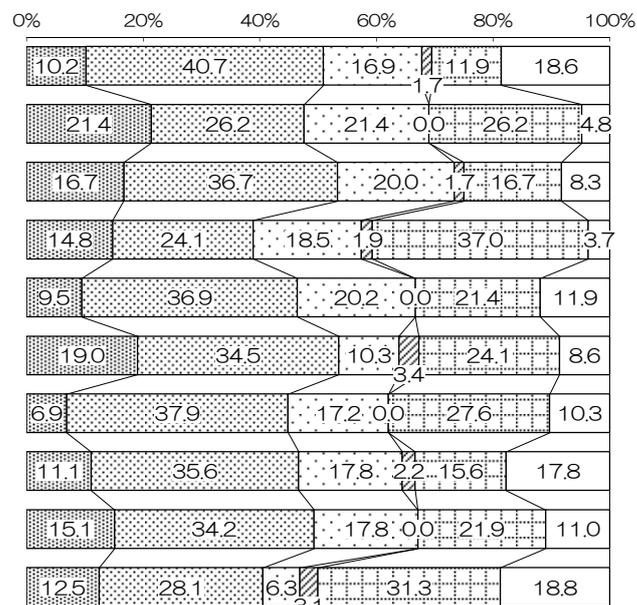
前回調査と比較すると、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「④国際交流の推進」で2.1ポイント増加していますが、「②青少年に対する健全教育の推進」では3.7ポイント、「③文化財の保護」では2.2ポイント、それぞれ『必要』が減少しています。（図4-5-1）

図4-5-2 居住小学校区別 教育・文化に対する整備の必要性

①小学校・中学校の施設整備

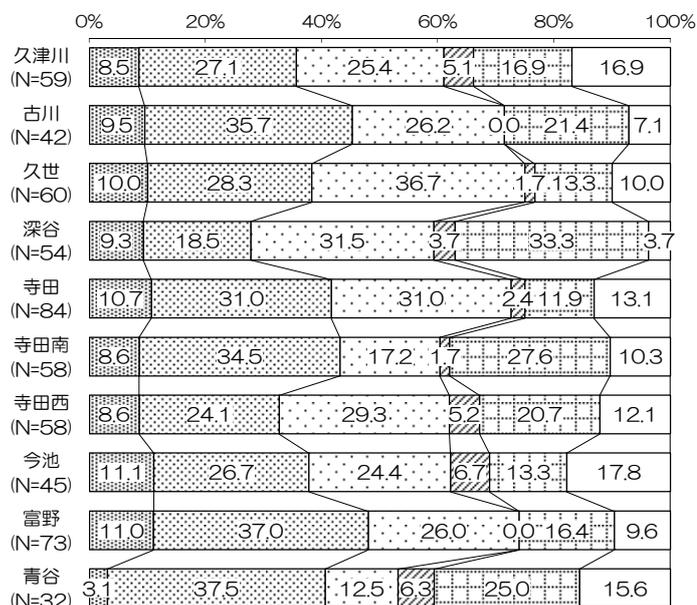


②青少年に対する健全教育の推進

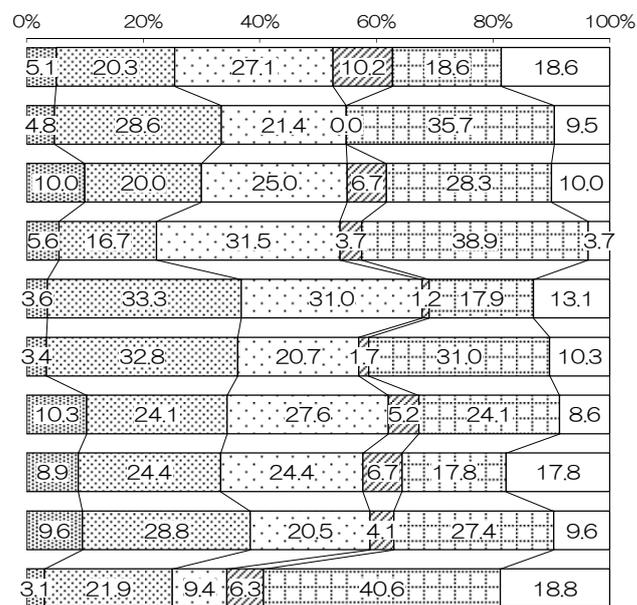


■ 最も必要 ■ 必要 □ 今で満足している ■ 必要ない □ わからない □ 無回答

③文化財の保護



④国際交流の推進



■ 最も必要 ■ 必要 □ 今で満足している ■ 必要ない □ わからない □ 無回答

居住小学校区別にみると、「①小学校・中学校の施設整備」は、『必要』（「最も必要」と「必要」を合わせた割合）が、久世、寺田南、古川で5割弱となっています。

「②青少年に対する健全教育の推進」は、『必要』が寺田南で53.5%（31件）、久世で53.4%（32件）、久津川で50.9%（30件）と高くなっています。

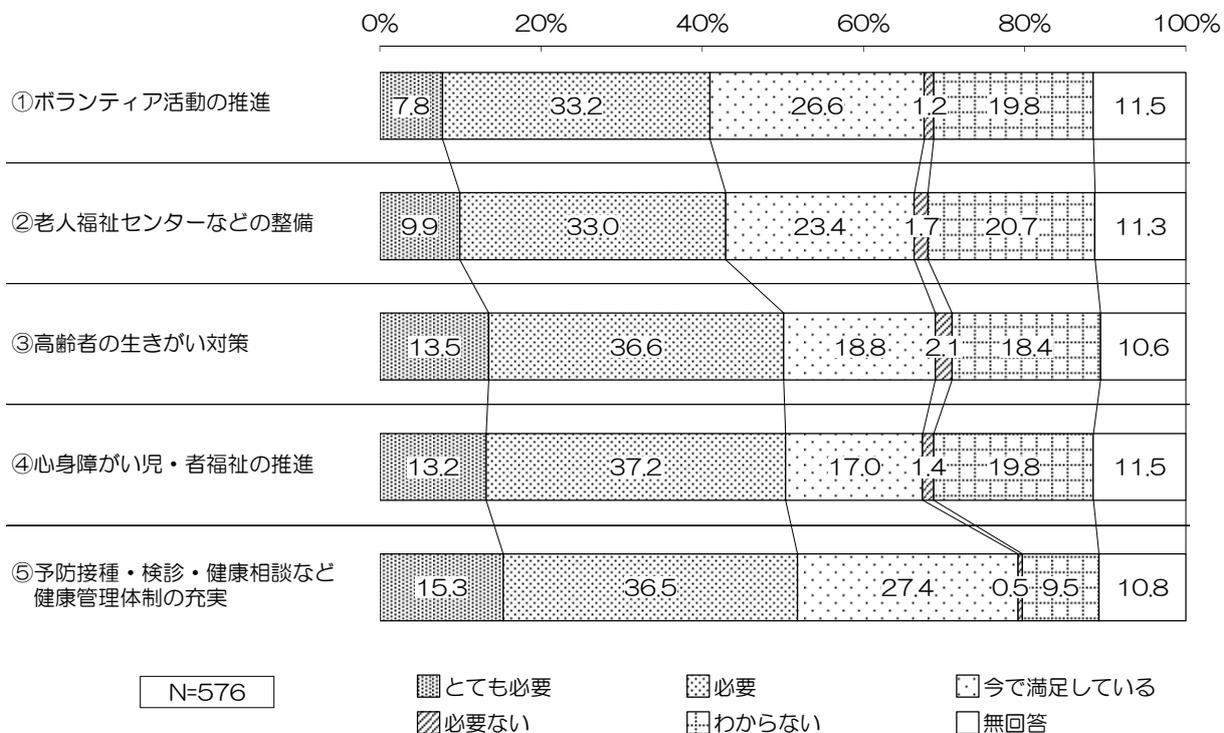
「③文化財の保護」は、『必要』が富野で48.0%（35件）、古川で45.2%（19件）と高くなっています。

「④国際交流の推進」は、『必要』が富野で38.4%（28件）と全校区の中で最も高くなっています。（図4-5-2）

(6) 福祉・健康に対する整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

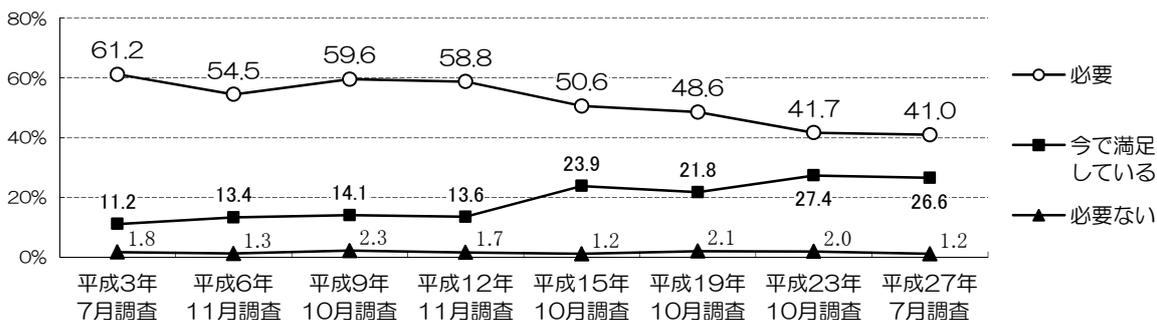
図4-6 福祉・健康に対する整備の必要性



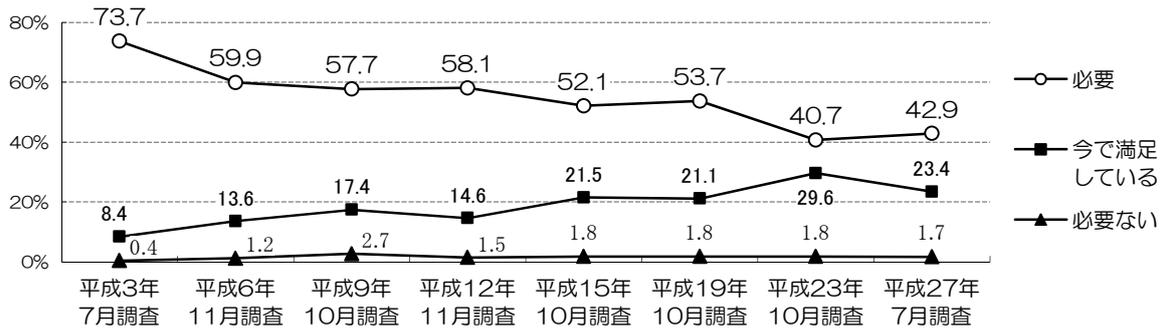
福祉・健康に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実」で51.8%（298件）、「④心身障がい児・者福祉の推進」で50.4%（290件）、「③高齢者の生きがい対策」で50.1%（289件）となっており、この3項目では50%を超えています。（図4-6）

図4-6-1 経年比較 福祉・健康に対する整備の必要性

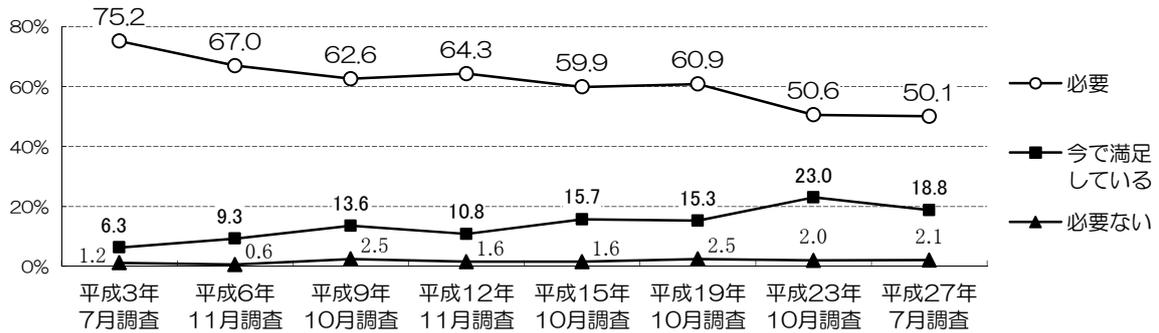
①ボランティア活動の推進



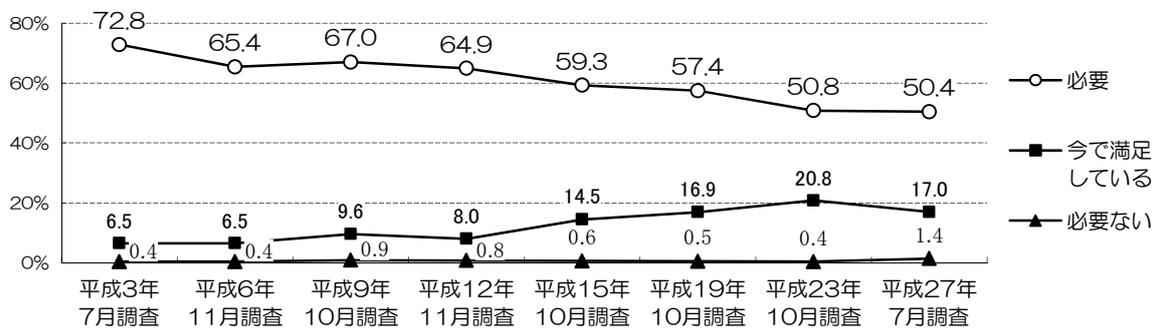
②老人福祉センターなどの整備



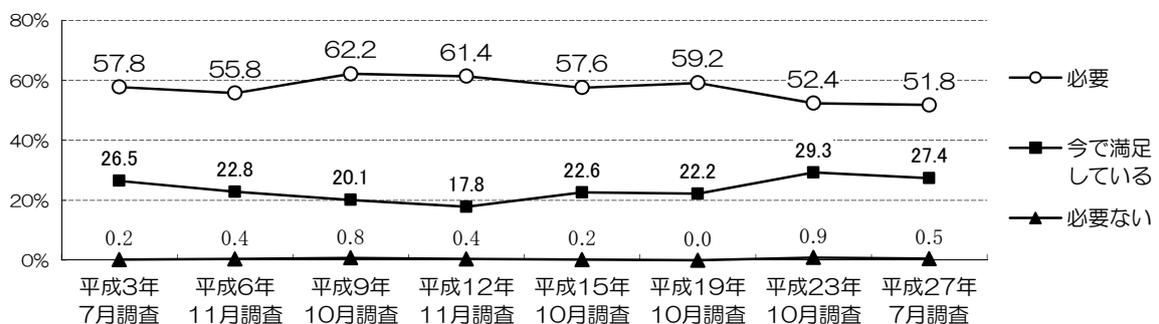
③高齢者の生きがい対策



④心身障がい児・者福祉の推進



⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実

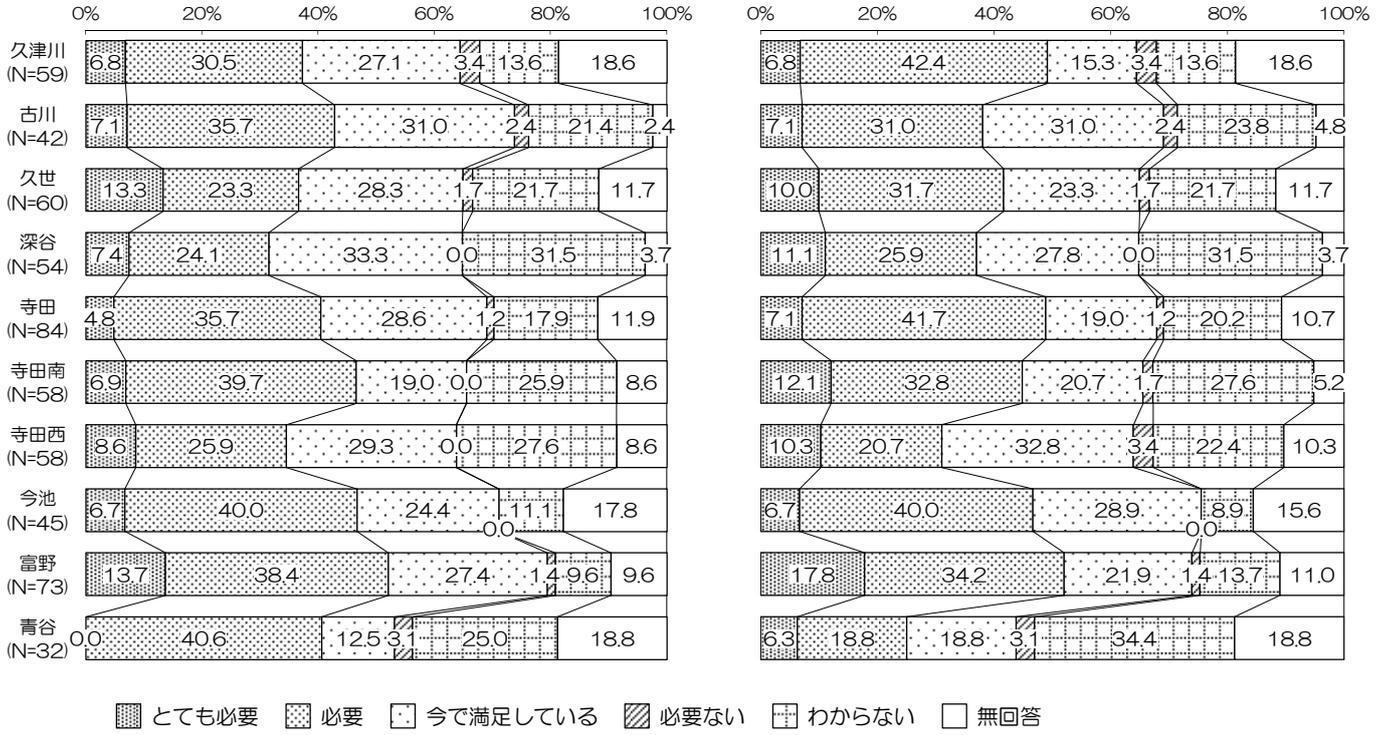


前回調査と比較すると、「②老人福祉センターなどの整備」は『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が2.2ポイント増加しています。「③高齢者の生きがい対策」と「④心身障がい児・者福祉の推進」は『必要』と「今で満足している」が減少し、「必要ない」がわずかに増加しています。（図4-6-1）

図4-6-2 居住小学校区別 福祉・健康に対する整備の必要性

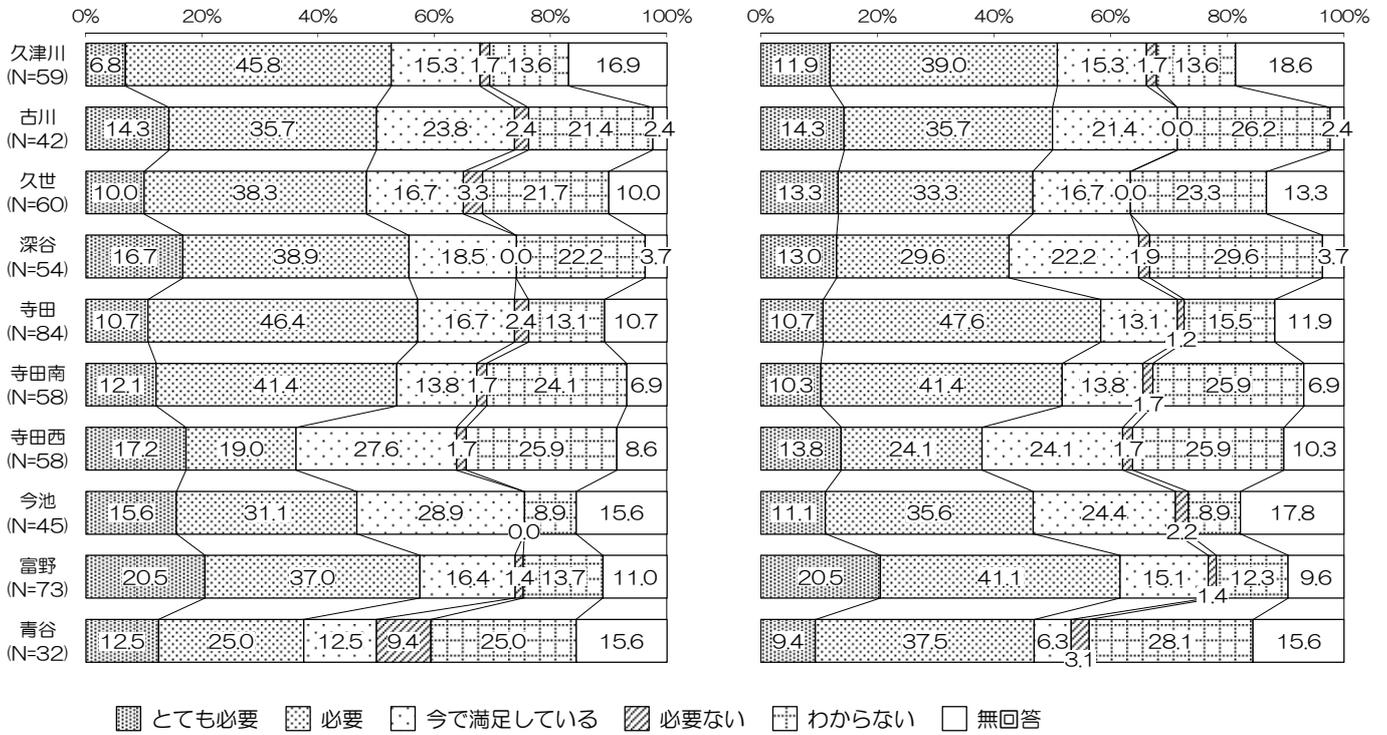
① ボランティア活動の推進

② 老人福祉センターなどの整備

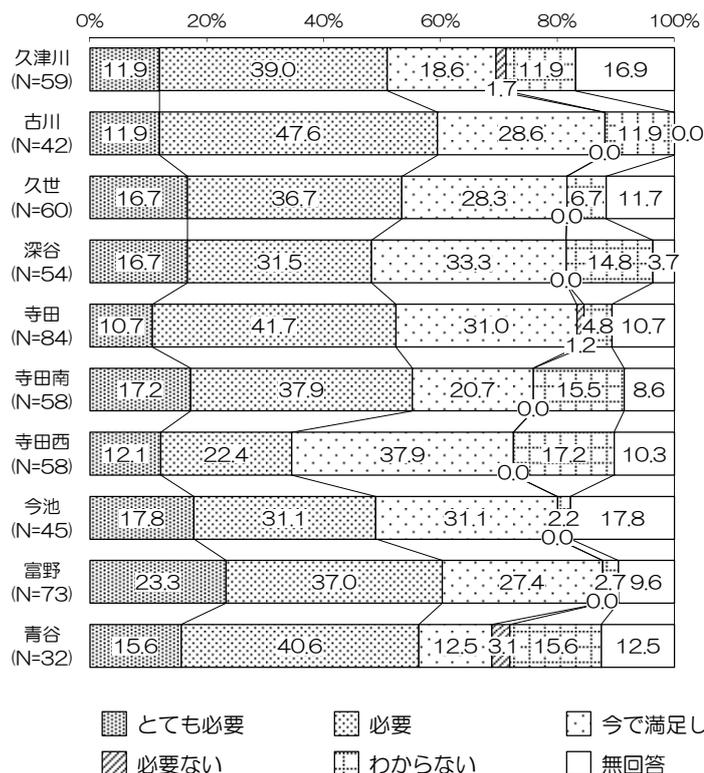


③ 高齢者の生きがい対策

④ 心身障がい児・者福祉の推進



⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実



居住小学校区別にみると、「①ボランティア活動の推進」は、富野で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が52.1%（38件）と全校区の中で唯一5割を超えています。

「②老人福祉センターなどの整備」は、『必要』が富野で52.0%（38件）、久津川で49.2%（29件）、寺田で48.8%（41件）と高くなっています。

「③高齢者の生きがい対策」は、富野、寺田で『必要』が高く、それぞれ57.5%（42件）、57.1%（48件）となっていますが、青谷と寺田西では『必要』が4割未満となっています。

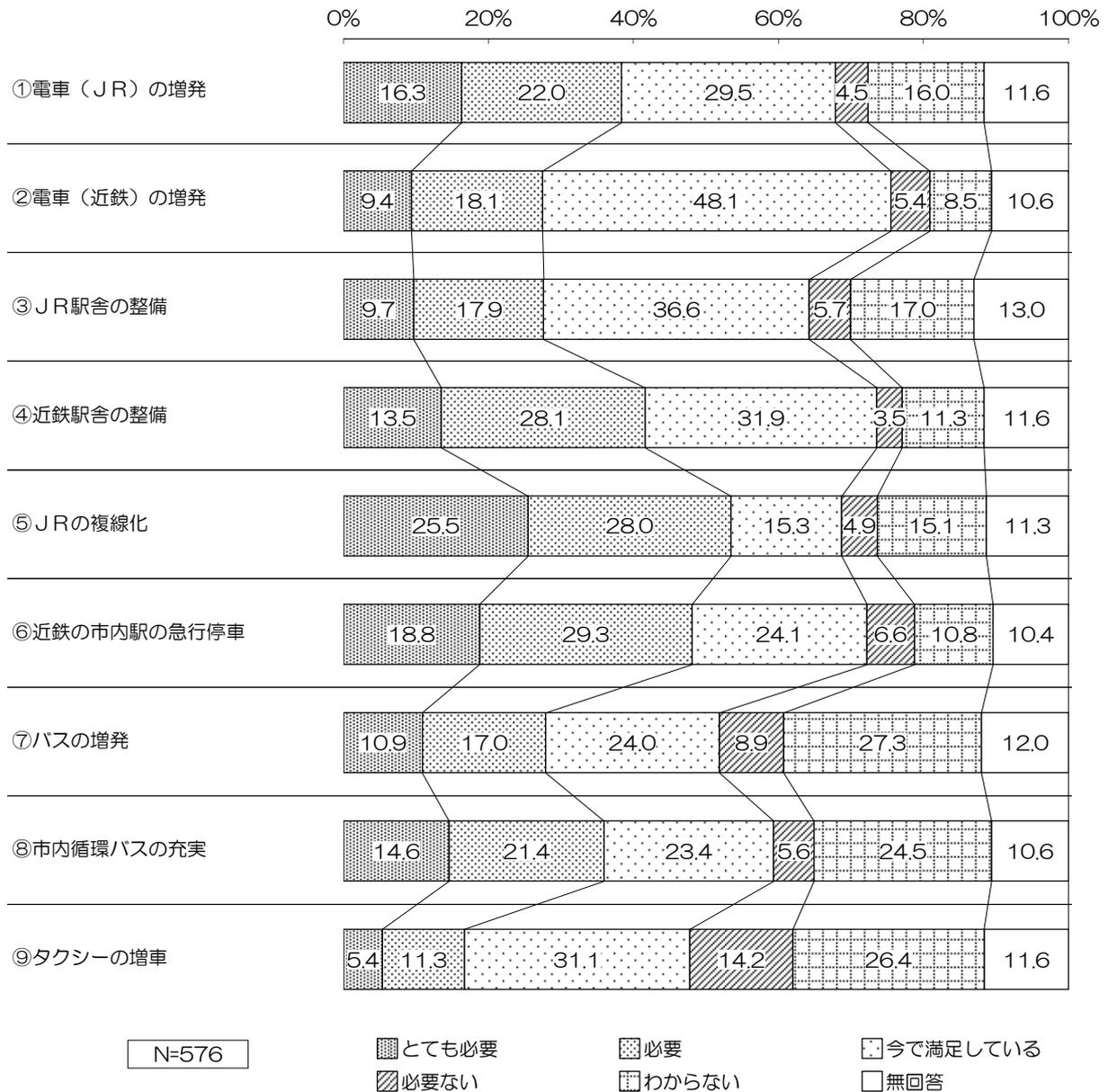
「④心身障がい児・者福祉の推進」は、『必要』が、富野で61.6%（45件）、寺田で58.3%（49件）と高くなっています。これらの他、久津川と古川、寺田南の各校区でも50%以上となっています。

「⑤予防接種・検診・健康相談など健康管理体制の充実」は、『必要』が富野で60.3%（44件）、古川で59.5%（25件）、青谷で56.2%（18件）、寺田南で55.1%（32件）と高くなっています。（図4-6-2）

(7) 交通機関の整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

図4-7 交通機関の整備の必要性

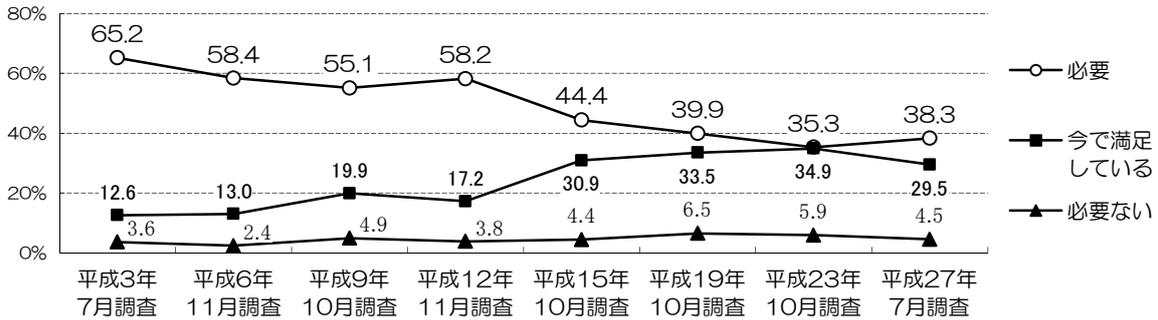


交通機関の整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑤JRの複線化」で53.5%（308件）と5割を超えています。また、『必要』は「⑥近鉄の市内駅の急行停車」で48.1%（277件）、「④近鉄駅舎の整備」で41.6%（240件）、「①電車（JR）の増発」で38.3%（221件）となっています。

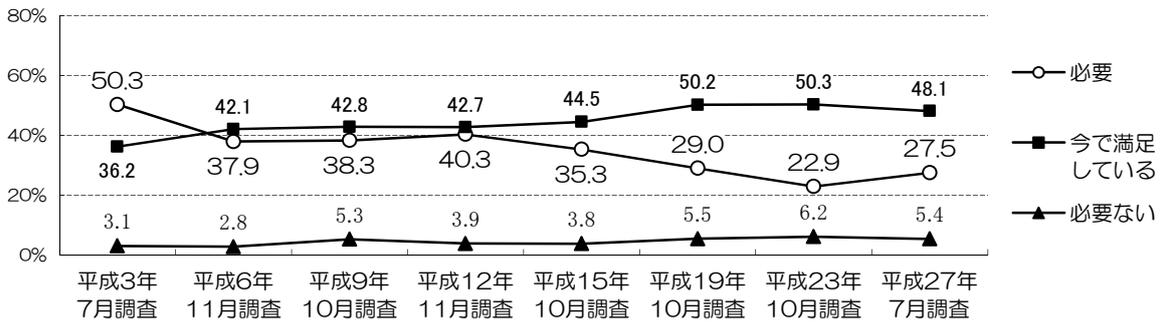
「②電車（近鉄）の増発」「③JR駅舎の整備」「⑨タクシーの増車」については『必要』よりも「今で満足している」の割合が高くなっています。（図4-7）

図4-7-1 経年比較 交通機関の整備の必要性

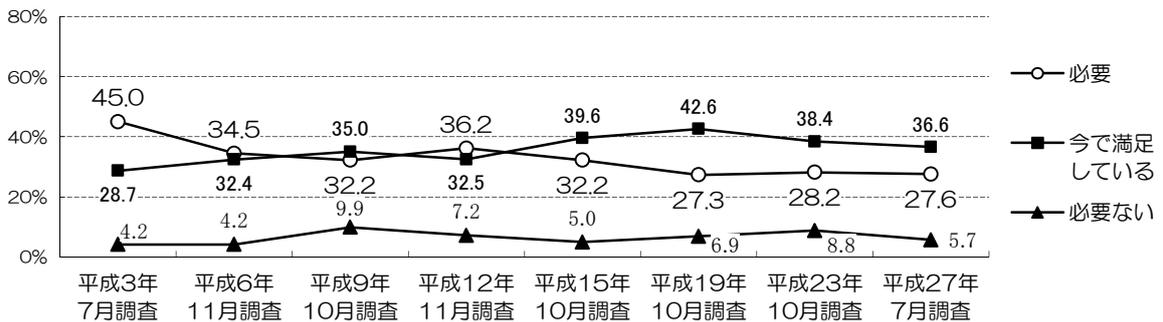
①電車（JR）の増発



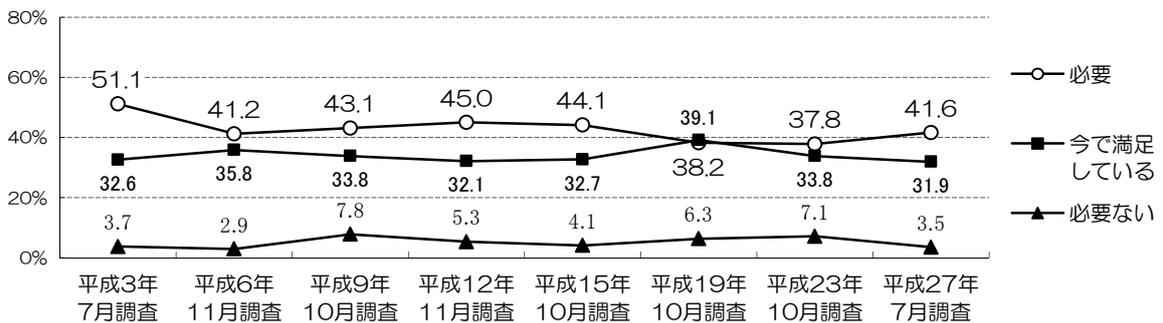
②電車（近鉄）の増発



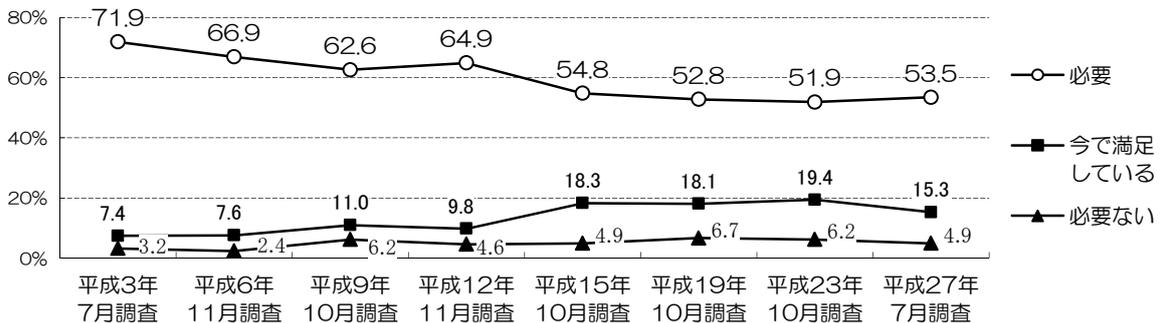
③JR駅舎の整備



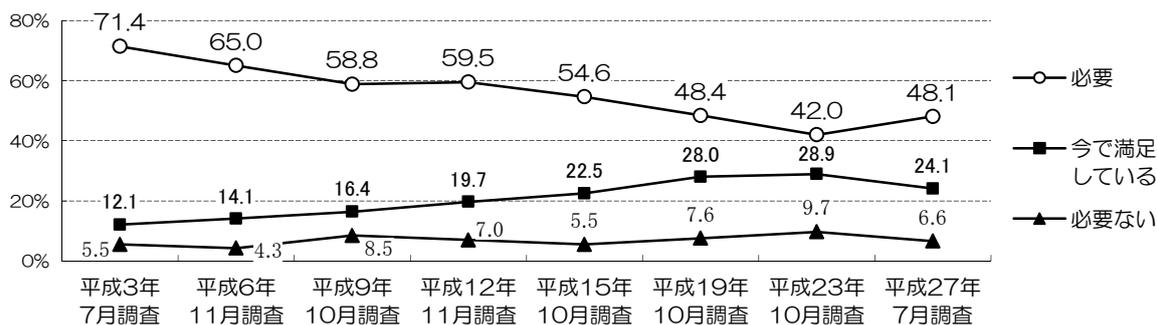
④近鉄駅舎の整備



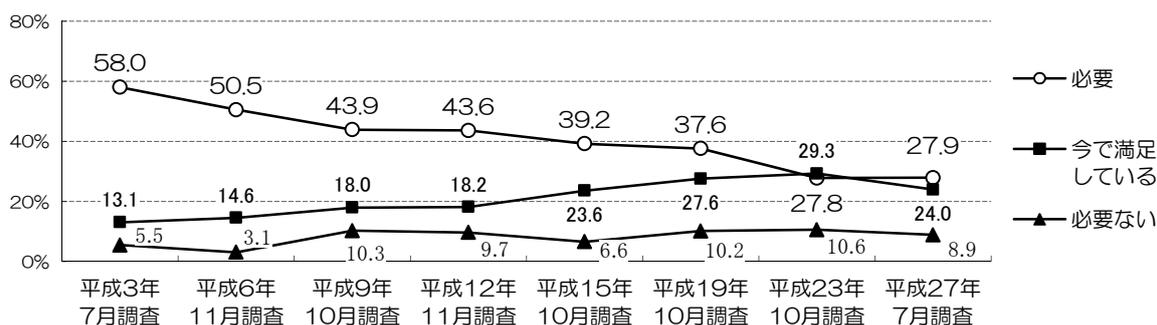
⑤JRの複線化



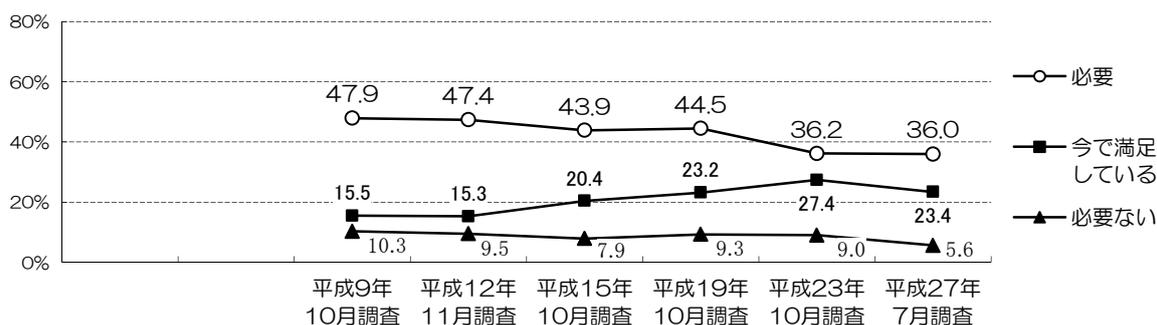
⑥近鉄の市内駅の急行停車



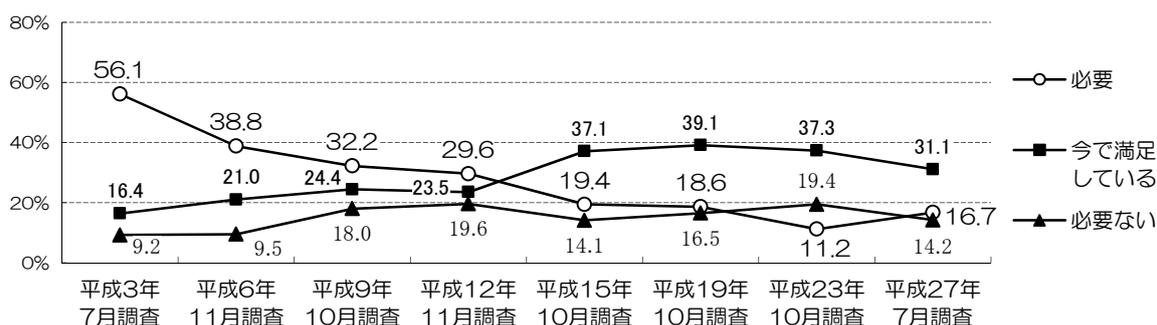
⑦バスの増発



⑧市内循環バスの充実



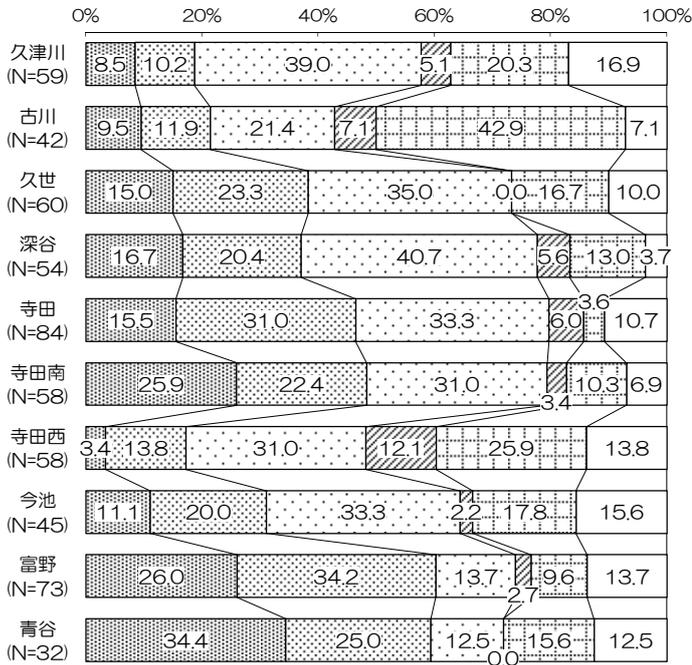
⑨タクシーの増車



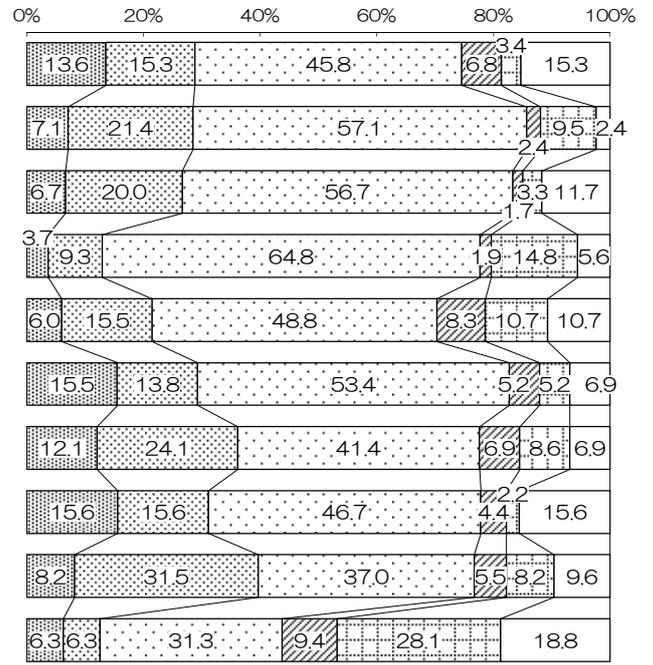
前回調査と比較すると、「③JR駅舎の整備」と「⑧市内循環バスの充実」を除くすべての項目で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が増加しており、特に「⑥近鉄の市内駅の急行停車」（6.1ポイント増加）、「⑨タクシーの増車」（5.5ポイント増加）、「②電車（近鉄）の増発」（4.6ポイント増加）で違いが大きくなっています。（図4-7-1）

図4-7-2 居住小学校区別 交通機関の整備の必要性

①電車（JR）の増発

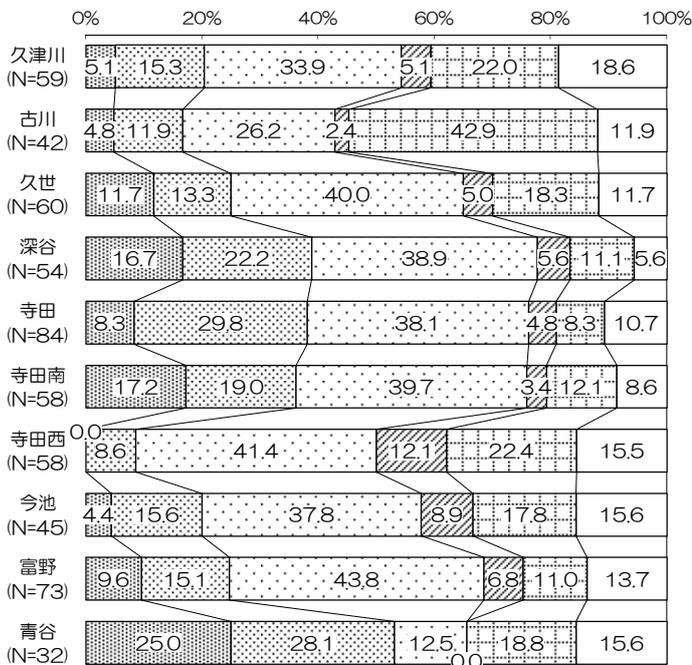


②電車（近鉄）の増発

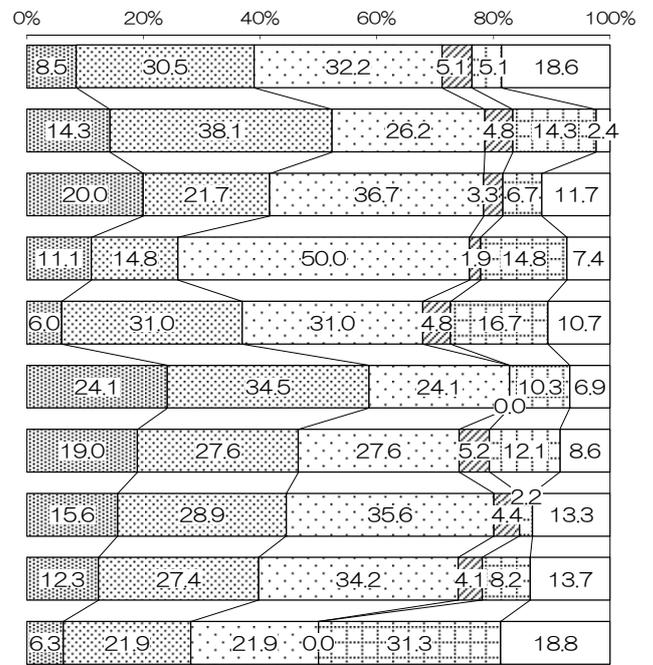


■ 必要 □ 今で満足している ▨ 必要ない □ わからない □ 無回答

③JR駅舎の整備

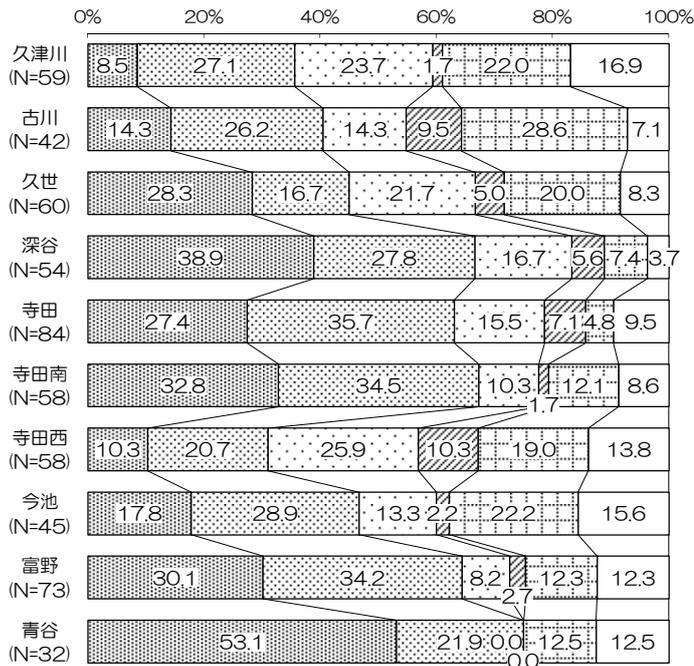


④近鉄駅舎の整備

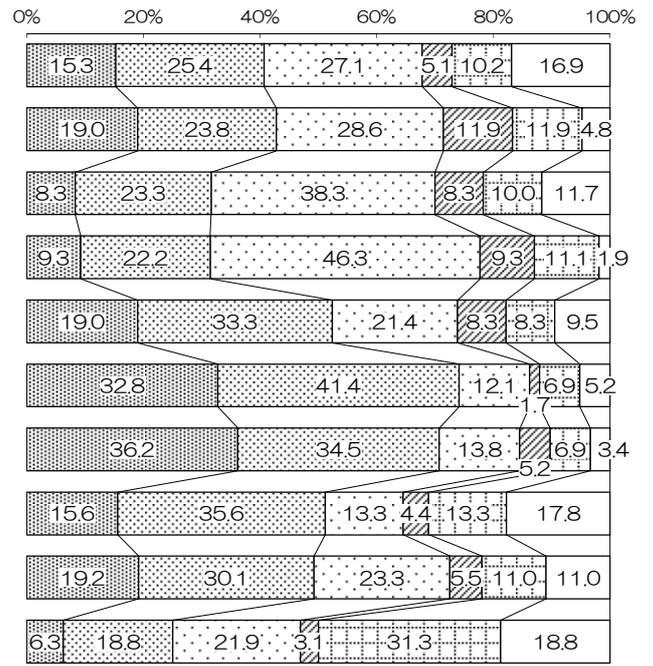


■ 必要 □ 今で満足している ▨ 必要ない □ わからない □ 無回答

⑤ JRの複線化

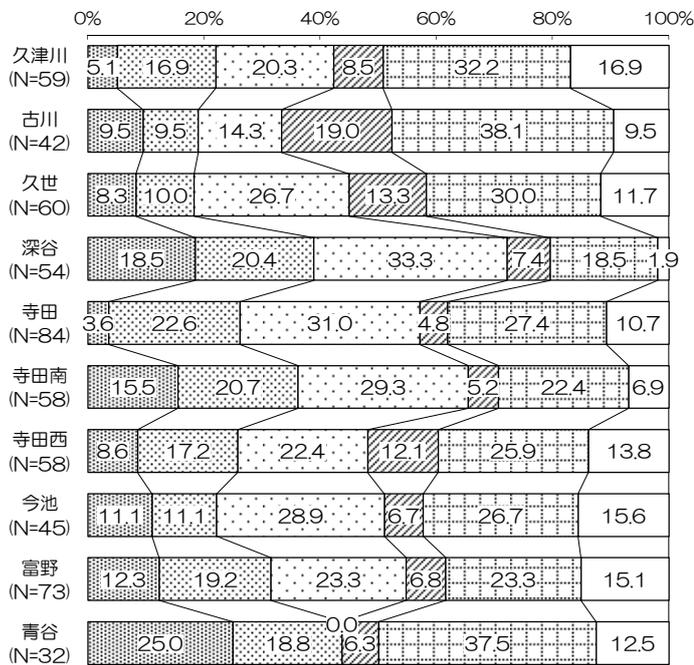


⑥ 近鉄の市内駅の急行停車

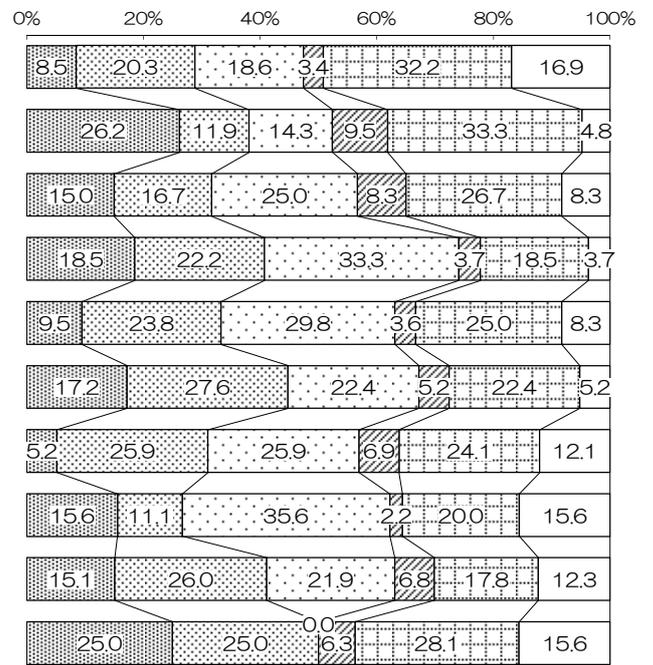


100% とても必要 75% 必要 50% 今で満足している 25% 必要ない 0% わからない 0% 無回答

⑦ バスの増発

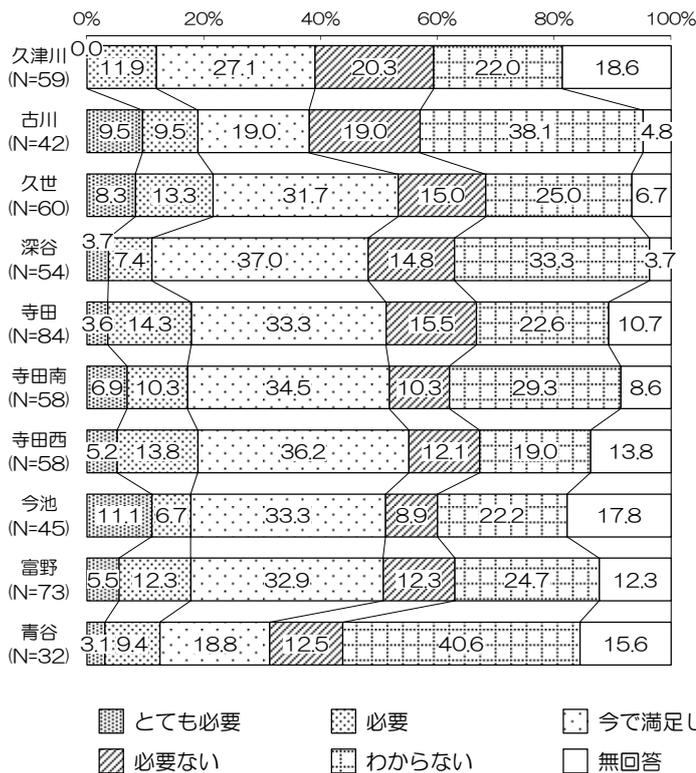


⑧ 市内循環バスの充実



100% とても必要 75% 必要 50% 今で満足している 25% 必要ない 0% わからない 0% 無回答

◎タクシーの増車



居住小学校区別にみると、「①電車（JR）の増発」は、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が富野で60.2%（44件）、青谷で59.4%（19件）と高くなっています。

「②電車（近鉄）の増発」は、富野以外の小学校区では、『必要』よりも「今で満足している」が高くなっています。富野では『必要』が39.7%（29件）と「今で満足している」（37.0%：27件）を上回っています。

「③JR駅舎の整備」は、青谷で『必要』が53.1%（17件）と高くなっています。また、深谷、寺田、寺田南の3校区でも『必要』が4割近くとなっています。富野は、「今で満足している」が43.8%（32件）と高くなっています。

「④近鉄駅舎の整備」は、『必要』が寺田南（58.6%：34件）、古川（52.4%：22件）で5割を超えて高くなっています。

「⑤JRの複線化」は、青谷で『必要』が75.0%（24件）と高く、「とても必要」だけでも53.1%（17件）と半数を超えています。また、深谷、寺田、寺田南、富野の各校区でも『必要』は6割を超えています。

「⑥近鉄の市内駅の急行停車」は、寺田南と寺田西で『必要』の割合が高く、それぞれ74.2%（43件）、70.7%（41件）となっています。

「⑦バスの増発」は、青谷で『必要』が43.8%（14件）と高くなっています。深谷では、『必要』が38.9%（21件）、「今で満足している」が33.3%（18件）となっています。

「⑧市内循環バスの充実」は、『必要』が、青谷で50.0%（16件）、寺田南で44.8%（26件）、富野で41.1%（30件）、深谷で40.7%（22件）となっています。

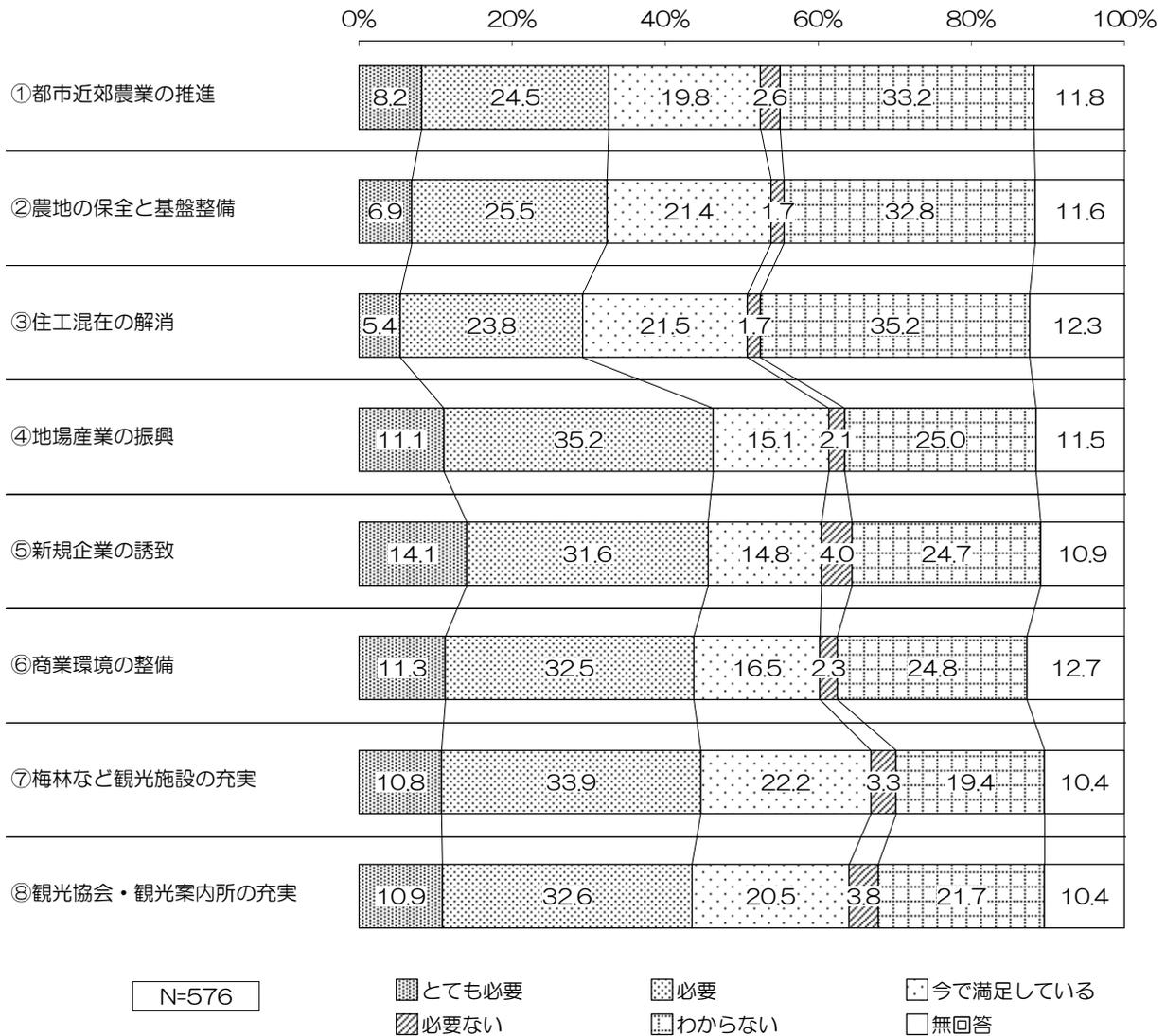
「⑨タクシーの増車」は、いずれの小学校区でも、『必要』が1割から2割前後となっています。

(図4-7-2)

(8) 産業に対する整備の必要性

IV(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのように感じておられますか。
それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

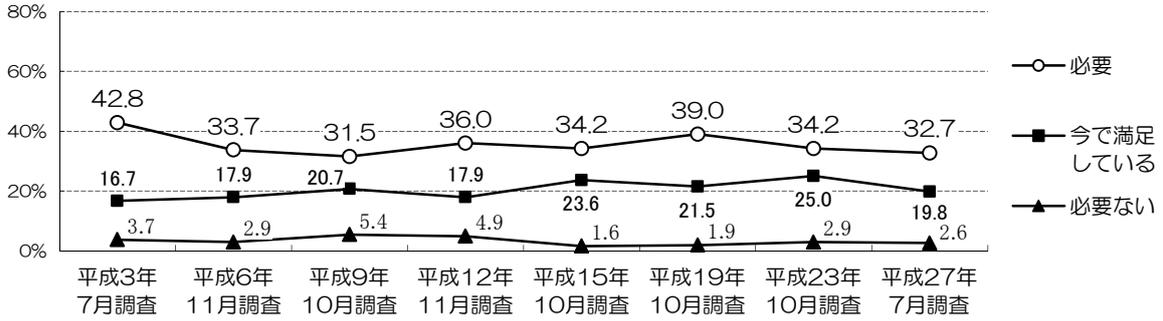
図4-8 産業に対する整備の必要性



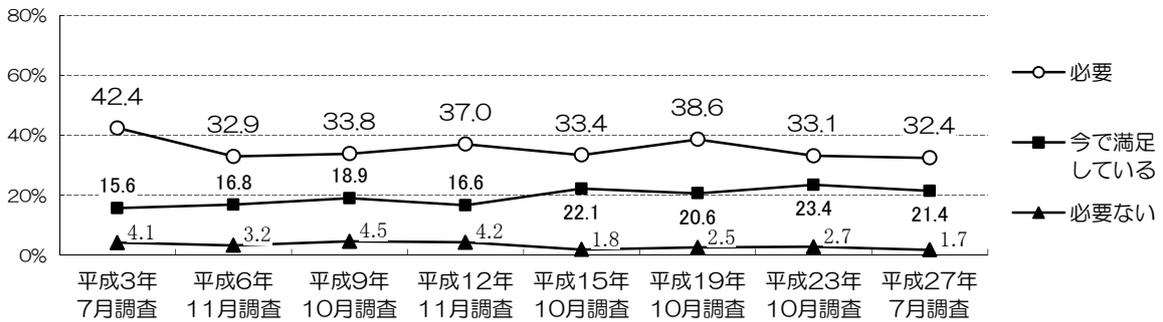
産業に対する整備の必要性については、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）の割合が、「④地場産業の振興」で46.3%（267件）、「⑤新規企業の誘致」で45.7%（263件）、「⑦梅林など観光施設の充実」で44.7%（257件）、「⑥商業環境の整備」で43.8%（252件）、「⑧観光協会・観光案内所の充実」で43.5%（251件）と高くなっています。（図4-8）

図4-8-1 経年比較 産業に対する整備の必要性

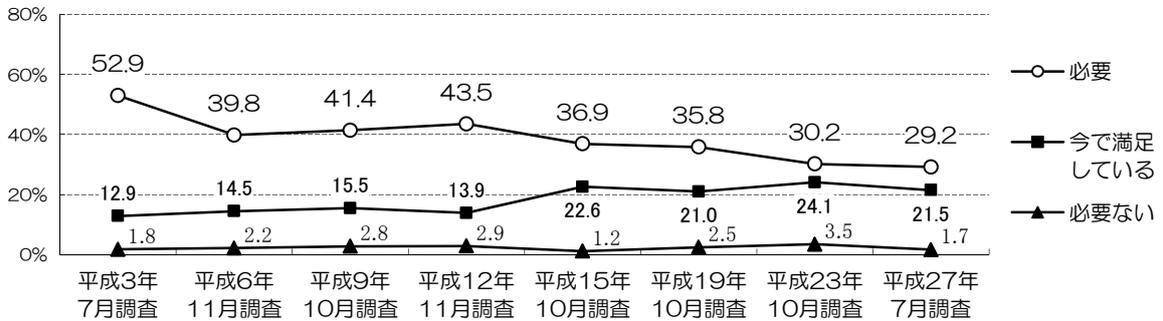
①都市近郊農業の推進



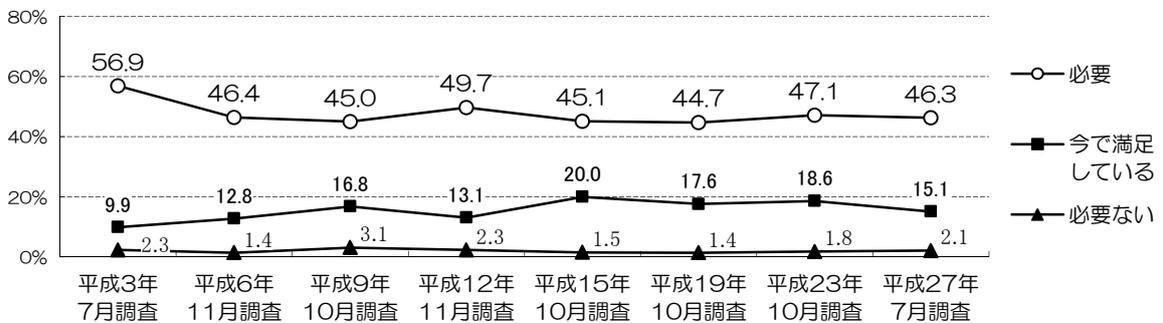
②農地の保全と基盤整備



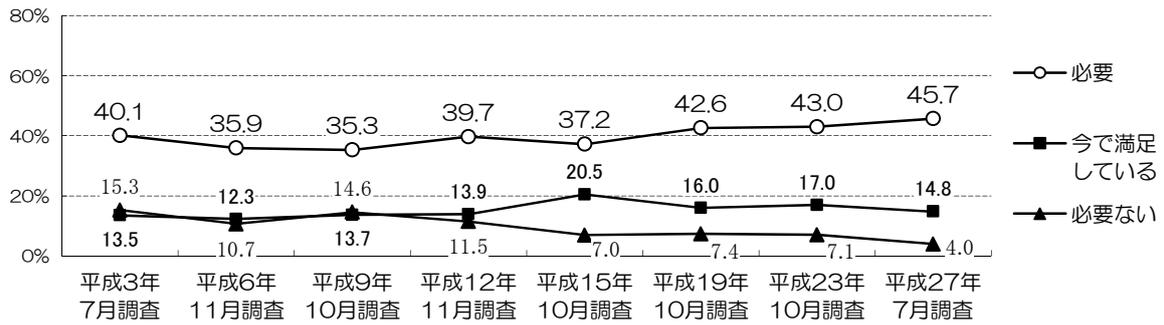
③住工混在の解消



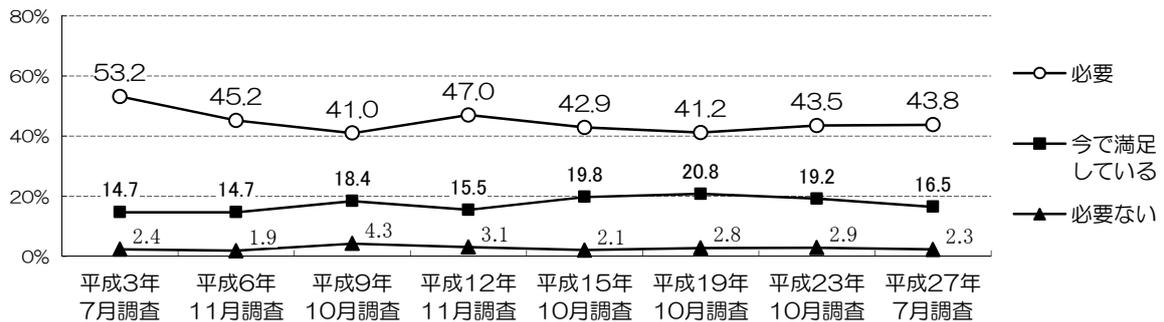
④地場産業の振興



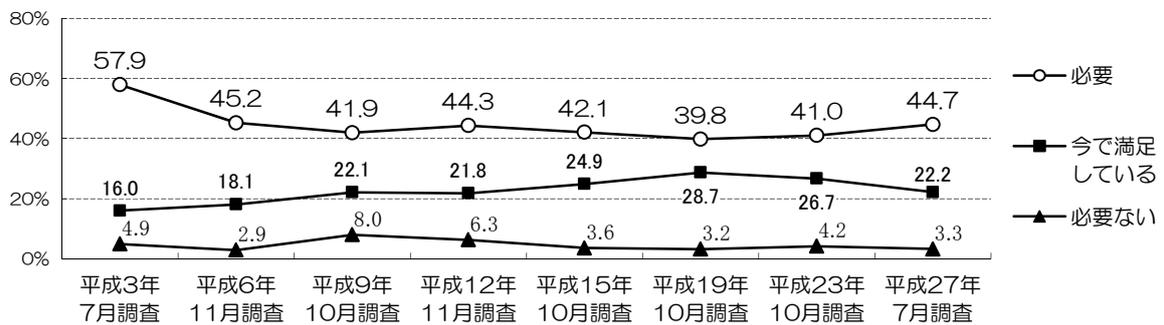
⑤新規企業の誘致



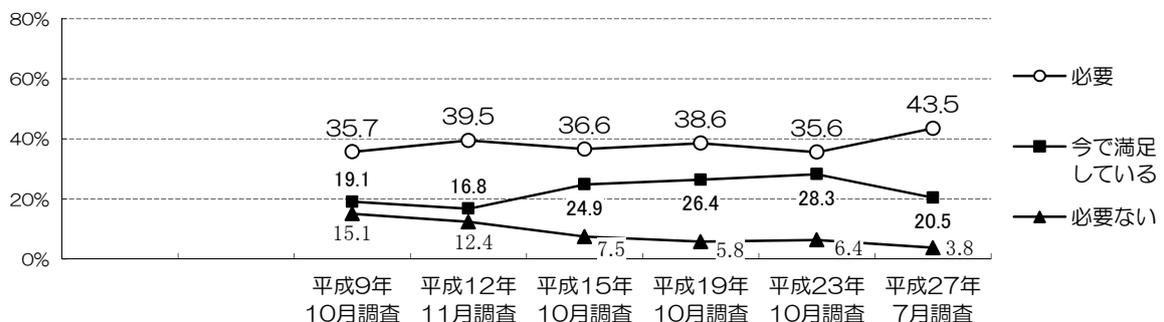
⑥商業環境の整備



⑦梅林など観光施設の充実



⑧観光協会・観光案内所の充実

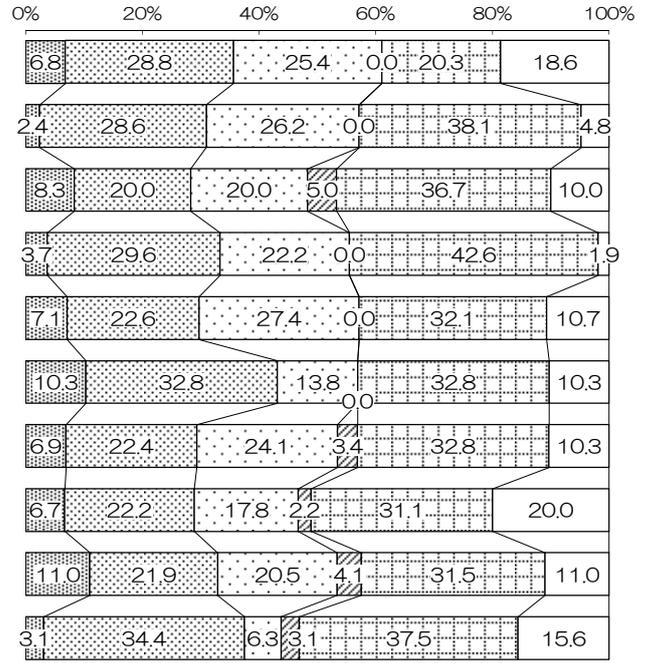
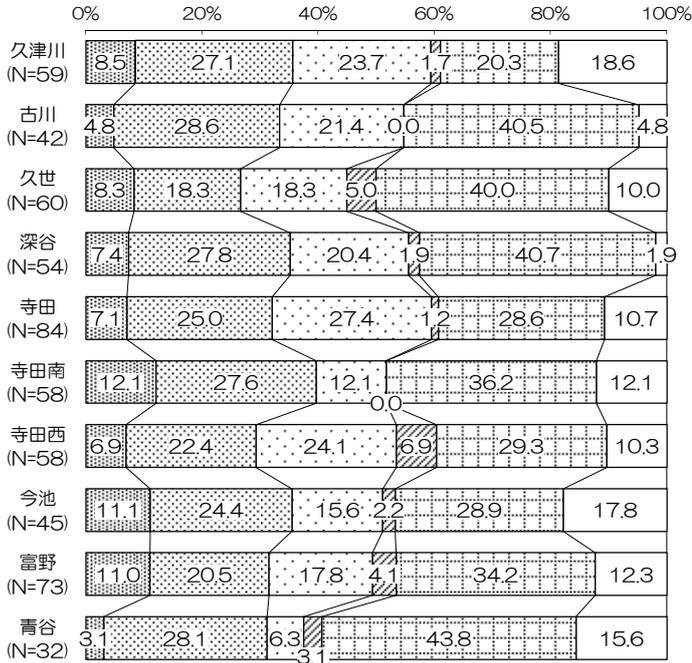


前回調査と比較すると、『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が「⑧観光協会・観光案内所の充実」で7.9ポイント、「⑦梅林など観光施設の充実」で3.7ポイント、「⑤新規企業の誘致」で2.7ポイント、それぞれ増加しています。（図4-8-1）

図4-8-2 居住小学校区別 産業に対する整備の必要性

①都市近郊農業の推進

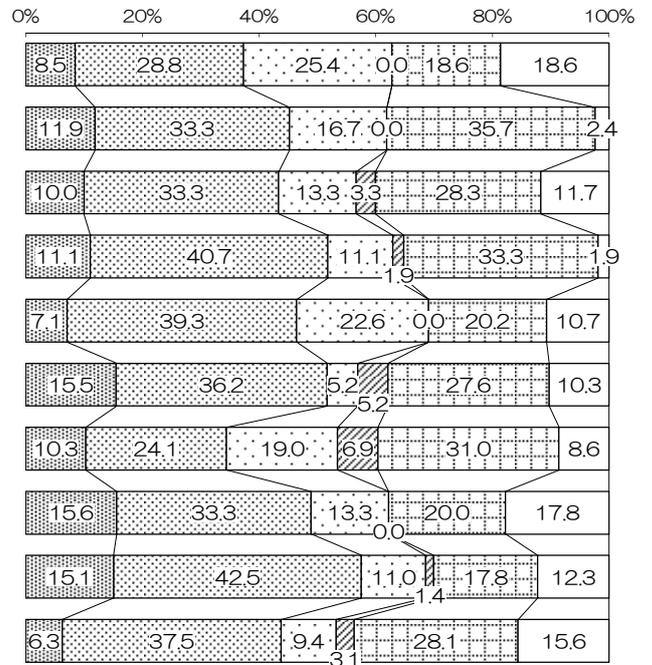
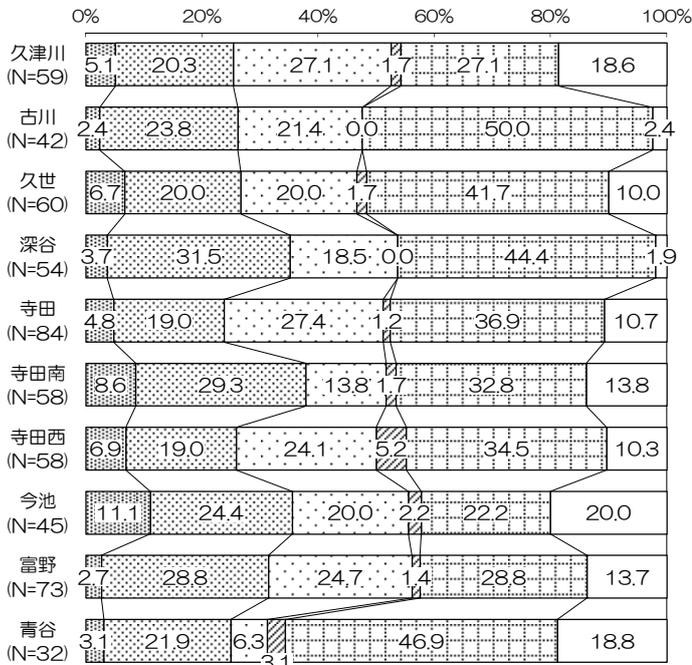
②農地の保全と基盤整備



■ 最も必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

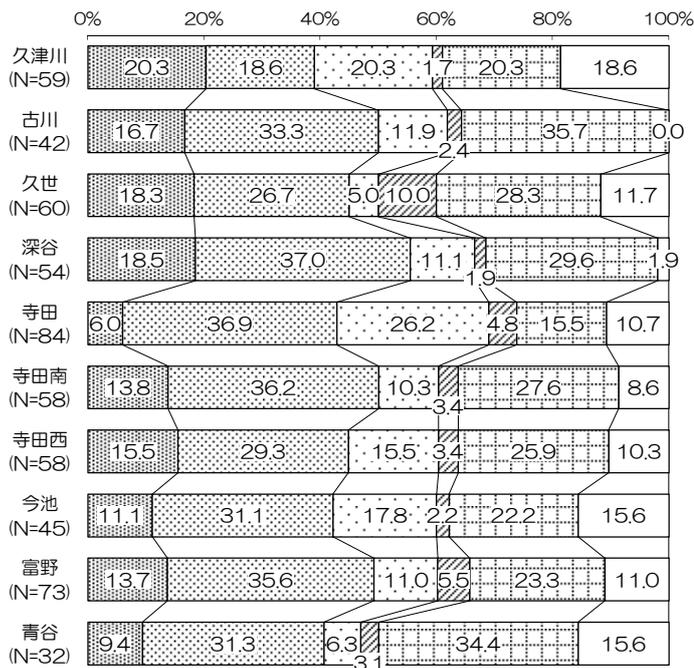
③住工混在の解消

④地場産業の振興

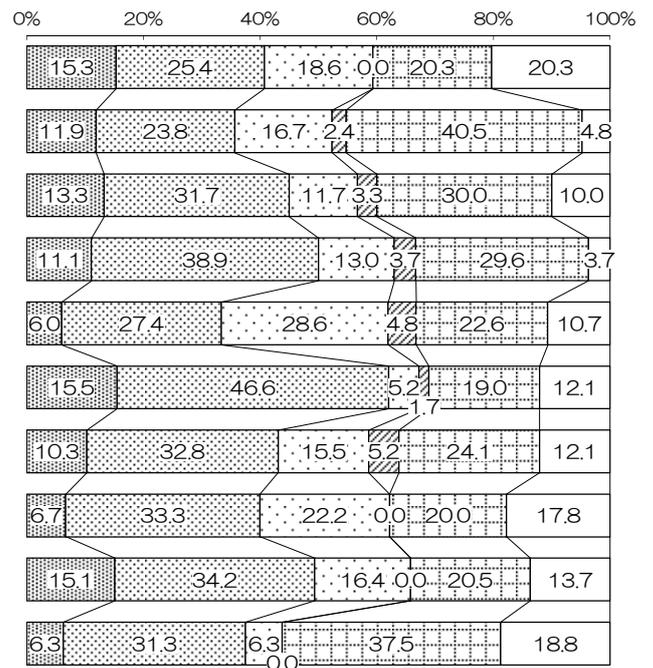


■ 最も必要 ■ 必要 ■ 今で満足している ■ 必要ない ■ わからない □ 無回答

⑤新規企業の誘致

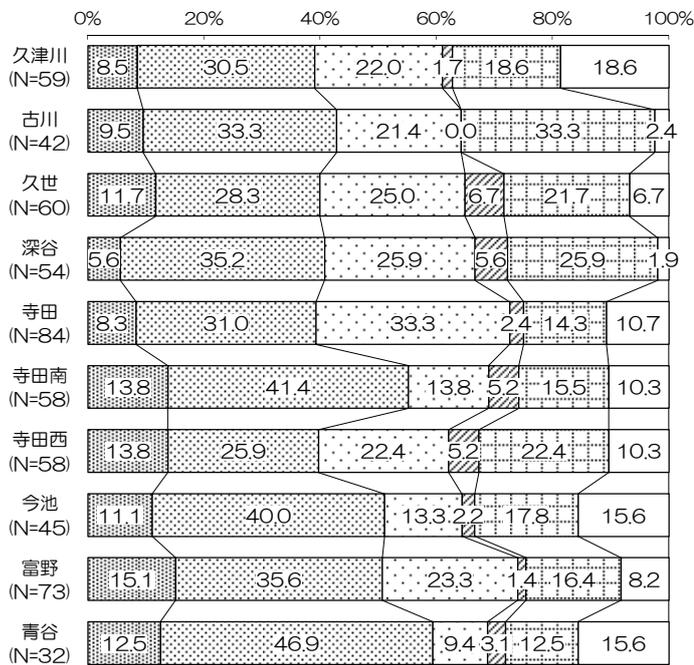


⑥商業環境の整備

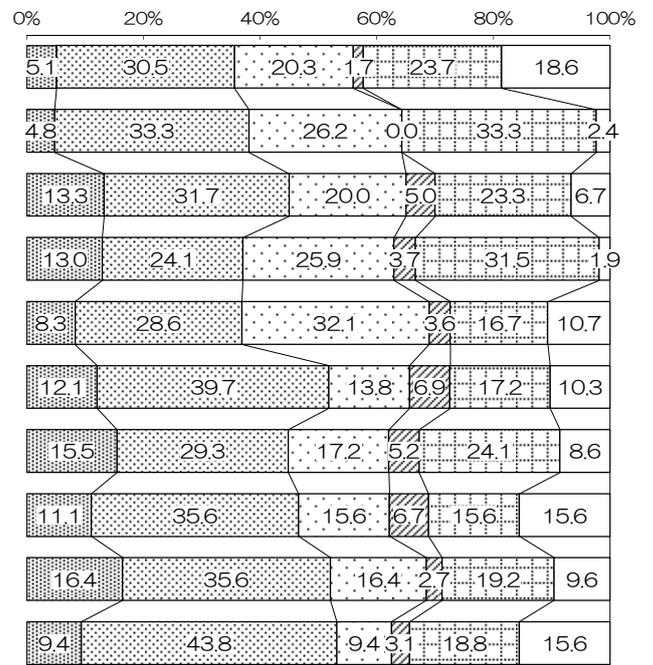


とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

⑦梅林など観光施設の充実



⑧観光協会・観光案内所の充実



とても必要
 必要
 今で満足している
 必要ない
 わからない
 無回答

居住小学校区別にみると、「①都市近郊農業の推進」は、寺田南で『必要』（「とても必要」と「必要」を合わせた割合）が39.7%（23件）とやや高くなっています。

「②農地の保全と基盤整備」は、『必要』が寺田南で43.1%（25件）となっています。この他、青谷、久津川、深谷、富野、古川では3割台となっています。

「③住工混在の解消」は、寺田南、今池、深谷、富野で『必要』が3割を超えています。

「④地場産業の振興」は、『必要』が富野で57.6%（42件）、深谷で51.8%（28件）寺田南で51.7%（30件）、今池で48.9%（22件）となっています。

「⑤新規企業の誘致」は、深谷で『必要』が55.5%（30件）となっており、この他、古川と寺田南、富野でも約5割と高くなっています。

「⑥商業環境の整備」は、寺田南で『必要』が62.1%（36件）と、他の小学校区との差が大きくなっています。

「⑦梅林など観光施設の充実」は、青谷で『必要』が59.4%（19件）となっています。また、寺田南、今池、富野でも『必要』は5割を超えています。

「⑧観光協会・観光案内所の充実」は青谷、富野、寺田南の3校区で『必要』が5割を超えています。（図4-8-2）

資 料 編

(2) 城陽市のようなところに魅力を感じられますか。適当だと思われるものに2つ以内で○印をつけてください。

1. 自然環境に恵まれている
2. 歴史的な建造物や史跡が多く存在している
3. 梅、花しょうぶなどの誇れる特産品がある
4. 住宅地として住みやすい
5. 通勤・通学・買物などが便利である
6. コミュニティ施策が進んでいる
7. 文化・スポーツ活動が盛んである
8. その他 (具体的に:)

(3) あなたは城陽市に「ふるさと」であるといった感じをお持ちですか。

1. 「ふるさと」感を持っている
2. 「ふるさと」感を持っていない
3. わからない

(4) あなたは今後も現在のところに住みつづけたいと思われませんか。

1. 現在のところとずっと住みつづけたい
2. 市内のどこか適当なところへ移りたい
3. 市外へ移りたい
4. どちともいえない

→ (4)-1 問(4)で「2または3 (移りたい)」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。2つ以内で○印をつけてください。

1. 家が古い・設備が悪い
2. 家が狭い
3. 家賃が高い、ローンの返済が困難
4. 騒音などの公害・日当たりが悪いなど
5. 周辺の自然環境が悪い
6. 周辺の都市施設の整備が悪い
7. 交通が不便
8. 通勤に時間がかかる
9. 買物が不便
10. 近所づきあいがうまくいかない
11. 治安が悪い
12. その他 (具体的に:)

Ⅱ. 城陽市のさまざまな行政分野についておたずねします。

(1) 市民と行政の協働によるまちづくりについて、あなたはどのような地域活動に参加されていますか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

1. 保健、医療または福祉の増進
2. 社会教育の推進
3. まちづくりの推進
4. 観光の振興
5. 農山漁村または中山間地域の振興
6. 学術、文化、芸術またはスポーツの振興
7. 環境の保全
8. 災害救援
9. 地域の安全
10. 人権の擁護または平和の推進
11. 国際交流
12. 男女共同参画社会の形成の促進
13. 子どもの健全育成
14. 情報化社会の発展
15. 科学技術の振興
16. 経済活動の活性化
17. 職業能力の開発または雇用機会の拡充支援
18. 消費者の保護
19. (自主) 防災活動
20. 中間支援活動 (上記の活動についての相談窓口、助言、支援を行う)
21. その他 (具体的に:)

(2) あなたが地域活動に参加する際に支障となることは何ですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 経済的な余裕がない
2. 仕事が忙しく時間がない
3. 家事・育児・介護で忙しい
4. 子どもを預けるところがない
5. 健康や体力に自信がない
6. 家族の理解や協力がいない
7. 人間関係がわずらわしい
8. 身近なところに活動場所がない
9. 地域活動に関する情報が少ない
10. その他 (具体的に:)

(3) 生涯学習について、あなたは、どんな内容の学習をされましたか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

1. 家庭生活に必要な知識・技能 (料理・介護・消費問題など) に関するもの
2. 子どもの教育・育児に関するもの
3. 健康管理に関するもの
4. 趣味・娯楽 (芸術・写真・囲碁将棋など) に関するもの
5. 一般的な教養に関するもの
6. スポーツ・レクリエーションに関するもの
7. 環境に関するもの (イベントや学習会)
8. 職業上の知識や技能 (パソコン習得を含む) に関するもの
9. 政治・経済・国際理解に関するもの
10. 人権に関するもの
11. ボランティア活動や地域での社会参加に関するもの
12. その他 (具体的に:)
13. ここ2～3年は行っていない

(3)-1 問(3)で何らかの生涯学習活動を行った方におたずねします。あなたはどんな方法で生涯学習活動を行っていますか。次の中から2つ以内で○印をつけてください。

1. 行政が主催の講座や教室などで
2. 文化パルクやロコモセンなど行われる講座や教室で
3. 城陽市民体育館などで行われる教室で
4. 大学や高校などの公開講座で
5. 専修学校や各種学校の授業で
6. 企業内の研修などで
7. 民間のカルチャースペースやスポーツ施設で
8. 通信教育を利用して
9. 地域のサークルや友人・知人のグループで
10. 個人教室や塾で
11. 自分ひとりで (本やテレビ・ラジオなどで)
12. その他 (具体的に:)

→ (3)-2 問(3)で「13. ここ2～3年は行っていない」と回答された方におたずねします。これまで生涯学習に取り組まなかった理由は何ですか。次の中から2つ以内で○印をつけてください。

1. 時間的余裕がないから
2. 近くに学習できる場所や機会がないから
3. 適切な講師や指導者がいないから
4. 一緒に学習する仲間がないから
5. 学習方法や情報がわからないから
6. 周りの人の理解が得にくいから
7. 自分の希望に合う講座がないから
8. その他 (具体的に:)

(4) スポーツの実施状況について、どのくらいの頻度で運動をされていますか。

1. ほとんど毎日 (週3～4日以上)	2. ときどき (週1～2日程度)
3. ときたま (月1～3日程度)	4. しない

(5) 京都サンガF. C. を応援していますか。

1. 応援している	2. 応援していない
-----------	------------

(6) 京都サンガF. C. の試合を観戦したことがありますか。

1. 観戦したことがある	2. 観戦したことがない
--------------	--------------

(7) 京都サンガF. C. について次の項目ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。

	1 知っている	2 聞いたことはある	3 知らない
① 城陽市に公式練習場がある	1	2	3
② 城陽市がホームタウンであること	1	2	3
③ 城陽市が応援バスツアーや交流会などを実施していること	1	2	3

(8) あなたは「市議会だより」「広報じょうよう」などをご覧になっていますか。次の項目ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。

	1 全部読む	2 読む必要があるだけ	3 あまり読まない	4 読まない	5 知らない
① 市議会だより	1	2	3	4	5
② 広報じょうよう	1	2	3	4	5
③ 生涯学習情報誌「まなびBye」	1	2	3	4	5
	1 よく見る(聞く)	2 見た(聞いた)ことがある	3 見た(聞いた)ことはない	4 あることを知らない	5 あることを知らない
① 城陽市ホームページ	1	2	3	4	4
② 城陽市Facebook	1	2	3	4	4
③ 城陽市ツイッター	1	2	3	4	4
④ 城陽市議会ホームページ	1	2	3	4	4
⑤ 城陽市議会本会議中継(インターネット・市役所ロビー)	1	2	3	4	4
⑥ FM放送「城陽パーブアルタイム」	1	2	3	4	4

(9) 城陽市イメージキャラクター「じょうりんちゃん」をご存知ですか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(9)-1 問(9)で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。じょうりんちゃんを何で知りましたか。

1. 広報じょうよう	2. 城陽市ホームページ	3. チラシ・ポスター
4. イベント	5. その他(具体的に)	

(10) 城陽市では、新たな財源確保と地域経済の活性化を図る目的で、広報紙、ホームページ、封筒に広告を掲載しています。そのことについてどのようにお考えですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 財源を確保するには有効な取り組みだ	2. 地元経済の活性化につながる有効な取り組みだ
3. 広告掲載の媒体をもっと広げた方がよい	4. 広告事業の取り組みは、限定的に行った方がよい
5. 特定の事業主の宣伝になるから、行政にはなじまない	6. わからない
7. その他(具体的に)	

(11) あなたの家のトイレはどのような形式ですか。

1. くみ取り式	2. くみ取り式の簡易水洗トイレ
3. 単独式の浄化槽による水洗トイレ(し尿処理だけ)	
4. 合併式の浄化槽による水洗トイレ(台所や風呂の水も処理)	
5. 公共下水道による水洗トイレ	6. その他(具体的に)

(12) 災害に強いまちづくりのために、城陽市では今後特にどんな対策が必要だと思いますか。3つ以内で○印をつけてください。

1. 災害時に情報伝達がスムーズに行えるよう情報通信網の整備	
2. 自主防災組織など住民主体の組織の強化	3. 日頃からの防災訓練の充実
4. 家庭での防災対策や避難場所などについての広報の養	5. 避難訓練・避難経路の確保や整備
6. 被害想定など地震災害の防止に関する調査	
7. 洪水や土砂崩れなどを防止するための河川や堤防の整備	
8. その他(具体的に)	

(13) 住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることを目的として、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。あなたがお住まいの住宅に住宅用火災警報器を設置していますか。

1. 設置している	2. 一部設置している	3. まだ設置していない
-----------	-------------	--------------

(14) 城陽市の河川をきれいにするために、市民の皆さんの日頃からの取り組みも欠かせません。あなたの日頃の意識に近いものすべてに○印をつけてください。

1. 廃食用油はできるだけ排水口に捨てないようになっている
2. 廃食用油は毎月（第3金曜日）市が指定する回収ボックスに出している
3. 洗剤や石けんは天然素材などの環境にやさしい製品を使用している
4. 油や洗剤などは特に意識せずに捨てたり使ったりしている
5. 公共下水道が整備されたので、水洗化の工事をした（近いうちに）
6. 自分の地区で公共下水道が整備されれば、水洗化の工事をしたい
7. 水洗化の工事は、公共下水道が整備されたとしてもしない
8. 家庭のできる取り組みを本やサークルなどで常に学習したい
9. その他（具体的に： _____)

※注：ここでの「水洗化の工事」とは、公共下水道が整備された地区で、汚水幹までの家庭の排水管などを自己負担で工事することを指します。

(15) あなたの家では、安全でおいしい水道水を蛇口から飲料水として直接使用されていますか。

1. 使用している
2. 使用していない

→ (15)-1 問(15)で「2. 使用していない」とお答えの方におたずねします。飲料水として何を使用されていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. 浄水器などを使用している
2. ペットボトル水を使用している
3. 井戸水を使用している
4. その他（具体的に： _____)

(16) 城陽市で実施している環境施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○印をつけてください。

1. 省エネ相談窓口
2. 城陽ECO宣言
3. クールアースデーの実施
4. 環境家計簿
5. 市内一斉クリーン活動（ゴミ拾い活動）
6. 温暖化防止教室
7. グリーンカーテン苗の配布
8. 生ごみ処理機等購入補助
9. ロットチャェッカーの貸し出し
10. LED電球貸し出し
11. 生ごみ処理機貸し出し
12. 省エネナビの貸し出し

(17) 地球温暖化を防止するため、今後利用したいと思うものはどれですか。3つ以内で○印をつけてください。

1. 太陽熱温水器
2. 家庭用燃料電池給湯器（エネファーム）
3. 高効率給湯器（エコキュート、エコウィル、エコジョーズ）
4. ハイブリッド車
5. 電気自動車（PHV車含む）
6. LED照明
7. HEMS（家庭用エネルギー管理システム）

(18) 人生の終焉に必要な墓地の充足について、あなたのご意見をお聞かせください。あなたは、墓地を所有されていますか。また、必要だとお考えですか。

1. 市内に所有
2. 市外に所有
3. 所有していないが必要とする
4. 必要でない

→ (18)-1 問(18)で「3. 所有していないが必要とする」と回答された方におたずねします。必要とされる墓地の形態はどのようなものが多いとお考えですか。

1. 墳墓
2. 納骨堂
3. その他（具体的に： _____)
4. わからない

(19) 環境イベント・学習会への参加について、イベント・学習会や清掃活動などへ参加されたことがありますか。

1. 参加したことがある
2. 参加したことがない

(20) 今後どのような分野のイベント・学習会であれば参加したいと思えますか。

1. 自然・生き物等に関するもの
2. ゴミ・リサイクル等に関するもの
3. 新エネ・省エネ・省資源に関するもの
4. その他（具体的に： _____)

(21) 地球環境問題について関心がありますか。

1. かなりある
2. ある
3. あまりない
4. まったくない
5. わからない

→ (21)-1 問(21)で「1（かなりある）または2（ある）」と回答された方におたずねします。地球環境問題に対する取り組みとして、何か行われていますか。

1. 環境イベント・学習会への参加
2. 地域の美化活動への参加
3. 家庭・職場での省エネ・省資源取組の実践
4. 特に何もしていない

(22) 城陽市が緑化を推進するために実施している施策の中で、あなたが知っているものはどれですか。知っているものすべてに○印をつけてください。

1. 緑の相談
2. グリーンテレフォン
3. 生け垣設置助成
4. 結婚・誕生記念樹の配布
5. グリーンバンク
6. 緑化フェスティバル
7. 緑と水辺のやさしき回廊整備
8. 名木・古木の選定
9. 花いっぱい運動
10. グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布

(23) 今後、城陽市が一層の緑化を推進していくために、特に必要なものは何だと思われませんか。次の中から3つ以内で○印をつけてください。

1. 樹木・樹林の保全・保護
2. 農地の保全
3. 公園緑地の整備
4. 道路の緑化
5. 河川・河岸の緑化
6. 公共施設緑化
7. 住宅地の緑化
8. 商業地の緑化
9. 工業地の緑化
10. 市民参加の緑化活動
11. その他（具体的に： _____)

(24) 城陽市と京都市宅地建物取引業協会が連携し、市の人口増加、人口流出の抑制を目的として、「城陽市空き家バンク制度」に取り組んでいますが、あなたはこの制度をご存知ですか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(25) この「城陽市空き家バンク制度」は、空き家バンクに登録された市内の物件を購入された場合最大10万円を、賃借された場合最大1万円（1回限り）の補助金を交付させていただきます。補助金の額に関わらず、移住先には個人事情によって決定するものだと思います。この制度についてどう思われますか。あなたのご意見に近いもの1つに○印をつけてください。

1. 人口増加、人口流出の抑制に寄与していると思う
2. 人口増加、人口流出の抑制を図るには、補助金額が少ないと思う
3. 補助金の額に関わらず、移住先には個人事情によって決定するものだと思う
4. その他（具体的に： ）

(26) 街区公園（児童公園・幼児公園）の現在の施設状況でのボール遊びについて、どう思われますか。あなたのご意見に近いもの1つに○印をつけてください。

1. 近隣住民が迷惑するのでどんなボール遊びも反対
2. 近隣住民の理解と制限（※）を付して賛成
3. その他（具体的に： ）

※制限については、幼児・児童が保護者と一緒に行われるボール遊びは可とします。

(27) 子育て支援の充実のためには、城陽市では今後特にどんな施策が必要だと思いますか。3つ以内で○印をつけてください。

1. 保育園の休日保育の拡大	2. 保育園の保育時間の拡大
3. 昼間里親制度の拡大	4. 一時保育の実施の拡大
5. 病児・病後児保育の充実	6. 学童保育所の施設整備
7. 学童保育所の開所時間の延長	8. ひとり親家庭支援策の充実
9. 保育園や幼稚園の「あそびのひろば」の拡大	10. 子育て支援講座の充実
11. ファミリー・サポート・センターの充実	12. 地域子育て支援センターの充実
13. 家庭児童相談室の充実	14. 子育ての情報提供の充実
15. その他（具体的に： ）	

(28) 商店街の利用状況についてお答えください。

1. 週1回以上	2. 月1回程度
3. 年1回程度	4. 年1回未満

(29) あなたは自動車やバイクなどの運転免許証、家用車をお持ちですか。いずれかに○印をつけてください。また、自宅から外出する際の主な交通手段は次のどれですか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

免許・自動車の有無		外出時の主な交通手段						
1 持っている	2 持っていない	1 城陽さんバス	2 一般の路線バス	3 タクシー	4 自動車	5 バイク	6 自転車	7 徒歩
運転免許証 1	2	1	2	3	4	5	6	7
家用車 1	2							

(30) 公共交通機関の利用頻度について次の項目ごとにあてはまる番号に○印を付けてください。

	1. 週4日以上	2. 週に1～3日程度	3. 月に1～3日程度	4. 年に1～4日程度	5. 利用しない
① JR	1	2	3	4	5
② 近鉄	1	2	3	4	5
③ 一般の路線バス	1	2	3	4	5
④ 城陽さんバス	1	2	3	4	5
⑤ タクシー	1	2	3	4	5
⑥ その他の送迎バス	1	2	3	4	5

(31) 普段のあなたの生活の中で、よく利用する駅はどこですか。またよく利用する施設や外出先はどの駅周辺にありますか。それぞれの目的ごとにお答えください。

【それぞれ1～9のうち1つに○、8の場合は施設等の名前1か所を記入】

	1 JR 城陽駅	2 JR 長池駅	3 JR 山城青谷駅	4 近鉄 久津川駅	5 近鉄 寺田駅	6 近鉄 富野荘駅	7 近鉄 大久保駅	8 駅周辺にない	9 利用しない
① 鉄道の乗車駅	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()
② 日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()
③ 通院・診療	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()
④ 趣味・娯楽	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()
⑤ 運動・習い事	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()
⑥ その他公共施設	1	2	3	4	5	6	7	8 ()	9 ()

(32) 城陽市内には各種の公共施設がありますが、あなたは、次の施設を利用されていますか。それぞれの施設ごとにお答えください。また、利用されていない方はその主な理由を1つお答えください。

「2」に○ならば理由へ → 利用していない理由：各施設で○は1つ

	1 よく・ときどき利用する	2 あまり・まったく利用していない	1 施設を知らない	2 施設が充実していない	3 曜日・時間帯が合わない	4 手続き面で利用しづらい	5 施設まで遠い	6 利用する必要がない	7 その他
i 図書館	1	2	1	2	3	4	5	6	7
ii 歴史民俗資料館	1	2	1	2	3	4	5	6	7
iii プラネタリウム	1	2	1	2	3	4	5	6	7
iv プラザホール、ふれあいホール	1	2	1	2	3	4	5	6	7
v 会議室	1	2	1	2	3	4	5	6	7
vi 市民活動支援センター	1	2	1	2	3	4	5	6	7
② 男女共同参画支援センター (ばれっとJOYO)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
③ 福祉センター	1	2	1	2	3	4	5	6	7
④ 市内各コミセン	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 市内各市民サービスマナー	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 市内各老人福祉センター	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 市民体育館	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 総合運動公園	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 市民運動広場 (木津川沿)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑩ 市民テニスコート (北部コミセン横)	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑪ アイリスイン城陽	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑫ プラザイン城陽	1	2	1	2	3	4	5	6	7
⑬ 市民プール	1	2	1	2	3	4	5	6	7

IV. 城陽市での暮らしについての満足度をおたずねします。

(1) あなたが城陽市で生活する中で、次のことをどのよう感じられますか。それぞれの項目ごとに1～5のあてはまる番号に○印をつけてください。

	1. かなり満足	2. いさげ満足	3. どちらともいえない	4. いさげ不満	5. かなり不満
日常生活全般					
① 買物の便利さ	1	2	3	4	5
② 子どもの教育環境	1	2	3	4	5
③ 公園や子どもの遊び場	1	2	3	4	5
④ 隣近所との関係	1	2	3	4	5
⑤ 自治会活動などのコミュニティ環境	1	2	3	4	5
⑥ 工場・道路などの騒音や振動・悪臭などの公害	1	2	3	4	5
自然環境・周辺環境					
① 川や池のきれいさ	1	2	3	4	5
② 自然や生き物とのふれあい	1	2	3	4	5
③ 歩道を含めた道路の快適さ	1	2	3	4	5
④ 水や水辺とのふれあい	1	2	3	4	5
⑤ まちなみの美しさ	1	2	3	4	5
⑥ 環境に関するイベントや学習の機会	1	2	3	4	5
都市基盤					
① 道路の整備	1	2	3	4	5
② 河川・排水路の整備	1	2	3	4	5
③ 緑地帯の設置	1	2	3	4	5
④ 歩道と車道の分離	1	2	3	4	5
⑤ 駅周辺の整備	1	2	3	4	5
⑥ 市街地の整備	1	2	3	4	5
⑦ 東部丘陵地の整備	1	2	3	4	5
⑧ 山砂利対策	1	2	3	4	5
⑨ 近鉄と道路との立体交差化	1	2	3	4	5

城陽市市民意識調査報告書

平成27年（2015年）12月

発行 京都府城陽市企画管理部 秘書広報課
〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL : 0774-56-4051
